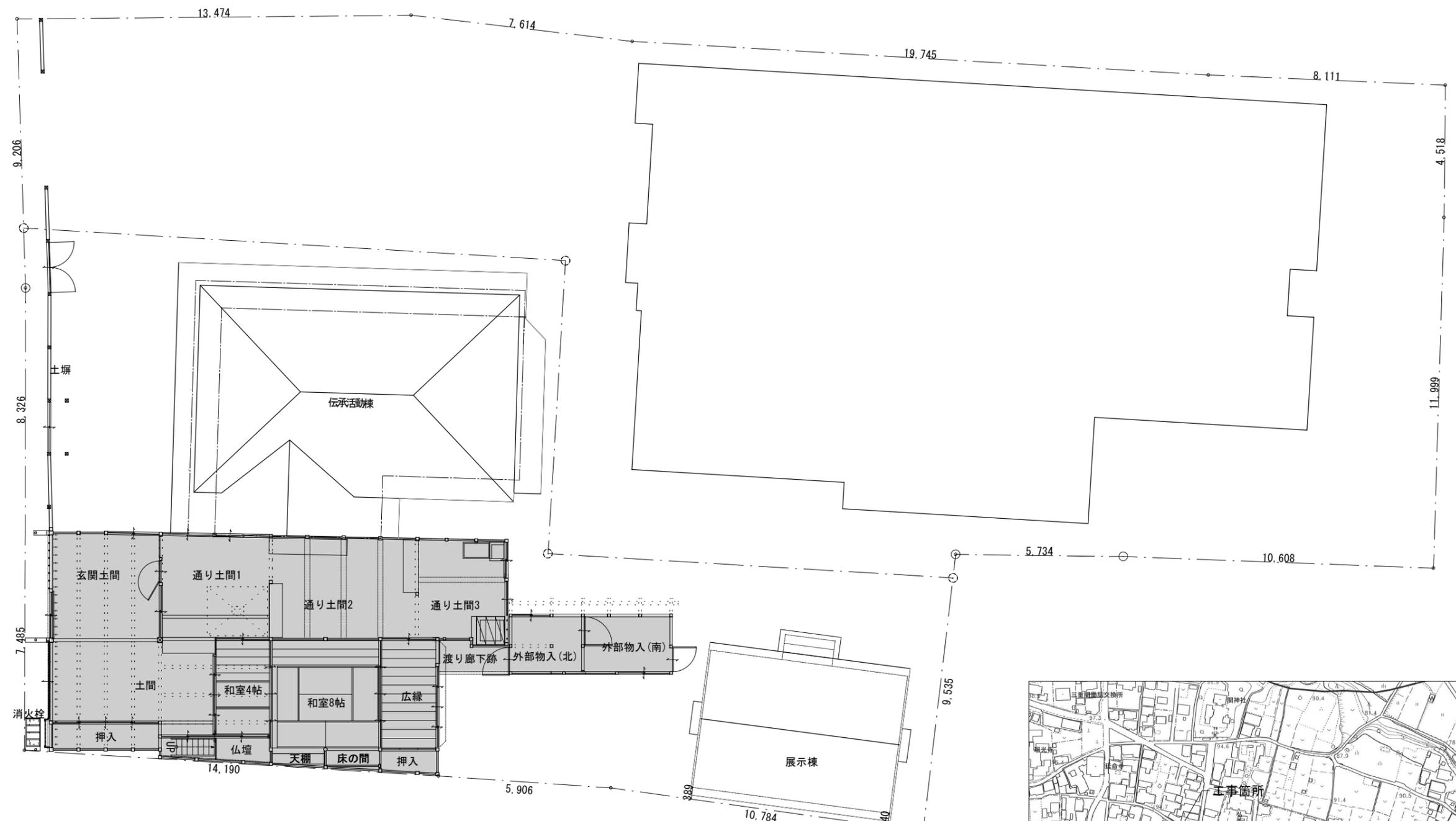
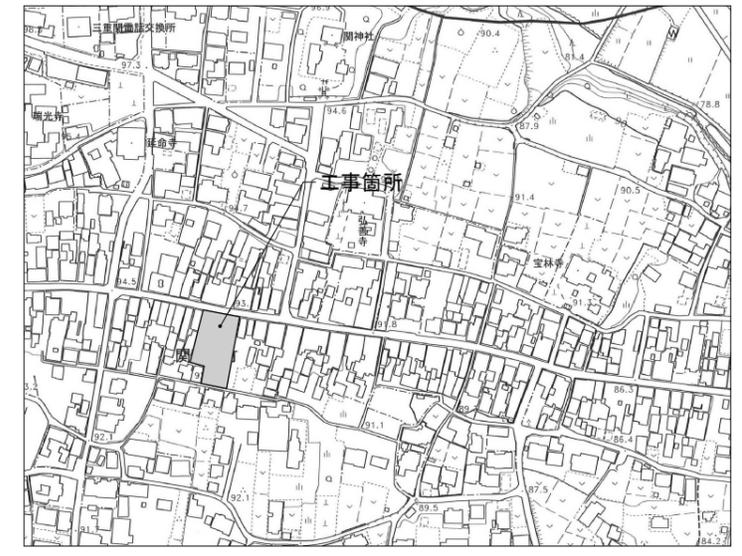
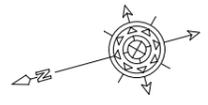


現状図		改修図		電気設備図		機械設備図			
P-01	図面リスト	R-01	特記仕様書1	E-01	電気設備 特記仕様書	M-01	特記仕様書		
P-02	現状配置図	R-02	特記仕様書2	E-02	配置図	M-02	改修配置図		
P-03	現状仕上表	R-03	特記仕様書3	E-03	分電盤及び照明器具姿図	M-03	図示記号・機器・器具表		
P-04	現状一階平面図	R-04	改修配置図	E-04	1階 改修後平面図 照明設備図	M-04	1階 改修平面図 給排水・換気設備		
P-05	現状二階平面図	R-05	改修仕上表	E-05	1階 改修後平面図 コンセント設備図				
P-06	現状南北立面図	R-06	改修一階平面図	E-06	火報報知系統・凡例				
P-07	現状東立面図	R-07	改修二階平面図	E-07	1階 改修後平面図 火災報知設備				
P-08	現状屋根伏図	R-08	トイレ平面詳細図	E-08	2階 改修後平面図 火災報知設備				
P-09	現状矩計図	R-09	改修南北立面図	E-09	1階 改修前平面図 撤去図				
P-10	現状断面図01	R-10	改修東立面図						
P-11	現状断面図02	R-11	改修矩計図						
P-12	現状断面図03	R-12	改修断面図01						
P-13	現状断面図04	R-13	改修断面図02						
P-14	現状面積算定図	R-14	改修断面図03						
P-15	現状展開図(1)	R-15	改修断面図04						
P-16	現状展開図(2)	R-16	改修展開図1						
P-17	現状展開図(3)	R-17	改修展開図2						
P-18	現状展開図(4)	R-18	改修展開図3						
P-19	現状展開図(5)	R-19	改修展開図4						
P-20	現状展開図(6)	R-20	改修展開図5						
P-21	現状展開図(7)	R-21	改修展開図6						
P-22	現状展開図(8)	R-22	改修トイレ展開図1						
P-23	現状展開図(9)	R-23	改修トイレ展開図2						
P-24	現状建具表キープラン	R-24	改修建具キープラン						
P-25	現状建具表1	R-25	改修建具表1						
P-26	現状建具表2	R-26	改修建具表2						
P-27	現状建具表3	R-27	改修建具表3						
P-28	現状床伏図	R-28	改修建具表4						
P-29	現状天井伏図	R-29	改修天井伏図						
P-30	現状基礎,土台伏図	R-30	改修基礎伏図						
P-31	現状梁伏図	R-31	改修床伏図						
P-32	現状屋根伏図	R-32	改修梁伏図						
P-33	現状軸組図1	R-33	改修小屋伏図						
P-34	現状軸組図2	R-34	改修軸組図1						
P-35	現状軸組図3	R-35	改修軸組図2						
P-36	現状軸組図4	R-36	改修軸組図3						
P-37	現状軸組図5	R-37	改修軸組図4						
P-38	現状一階劣化平面図	R-38	改修軸組図5						
P-39	現状二階劣化平面図	R-39	改修トイレ棟断面図						
P-40	現状一階柱傾き図	R-40	構造補強一階平面図						
P-41	現状二階柱傾き図	R-41	構造補強二階平面図						
P-42	現状一階痕跡平面図	R-42	カウンター部分詳細図						
P-43	現状二階痕跡平面図	R-43	改修井戸蓋図						
P-44		R-44	構造特記仕様書1						
P-45		R-45	構造特記仕様書2						
P-46		R-46							
工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事		亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室		管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
		〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218		日付	日付	日付	図面リスト		P-01



凡例  
 対象建築物を示す。



案内図

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	現状配置図		P-02

## 外部仕上表

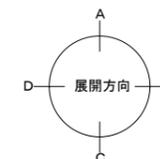
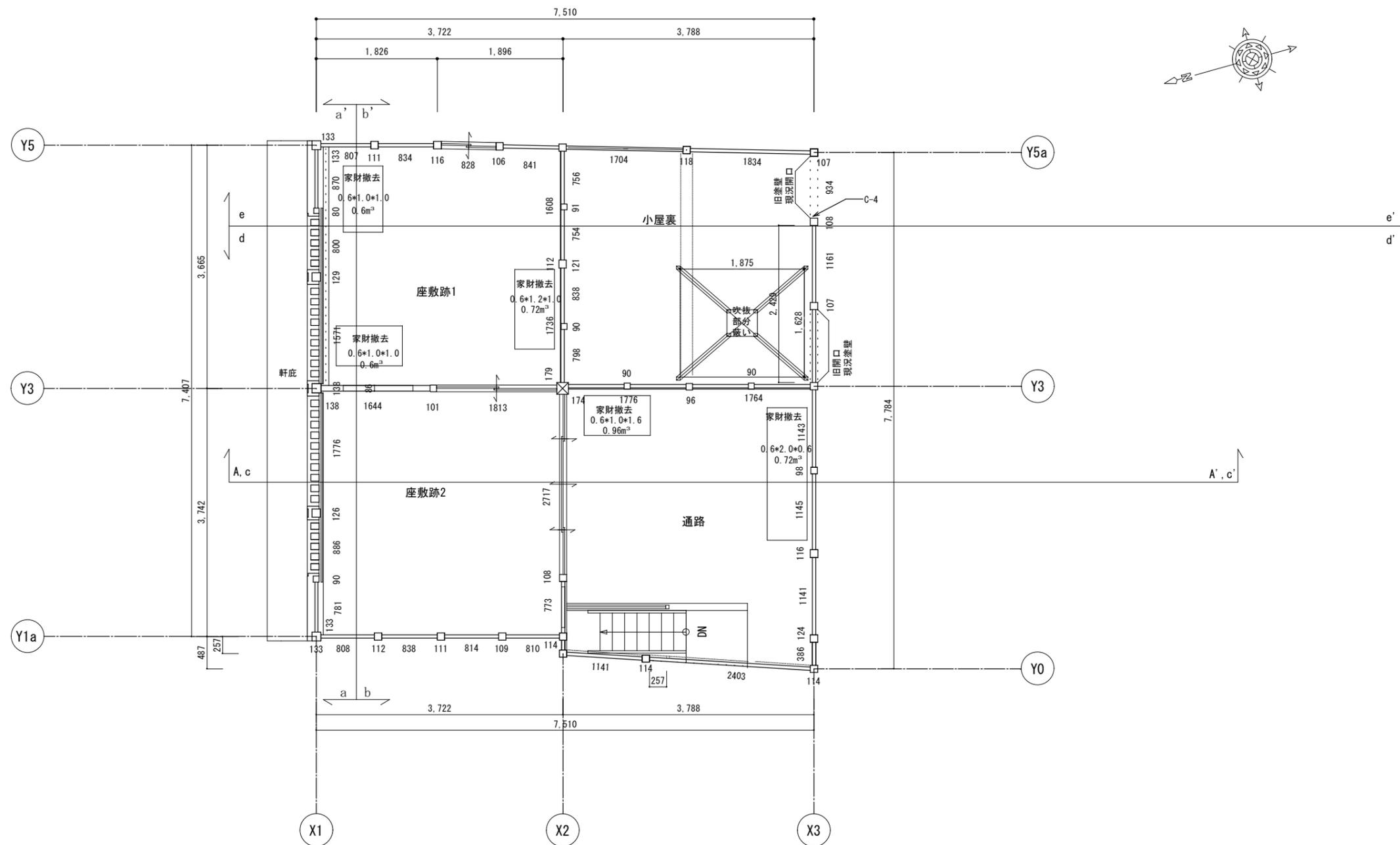
名称	仕様	名称	仕様	備考
屋根	棧瓦土葺き(京華巴) 野地 杉板 垂木105φ半割り桁より45口加工@360 約5寸 銅製軒, 樋 塩ビ製軒, 樋	基礎	玉石、延べ石 コンクリート布基礎	トップライト4ヶ所
	下屋 棧瓦土葺き(万十無紋) 野地 杉板 垂木45*60@360 約5寸 塩ビ製軒 庇 銅板張り	床 束	杉, 桧60φ~100φ転用材	
外壁	北 土壁しっくい仕上げ 虫籠窓 腰壁 杉縦目板張り 東 杉縦目板張り 北 しっくい仕上げ, 腰壁 杉縦目板張り	土台	杉 120*90, 105*90	
		大引	杉 105*105~120φ	
軒天	垂木、野地現し 東けらば 一部土壁塗り込めしっくい仕上げ 一階軒天 出桁化粧板張り 竿縁30口	根太	杉 54~54*50	
	庇 化粧板張り 小舞15口 海布丸太30φ	胴縁	—	
建具	木製引き違いガラス戸、木製開き戸 木製格子戸 障子 襖	間柱	—	
		管柱	杉 105□~178*169	
基礎	玉石、のべ石基礎	小屋梁	松 120~270φ, 120□	
	束石	軒 桁	杉 120*150	
外部土間	のべ石 土間コンクリート	小屋束	杉 90φ, 90□~100□	
		母屋	杉 120φ	
渡り廊下	のべ石 土間コンクリート	垂木	杉 105φ半割り, 60*54, 54□, 45□	
		棟木	杉 120~150φ	

## 内部仕上表

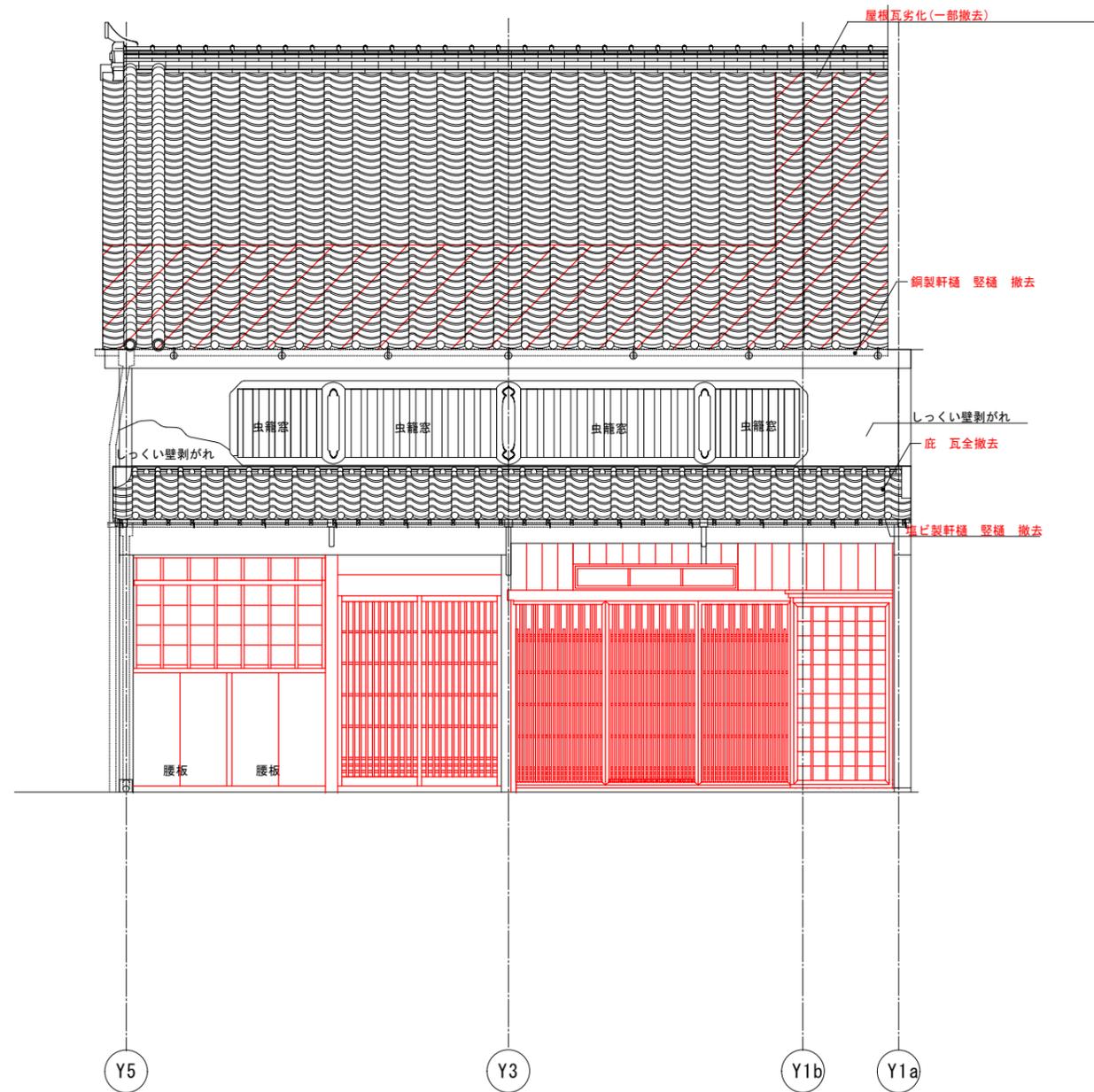
名称	床 仕上	巾木	腰 仕上	壁 仕上	廻り縁	天井	備考
1階	和室8帖	畳 杉板 t=15	畳寄せ	土壁下地	じゅらく仕上げ	杉	竿縁天井 杉縦目板
	和室4帖	畳 杉板 t=15 一部 杉板 t=21	畳寄せ	差鴨居あらかし		杉	松板 踏み天井
	土間	土敷き	—	一部 土壁下地	しっくい壁仕上げ	—	松板 踏み天井
	玄関土間	土間コンクリート	—	差鴨居あらかし		—	松板 踏み天井
	通り土間1	土間たたき仕上げ	—	土壁下地	しっくい壁仕上げ	—	松板 踏み天井
	通り土間2	土間たたき仕上げ	—	一部 土壁下地	しっくい壁仕上げ	—	一部天窓吹き抜け板張り仕上げ 梁、杉野地板あらかし
	通り土間3	土間たたき仕上げ	—	土壁下地	しっくい壁仕上げ	—	梁、杉野地板あらかし
	広縁	縁甲板 t=18	雑巾摺り	土壁下地	じゅらく仕上げ	杉	竿縁杉板
	押入、仏間	杉板	杉	一部土壁下地	化粧合板仕上げ	—	竿縁杉板
	床の間	ケヤキ板	雑巾摺り	土壁下地	しっくい壁仕上げ	杉	竿縁杉板
2階	天棚	ケヤキ板	雑巾摺り	一部土壁下地	板張り仕上げ	杉	竿縁杉板
	外部物入 南北共	土間たたき仕上げ 一部板張り	—	土壁下地	じゅらく仕上げ	杉	天袋付
	小屋裏	松板 t=28	—	土壁下地	しっくい壁仕上げ	—	梁、杉野地板あらかし
	通路	松板 t=28	畳寄せ	土壁下地	中塗り仕上げ	杉	梁、杉野地板あらかし
	座敷跡1,2 共通	松板 t=28	畳寄せ	土壁下地	モルタル塗り壁仕上げ	杉	竿縁天井 杉縦目板

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	現状仕上表		P-03

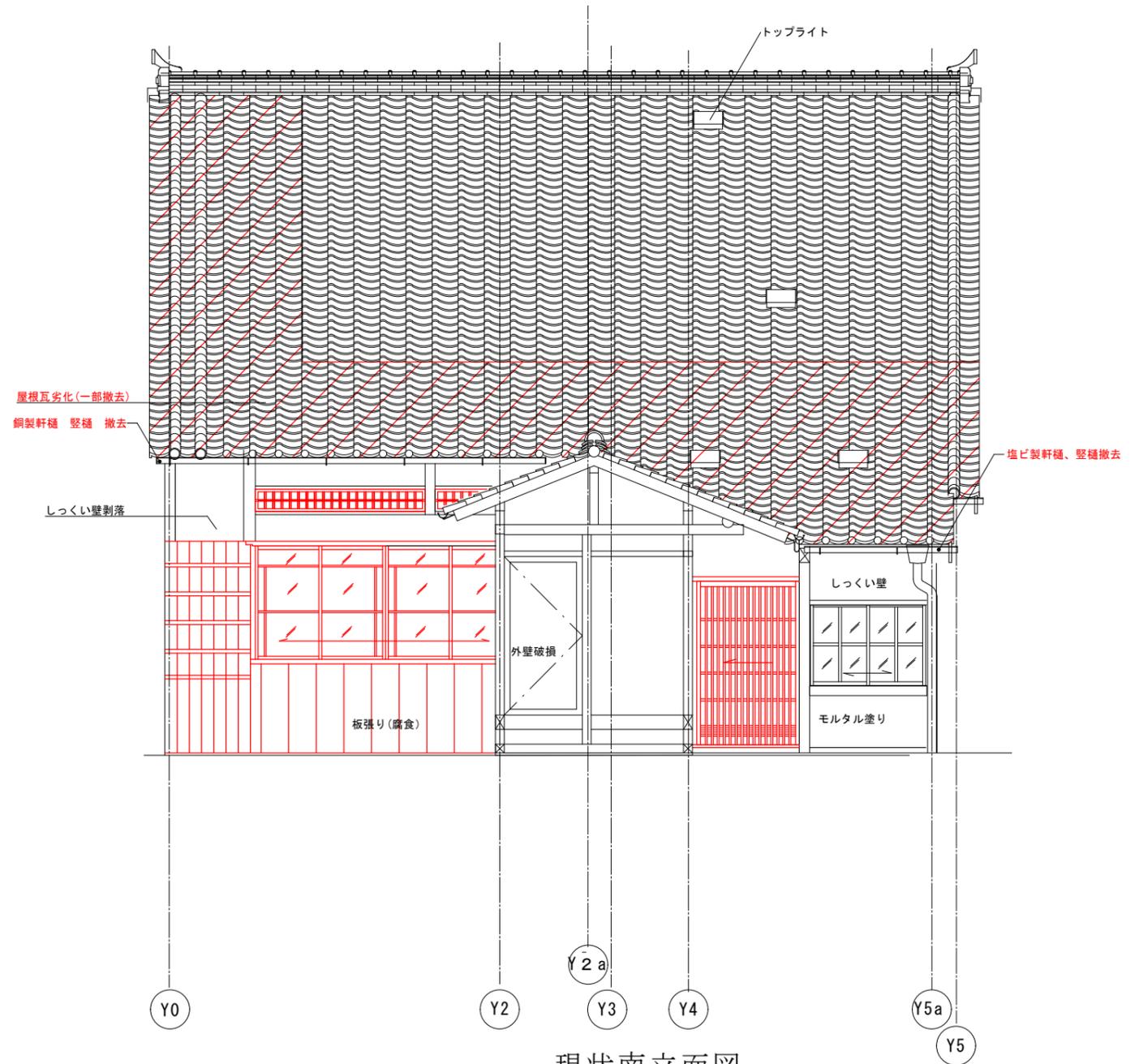




工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	現状二階平面図	1/70	P-05



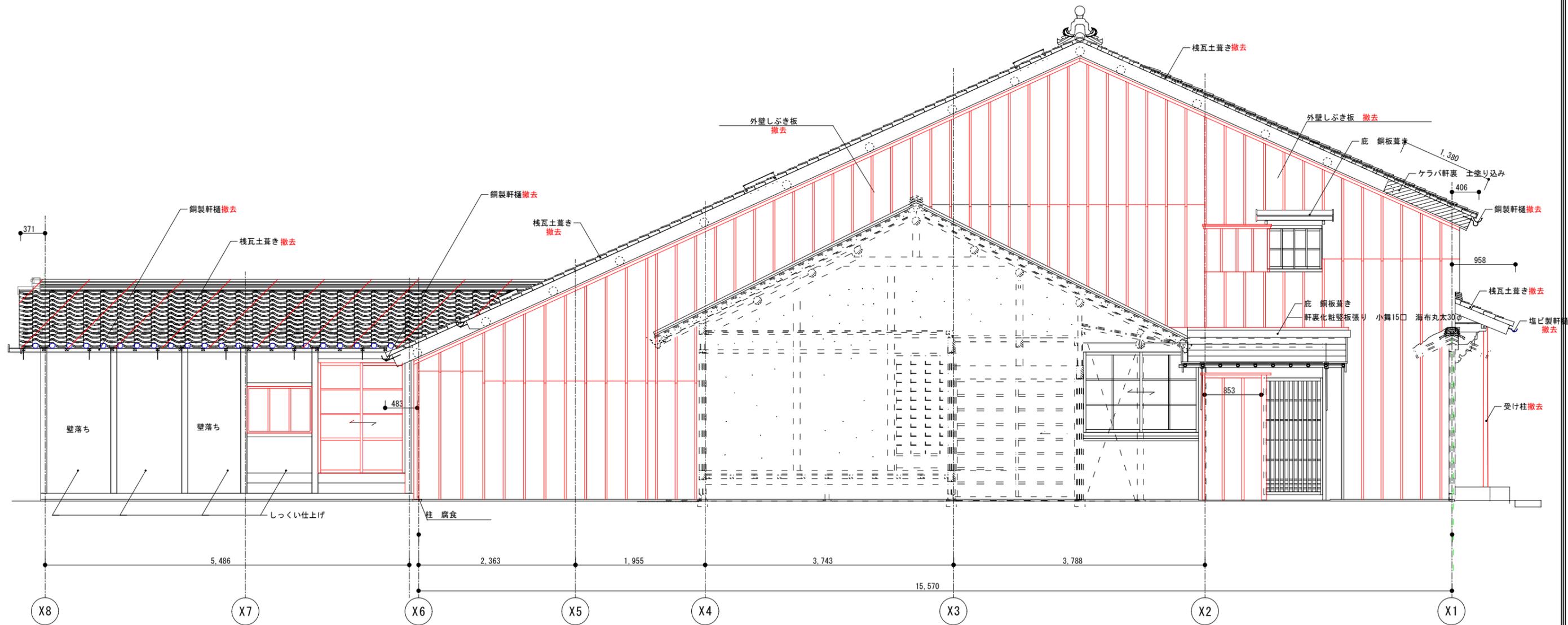
現状北立面図



現状南立面図

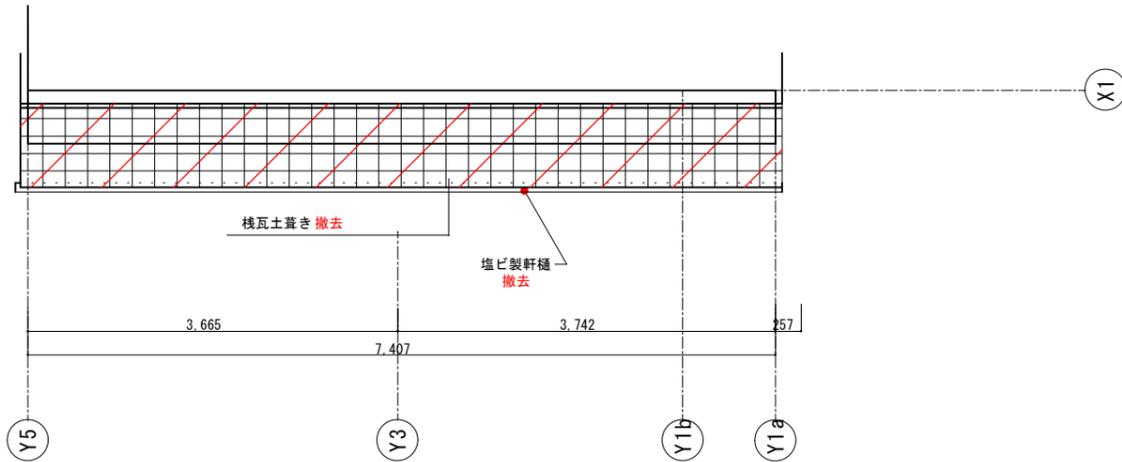
解体撤去部分を示す。  
 ※赤表記部分も解体撤去を示す。

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者 日付	設計者 日付	担当者 日付	図面名 現状南北立面図	縮尺 1/60	図面NO P-06
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218						

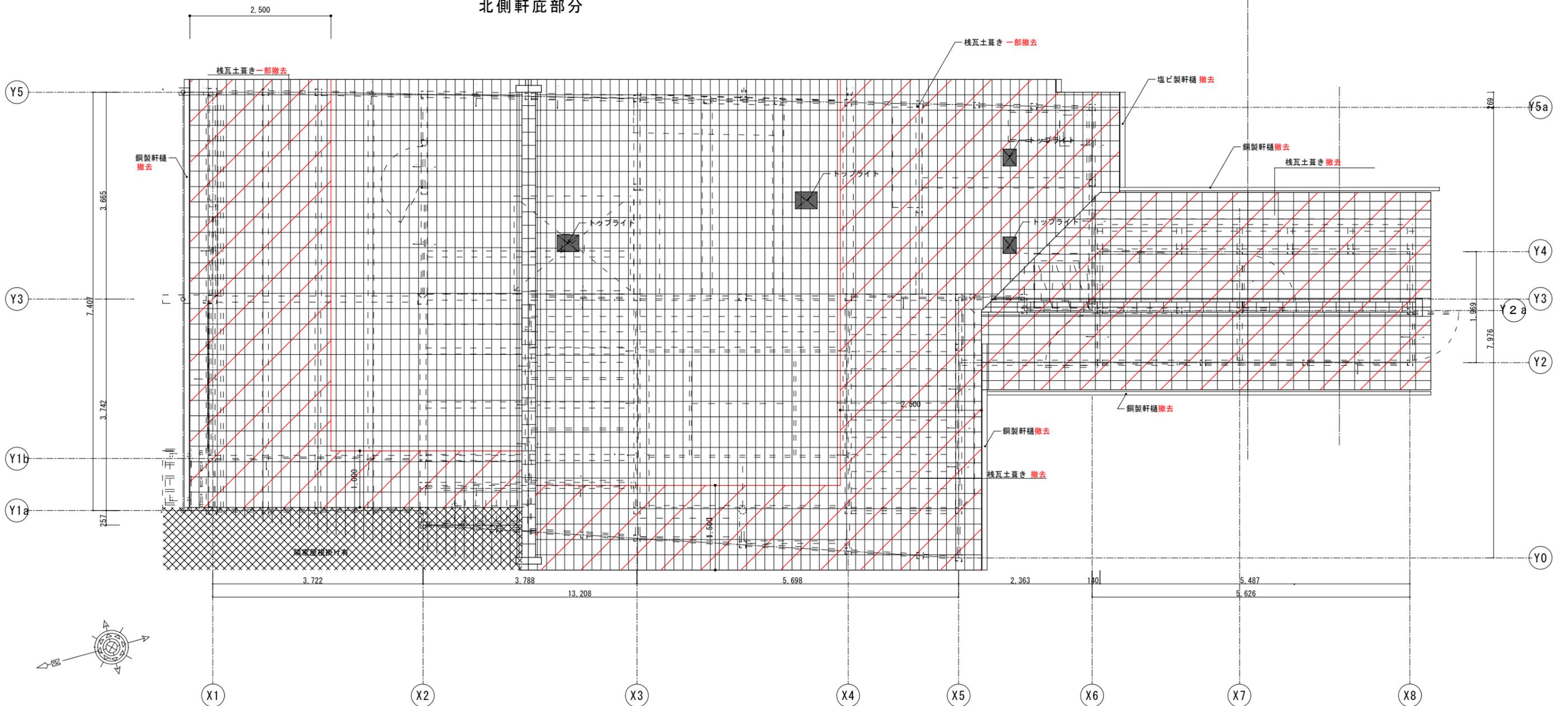


解体撤去部分を示す。  
 ※赤表記部分も解体撤去を示す。

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者 日付	設計者 日付	担当者 日付	図面名 現状東立面図	縮尺 1/70	図面NO P-07
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218						



北側軒底部分



解体撤去部分を示す。  
 ※赤表記部分も解体撤去を示す。

工事名  
 関の山車会館管理・展示棟改修工事

亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室

〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218

管理者  
 日付

設計者  
 日付

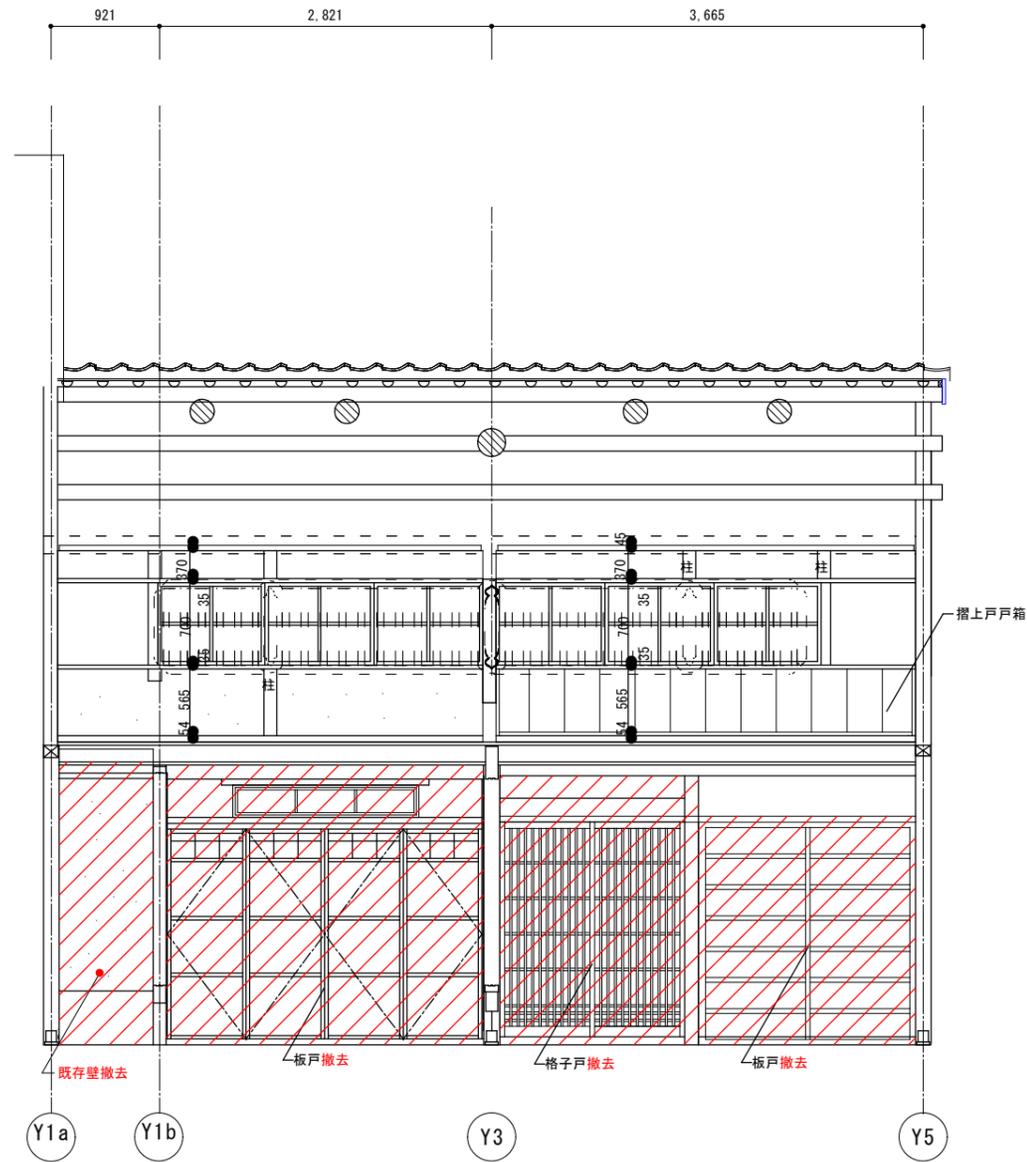
担当者  
 日付

図面名  
 現状屋根伏図

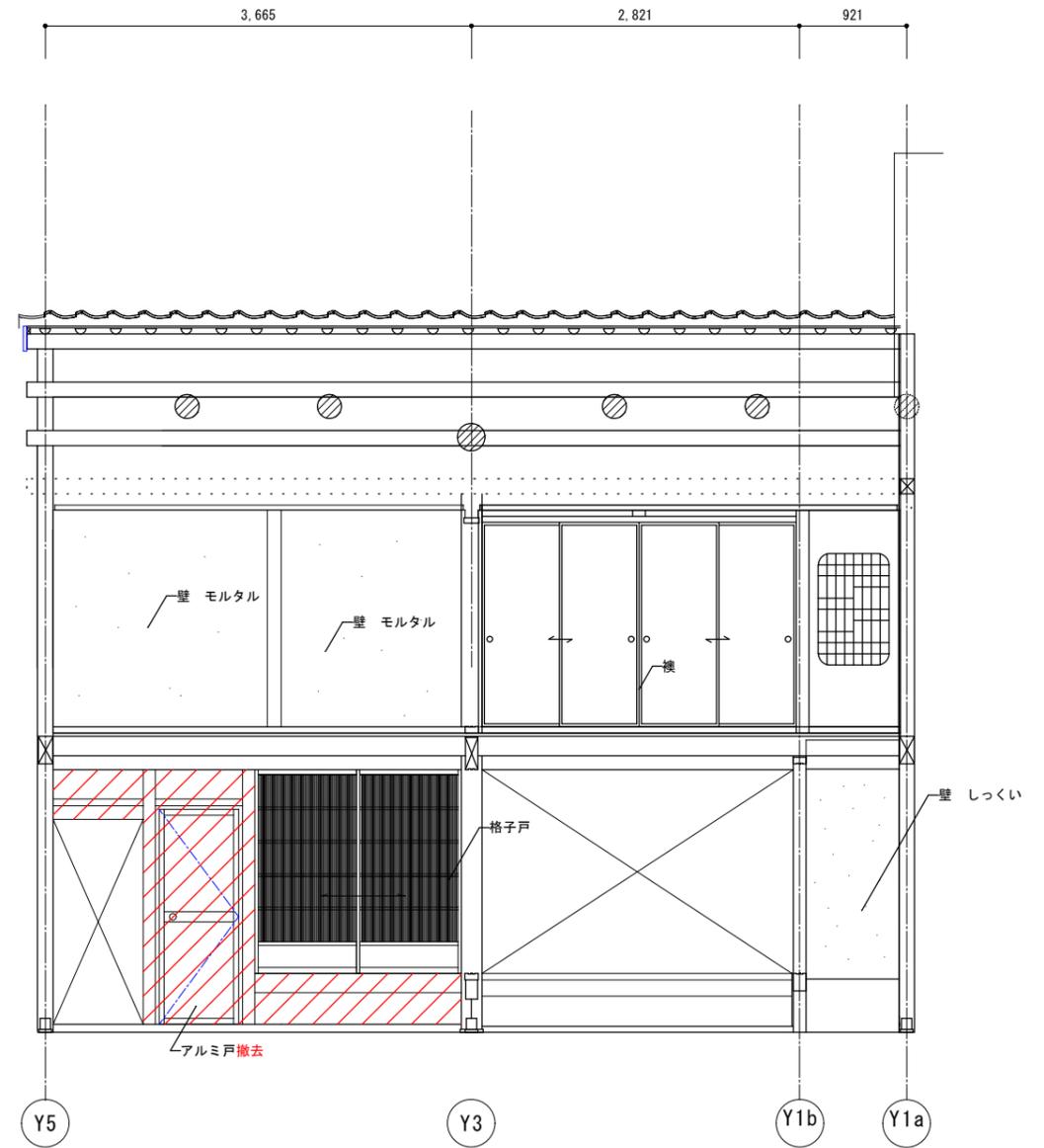
縮尺  
 1/70

図面NO  
 P-08





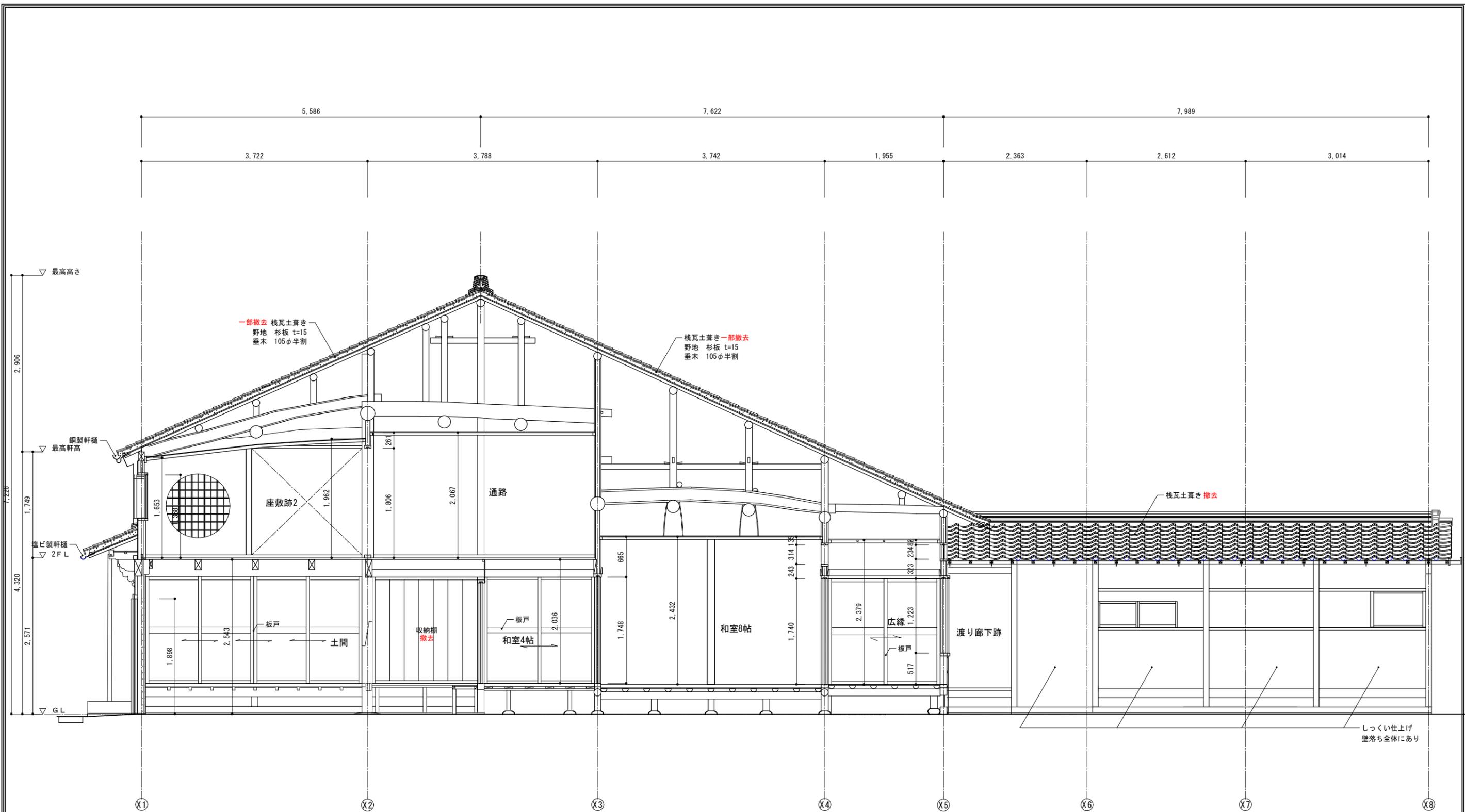
a-a' 断面図



b-b' 断面図

 解体撤去部分を示す。  
 ※赤表記部分も解体撤去を示す。

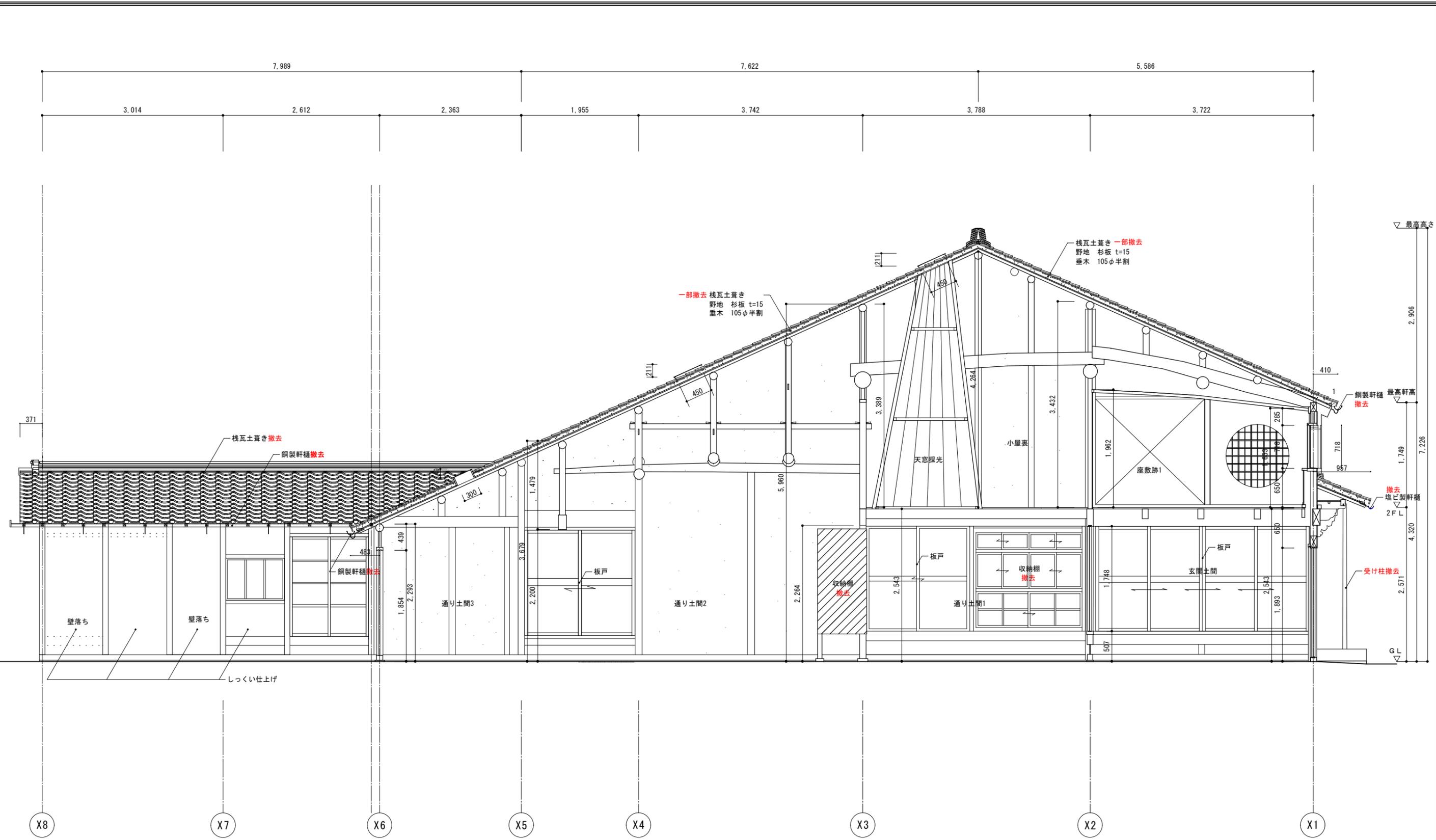
工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	現状断面図01	1/60	P-10



現状c-c'断面図

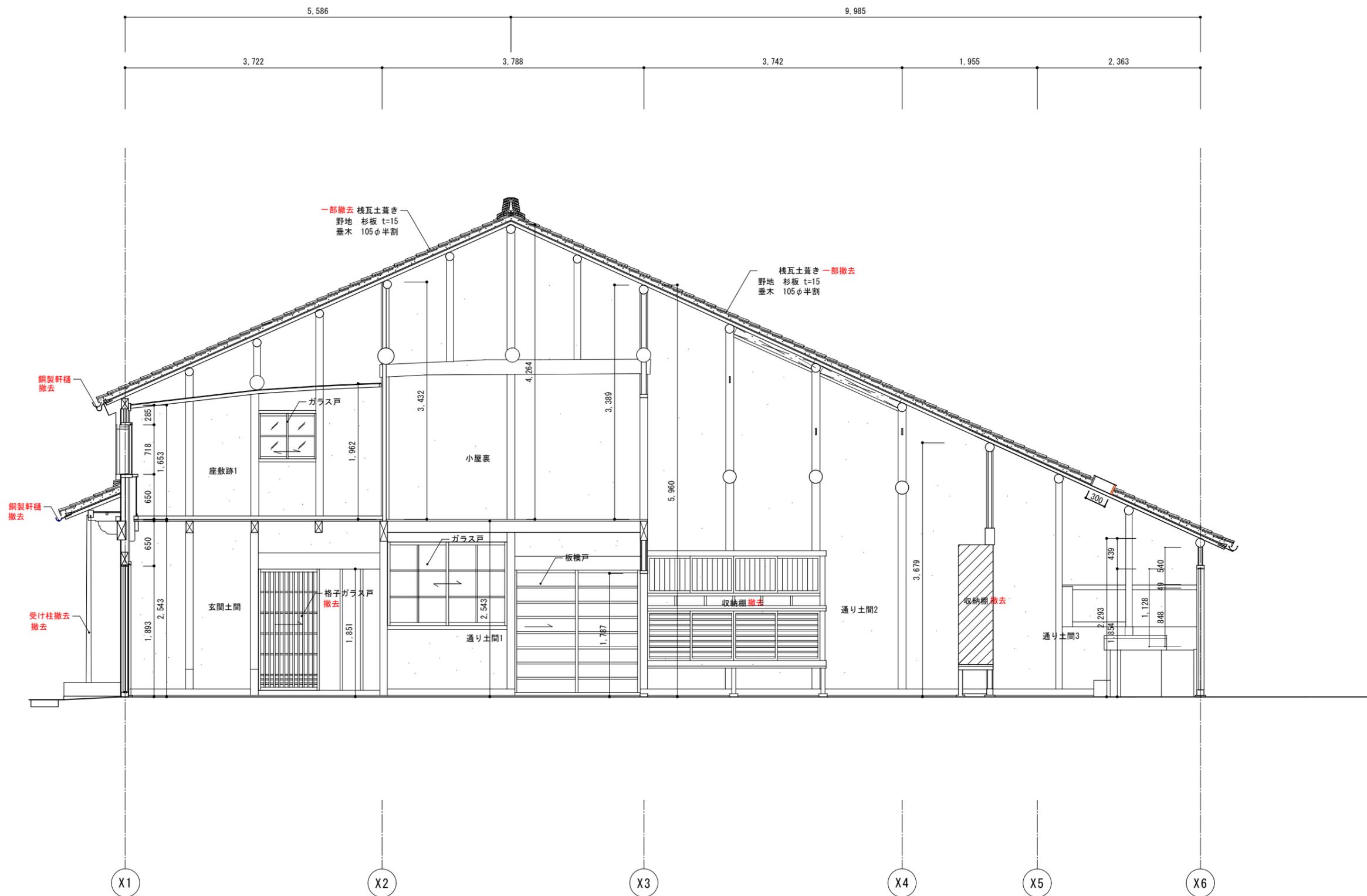
 解体撤去部分を示す。  
 ※赤表記部分も解体撤去を示す。

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者 日付	設計者 日付	担当者 日付	図面名 現状断面図02	縮尺 1/60	図面NO P-11
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218						



解体撤去部分を示す。  
 ※赤表記部分も解体撤去を示す。

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者 日付	設計者 日付	担当者 日付	図面名 現状断面図03	縮尺 1/60	図面NO P-12
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218						



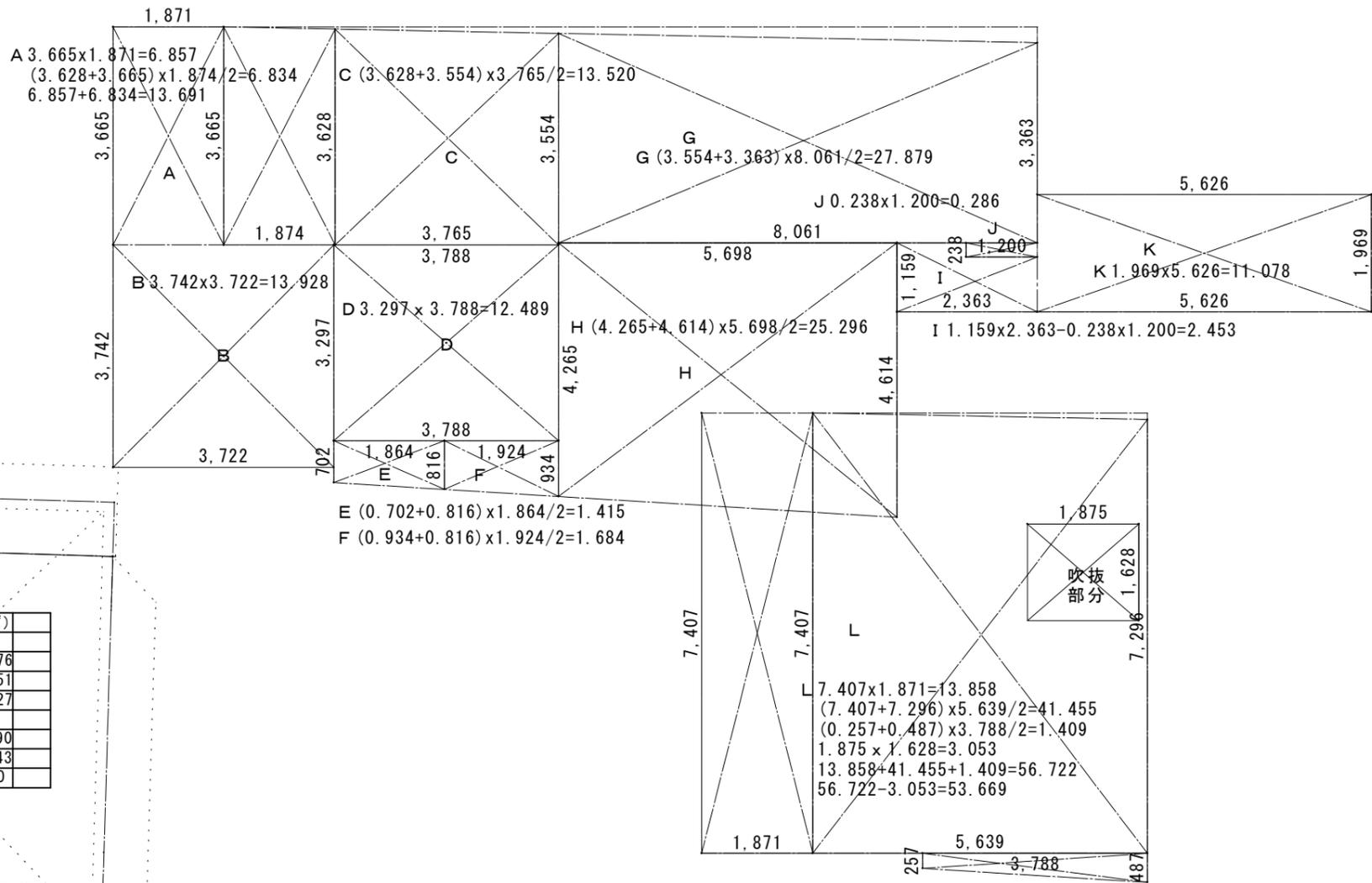
e-e' 断面図

解体撤去部分を示す。  
 ※赤表記部分も解体撤去を示す。

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者 日付	設計者 日付	担当者 日付	図面名 現状断面図04	縮尺 1/60	図面NO P-13
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218						

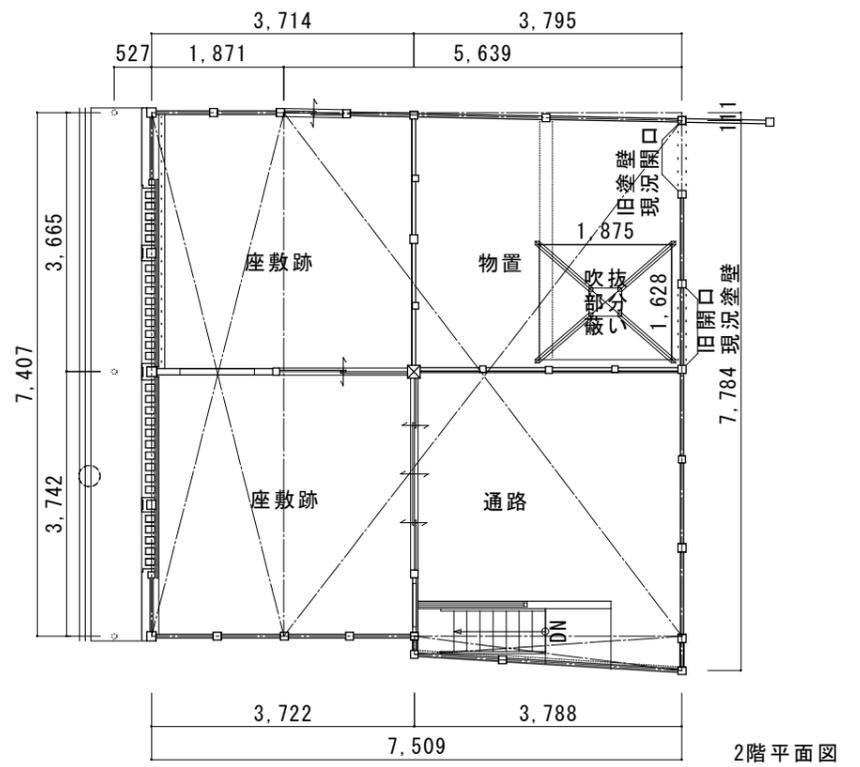
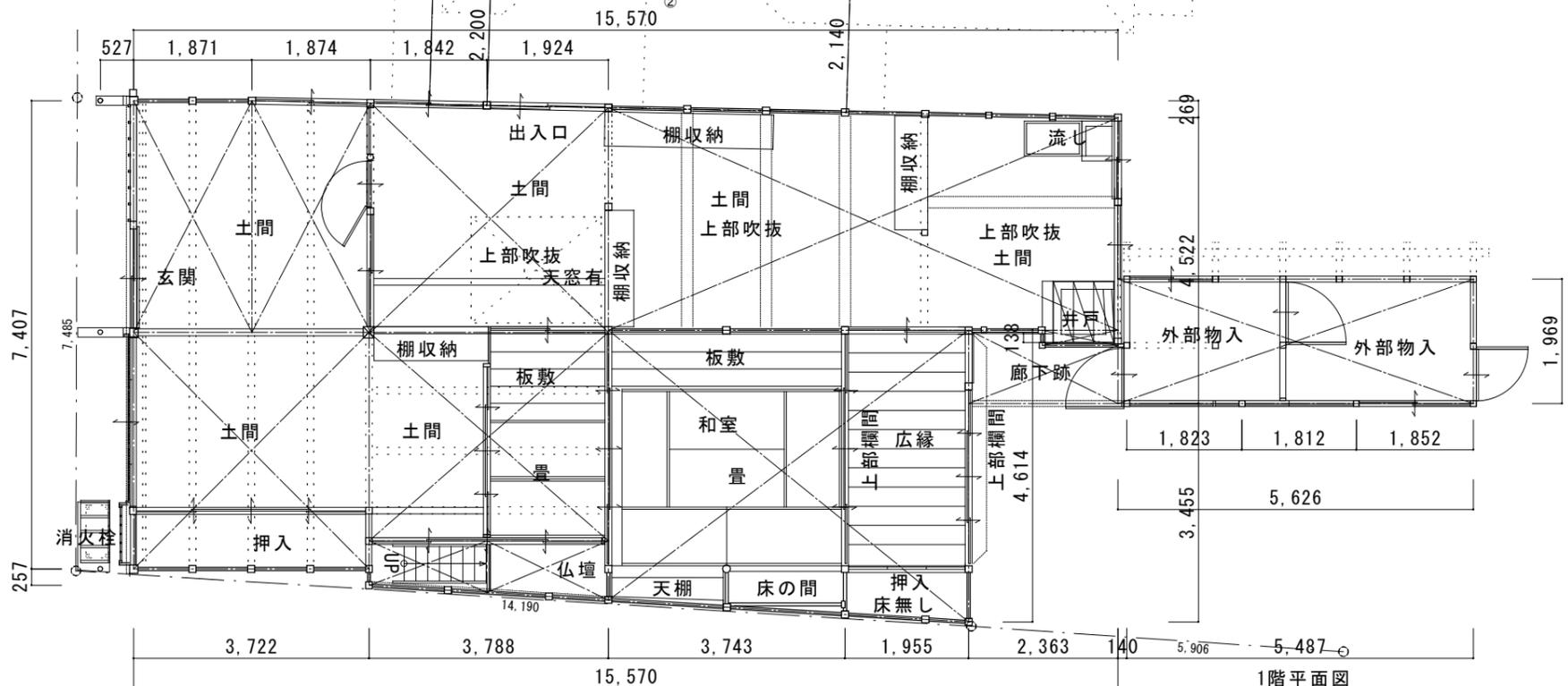
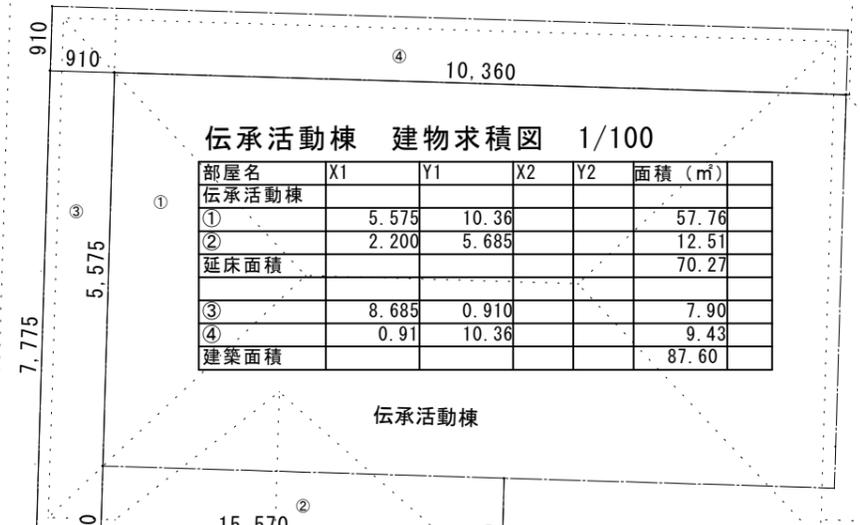
関の山車会館管理・展示棟 建物求積図 1/100

1階面積		2階面積	
A $3.665 \times 1.871 = 6.857$		L $7.407 \times 1.871 = 13.858$	
$(3.628 + 3.665) \times 1.874 / 2 = 6.834$		$(7.407 + 7.296) \times 5.639 / 2 = 41.455$	
$6.857 + 6.834 = 13.691$		$(0.257 + 0.487) \times 3.788 / 2 = 1.409$	
B $3.742 \times 3.722 = 13.928$		$1.875 \times 1.628 = 3.053$	
C $(3.628 + 3.554) \times 3.765 / 2 = 13.520$		$13.858 + 41.455 + 1.409 = 56.722$	
D $3.297 \times 3.788 = 12.489$		$56.722 - 3.053 = 53.669$	
E $(0.702 + 0.816) \times 1.864 / 2 = 1.415$			
F $(0.934 + 0.816) \times 1.924 / 2 = 1.684$			
G $(3.554 + 3.363) \times 8.061 / 2 = 27.879$			
H $(4.265 + 4.614) \times 5.698 / 2 = 25.296$			
I $1.159 \times 2.363 - 0.238 \times 1.200 = 2.453$			
J $0.238 \times 1.200 = 0.286$			
K $1.969 \times 5.626 = 11.078$			
$13.691 + 13.928 + 13.520 + 12.489 + 1.415 + 1.684$			
$+ 27.879 + 25.296 + 2.453 + 0.286 + 11.078 =$			
		建築面積	123.71㎡
		1階床面積	123.71㎡
		2階床面積	53.66㎡
		延べ床面積	177.37㎡
			123.719

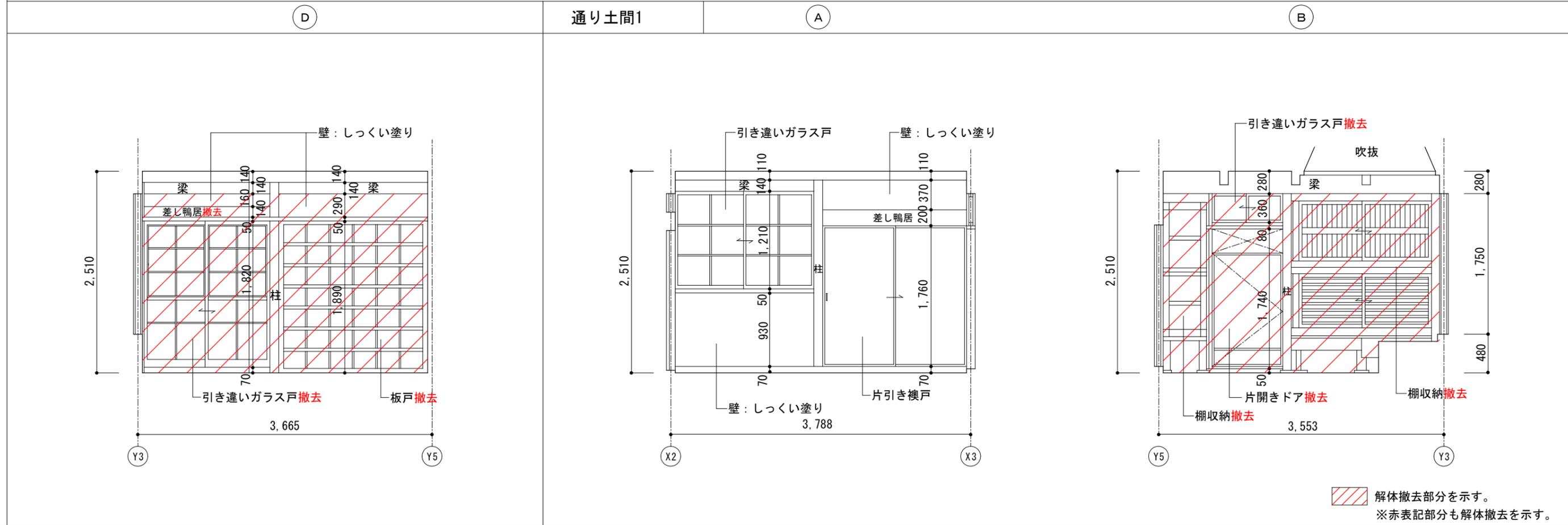
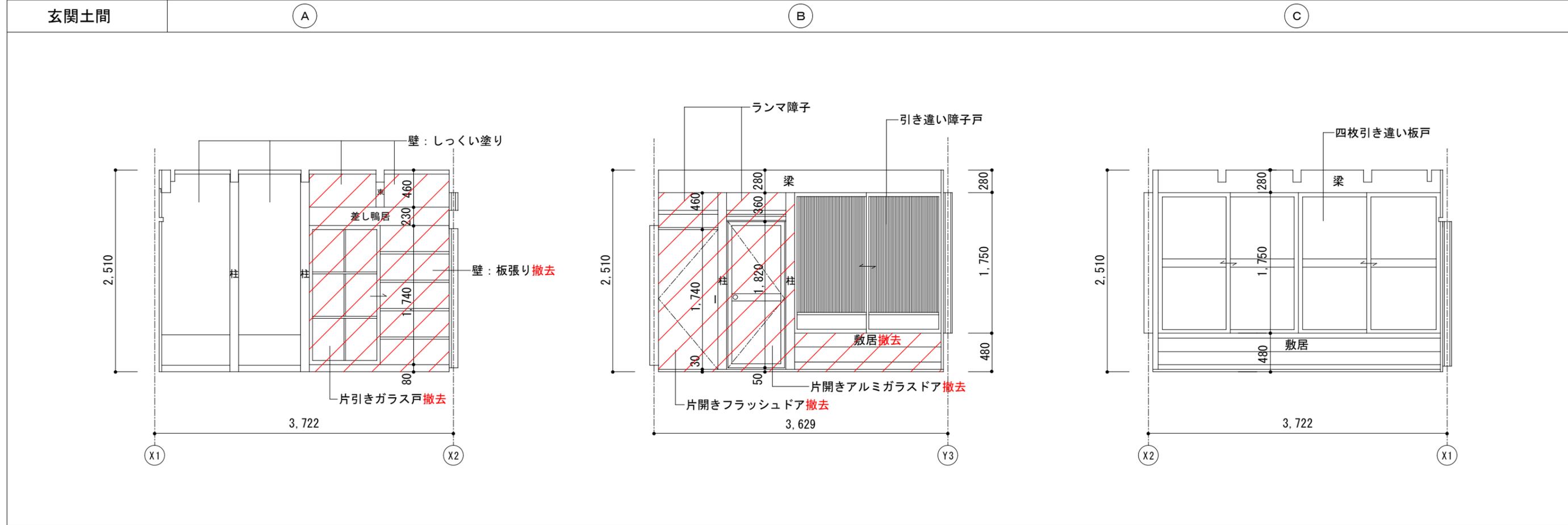


伝承活動棟 建物求積図 1/100

部屋名	X1	Y1	X2	Y2	面積 (㎡)
伝承活動棟					
①	5.575	10.36			57.76
②	2.200	5.685			12.51
延床面積					70.27
③	8.685	0.910			7.90
④	0.91	10.36			9.43
建築面積					87.60

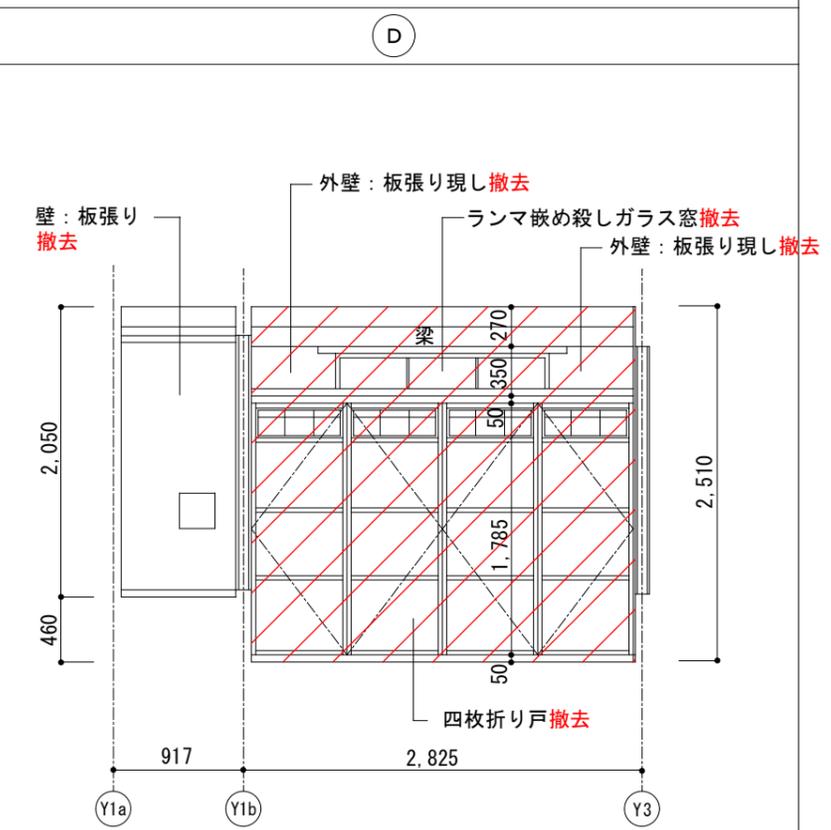
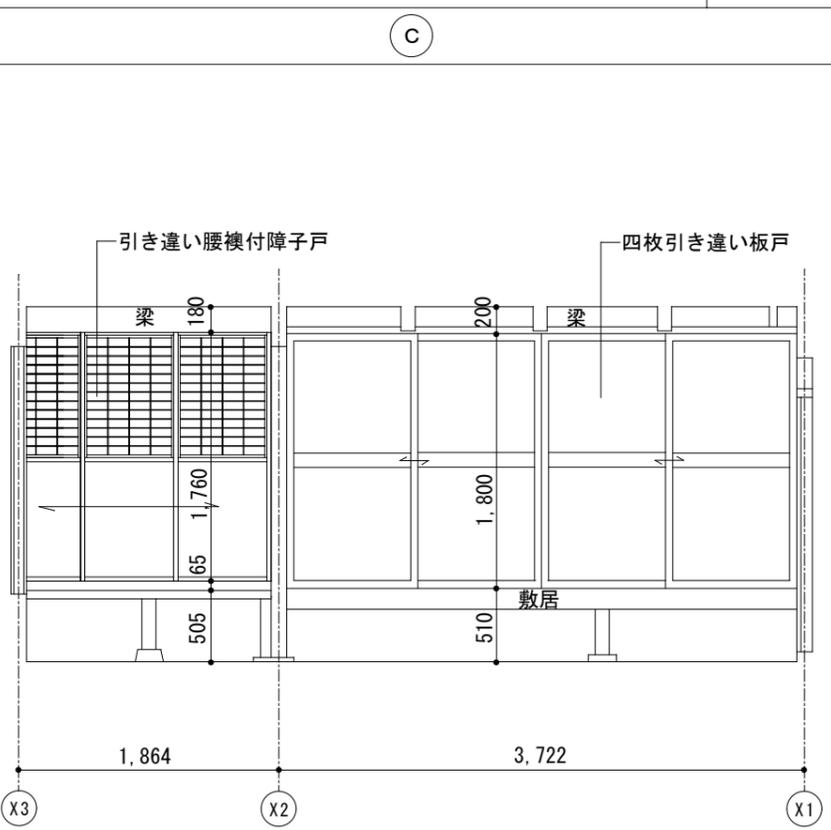
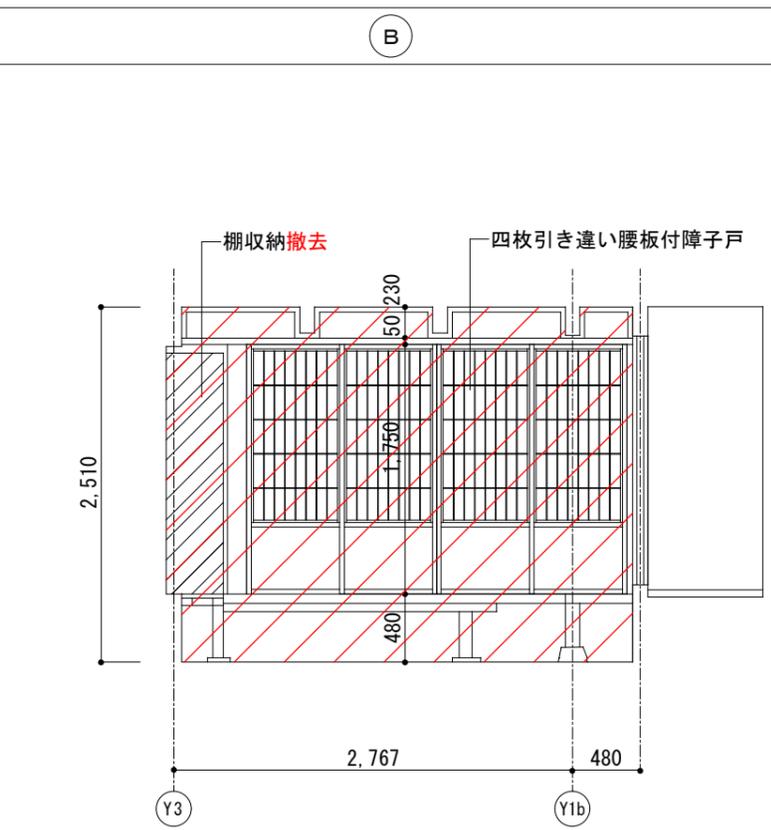
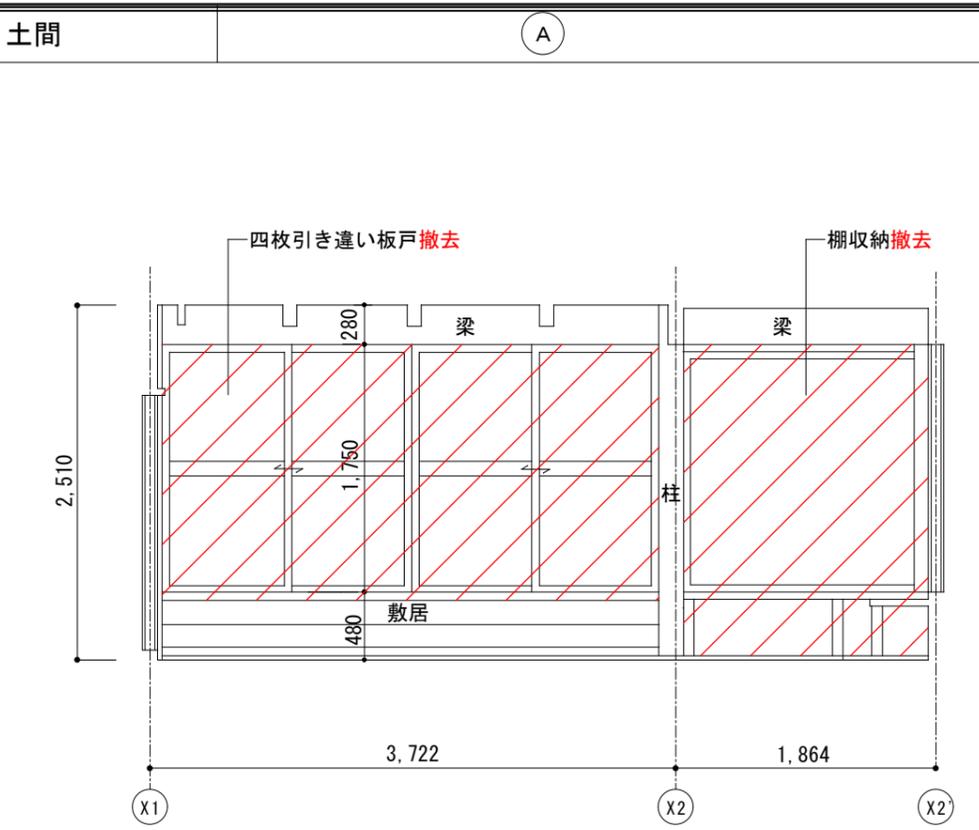
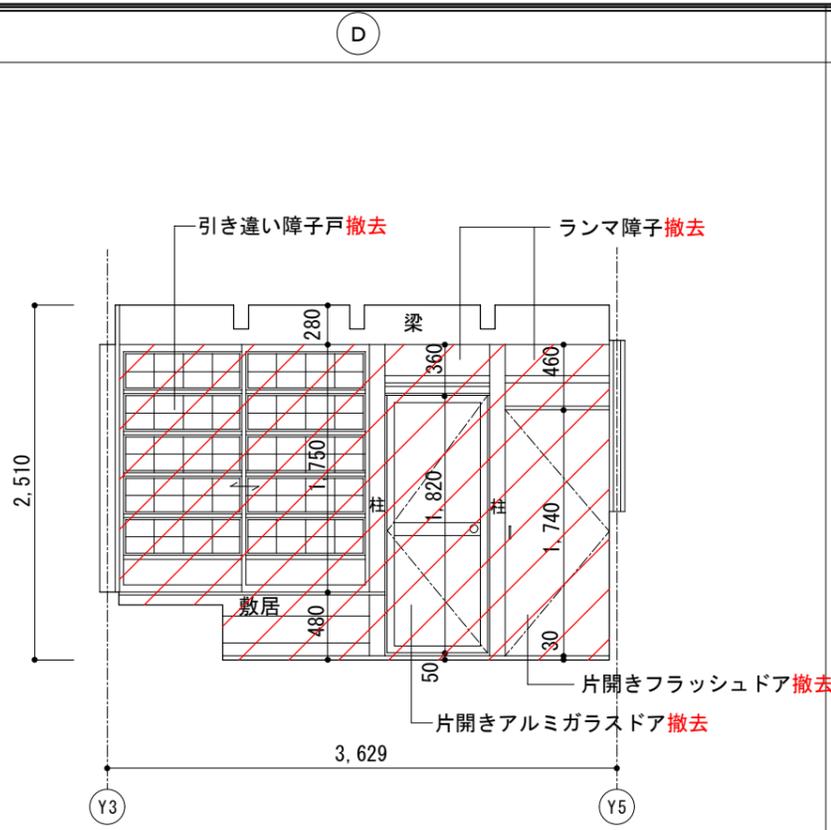
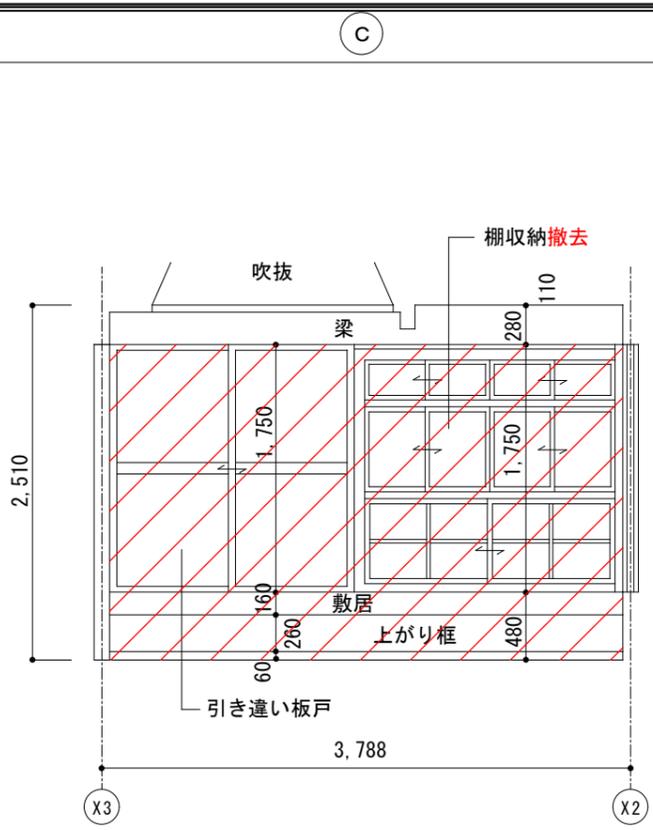


工事名	関の山車会館管理・展示棟改修工事	管理者	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	設計者		担当者		図面名	現状面積算定図	縮尺	1/150	図面NO	P-14
		日付		日付		日付							
		〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218											



解体撤去部分を示す。  
 ※赤表記部分も解体撤去を示す。

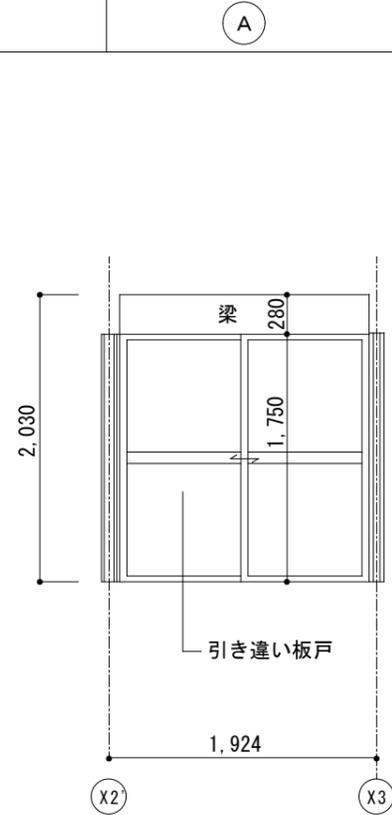
工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者 日付	設計者 日付	担当者 日付	図面名 現状展開図(1)	縮尺 1/50	図面NO P-15
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218						



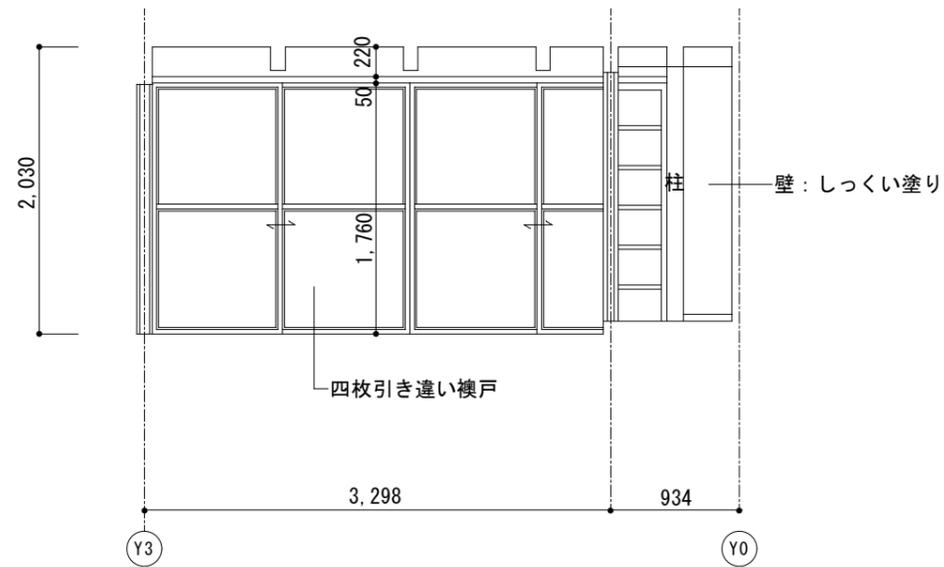
解体撤去部分を示す。  
 ※赤表記部分も解体撤去を示す。

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室 〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
		日付	日付	日付	現状展開図(2)	1/50	P-16

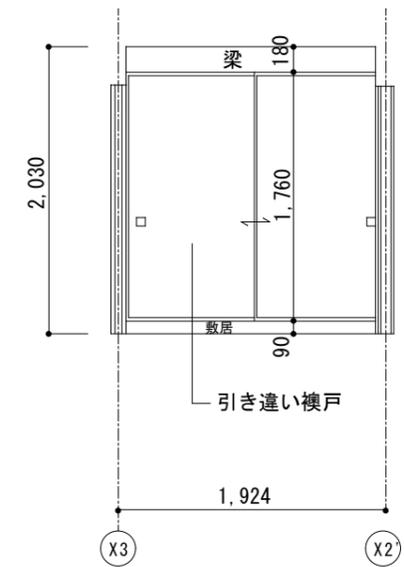
和室 (4帖)



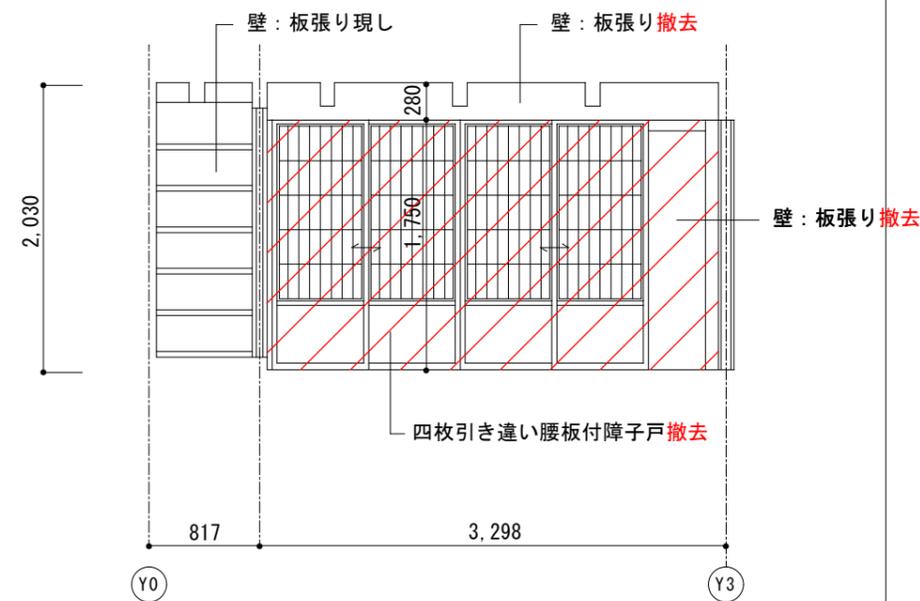
B



C

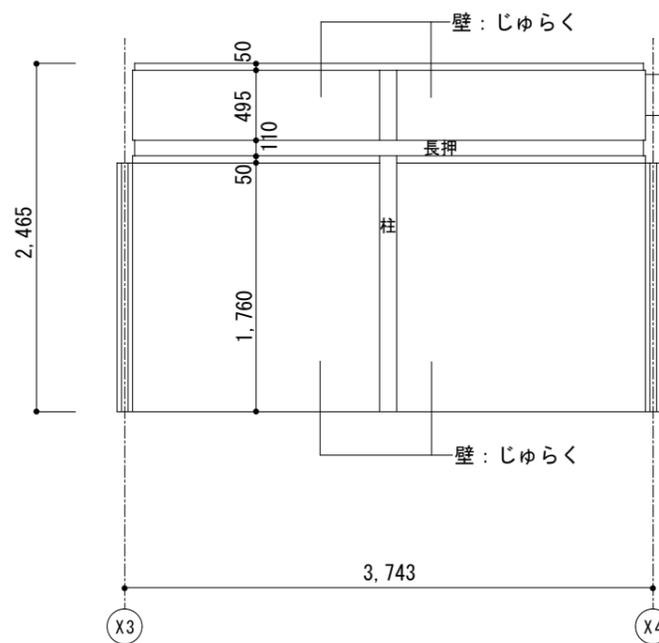


D

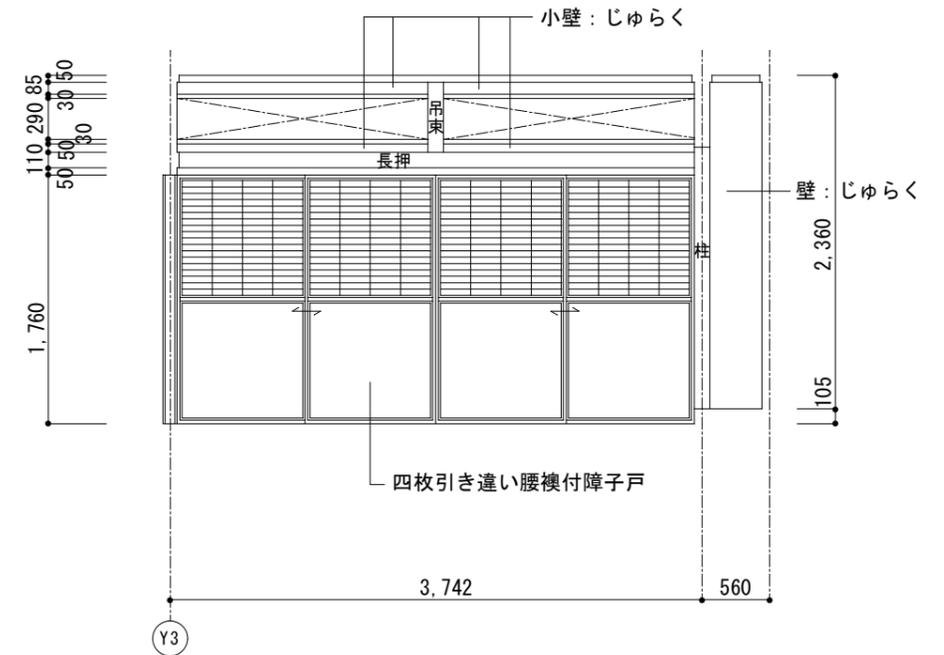


和室 (8帖)

A



B



解体撤去部分を示す。  
※赤表記部分も解体撤去を示す。

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事

亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室

〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218

管理者

日付

設計者

日付

担当者

日付

図面名

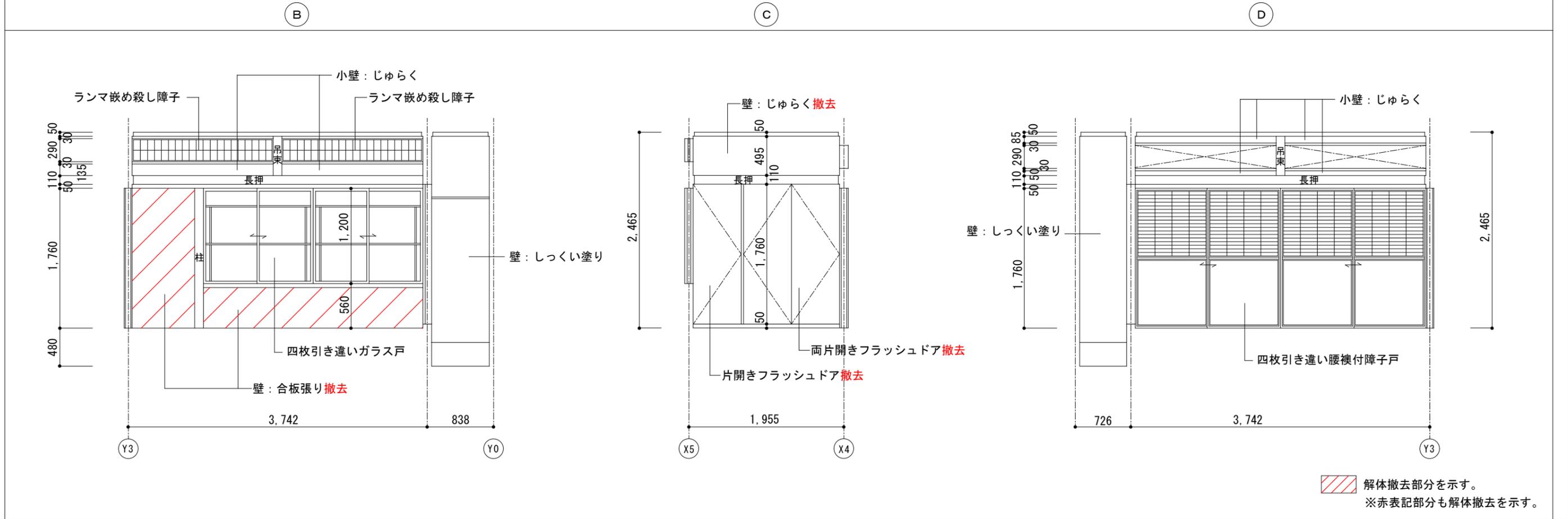
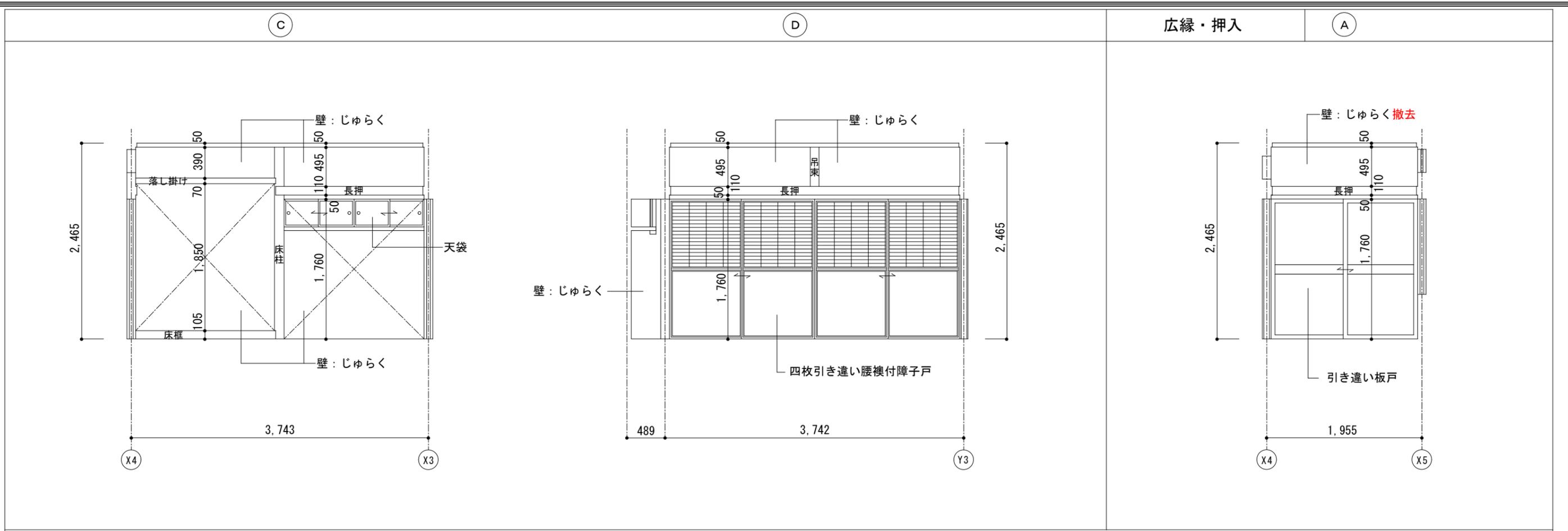
現状展開図(3)

縮尺

1/50

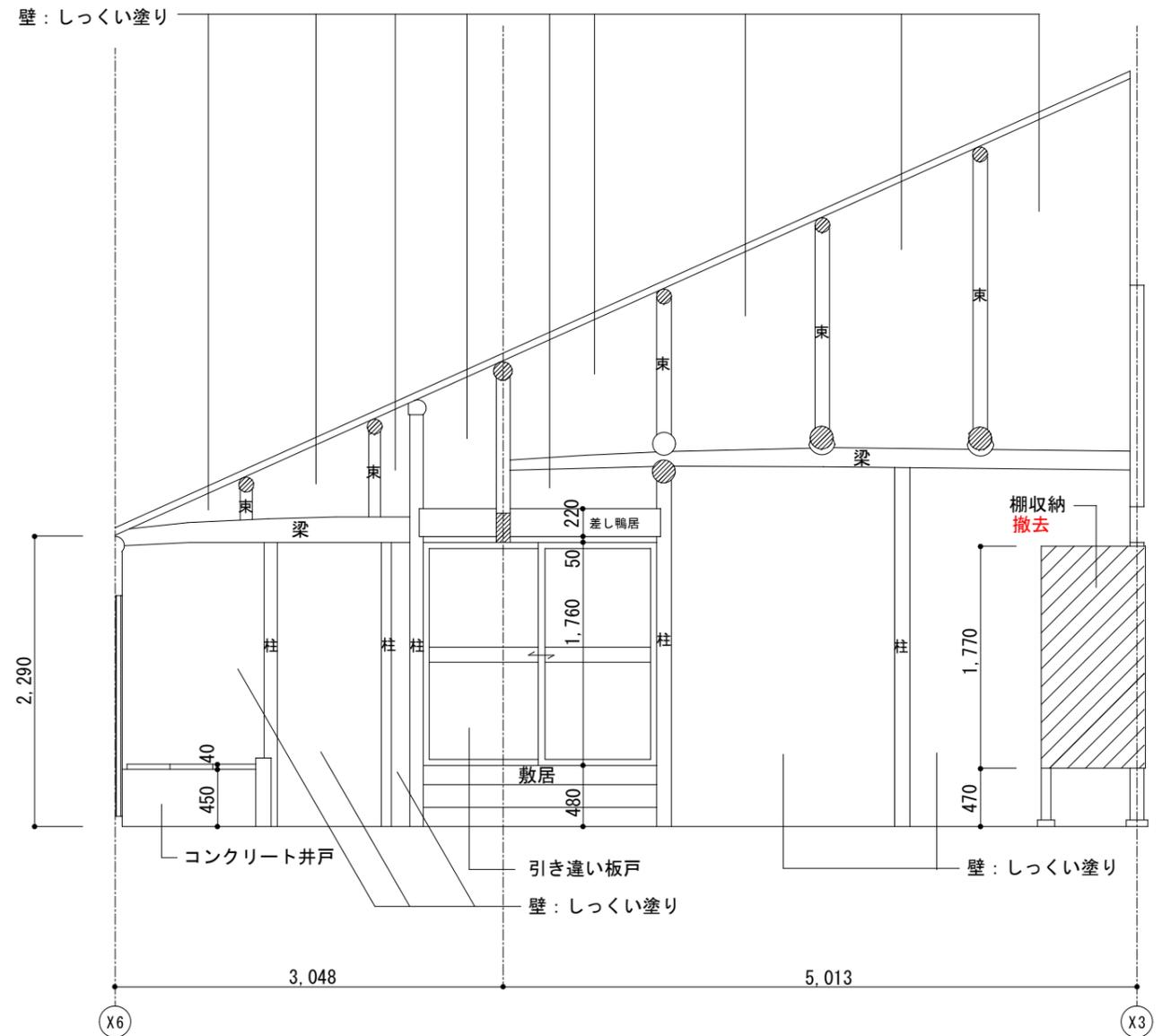
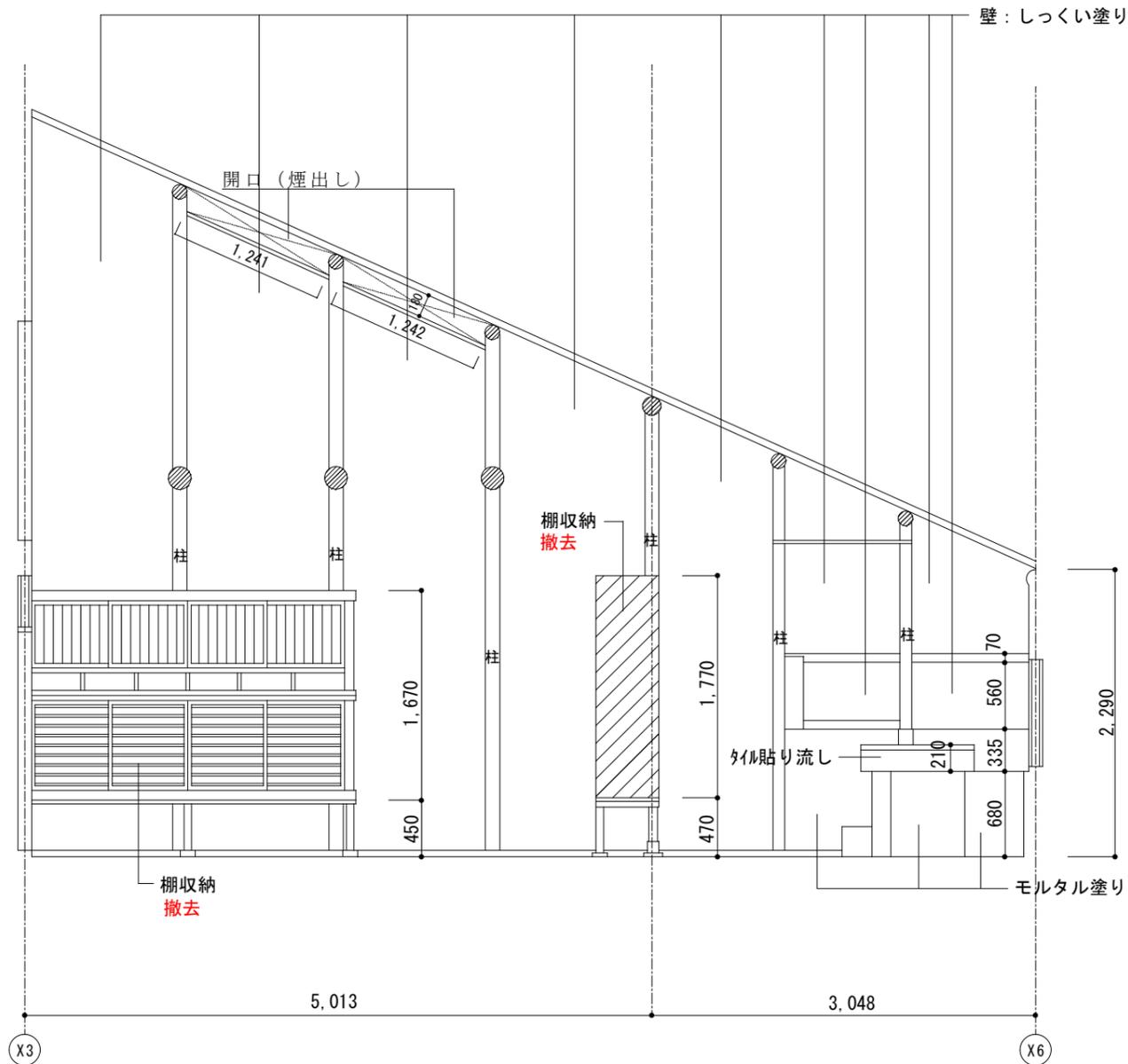
図面NO

P-17



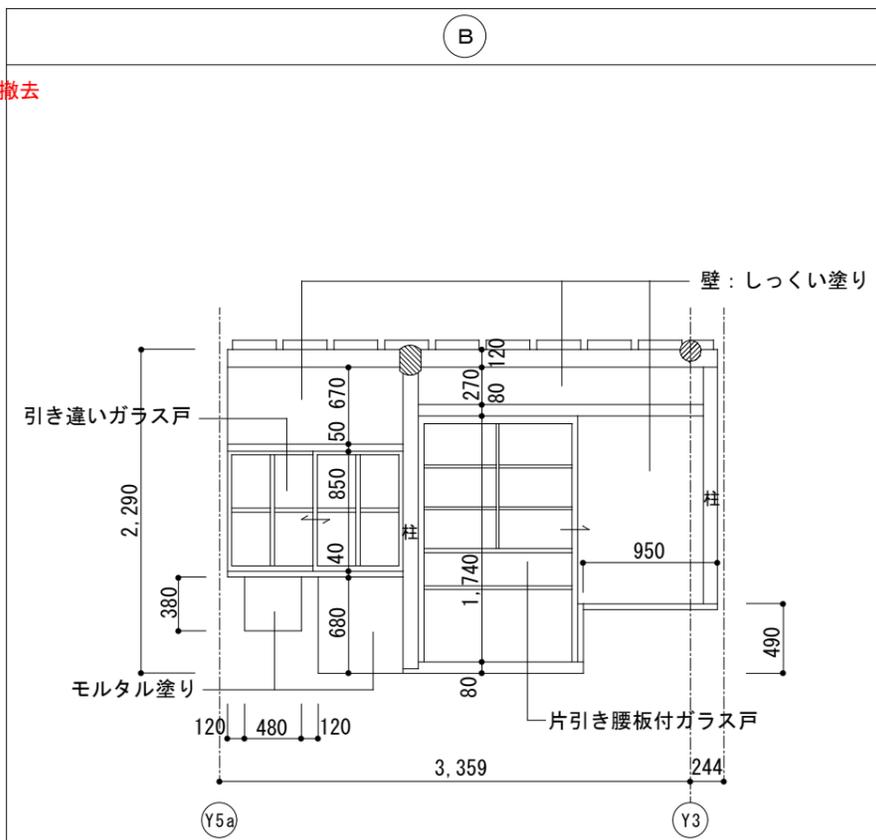
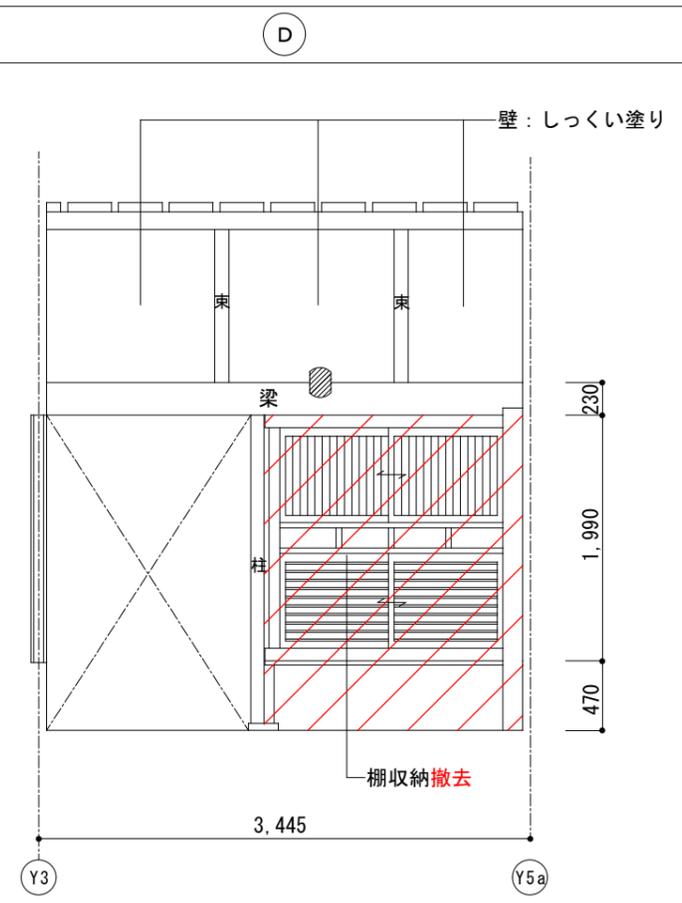
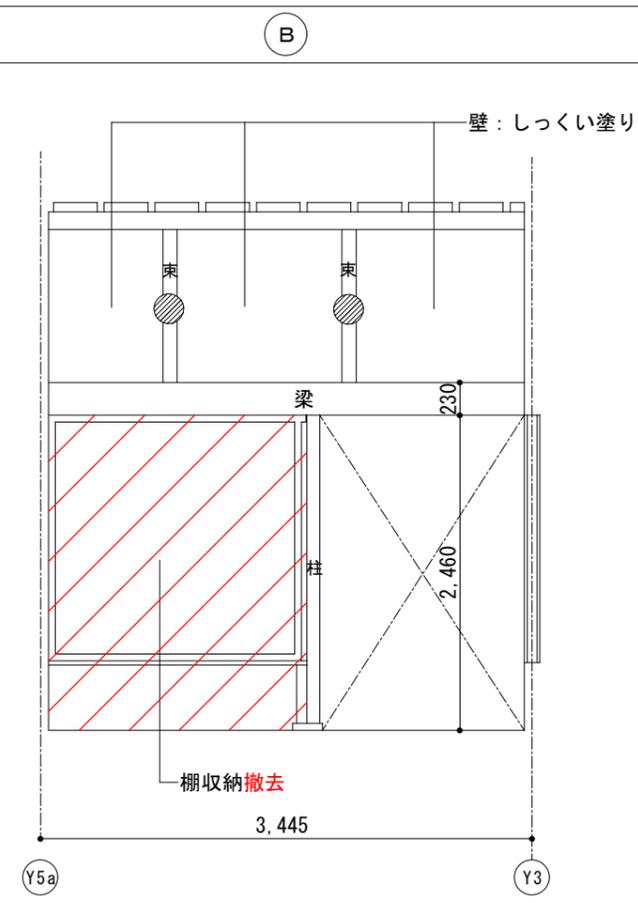
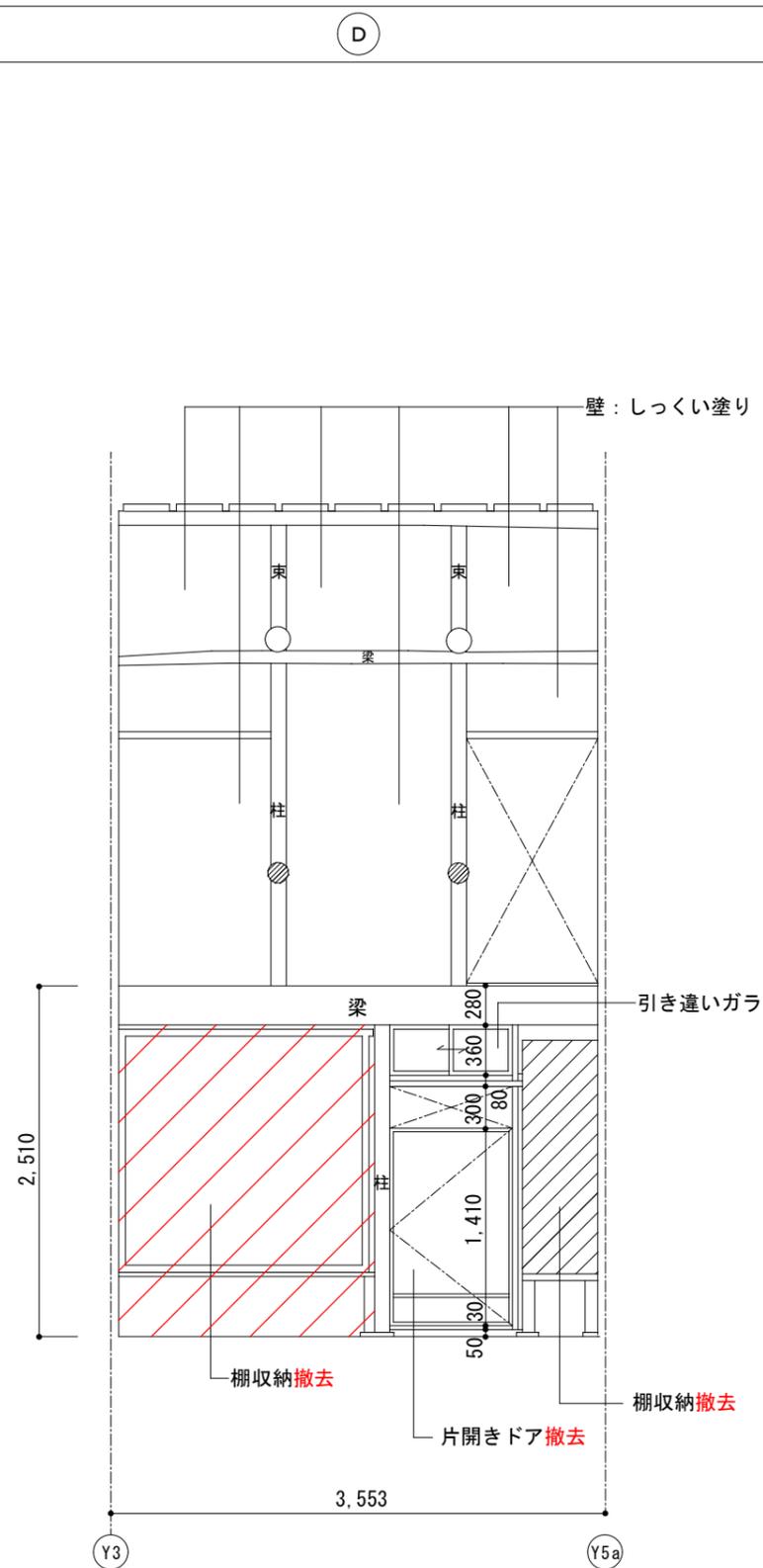
解体撤去部分を示す。  
 ※赤表記部分も解体撤去を示す。

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室 〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
		日付	日付	日付	現状展開図(4)	1/50	P-18



 解体撤去部分を示す。  
 ※赤表記部分も解体撤去を示す。

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	現状展開図(5)	1/50	P-19



解体撤去部分を示す。  
 ※赤表記部分も解体撤去を示す。

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者 日付	設計者 日付	担当者 日付	図面名 現状展開図(6)	縮尺 1/50	図面NO P-20
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218						

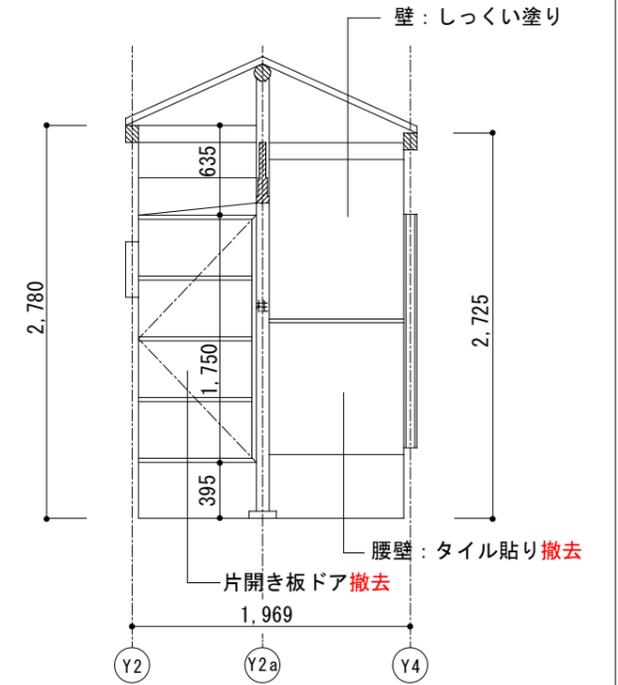
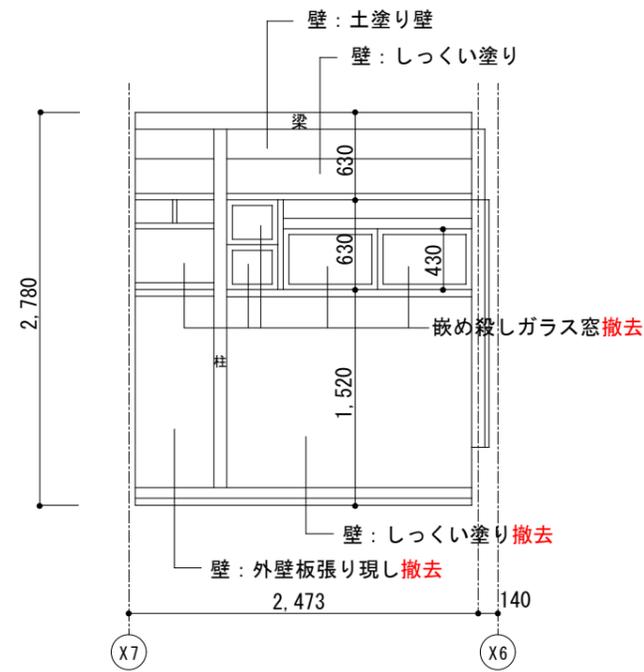
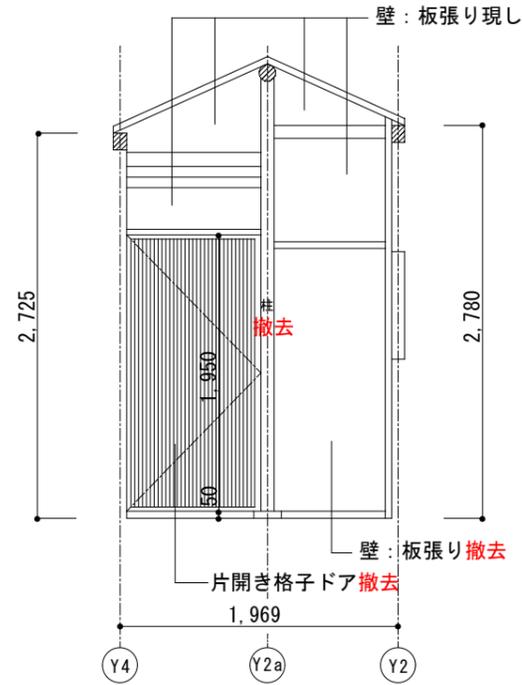
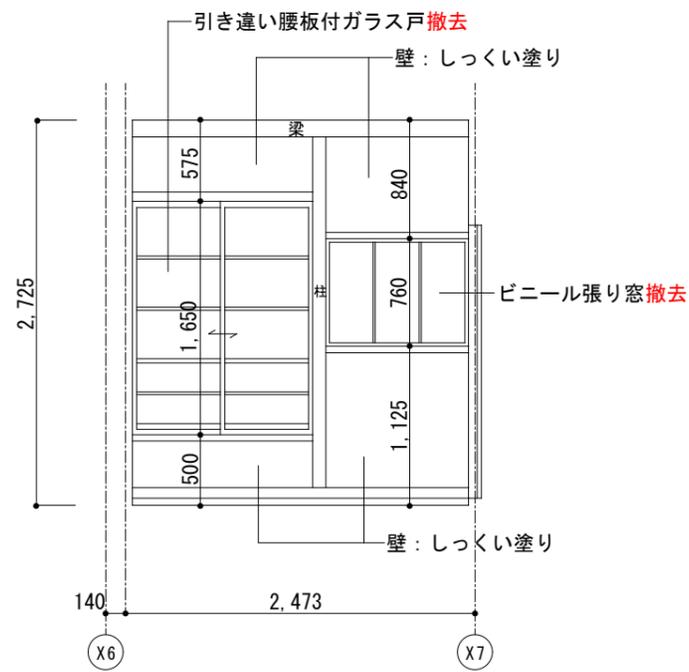
外部物入（北側）

(A)

(B)

(C)

(D)



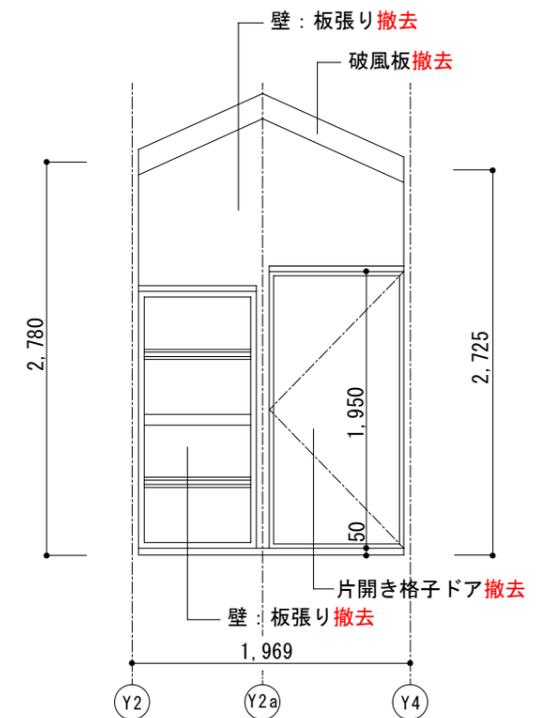
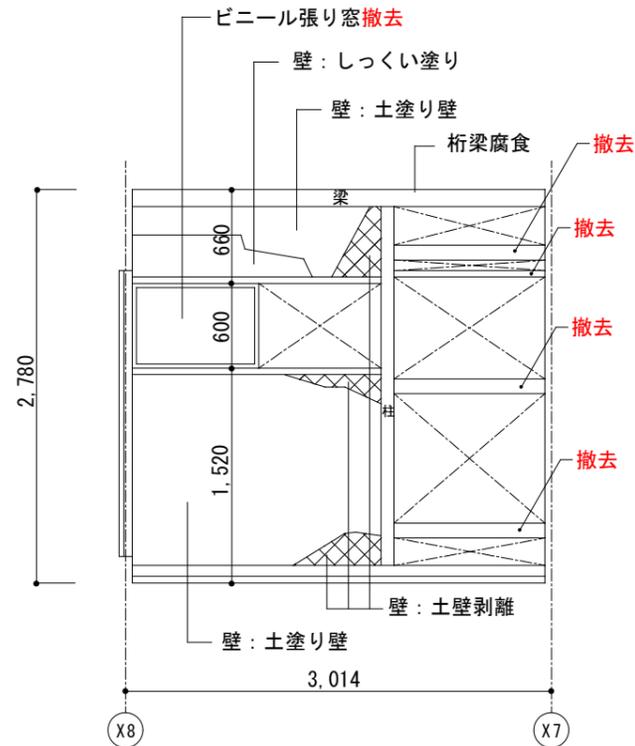
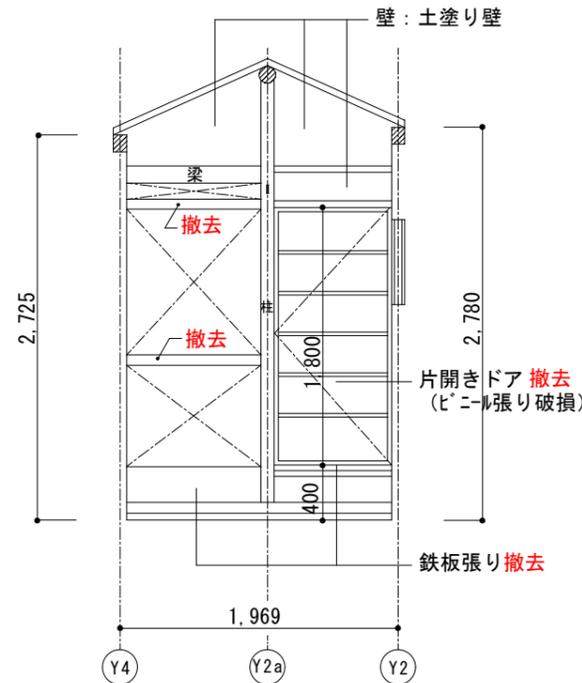
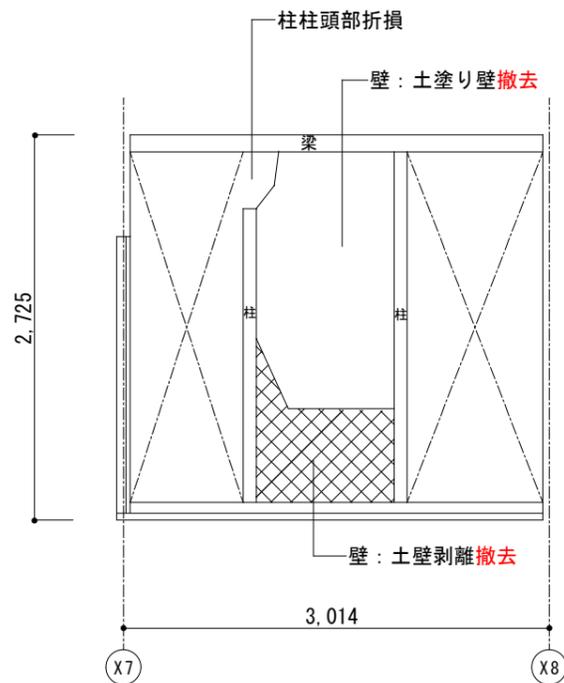
外部物入（南側）

(A)

(B)

(C)

(D)



解体撤去部分を示す。  
※赤表記部分も解体撤去を示す。

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事

亀山市民文化振興局まちなみ文化財室

〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218

管理者

日付

設計者

日付

担当者

日付

図面名

現状展開図(7)

縮尺

1/50

図面NO

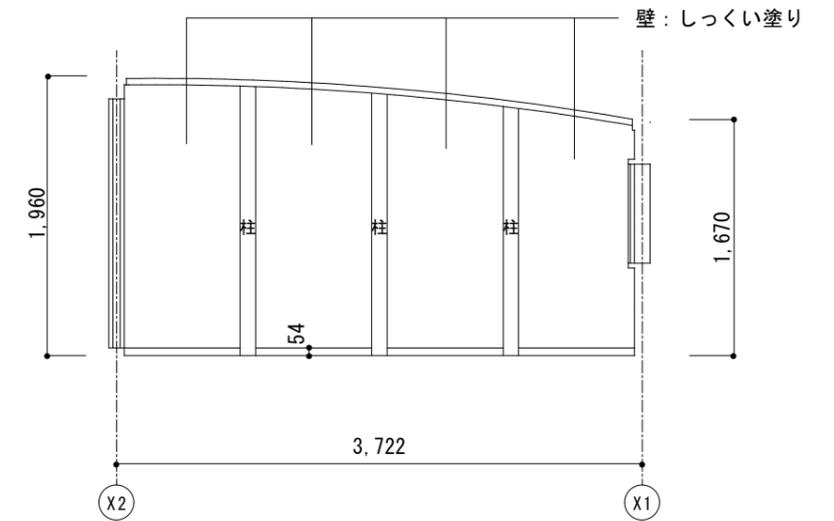
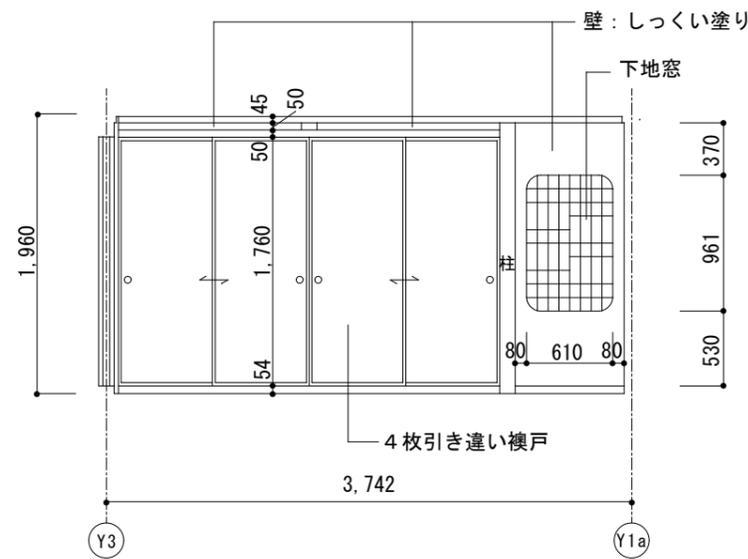
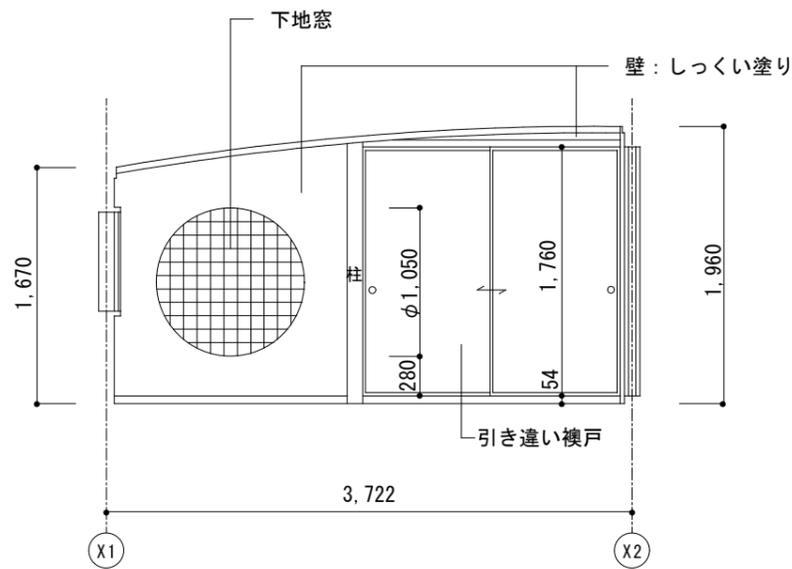
P-21

2階座敷跡2

(A)

(B)

(C)

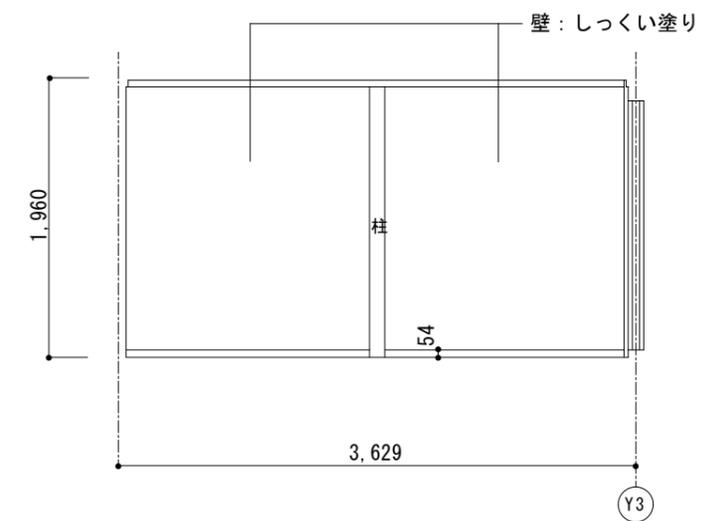
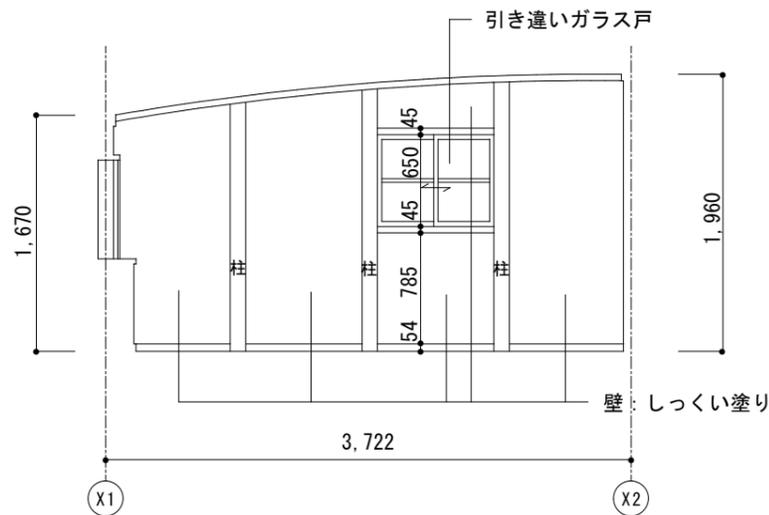
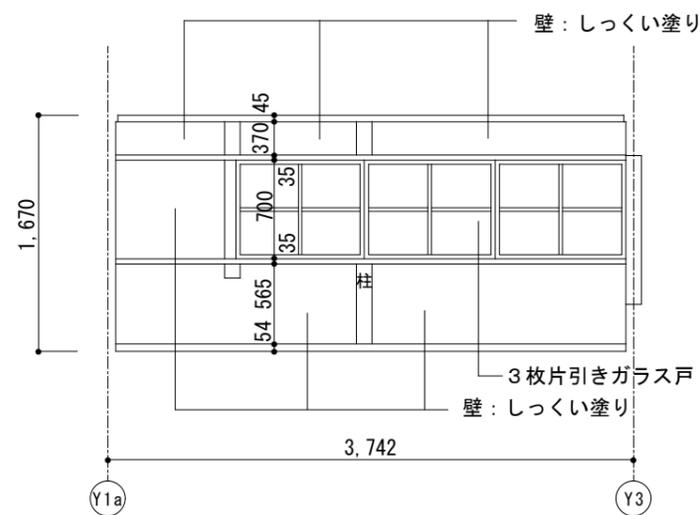


(D)

2階座敷跡1

(A)

(B)



工事名  
関の山車会館管理・展示棟改修工事

亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室

〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218

管理者

日付

設計者

日付

担当者

日付

図面名

現状展開図(8)

縮尺

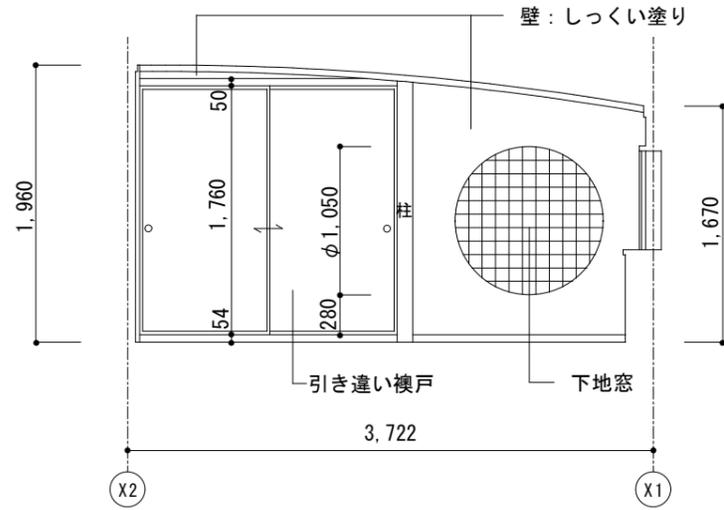
1/50

図面NO

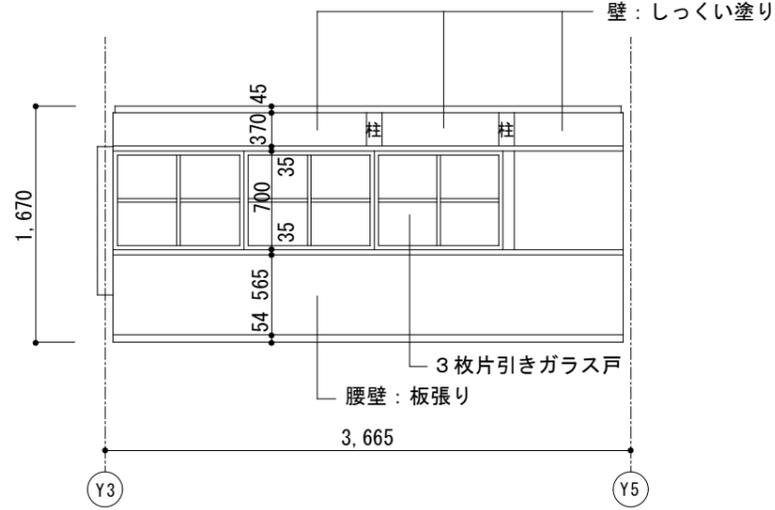
P-22

2階座敷跡2

○C

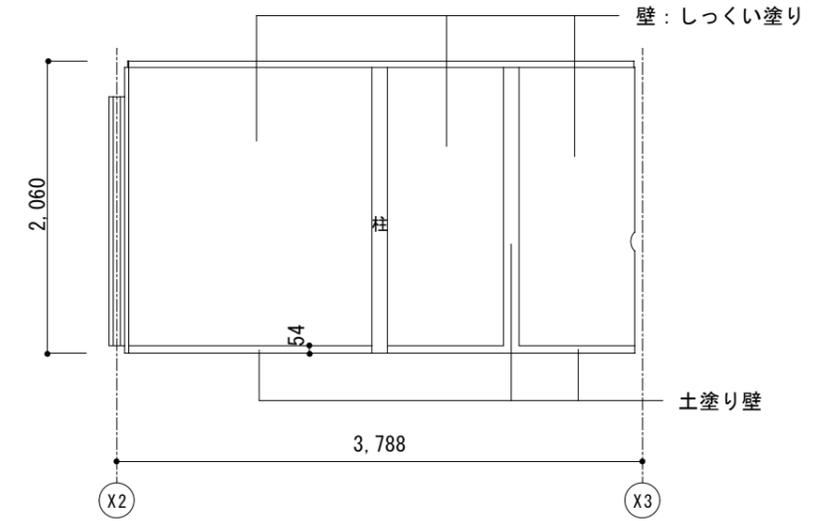


○D

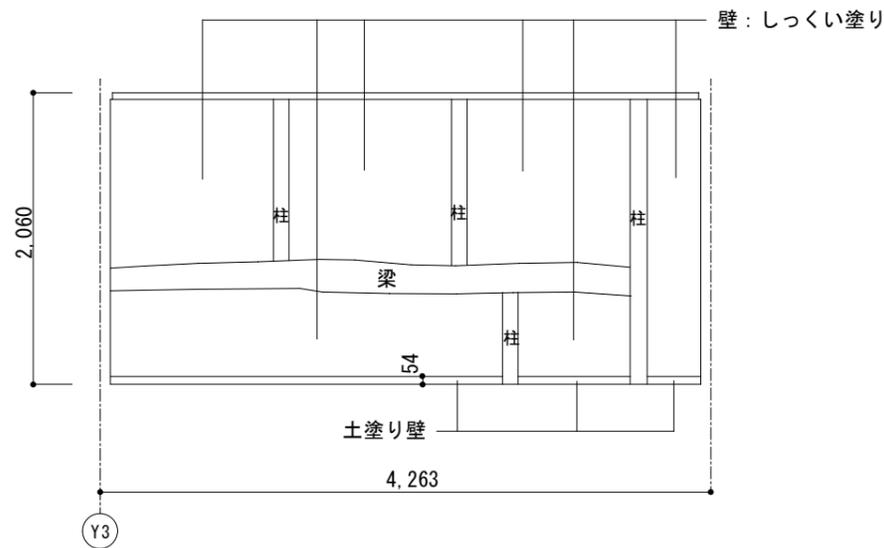


2階通路

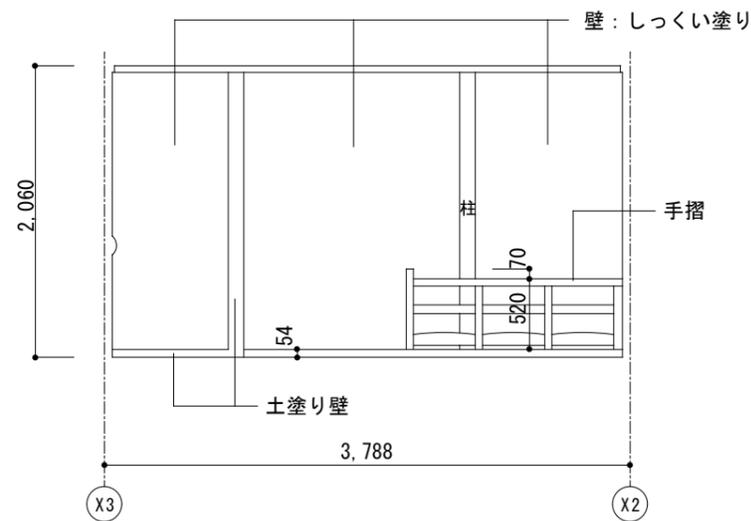
○A



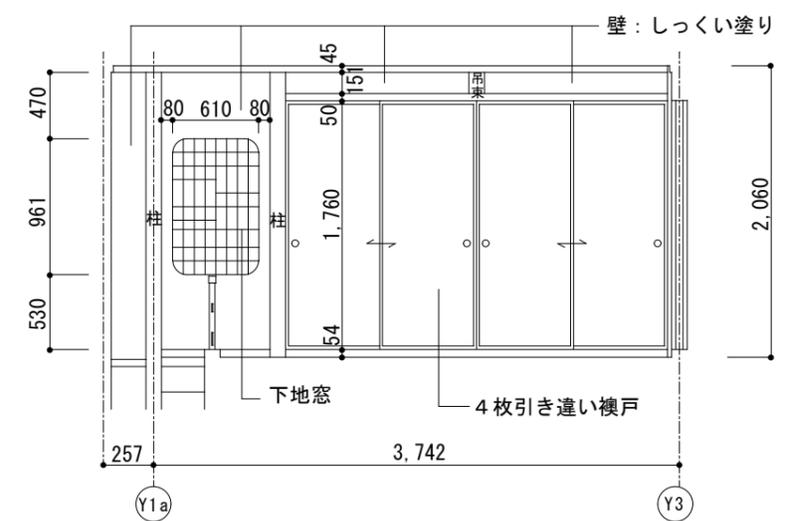
○B

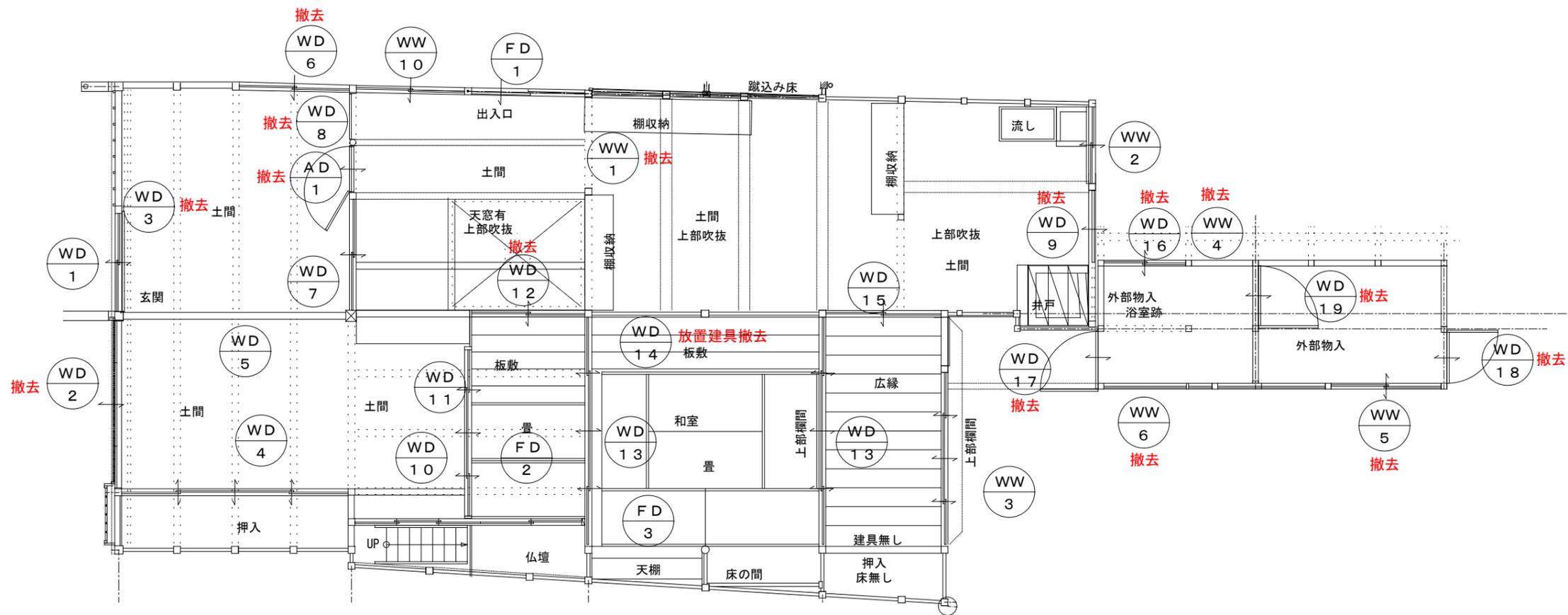
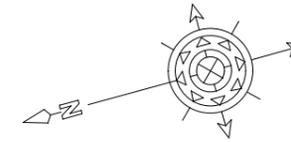
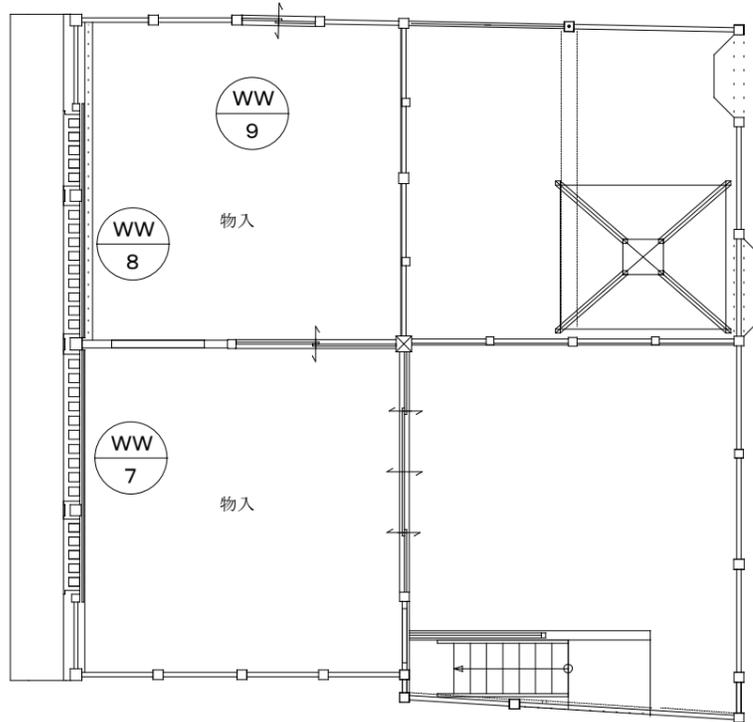


○C



○D





工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室 〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
		日付	日付	日付	現状建具表キープラン	1/80	P-24

符号・名称	WD-1 (外)	WD-1 (内)	WD-2 (外) 改修	WD-2 (内) 撤去
状況	格子(既設)	ガラス格子 引違い戸(既設)	ガラス格子 折戸(既設)	ガラス格子 折戸(既設)
使用場所	玄関(外側)	玄関(内側)	土間(外側)	土間(内側)
符号・名称	WD-3撤去	WD-4	転用 WD-5	WD-6撤去
状況	板戸 引戸(既設)	板戸 4枚引違い戸(既設)	板戸 4枚引違い戸(既設)	ガラス戸 引違い戸(既設)
使用場所	玄関(内側)	押入	土間	土間
符号・名称	転用 WD-7 (北面)	WD-7 (南面)	WD-8	WD-9撤去
状況	格子 引違い戸(既設)	障子 引違い戸(既設)	木製フラッシュ戸(既設)	格子片引戸(既設)
使用場所	土間	土間	土間	土間(うら)

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化振興局まちなみ文化財室 〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
		日付	日付	日付	現状建具表1	1/50	P-25

符号・名称	WD-10	WD-11転用	WD-12撤去	WD-13(8枚)
状況	格子 引違い戸(既設)	障子戸 引違い戸(既設)	板戸 引違い戸(既設)	襖障子戸 4枚引違い戸(既設)
使用場所	階段	土間—仏間	土間—仏間	和室
符号・名称	WD-14撤去	WD-15	WD-16撤去	WD-17撤去
状況	障子戸 4枚引違い戸(既設)	板戸 引違い戸(既設)	ガラス戸 引違い戸(既設)	板戸 開き戸(既設)
使用場所	和室8帖に重ねて放置	広縁	外部物入	外部物入
符号・名称	WD-18撤去	FD-1	FD-2	FD-3
状況	板戸 開き戸(既設)	襖戸 引戸(既設)	襖戸 引違い戸(既設)	襖戸 4枚引違い戸(既設)
使用場所	外部物入	土間	仏間	天棚

符号・名称	WW-1撤去	WW-2	WW-3一部撤去	WW-4撤去

状況	ガラス戸 引違い戸 (既設)	ガラス戸 引違い戸 (既設)	ガラス戸 4枚引違い戸 (既設)	ビニール戸 はめころし戸 (既設)
使用場所	土間	土間	広縁	外部物入

符号・名称	WW-5撤去	WW-6撤去	WW-7	WW-8

状況	ビニール戸 はめころし戸 (既設)	ビニール戸 はめころし戸 (既設)	ガラス戸 3枚引戸 (既設)	ガラス戸 3枚引戸 (既設)
使用場所	外部物入	外部物入	物入	物入

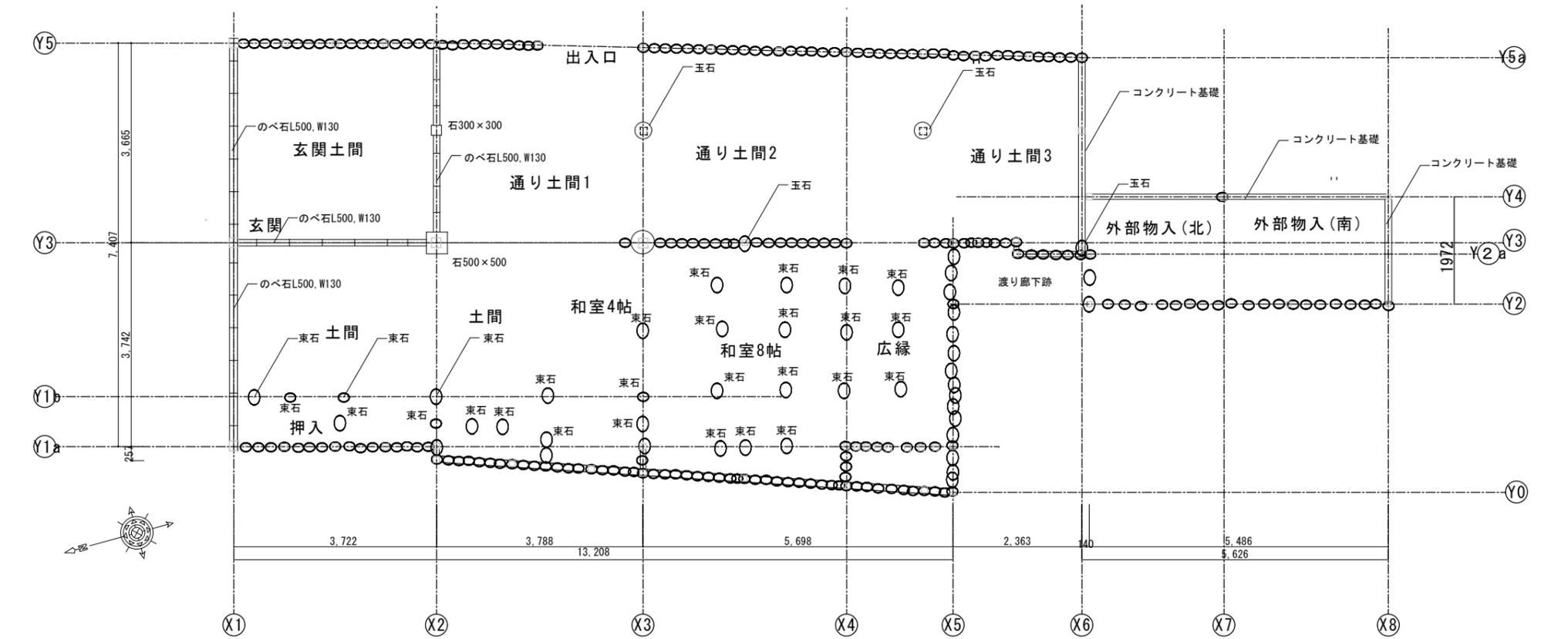
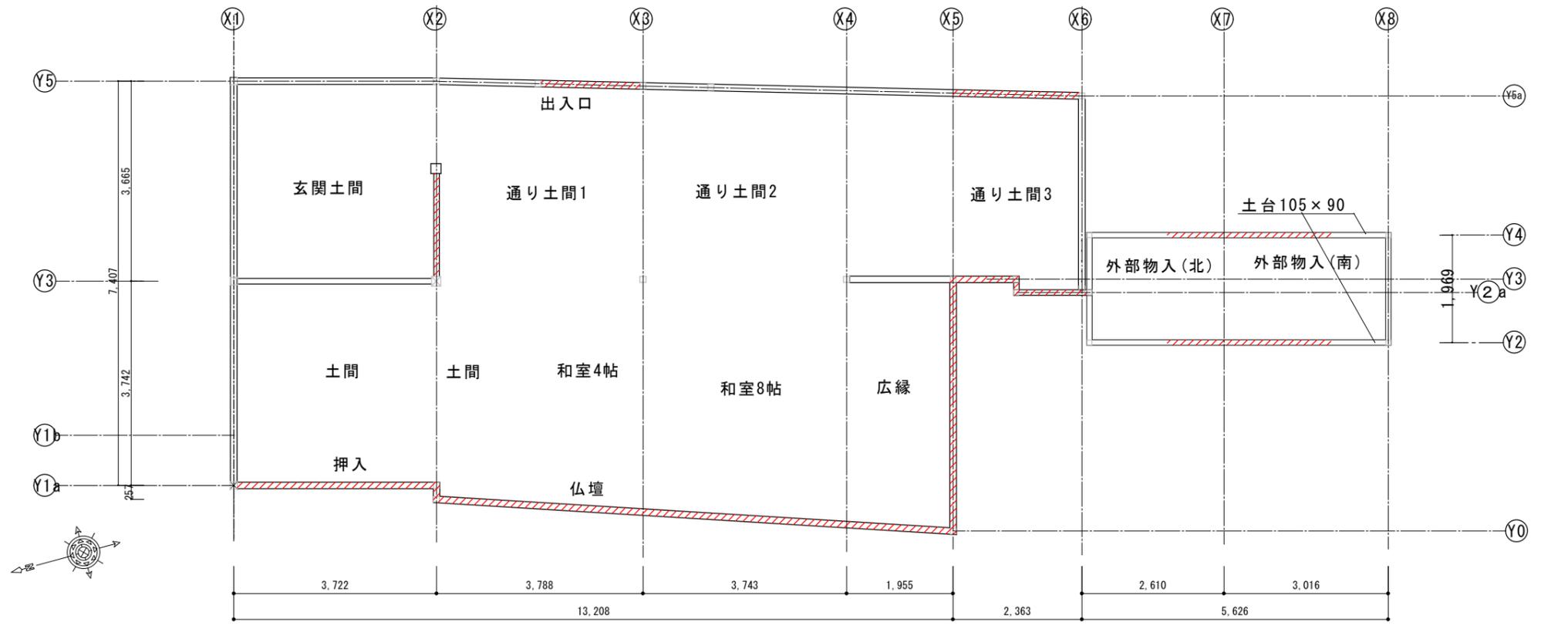
符号・名称	WW-9	WW-10	AD-1撤去	WD-19撤去

状況	ガラス戸 引違い戸 (既設)	ガラス戸 引違い戸 (既設)	アルミ戸 開き戸 (既設)	板戸 開き戸 (既設)
使用場所	物入	土間	土間	外部物入

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化振興局まちなみ文化財室 〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	管理者	設計者	担当者	図面名 現状建具表3	縮尺 1/50	図面NO P-27
		日付	日付	日付			

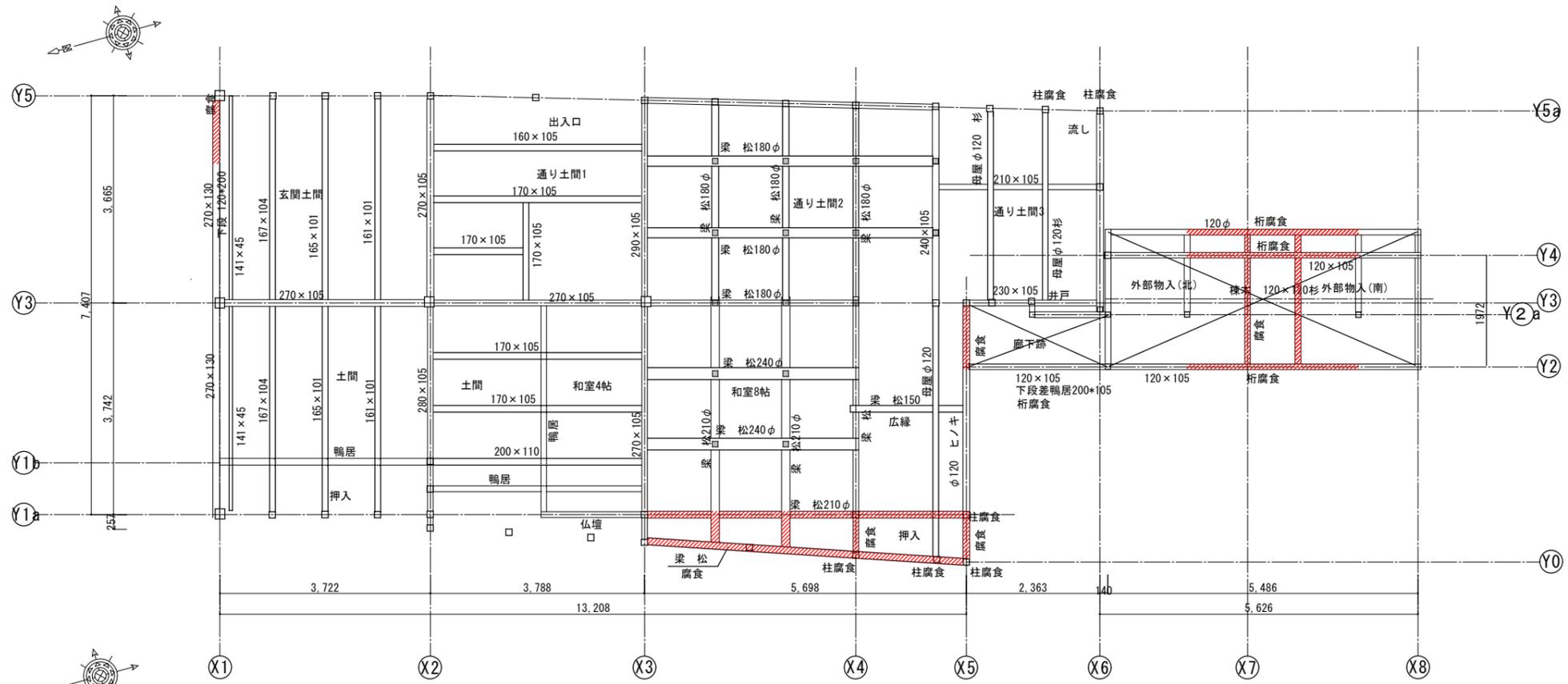






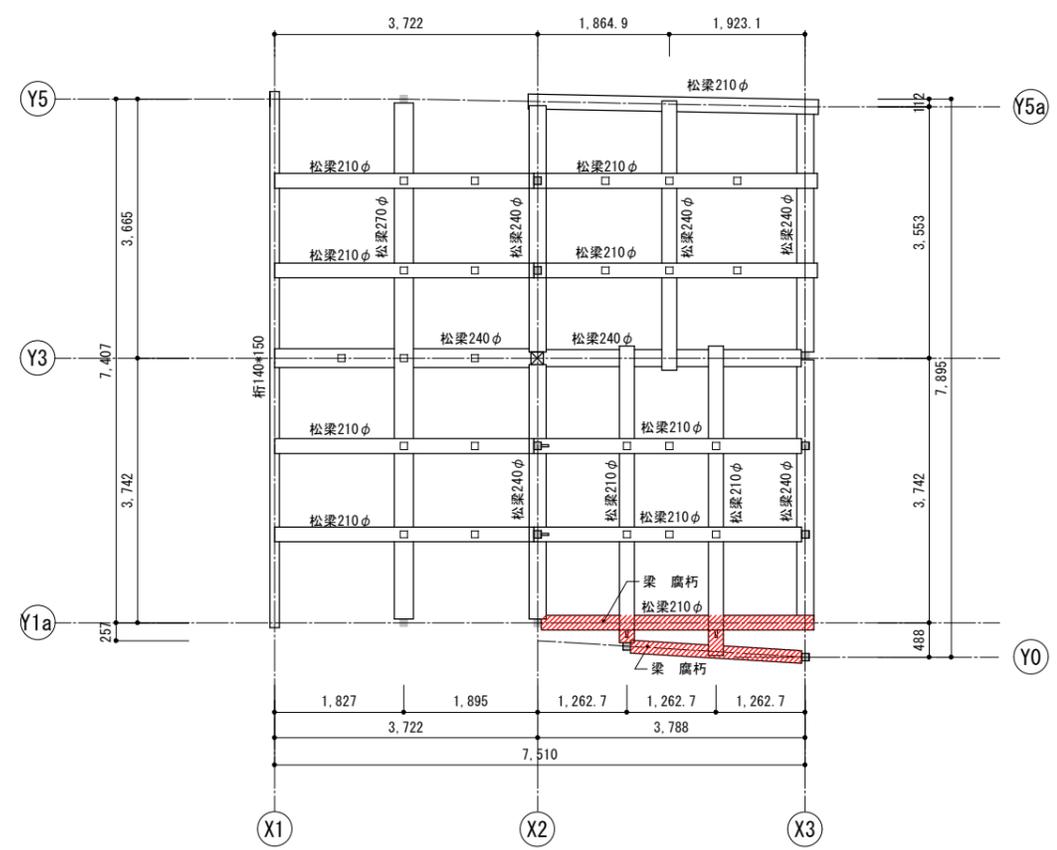
凡例  
 腐朽部分撤去を示す。

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	現状基礎、土台伏図	1/100	P-30



一階梁伏図 (差鴨居含む)

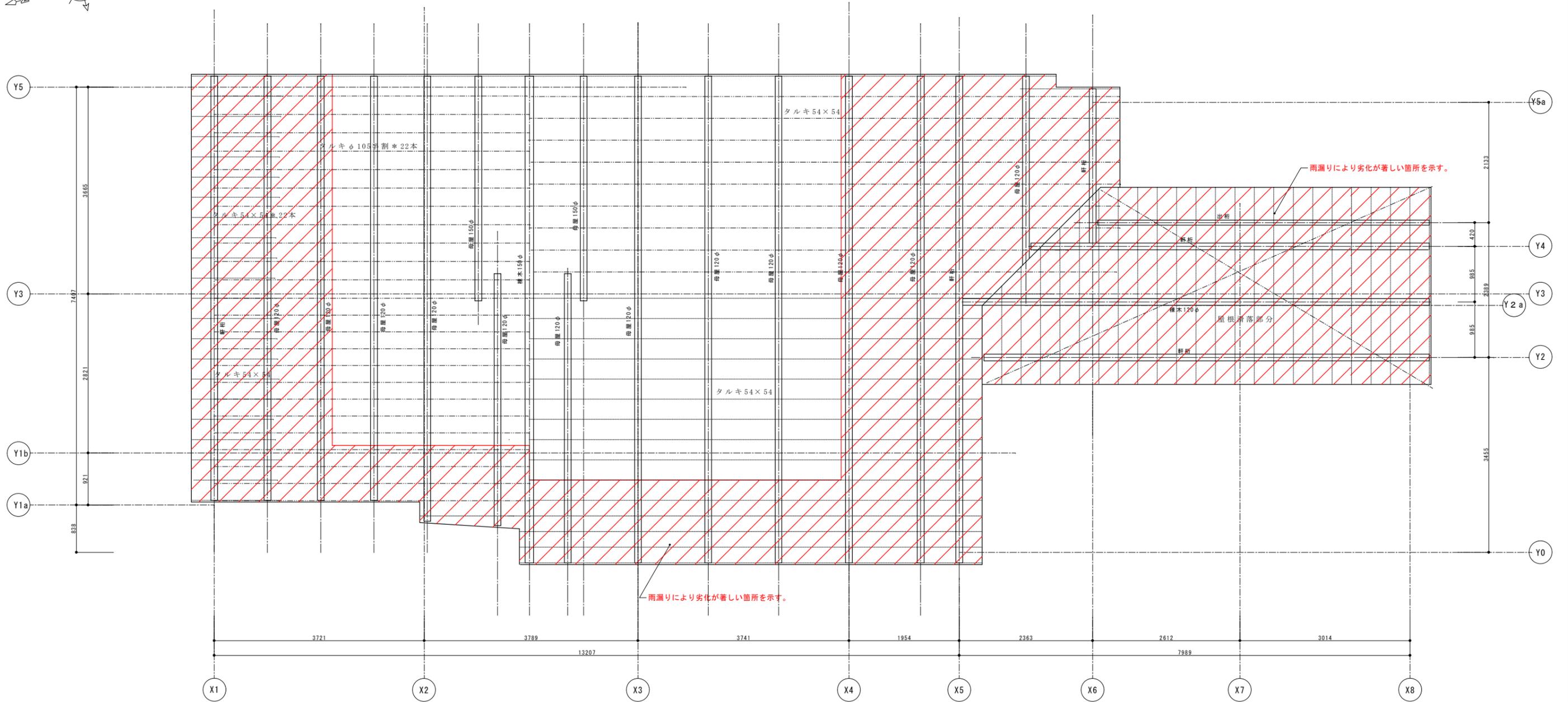
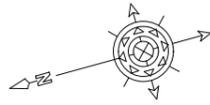
※特記なしの場合 杉材



二階梁伏図

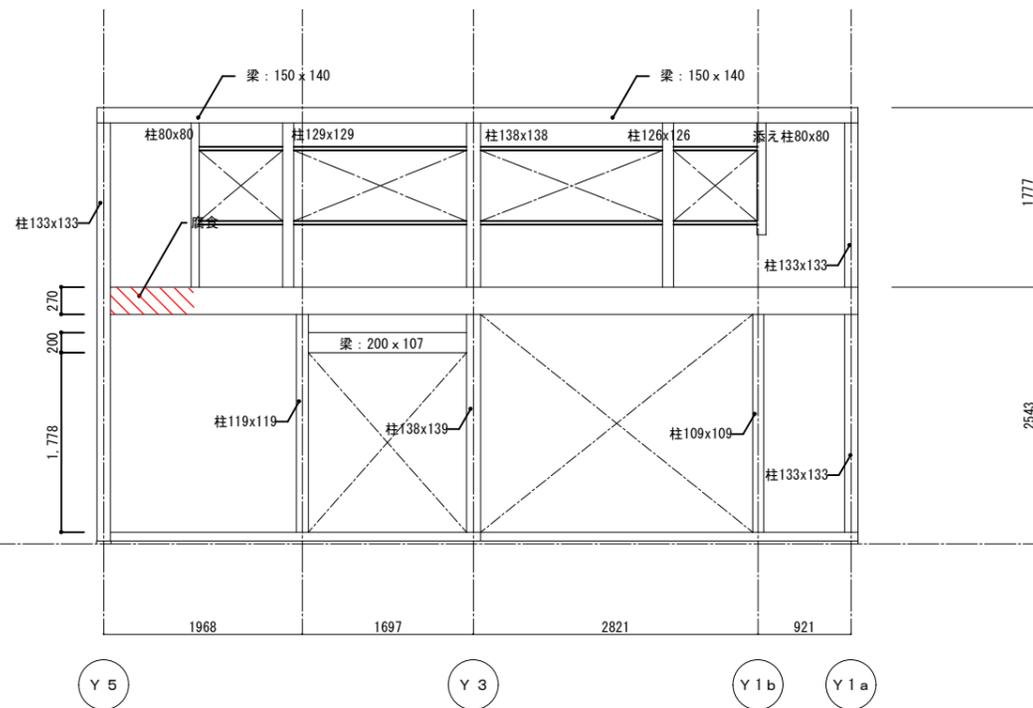
凡例  
 〰 桁、梁腐朽部分撤去を示す。

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	現状梁伏図	1/100	P-31

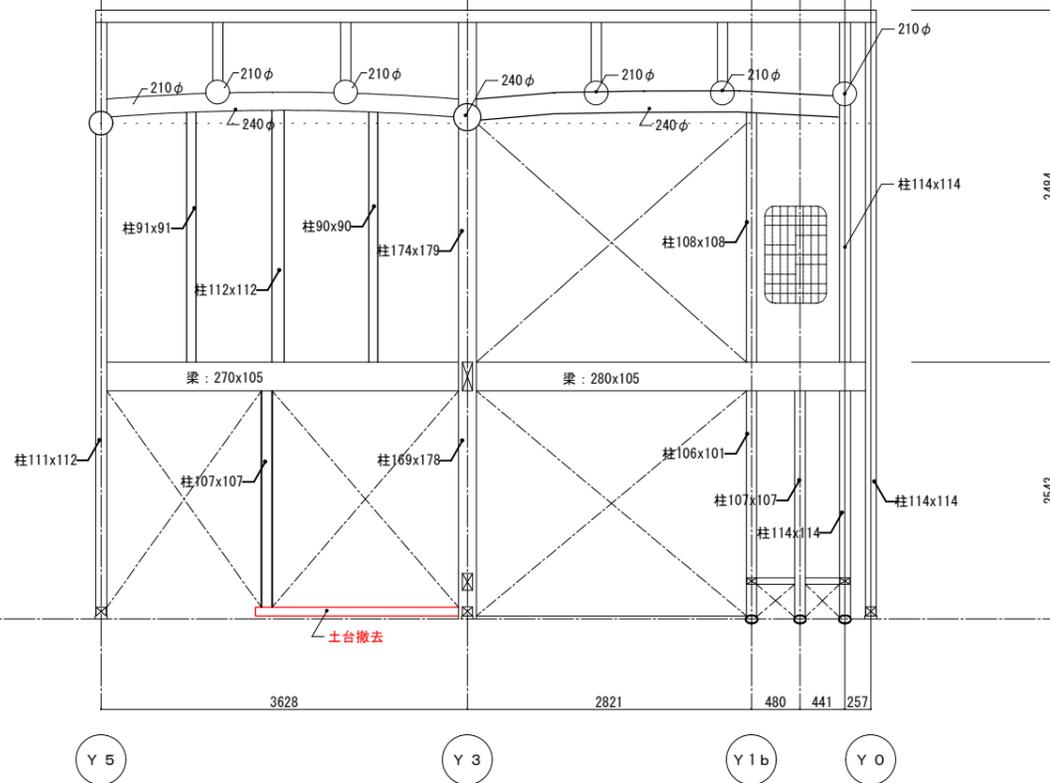


 解体撤去部分を示す。  
 ※赤表記部分も解体撤去を示す。

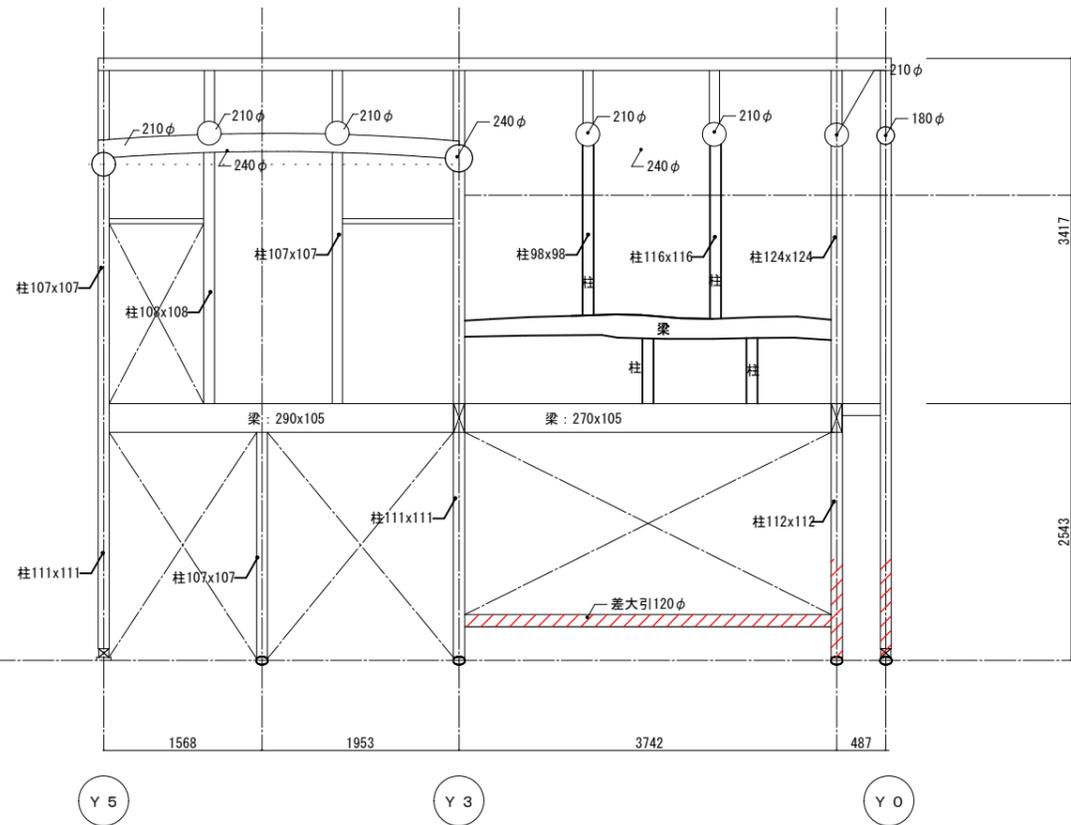
工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室 〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	管理者	設計者	担当者	図面名 現状屋根伏図	縮尺 1/100	図面NO P-32
		日付	日付	日付			



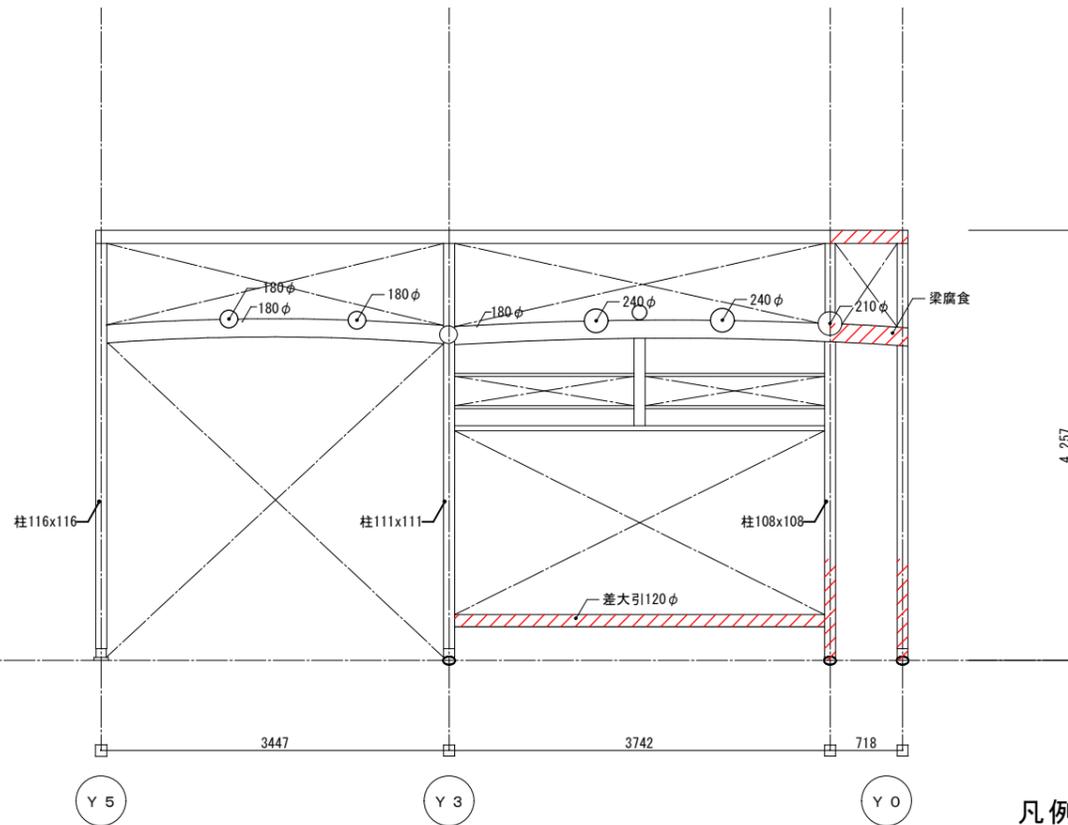
X 1 通り



X 2 通り



X 3 通り

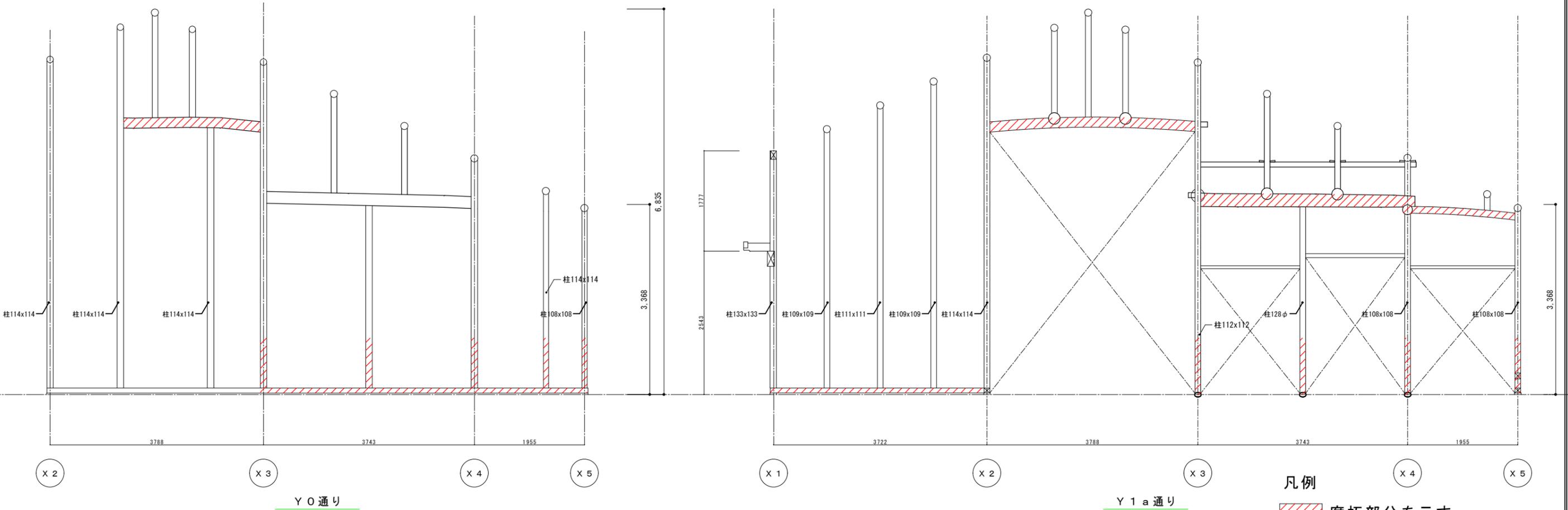
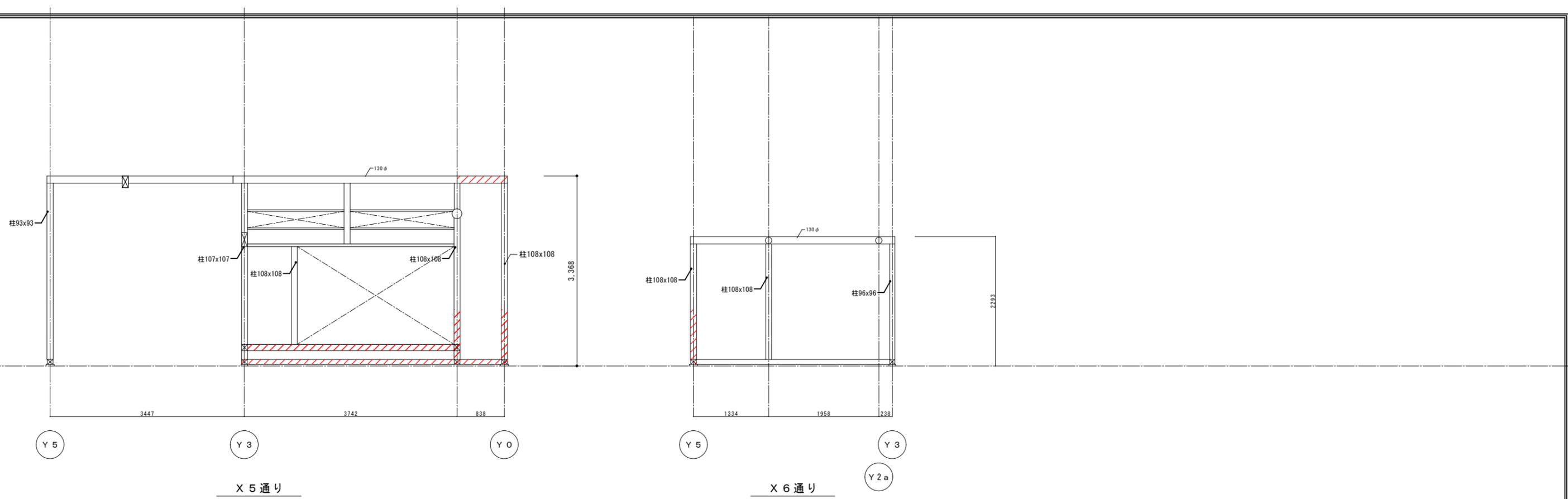


X 4 通り

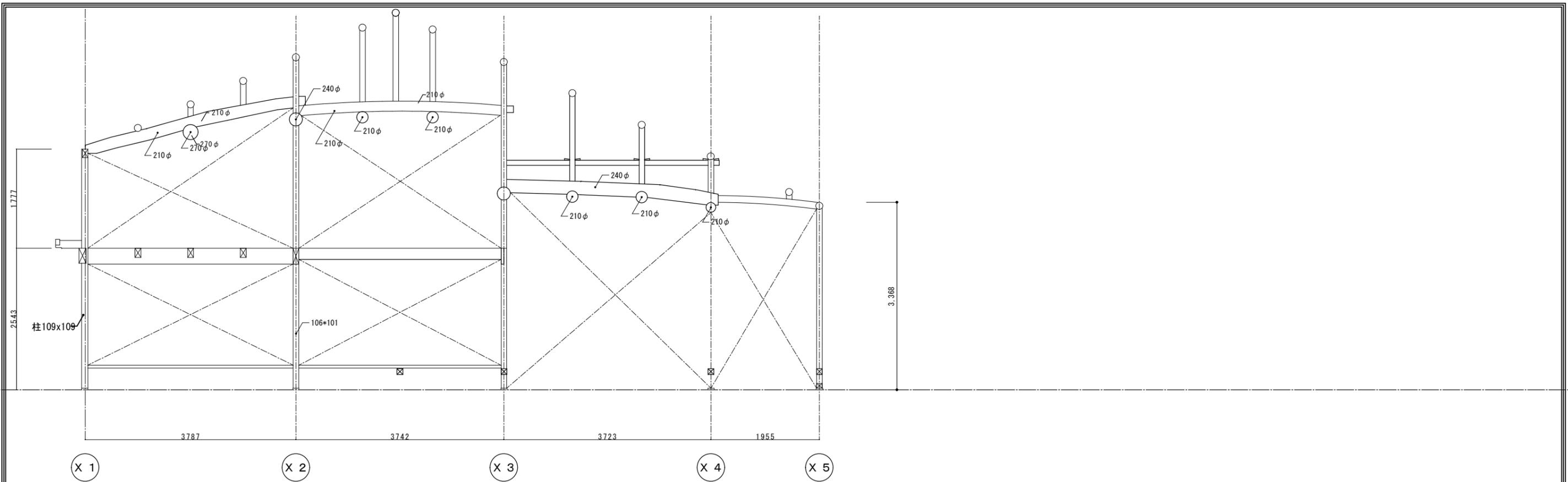
凡例

腐朽部分を示す。

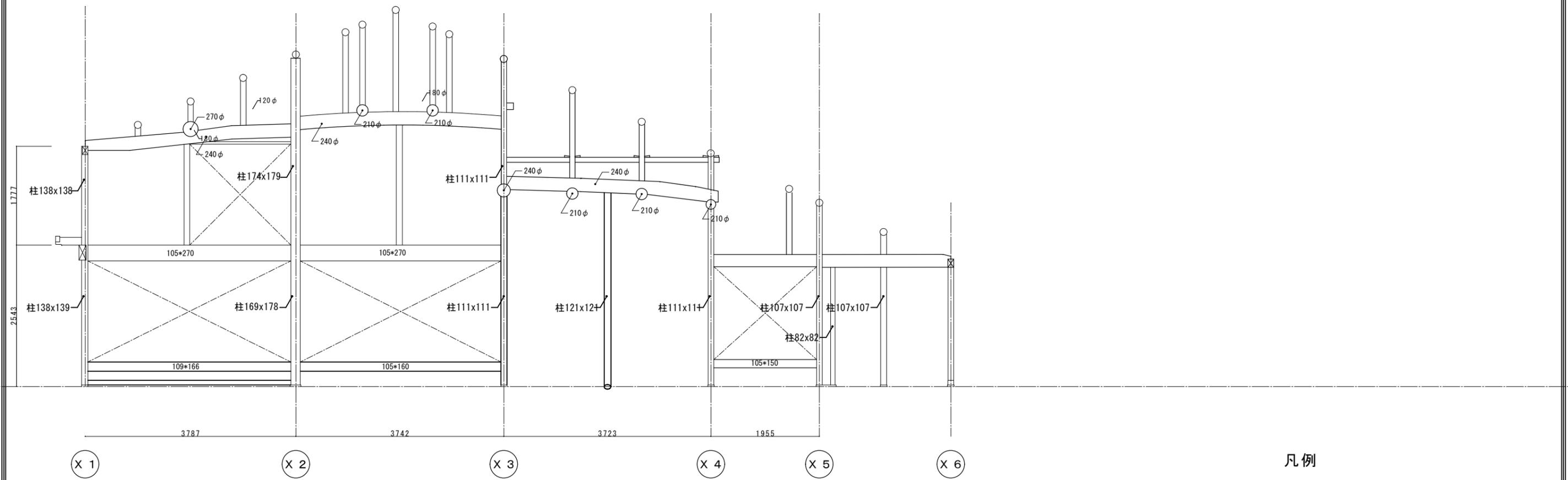
工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	現状軸組図1	1/70	P-33



工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	現状軸組図2	1/70	P-34



Y 1 b 通り

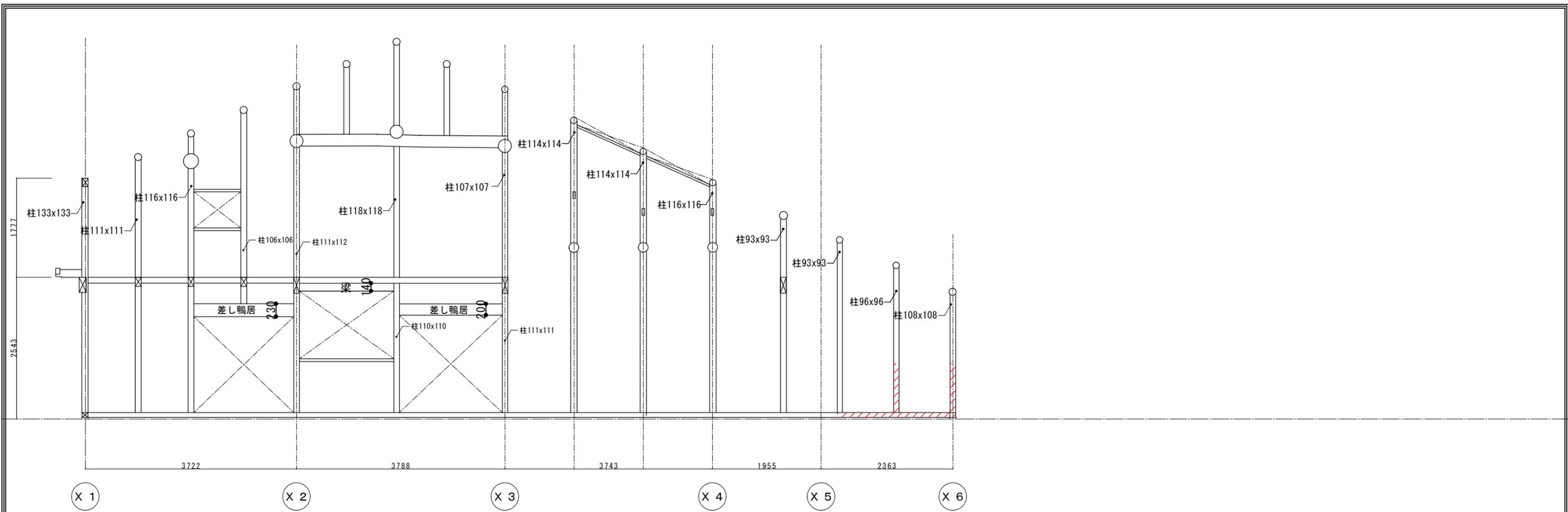


Y 3 通り

凡例

 腐朽部分を示す。

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室 〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	管理者	設計者	担当者	図面名 現状軸組図3	縮尺 1/70	図面NO P-35
		日付	日付	日付			

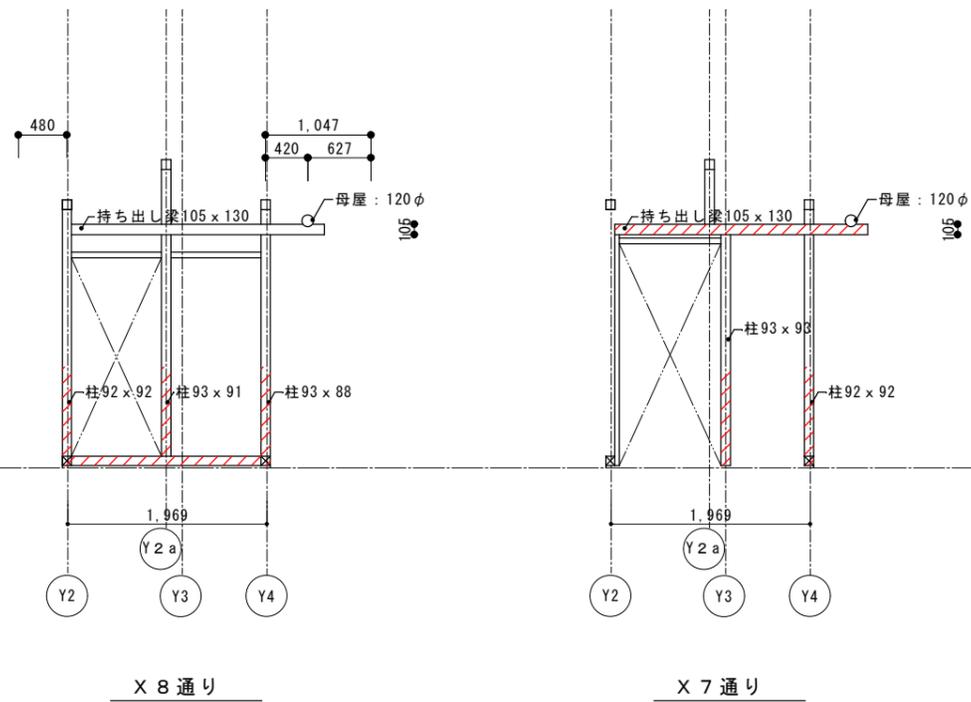
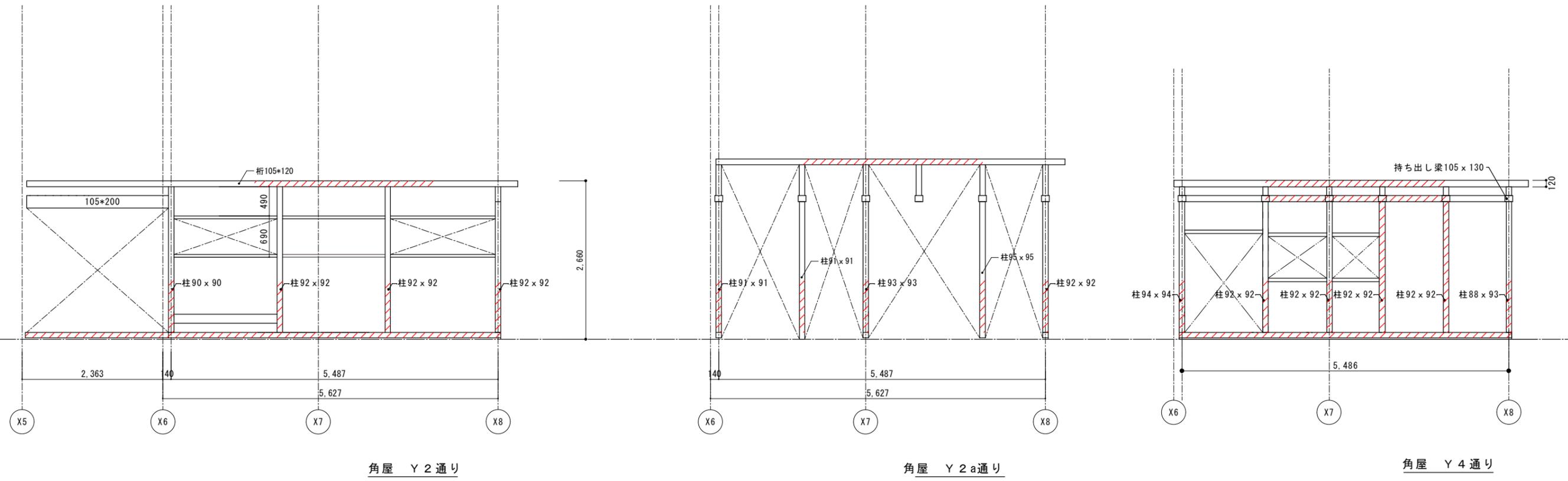


Y 5 通り

凡例

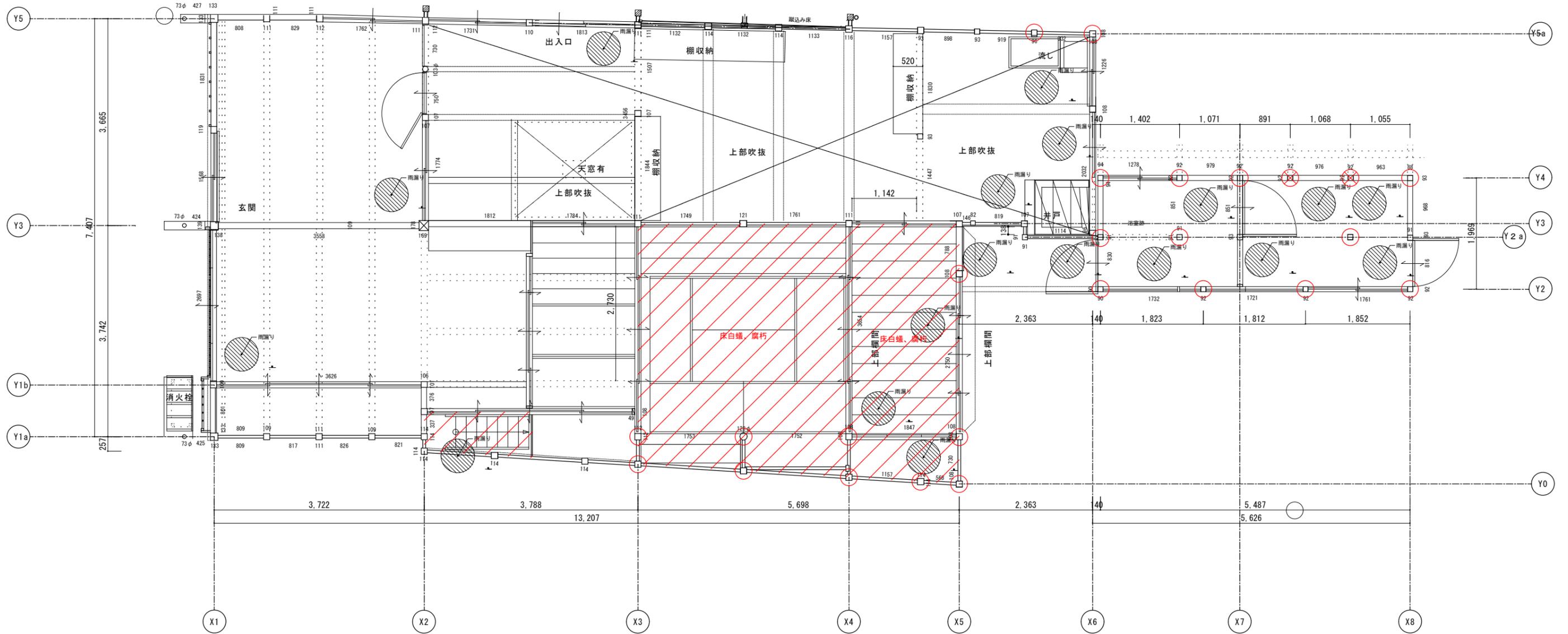
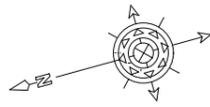
 腐朽部分を示す。

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	現状軸組図4	1/70	P-36



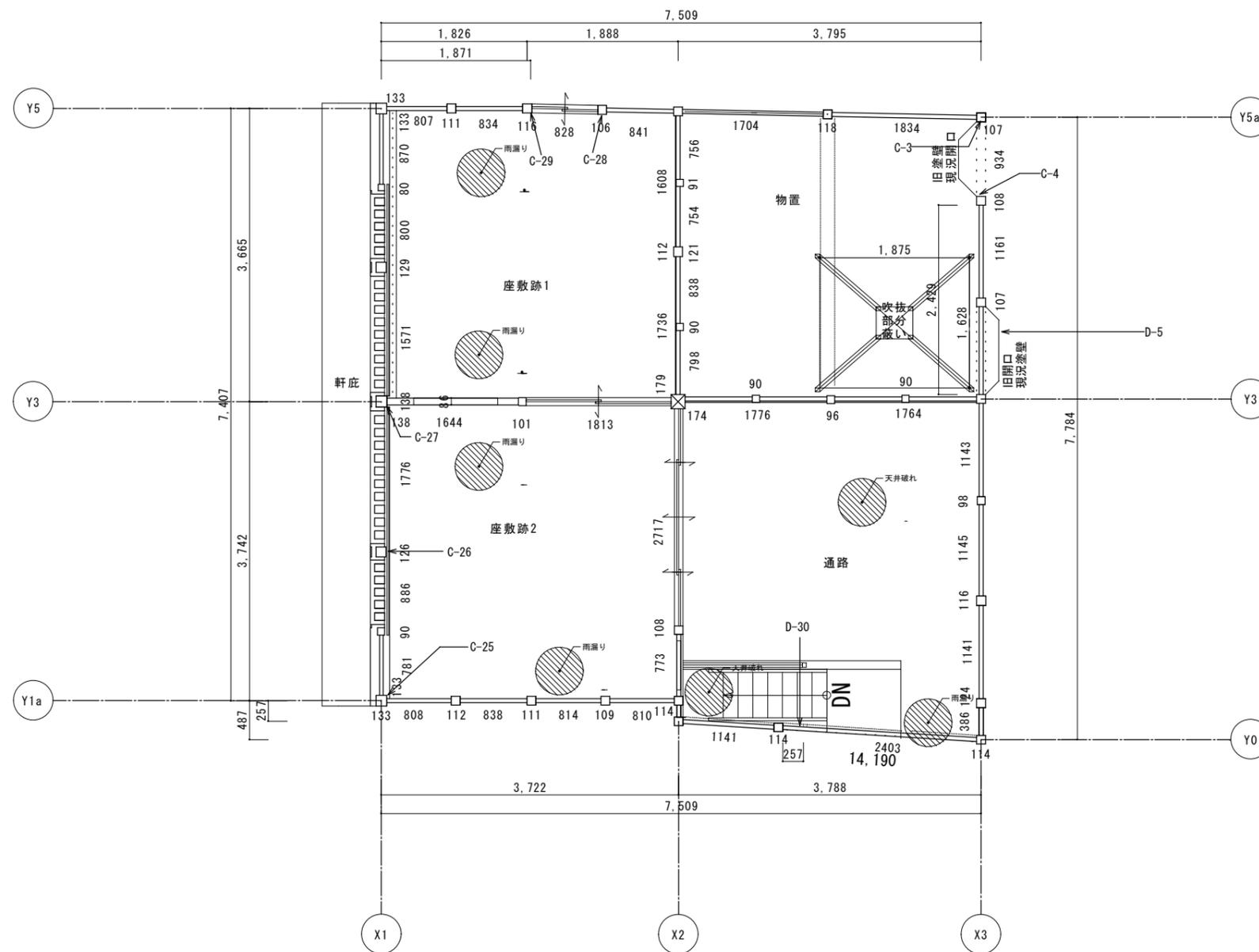
凡例  
 腐朽部分を示す。

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室 〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
		日付	日付	日付	現状軸組図5	1/70	P-37



- 凡例
- 柱腐朽を示す。
  - 柱脚腐朽を示す。
  - 白蟻、腐朽、その他劣化を示す。

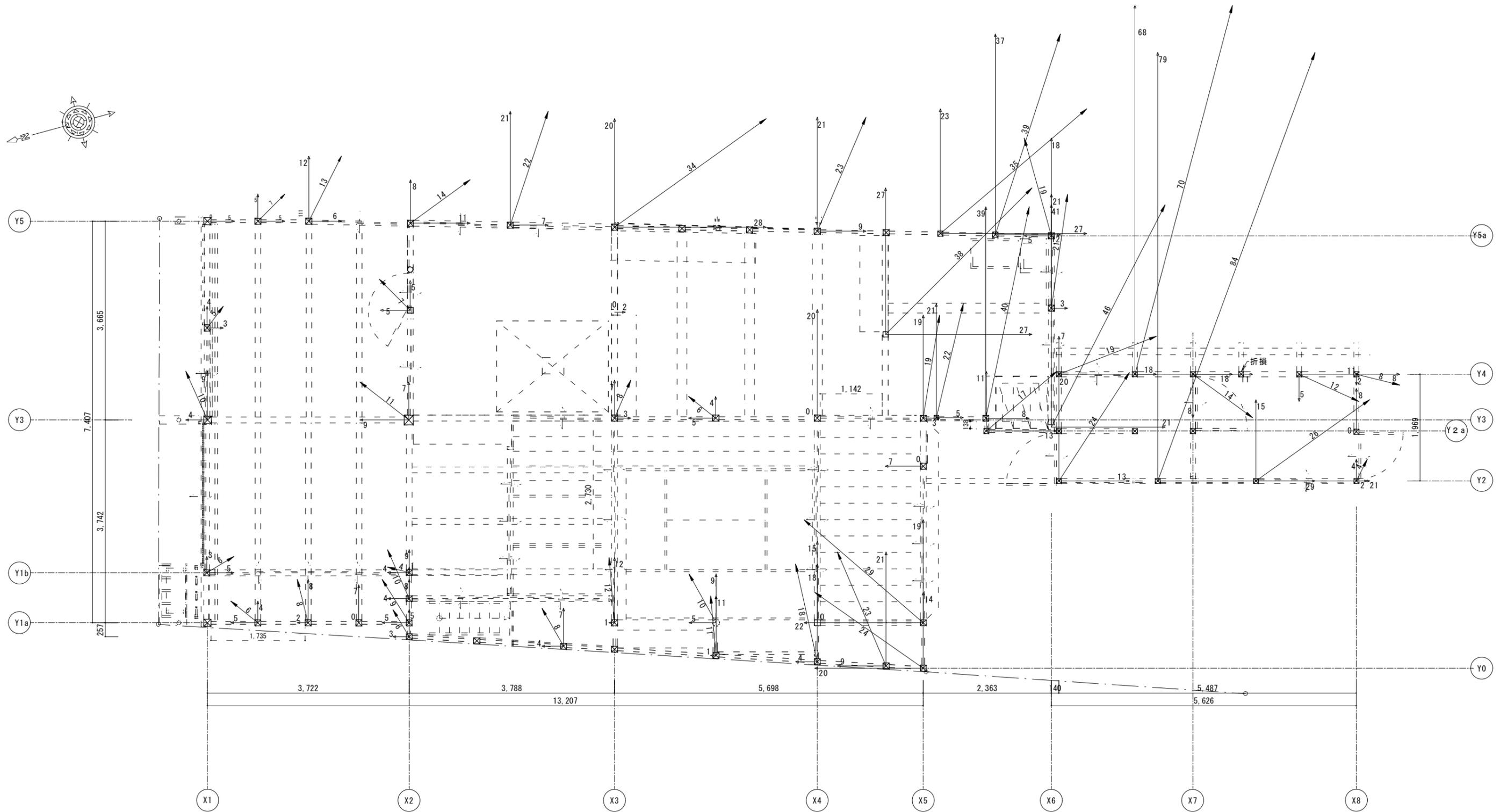
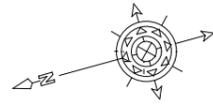
工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	現状一階劣化平面図	1/70	P-38



凡例

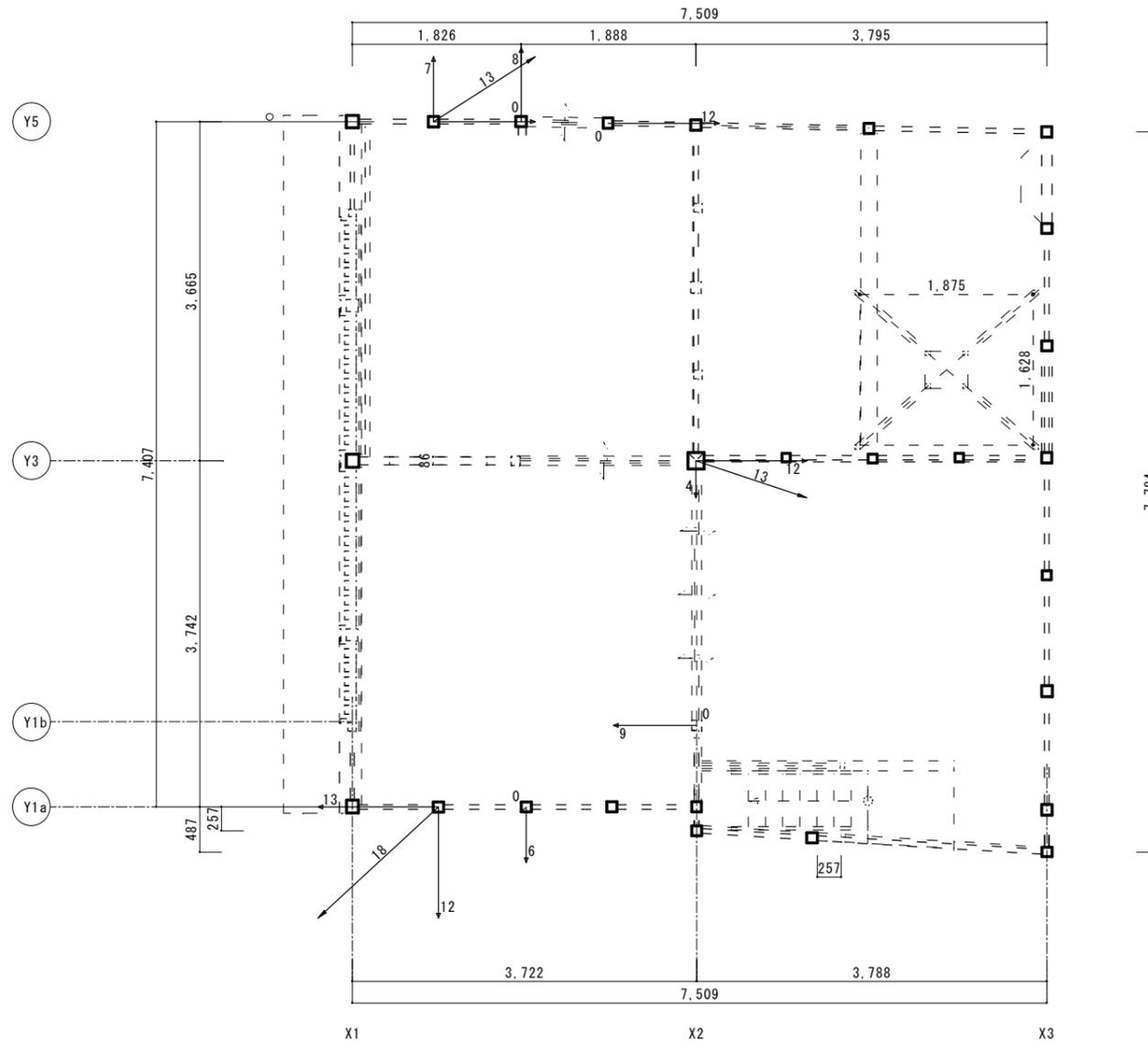
-  柱腐朽を示す。
-  柱脚腐朽を示す。
-  白蟻、腐朽、その他劣化を示す。

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	現状二階劣化平面図	1/70	P-39



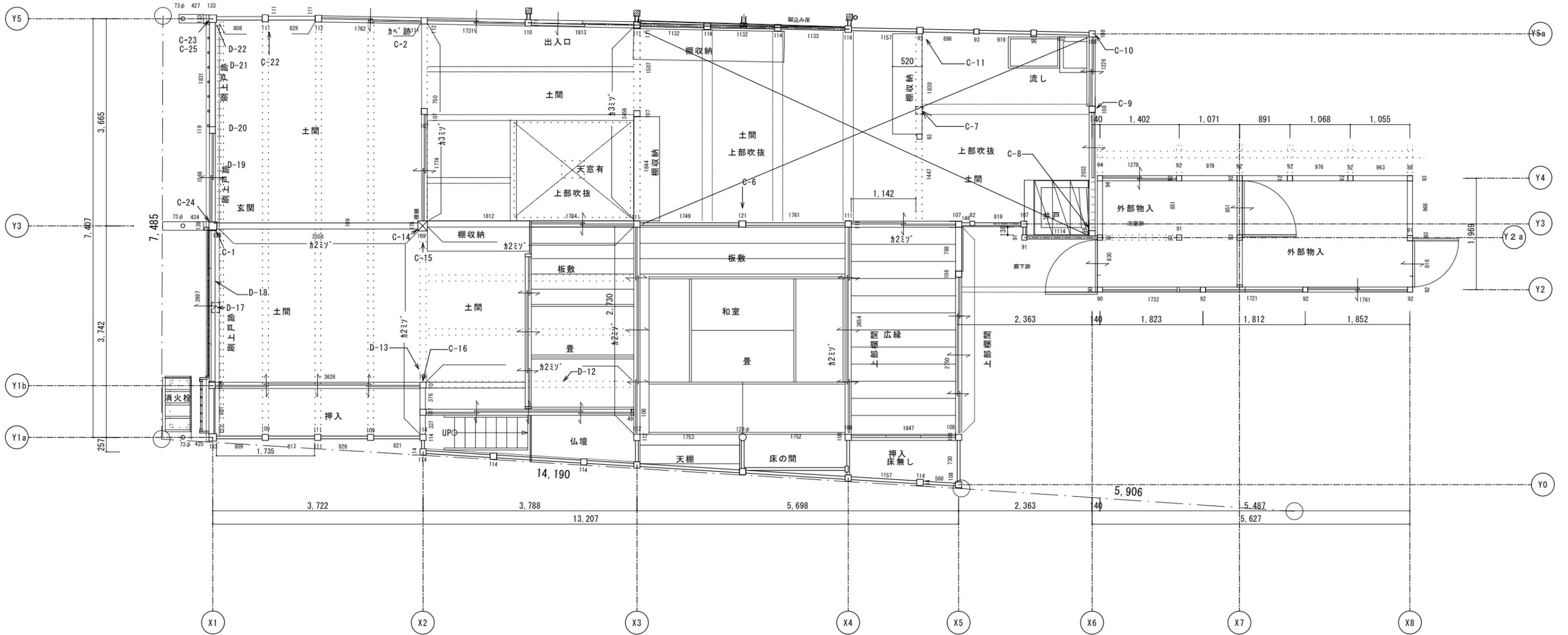
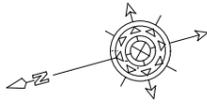
<b>凡例</b> ← 柱の傾斜、向きを示す。 単位はmm/m	<b>不陸、傾斜調整について</b> 不陸調整目標数値は±10mm 柱の傾斜調整は目標数値±5mm/m 目標数値の達成が困難な場合は、監督員と協議をすること。
---------------------------------------	--

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室 〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
		日付	日付	日付	現状一階柱傾き図	1/70	P-40



凡例	不陸 傾斜調整について
← 柱の傾斜、向きを示す。 単位はmm/m	不陸調整目標数値は±10mm 柱の傾斜調整は目標数値±5mm/m 目標数値の達成が困難な場合は、監督員と協議をすること。

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	現状二階柱傾き図	1/70	P-41



工事名  
関の山車会館管理・展示棟改修工事

亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室

〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218

管理者

日付

設計者

日付

担当者

日付

図面名

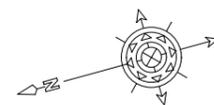
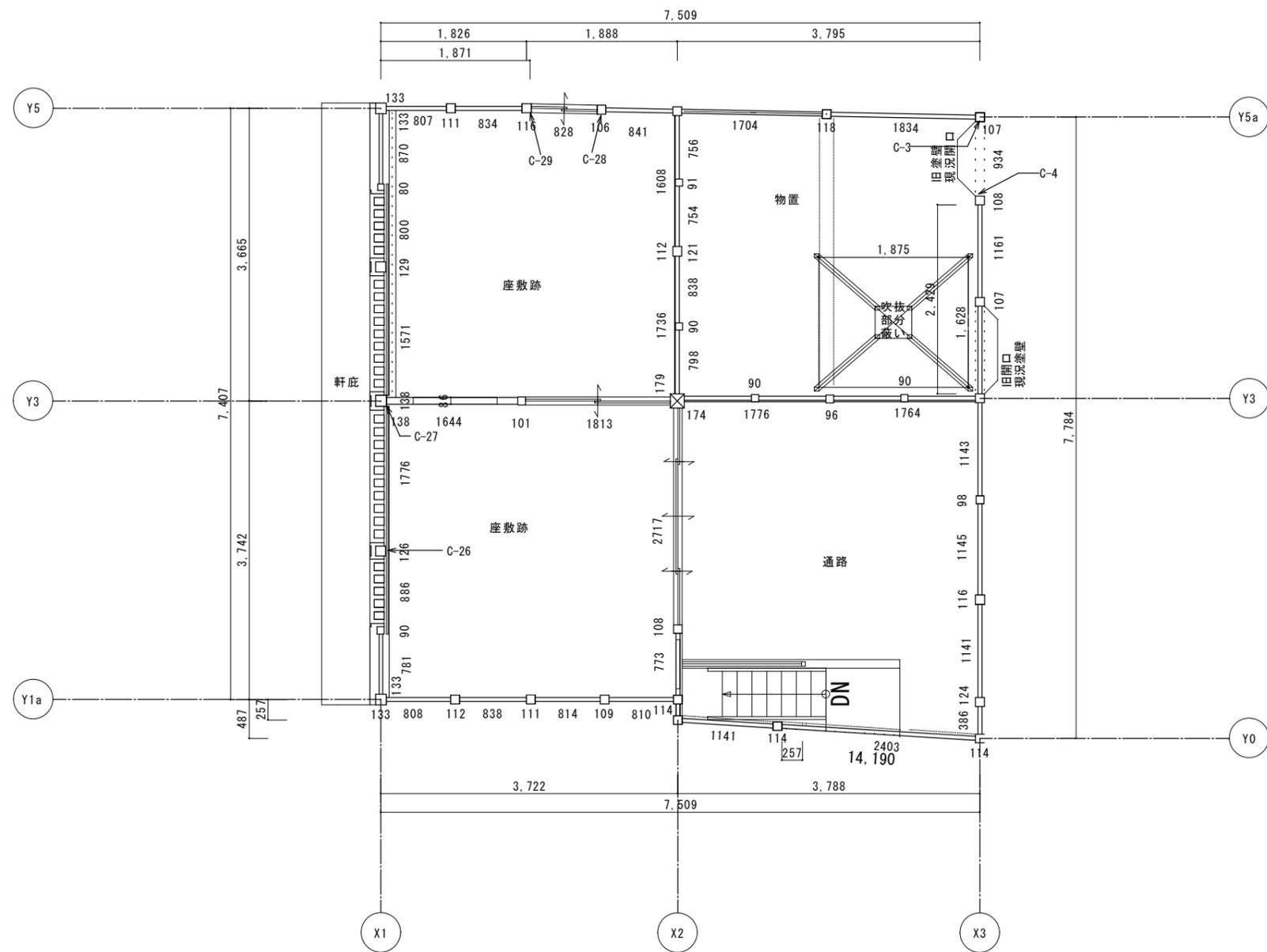
現状一階痕跡平面図

縮尺

1/70

図面NO

P-42



工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	現状二階痕跡平面図	1/70	P-43



③ 地業工事 土・地業・基礎工事	5 鋼杭地業	・ 鋼管杭 ・ SKK400 ・ SKK490 ・ H形鋼管杭 ・ SHK400 ・ SHK400M ・ SHK490M 径 ・ 300 ・ 350 ・ 400 ・ 450 長さ ( ) m 先端形状 ※ 開放形 補強工法 ※ 補強バンド 継手 ※ JISA525(鋼管ぐい)	(4.4.2) (表4.4.2)
	6 場所打ちコンクリート杭地業	・ 打込み工法 (支持力) ・ 打撃工法 ・ プレボーリング併用打撃工法 (掘削深さ 設計DL- m 掘削径 mm) ・ セメントミルク工法 (支持地盤) ・ 特定埋込杭工法 (建築基準法に基づく埋込杭工法とする。) (支持地盤) 杭頭の処理 ※ 行う ・ 行わない	(4.3.3) (4.3.4) (4.3.5) (4.4.5)
	7 地盤改良	・ (表層改良 浅層改良) 工法	(4.5.4)
	⑧ 砂及び砂利地業	厚さ(mm) ※ 60 ・ 図示 ※ 仕上がりレベルを計測し、記録すること。	(4.6.3)
	⑨ 捨コンクリート地業	厚さ(mm) ※ 60 ・ 50 ※ 仕上がりレベルを計測し、記録すること。	(4.6.5)
	⑩ 床下防湿層	※ ポリエチレンフィルム (厚さ ※ 0.15mm以上) ※ 防湿層の重ね幅、基礎梁へののみ込みは、250mm以上とする。	(4.6.6)
	基礎工事		
	⑪ 鉄筋の種類	鉄筋の記号 径 備考 ※ SD295A ※ D16以下 ・ SD295B ・ SD345 ・ D19以上	(5.2.1)
	12 溶接金網	網目の形状、寸法 鉄線の径(mm) ・ 4 ・ 5 ・ 6 ・ 10 寸法 (mm) ・ 100×100 ・ 150×150 ・ 200×200	(5.2.2)
	⑬ 継ぎ手	径 部位 ※ 重ね継手 ※ D16以下 全て ・ ガス圧接 ・ D19以上 全て	(5.3.4)
⑭ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔	最小かぶり厚さ(自地底から算出を行う) ※ 本造構造物関係共通事項(配筋標準図)表5.11による ・ 図示による	(5.3.5)	
15 圧接完了後の試験	抜取試験方法 ※ 超音波探傷 ・ 引張試験	(5.4.9)	
16 特殊な鉄筋・継手	種類	(5.5.2)	
17 杭頭補強方法	・ A形 ※ B形	(別図1.1)	
18 帯筋	帯筋組立の形 ※ H形 ・ W-1形 ・ SP形 ・ 丸型	(別図1.1)	
19 梁貫通孔補強	配筋種別 ・ H( )形 ・ M( )形 ・ HM( )形	(別図表7.1)	
20 荷物吊上げ用フック	・ A種 ・ B種 ・ C種	(別図表7.3)	

③ コンクリート工事 土・地業・基礎工事	① コンクリートの種類	◎ 普通コンクリート ・ 軽量コンクリート ※ I類 ・ II類	(6.2.1)
	① 普通コンクリートの強度・スランプ	設計基準強度 F <sub>c</sub> 適用箇所 スランプ ◎ 21 (N/mm <sup>2</sup> ) 基礎 躯体 ※ 18 ◎ 18 (N/mm <sup>2</sup> ) 土間 捨て ※ 18 ・ (N/mm <sup>2</sup> )	(6.2.2) (6.2.4)
	② コンクリートの仕上り	合板せき板を用いる場合の打放し仕上げの種類 ・ A種 ◎ B種 ・ C種	(6.2.5)
	③ セメント	種類 ※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントA種	(6.3.2) (表6.3.2)
	④ 型枠	材料 ※ 複合合板 (厚さ ※ 12 )	(6.8.3)
	⑤ コンクリートの強度試験	圧縮強度試験の供試体の材齢及び養生方法 ※ 材齢28日 ( ※ 標準養生 ) ※ 材齢28日 ( ※ 現場水中養生 ) ・ 型枠脱型用 ( ※ 現場水中養生 ) ・ ( )	(6.9.3) (表6.9.2)
	6 軽量コンクリート	種別 ・ 1類 ・ 2類	(6.10.1) (表6.10.1)
	⑦ 無筋コンクリート	適用箇所 標準仕様書 6.14.1 による ・ 上記以外の適用箇所 ( ) 設計基準強度 ※ 21 (N/mm <sup>2</sup> ) ・ (N/mm <sup>2</sup> ) スランプ ※ 15cm ・ 18cm	(6.14.1)

④ 木造工事	木材部位別材料(構造用集成材)	規格 使用部位 寸法 材種の種類 樹種 化粧等級 強度等級 材面の品質 接着性能 曲げ特性 防腐・防蟻処理 その他(含水率)	
	集成材の日本農林規格の構造用集成材の規格		
	木材部位別材料(構造材)	種類 規格 使用部位 寸法 材種の種類 樹種 化粧等級 強度等級 含水率 仕上げ 防腐・防蟻処理 その他	
	構造用製材	土台 105 90 図示 製材 桧 E90 特一 SD20 B種 現場塗布防蟻剤 土台 120 120 図示 製材 桧 E90 特一 SD20 B種 現場塗布防蟻剤 柱 90 90 図示 製材 杉 E70 特一 SD20 B種 現場塗布防蟻剤 柱 105 105 図示 製材 杉 E70 特一 SD20 B種 現場塗布防蟻剤 柱 120 120 図示 製材 杉 E70 特一 SD20 B種 現場塗布防蟻剤 柱 150 150 図示 製材 杉 E70 特一 SD20 B種 現場塗布防蟻剤 梁 105 210 図示 製材 杉 E70 特一 SD20 B種 現場塗布防蟻剤 梁 105 120 図示 製材 杉 E70 特一 SD20 B種 現場塗布防蟻剤 梁 120φ 図示 製材 松 E70 特一 SD20 B種 現場塗布防蟻剤 梁 150φ 図示 製材 松 E70 特一 SD20 B種 現場塗布防蟻剤 梁 180φ 図示 製材 松 E70 特一 SD20 B種 現場塗布防蟻剤 梁 240φ 図示 製材 松 E70 特一 SD20 B種 現場塗布防蟻剤 大引 105 105 図示 製材 桧 E70 特一 SD20 C種 現場塗布防蟻剤 大引 90 90 図示 製材 桧 E70 特一 SD20 C種 現場塗布防蟻剤 束 90 90 図示 製材 桧 E70 特一 SD20 C種 現場塗布防蟻剤 母屋 90 90 図示 製材 杉 E70 特一 SD20 C種	
	下地用製材	製材の日本農林規格の下地用製材の規格	
	木材部位別材料(造作材)	種類 規格 使用部位 寸法 材種の種類 樹種 化粧等級 含水率 仕上げ 防腐・防蟻処理 その他	
	構造用製材	天井板 300 21 図示 製材 杉 特一 15%以下 B種 天井板 240 12 図示 製材 杉 特一 15%以下 B種 半縁 30 20 図示 製材 杉 特一 15%以下 B種 廻り縁 50 50 図示 製材 杉 特一 15%以下 B種 鴨居 105 50 図示 製材 杉 特一 15%以下 B種 差鴨居 120 340 図示 製材 松 特一 15%以下 B種 一筋鴨居 50 50 図示 製材 桧 特一 15%以下 B種 上がり権 120 150 図示 製材 桧 特一 15%以下 B種 敷居 105 150 図示 製材 桧 特一 15%以下 B種 一筋敷居 50 50 図示 製材 桧 特一 15%以下 B種 縁甲板 105 15 図示 製材 松 特一 15%以下 B種 けこみ板 240 24 図示 製材 杉 特一 15%以下 B種	
	下地用製材	製材の日本農林規格の下地用製材の規格	
	木材部位別材料(造作用集成材)	種類 規格 使用部位 寸法 材種の種類 樹種 化粧等級 含水率 仕上げ 防腐・防蟻処理 その他	
	構造用製材	製材の日本農林規格の目視等級区分構造用製材の規格又は機械等級区分構造用製材の規格	
下地用製材	製材の日本農林規格の下地用製材の規格		

工事名	関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
			日付	日付	日付	特記仕様書2	—	R-02
		〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218						

④ 合板及其他ボード類		
種類	厚さ(mm)・規格等	施工箇所(構造材・仕上げ材の別)
構造用合板	厚さ(mm) ・ 5.5 ① 9 ・ 12 ・ 24 接合強度 ① 特類 ② 1類 等級 ① 級 ② 級 表板種別 ・ 広葉樹 ① 級 ② 級 板面品質 ※C-D 難燃処理 ・ する ① しない 防虫処理 ・ する ① しない	
ケイ酸カルシウム板	※0.8Fkタイプ2(無石綿) ・ 6 ・ 12 ・ 16 ・ 化粧ボード( ・ 6 )	・ 外壁下地 ・ 外部軒天
石膏ボード	① 2.5	① 屋内下地

接合具表

施工箇所	記号品名	種類	材質・規格	備考
土台	アンカーボルト		SS400 M12, M16フック付き	ナット座金付き
土台	貫通ボルト		SS400 M12	ナット座金付き
付け梁	ラグスクリュー		JISB1051 M12 L50	
構造用合板	釘		N75, N50, GNF40	
石膏ボード	釘, ビス		GNF40, φ13.8φ以上L28~40mm	

接合金物表

施工箇所	記号品名	種類	材質・規格	備考
柱脚・柱頭補強金物	告示1460号第二号(ろ)	既製品金物	Zマーク同等品以上(取付け金具共)	
柱脚・柱頭補強金物	告示1460号第二号(は)	既製品金物	Zマーク同等品以上(取付け金具共)	
柱脚・柱頭補強金物	告示1460号第二号(に)	既製品金物	Zマーク同等品以上(取付け金具共)	
柱脚・柱頭補強金物	告示1460号第二号(へ)	既製品金物	Zマーク同等品以上(取付け金具共)	
柱脚・柱頭補強金物	20kNホールダウン金物	既製品金物	Zマーク同等品以上(取付け金具共)	

⑤ ① 材料等	本工事で使用する材料については部位別材料表による。	
② 仕口及び継手の形状加工	◎ 図示	<5.2.2> <5.2.4> <5.4.2>

⑨ ① 材料等	本工事で使用する下記以外の材料については部位別材料表による。 本工事で使用する接合部及び接合金具は接合具表及び接合金物表による。	<9.1.2>
---------	---	---------

⑬ ① 金属板葺き	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>長尺金属板の種類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>屋根葺き形式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>◎ 図示</td> <td>※鋼及び銅合金板並びに条 C1204-1/4H又はC1201-1/2H</td> <td>0.35</td> <td>横葺き</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	長尺金属板の種類	厚さ(mm)	屋根葺き形式	◎ 図示	※鋼及び銅合金板並びに条 C1204-1/4H又はC1201-1/2H	0.35	横葺き	<13.3.2>
施工箇所	長尺金属板の種類	厚さ(mm)	屋根葺き形式							
◎ 図示	※鋼及び銅合金板並びに条 C1204-1/4H又はC1201-1/2H	0.35	横葺き							
② 粘土瓦葺き	◎ 煉瓦土葺き ・ 煉瓦筋葺き 軒瓦 ・ 石持無紋 ◎ 吹花軒巴紋	<13.5.3>								
③ とい	◎ といの材料 ※鋼板(JIS H 3100 鋼及び銅合金板並びに条 C1204-1/4H又はC1201-1/2H) ※硬質塩化ビニル ※板厚 谷とい ① 4mm その他とい ① 3.5mm ※といについては、新設塩化ビニルを既存鋼製にて被い使用すること。	<13.8.2>								
◎ とい受金物	※垂鉛メッキ鋼板製									

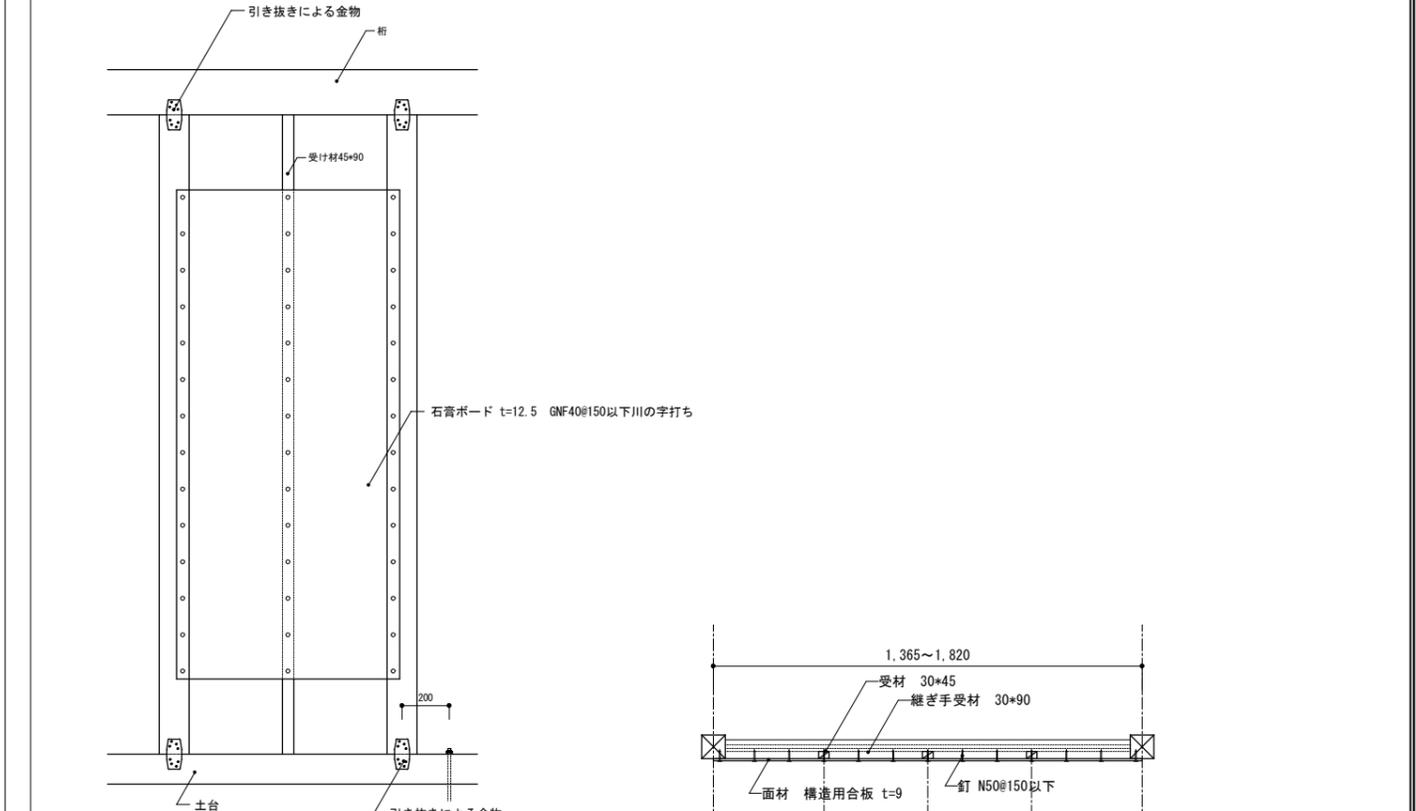
⑮ ① 下地	※ラス系下地 ◎ 平ラス (JISA 5505 平ラスF450) ※防水紙 ◎ 改質アスファルトフェルト	<15.2.3>
② 小舞下地	材料 間渡し竹 ・ しのだけの丸竹 ◎ まだけの割り竹 小舞竹 ◎ まだけの割り竹 ・ しのだけの丸竹 小舞縄 ・ しゅろ ・ 麻 ◎ わら縄	<15.2.6>
③ しっくい塗り	材料 下げお ・ 青麻 ・ しゅろ毛 ・ マニラ麻 ◎ わら縄	<15.6.2>
	下地 ◎ 平ラス ◎ 小舞土壁塗り	<15.6.3>

⑮ ④ 小舞壁塗り	※色砂は監督員と協議の上、現場合わせとする。	<15.7.2> <15.7.5>
左官工事	工程 ◎ A種 ・ B種	

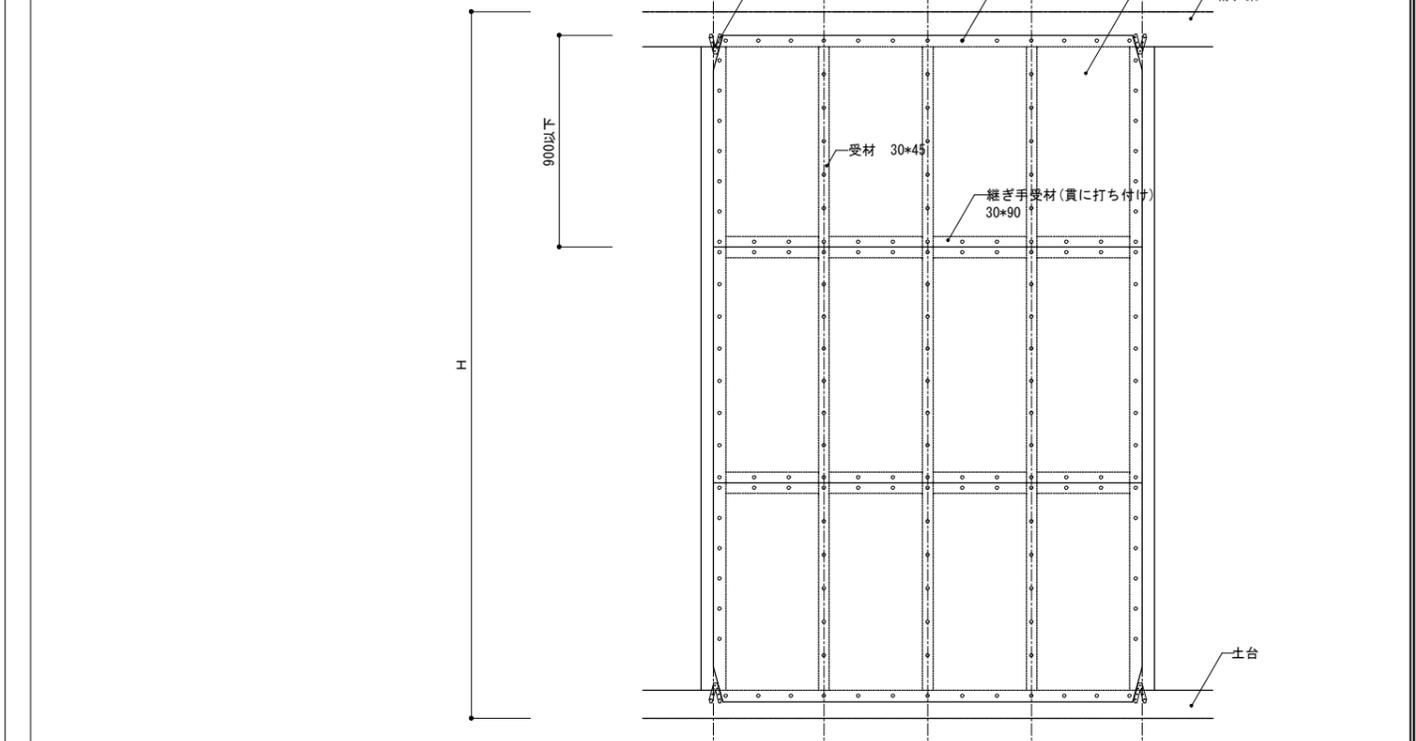
⑮ ① 木製建具	建具材の加工, 組立時の含水率 ・ A種 ◎ 種 ・ C種	<16.7.2>
② 建具用金物	ふすまの材料 ◎ 図示 ・ I型 ・ II型 紙張り障子の材料 ◎ 図示	
③ ガラス	引戸用錠 ◎ 蝶錠 ◎ 真鍮製ねじ込み錠 ◎ シリンダー錠 引き戸レール ◎ 真鍮レール 材料 ◎ 図示	<16.8.2> <16.14.2>

⑮ ① 材料	建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの発散量 ※ F☆☆☆☆ ・ F☆☆☆																																											
② 施工一般	<table border="1"> <thead> <tr> <th>塗料の種類</th> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> <th>下地の種類</th> <th>素地ごしらえ</th> <th>錆止め塗料塗</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SOP</td> <td>B種</td> <td>構造金物</td> <td>鉄鋼面</td> <td>C種</td> <td>A種(見え掛り) ・ B種(見え隠れ)</td> </tr> <tr> <td>EP</td> <td>B種</td> <td>軒天</td> <td>ボード面</td> <td>A種 ・ B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>FE</td> <td>B種</td> <td>鋼製建具</td> <td>鉄鋼面</td> <td></td> <td>A種(見え掛り)</td> </tr> <tr> <td>CL</td> <td>B種</td> <td>巾木, 羽目板</td> <td>木部</td> <td>A種 ・ B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>WP</td> <td></td> <td>木部見掛</td> <td>※ 木部</td> <td>3回塗</td> <td></td> </tr> <tr> <td>UP</td> <td></td> <td>フローリング</td> <td>木部</td> <td>サグ・掛け 3回塗</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	塗料の種類	種類	施工箇所	下地の種類	素地ごしらえ	錆止め塗料塗	SOP	B種	構造金物	鉄鋼面	C種	A種(見え掛り) ・ B種(見え隠れ)	EP	B種	軒天	ボード面	A種 ・ B種		FE	B種	鋼製建具	鉄鋼面		A種(見え掛り)	CL	B種	巾木, 羽目板	木部	A種 ・ B種		WP		木部見掛	※ 木部	3回塗		UP		フローリング	木部	サグ・掛け 3回塗		
塗料の種類	種類	施工箇所	下地の種類	素地ごしらえ	錆止め塗料塗																																							
SOP	B種	構造金物	鉄鋼面	C種	A種(見え掛り) ・ B種(見え隠れ)																																							
EP	B種	軒天	ボード面	A種 ・ B種																																								
FE	B種	鋼製建具	鉄鋼面		A種(見え掛り)																																							
CL	B種	巾木, 羽目板	木部	A種 ・ B種																																								
WP		木部見掛	※ 木部	3回塗																																								
UP		フローリング	木部	サグ・掛け 3回塗																																								
③ その他塗装	・ 難燃塗装(木部) モーエンアークア 不燃NM-0700 ファイヤーディレーF4 不燃NM-1493同等品 ・ 錆止め塗料の種類 ・ A種 ・ B種 ・ 古色塗装は現場あわせとする。																																											

⑮ ① 畳敷き	種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ◎ D種	<19.6.2>
---------	------------------------	----------



石膏ボード準耐力壁仕様図 1/30



構造用合板横貼詳細図 1/30

※構造用合板の標準図は構造特記参照

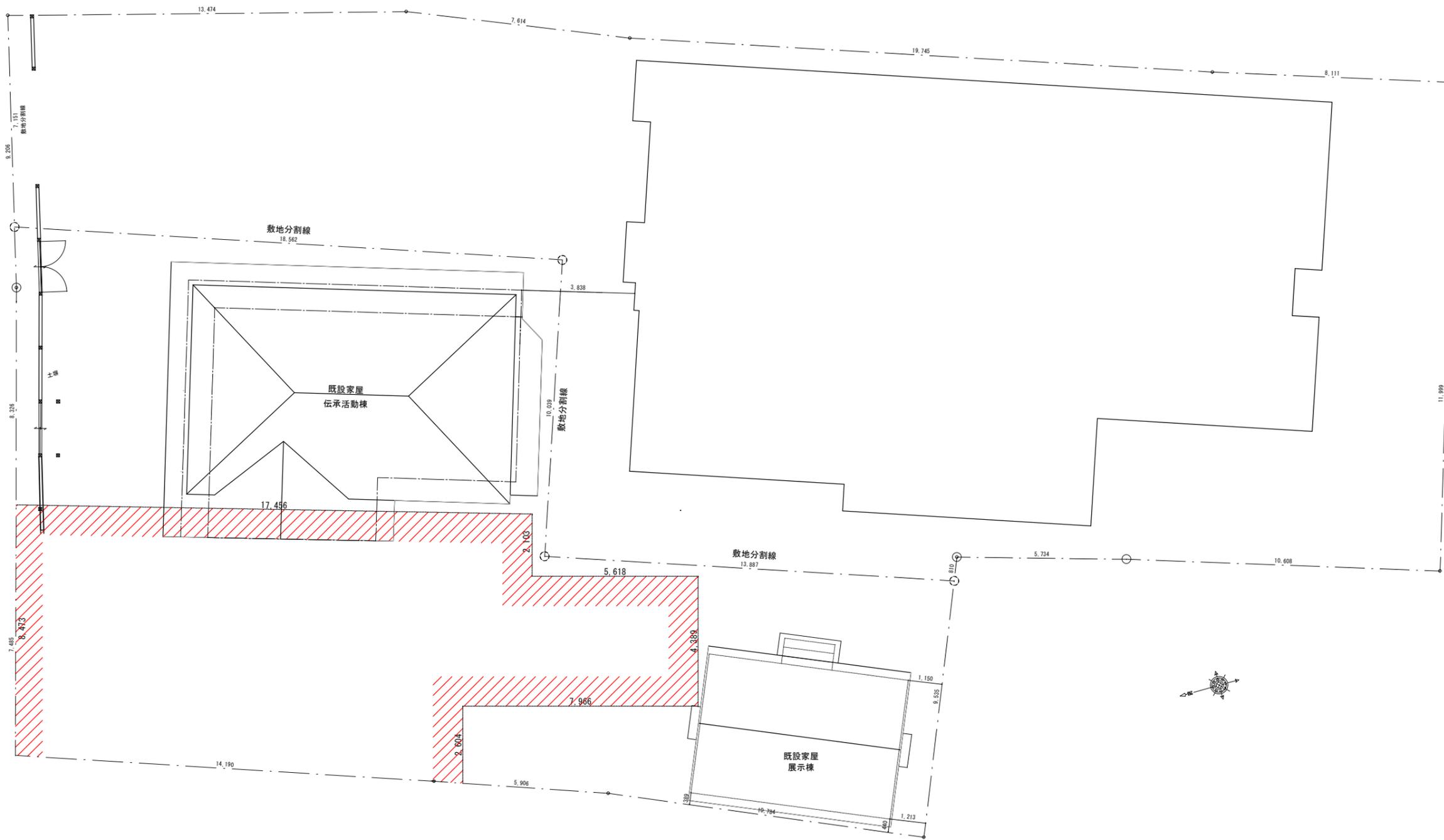
※受け材は、貫に打ち付けること。  
※Hは現場合わせとする。

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事

シンカイ設計 一級建築士事務所  
 亀山市民文化振興局まちなみ文化財室  
 〒519-0125 三重県亀山市東町1丁目7-4 TEL 0595-83-5521  
 〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218

管理者	設計者	担当者
日付	日付	日付

図面名	縮尺	図面NO
特記仕様書3	—	R-03



凡例  
 ■ 改修工事対象建築物を示す。  
 ▨ 足場施工部分を示す。

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	改修配置図	1/150	R-04

# 外部仕上表

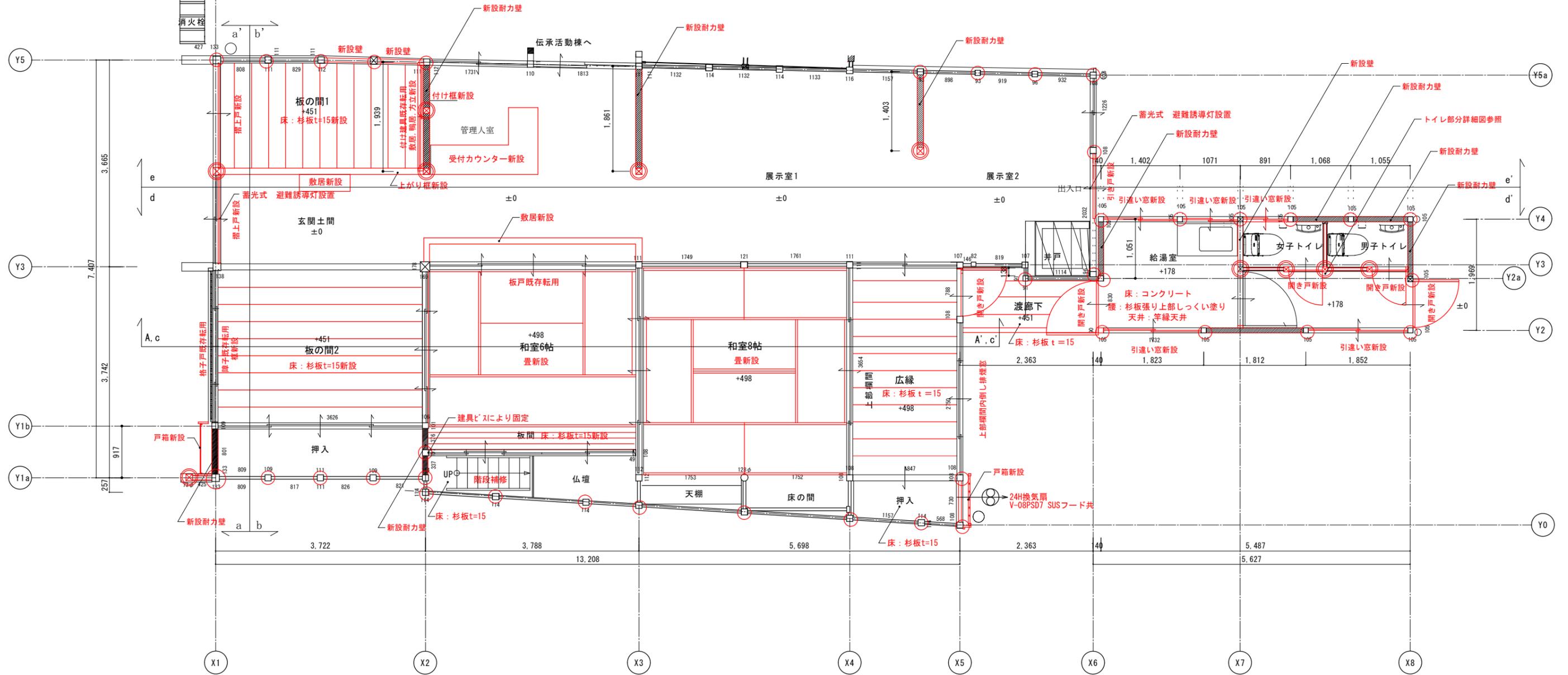
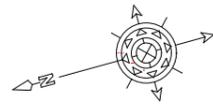
# 主要構造部

名称	仕様	名称	仕様	備考
屋根	棧瓦土葺き 野地 杉板 垂木90φ半割り桁より45口加工@360 約5寸 銅製雨どい100φ 南塩ビ製100φ	基礎	玉石、御影延べ石 コンクリート布基礎	トップライト4ヶ所
	下屋 棧瓦土葺き 野地 杉板 垂木45*60@360 約5寸 銅製雨樋100φ	床束	杉90*90	
外壁	小壁 土壁しっくい仕上げ 腰壁 杉縦目板張り 木部保護塗料二回塗り	土台	桧 105*90, 140*105	
	虫籠窓 しっくい補修	大引	杉 105*105~135,	
軒天	垂木、野地現し 一部しっくい塗り補修	根太	杉 54~54*50,	
		胴縁	—	
建具	木製引き違いガラス戸、木製開戸 木製引戸新設	間柱	—	
		管柱	桧 105□, 178*169, 120□, 50*105	
基礎	玉石、のべ石基礎 一部鉄筋コンクリート基礎上、のべ石新設	小屋梁	松 120~270φ, 110□	
		軒桁	桧 120*120	
外部土間	のべ石 土間コンクリート	小屋束	杉 90φ, 90□, 120□	
		母屋	杉 120φ	
渡り廊下	床 杉板 t30	垂木	杉 105φ半割り, 60*54, 54□, 45□	
		棟木	桧 120~150φ	

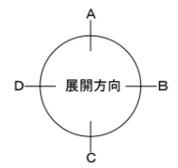
# 内部仕上表

名称	床 仕上	巾木	腰壁 仕上	廻り縁	天井	備考	
1階	和室8帖	畳 新設 杉板 t=15 新設	畳寄せ	土壁下地 砂壁仕上げ	杉	竿縁杉板 一部取替え	
	和室6帖	畳 新設 杉板 t=15 新設	畳寄せ	土壁下地 砂壁仕上げ	杉	松板 踏み天井	
	広縁	松縁甲板 t=15 新設	杉	一部 耐力壁 構造用合板 t=9 ケイカル板 t=6 土壁下地 しっくい壁仕上げ	杉	竿縁杉板新設	
	玄関土間	土間たたき補修 一部 床上げ 杉板 t=15	一部 杉	一部中塗り仕上げ 土壁下地 しっくい壁仕上げ	杉	松板 踏み天井	
	展示室 管理人室	土間たたき補修	—	一部 耐力壁 構造用合板 t=9 ケイカル板 t=6 土壁下地 しっくい壁仕上げ	杉	梁、杉野地板あらかし	
	板の間2	一部 床上げ 杉板 t=15	杉	一部 耐力壁 構造用合板 t=9 ケイカル板 t=6 土壁下地 しっくい壁仕上げ	杉	松板 踏み天井	
	床の間	ケヤキ板	杉	土壁下地 じゅらく壁仕上げ	杉	杉板	
	天棚	ケヤキ板	杉	土壁下地 じゅらく壁仕上げ	杉	杉板 天袋付	
	押入、仏間	杉板 一部補修	杉	しっくい 一部中塗り仕上げ	杉	一部 杉板	
	給湯室, 通路 トイレ	コンクリート金コテ押へ	杉	腰板張りH1000上部しっくい塗り 一部 耐力壁 構造用合板 t=9 ケイカル板 t=6	杉	竿縁天井 杉柱目板	天井高さ2400
2階	小屋裏	松板 t=28	—	しっくい	杉	小屋あらかし	既存さわらず
	通路	松板 t=28上杉板T=9	畳寄せ	土壁下地 プラスタ壁仕上げ	—	竿縁天井 杉柱目板	既存さわらず
	座敷跡2室	松板 t=28上杉板T=9	畳寄せ	土壁下地 モルタル塗り壁仕上げ		曲がり竿縁天井 杉柱目板	既存さわらず

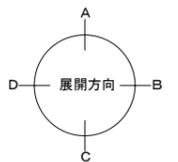
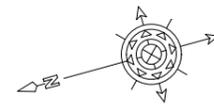
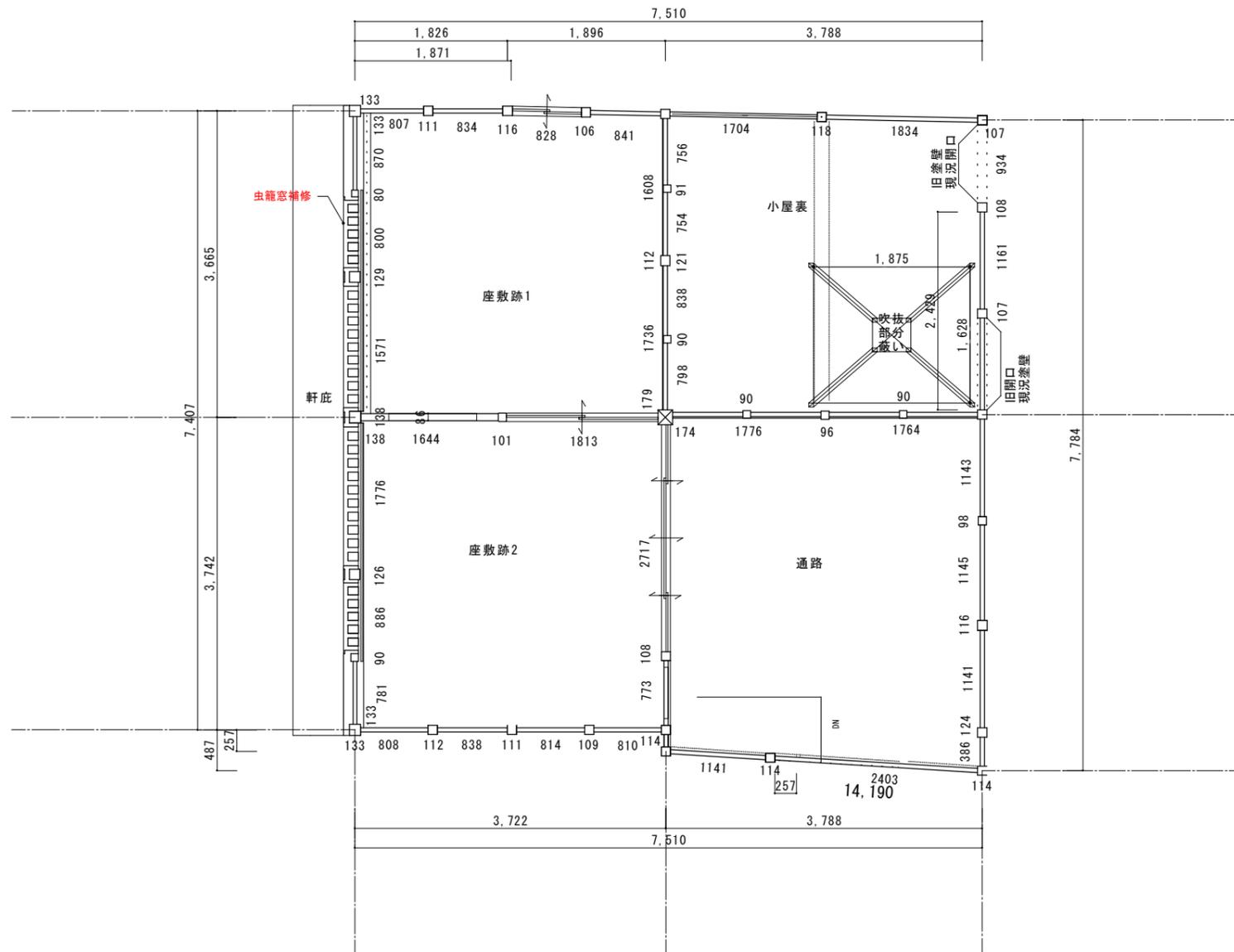
工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	改修仕上表	—	R-05



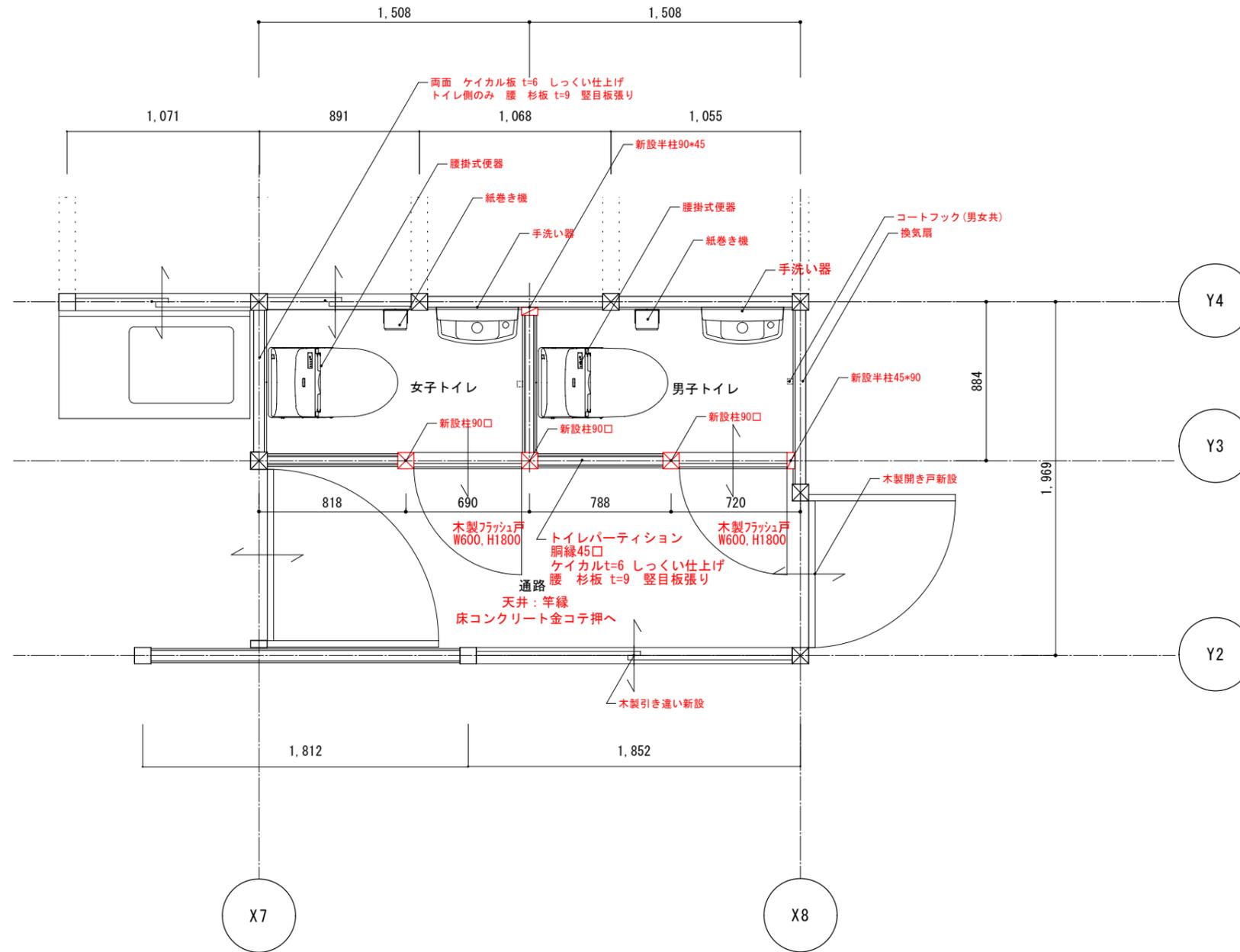
- 改修部分を示す。(赤表記部分も改修)
- 根継ぎ柱を示す。
- 新設柱を示す。



工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化振興局まちなみ文化財室 〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	管理者 日付	設計者 日付	担当者 日付	図面名 改修一階平面図	縮尺 1/70	図面NO R-06

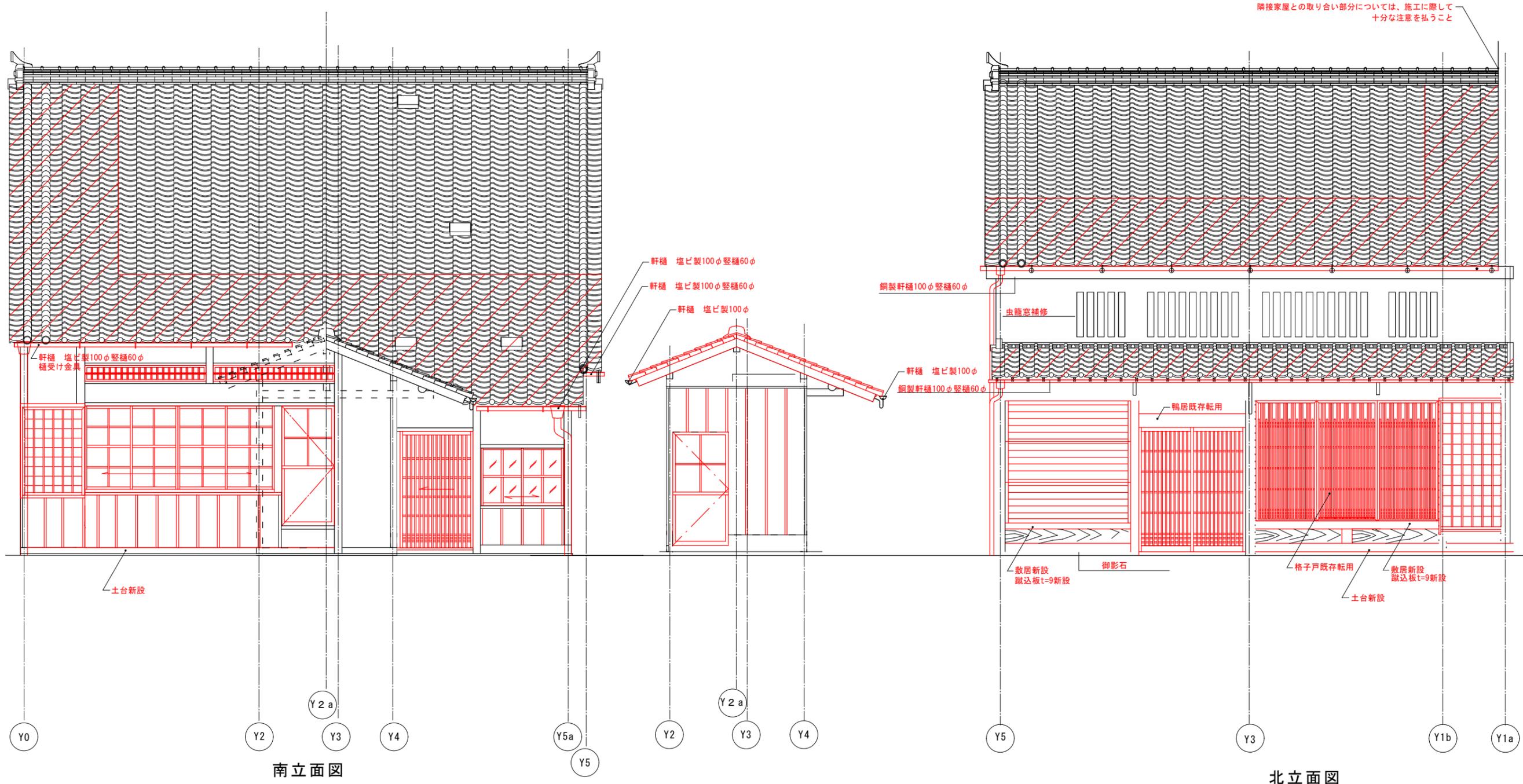


工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	改修二階平面図	1/70	R-07



トイレ部分平面詳細図 1/30

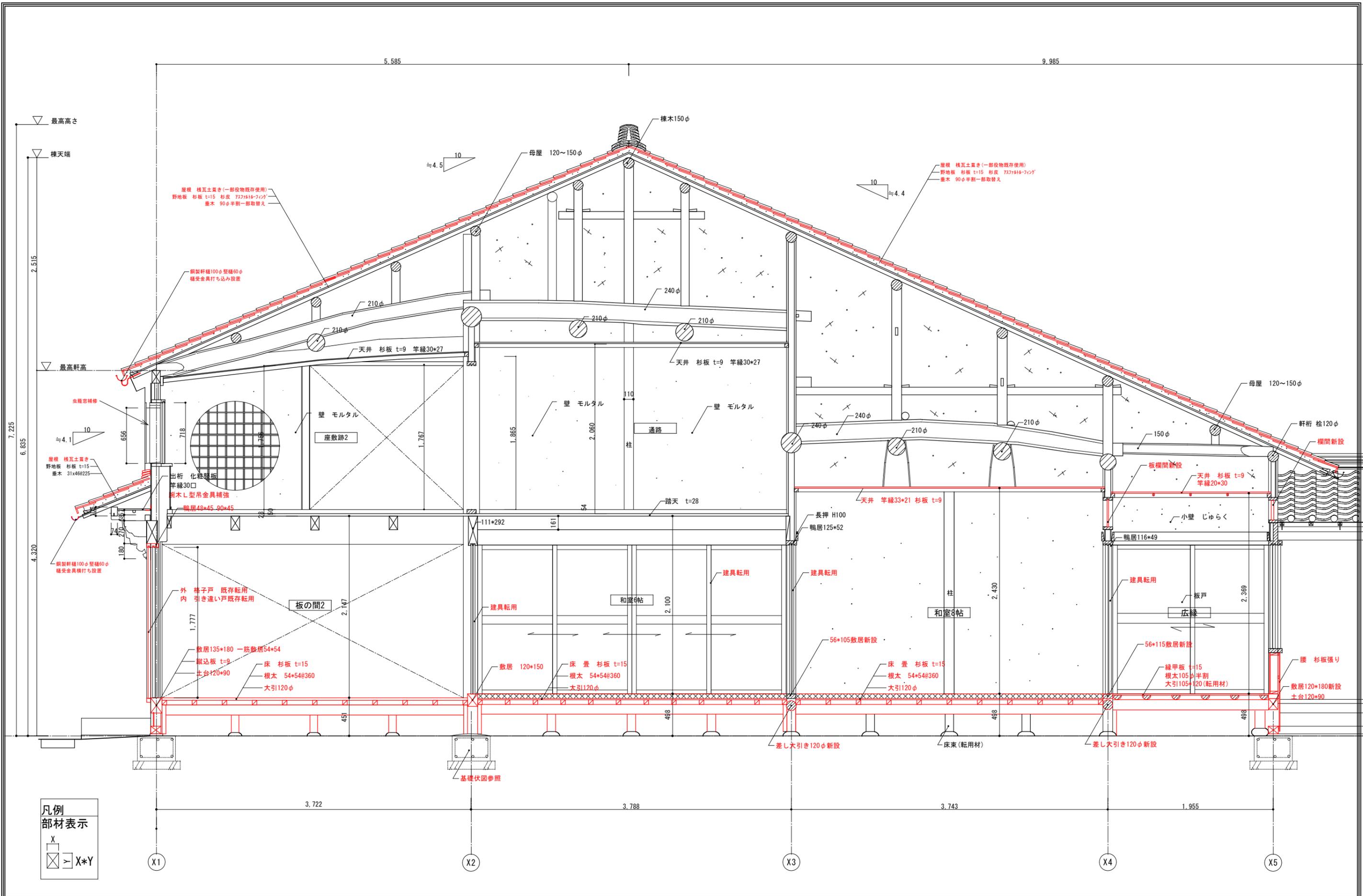
工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	トイレ平面詳細図	1/30	R-08



 改修部分を示す。(赤表記部分も改修)  
(屋根部分葺き替え役物、熨斗既存使用)

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	改修南北立面図	1/60	R-09

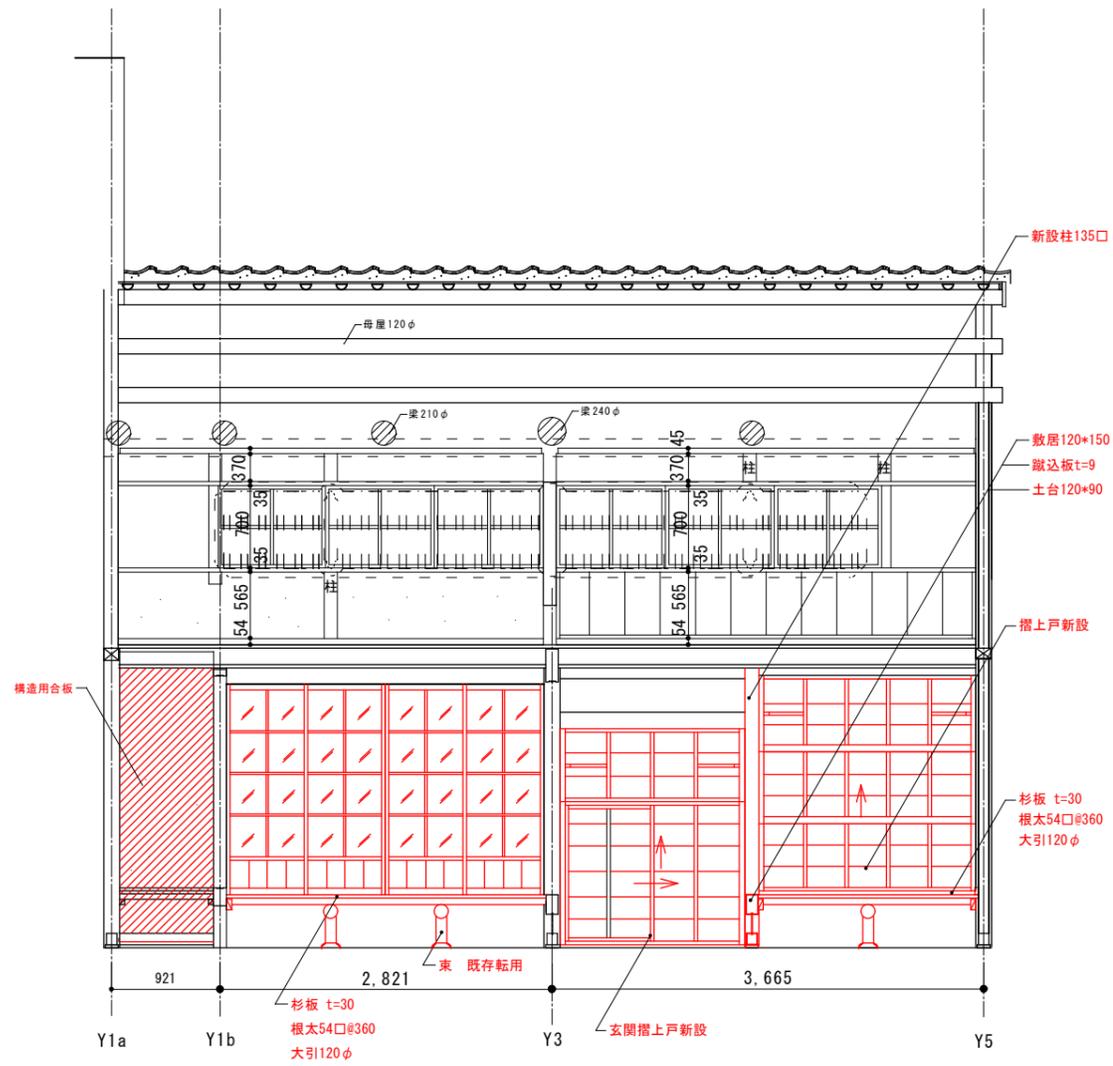




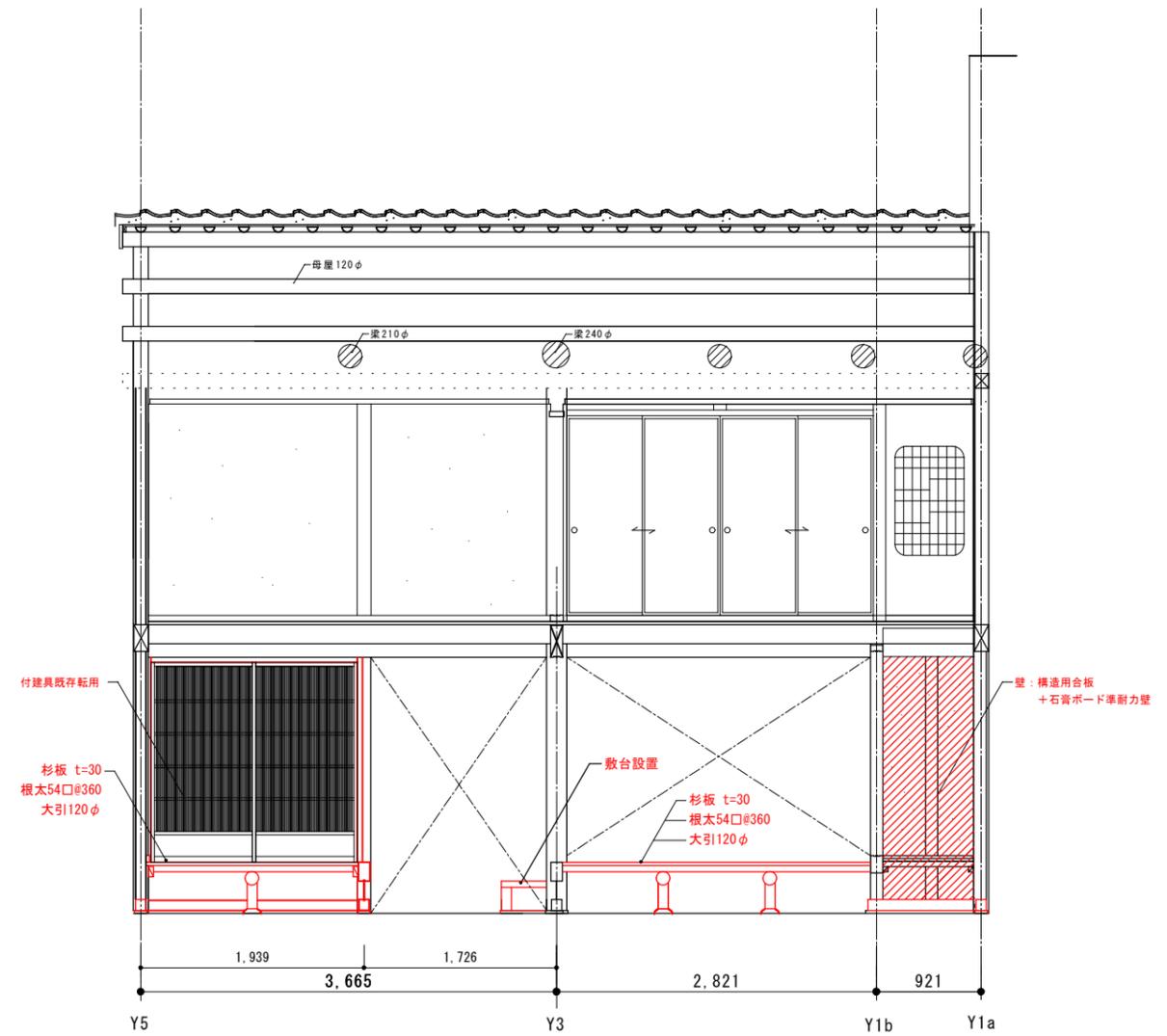
凡例  
部材表示

X	
X	X*Y

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	改修矩計図	1/40	R-11



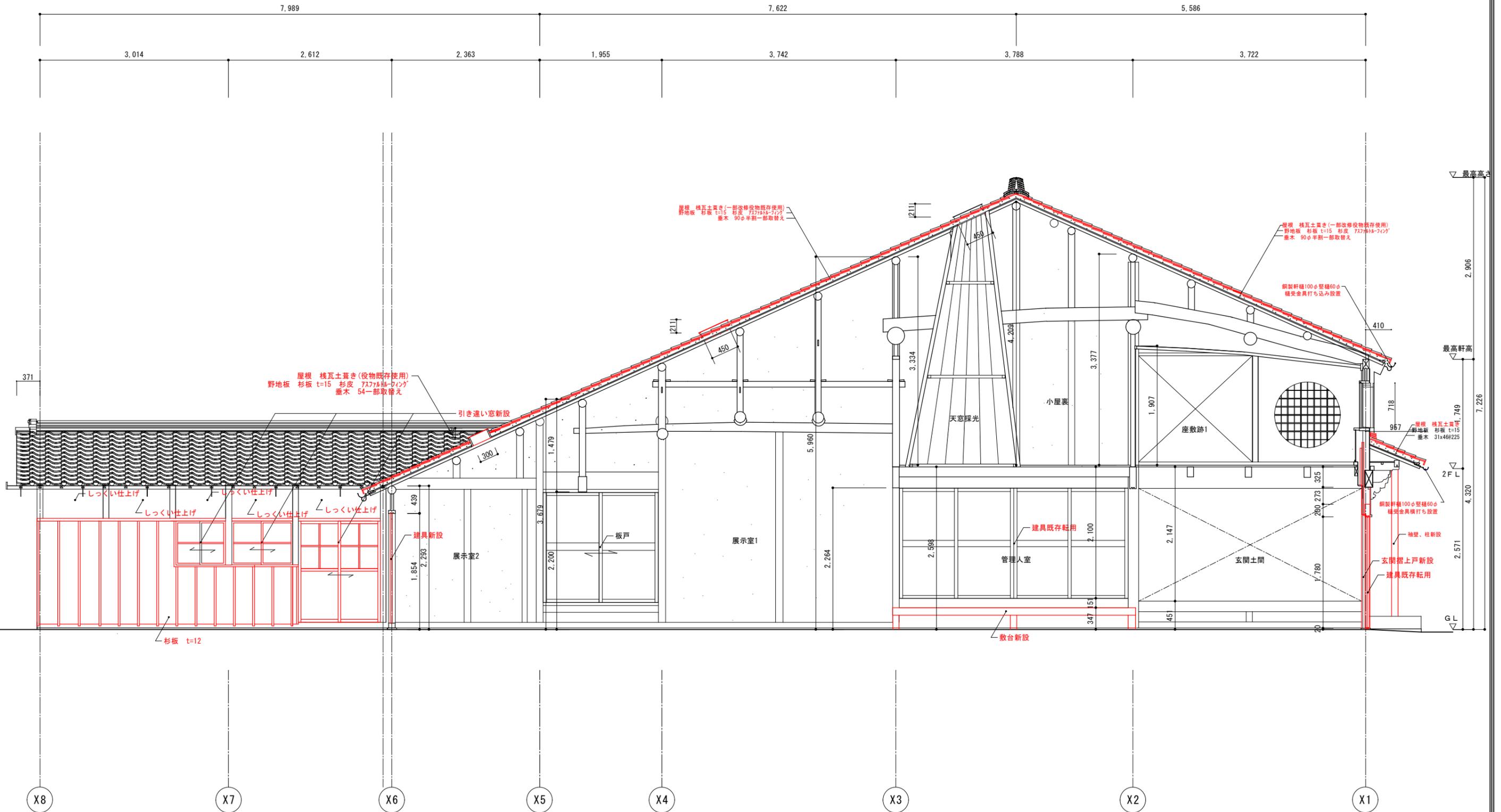
a-a' 断面図



b-b' 断面図

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	改修断面図01	1/60	R-12

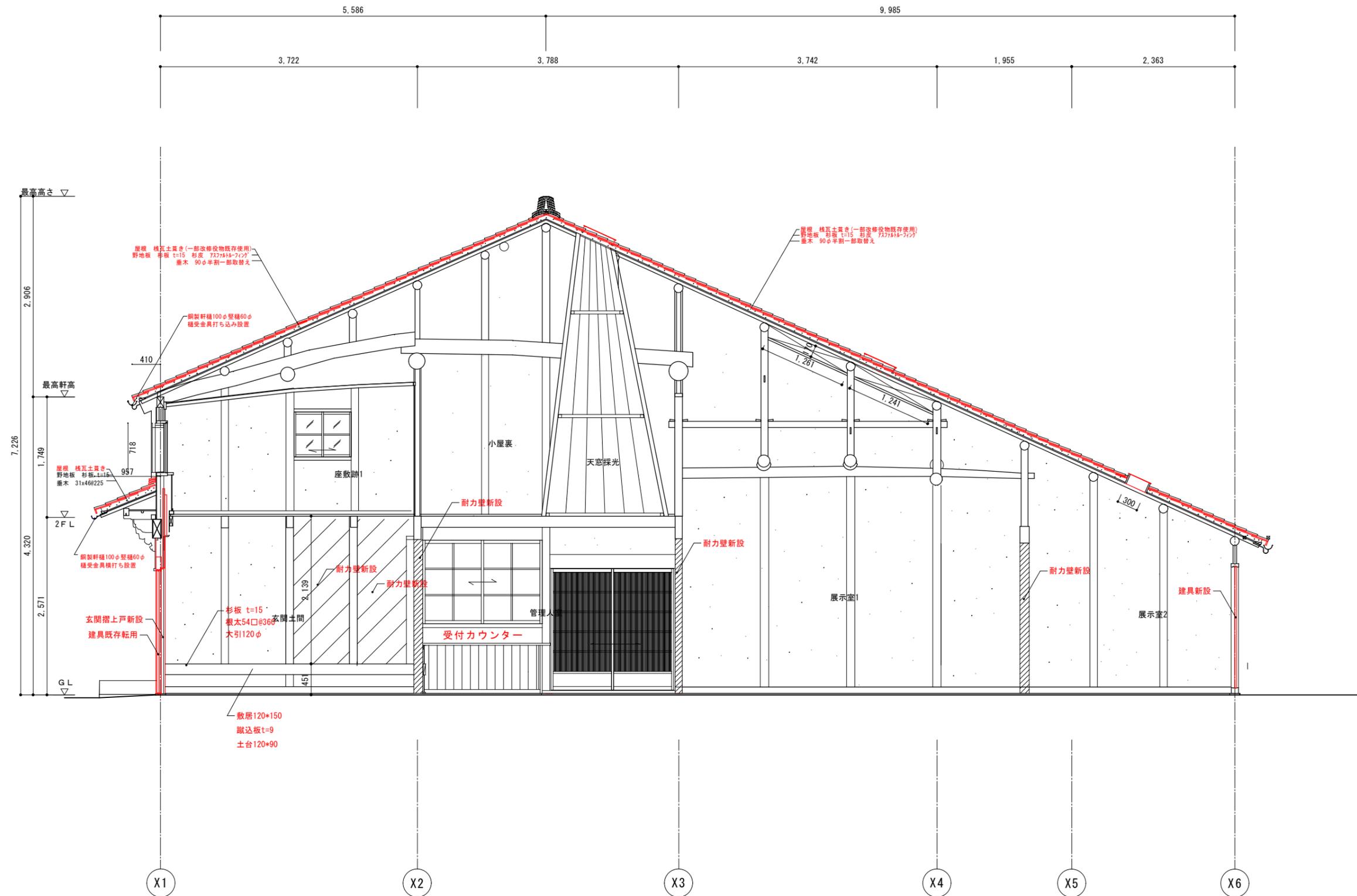




d-d' 断面図

※赤表記部分は改修部分を示す。  
 既存部材は可能な限り転用すること。

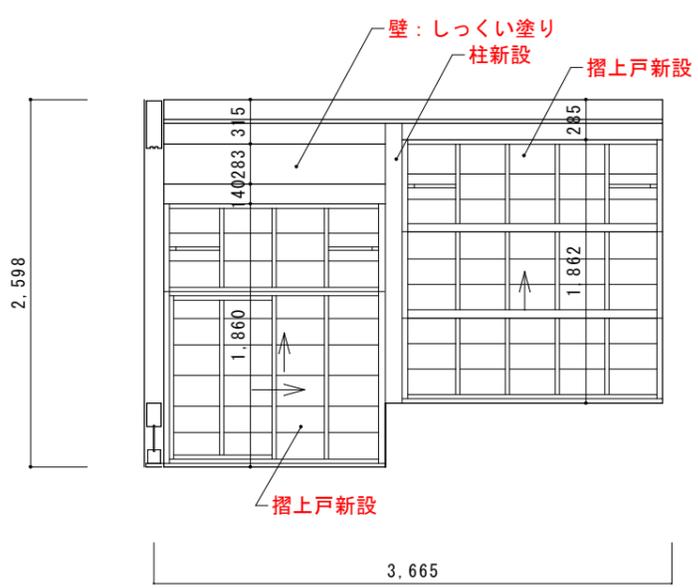
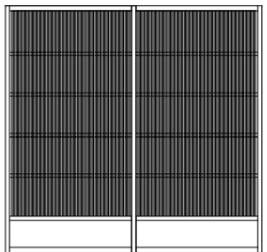
工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	改修断面図03	1/60	R-14



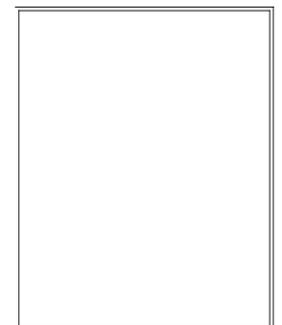
e-e' 断面図

※赤表記部分は改修部分を示す。  
 既存部材は可能な限り転用すること。

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	改修断面図04	1/60	R-15



424 144



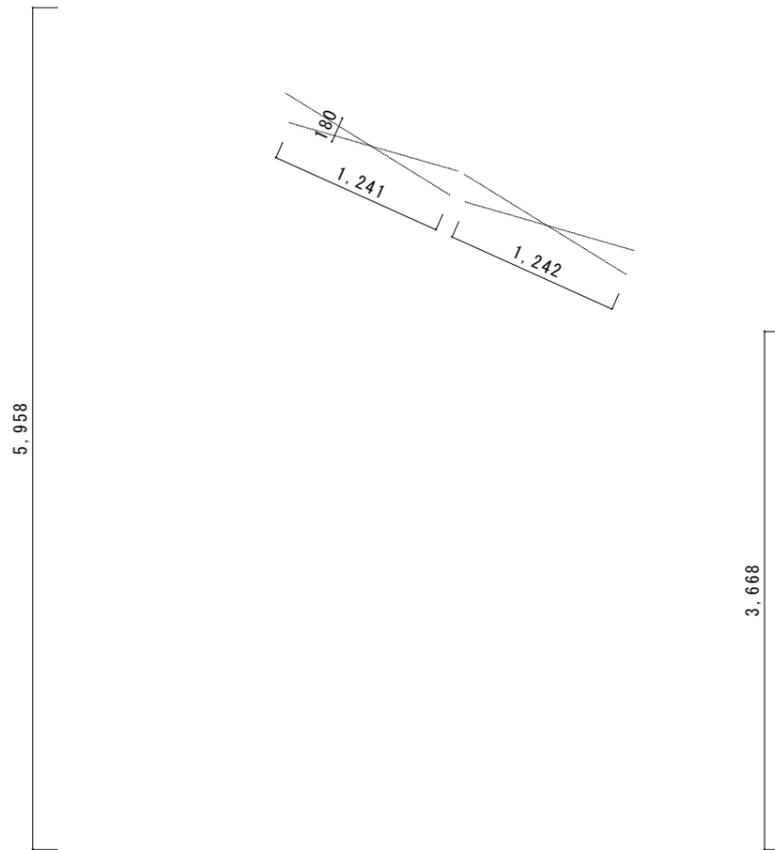
工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市市民文化部文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	改修展開図1	1/50	R-16

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市市民文化部文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	改修展開図2	1/50	R-17

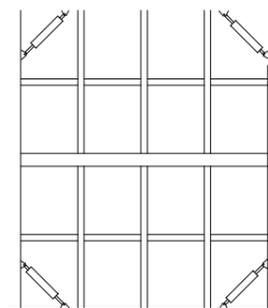
工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市市民文化部文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	改修展開図3	1/50	R-18

排煙ホーラー  
1.125

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市市民文化部文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	改修展開図4	1/50	R-19



工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市市民文化部文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	改修展開図5	1/50	R-20

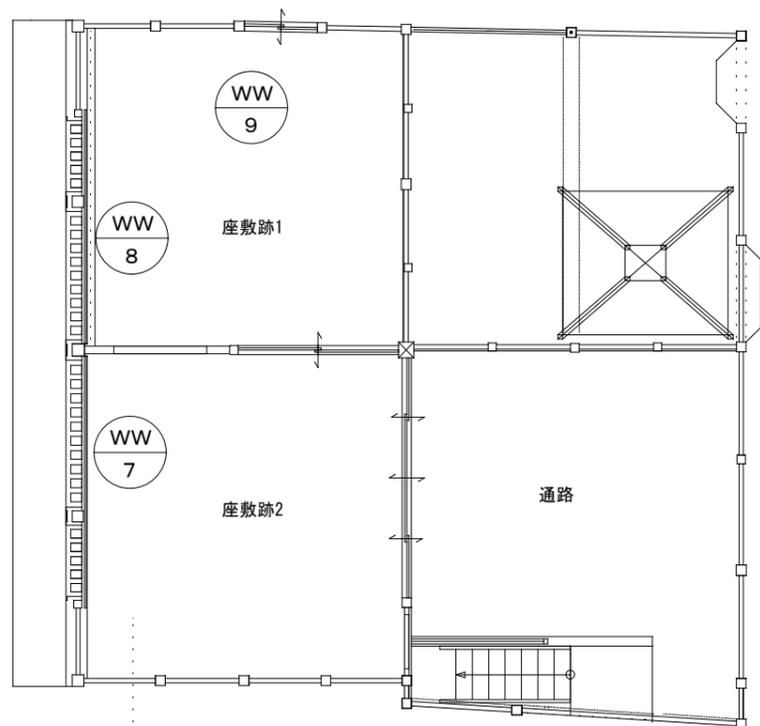


壁：下地軸組及び構造用合板現し（新設）

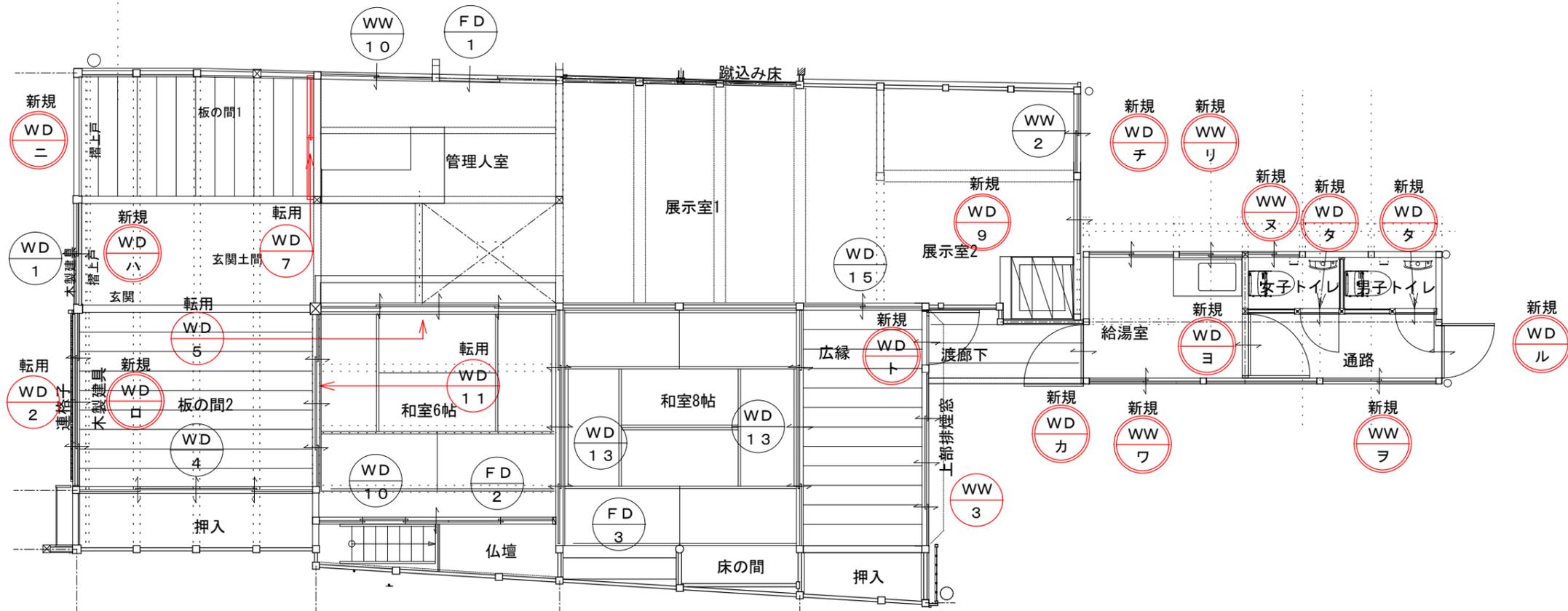
工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市市民文化部文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	改修展開図6	1/50	R-21

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市市民文化部文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	改修トイレ展開図1	1/50	R-22

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市市民文化部文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	改修トイレ展開図2	1/50	R-23




 新規建具



工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化振興局まちなみ文化財室 〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
		日付	日付	日付	改修建具キープラン	1/80	R-24

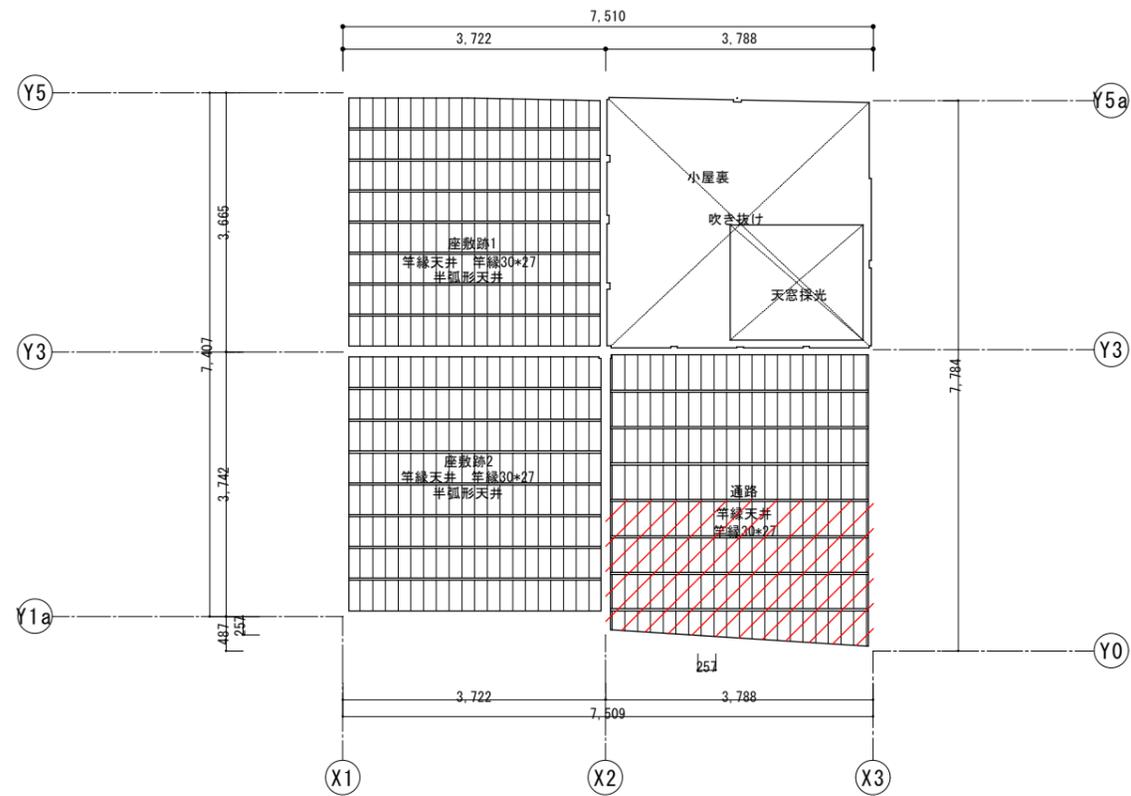


符号・数量	WD-7 (北面)	WD-7 (南面)	土間土間	WD-9 (新設)	展示室2	WD-10	階段
型式・見込	木製格子引違い戸 (既設)	木製障子引違い戸 (既設)	30	木製格子片引戸	30	木製格子引違い戸 (既設)	
姿 図							
仕 上				枠検 タテ21*15 ヨコ22*6			
ガラス				FL2			
金 物				丸棒ラッチ取付、引き手、サムターン、シリンダ錠、真鍮レール戸車			
備 考	既存建具転用の上 補修、調整、障子張替、引手掘込			既存建具と同デザインにて新設	既存建具さならず 金物固定		
符号・数量	WD-11	和室6帖	WD-13 (8枚)	和室8帖	WD-15	広縁	
型式・見込	木製障子引違い戸 (既設)	30	襖障子戸 4枚引違い戸 (既設)	30	板戸 引違い戸 (既設)	30	
姿 図							
仕 上							
ガラス							
金 物							
備 考	既存建具転用の上		既存建具調整、障子張替		既存建具さならず		
符号・数量	FD-2	仏間	FD-3	天棚			
型式・見込	襖戸 引違い戸 (既設)	22.7	襖戸 4枚引違い戸 (既設)	30			
姿 図							
仕 上							
ガラス							
金 物							
備 考	既存建具さならず		既存建具さならず				

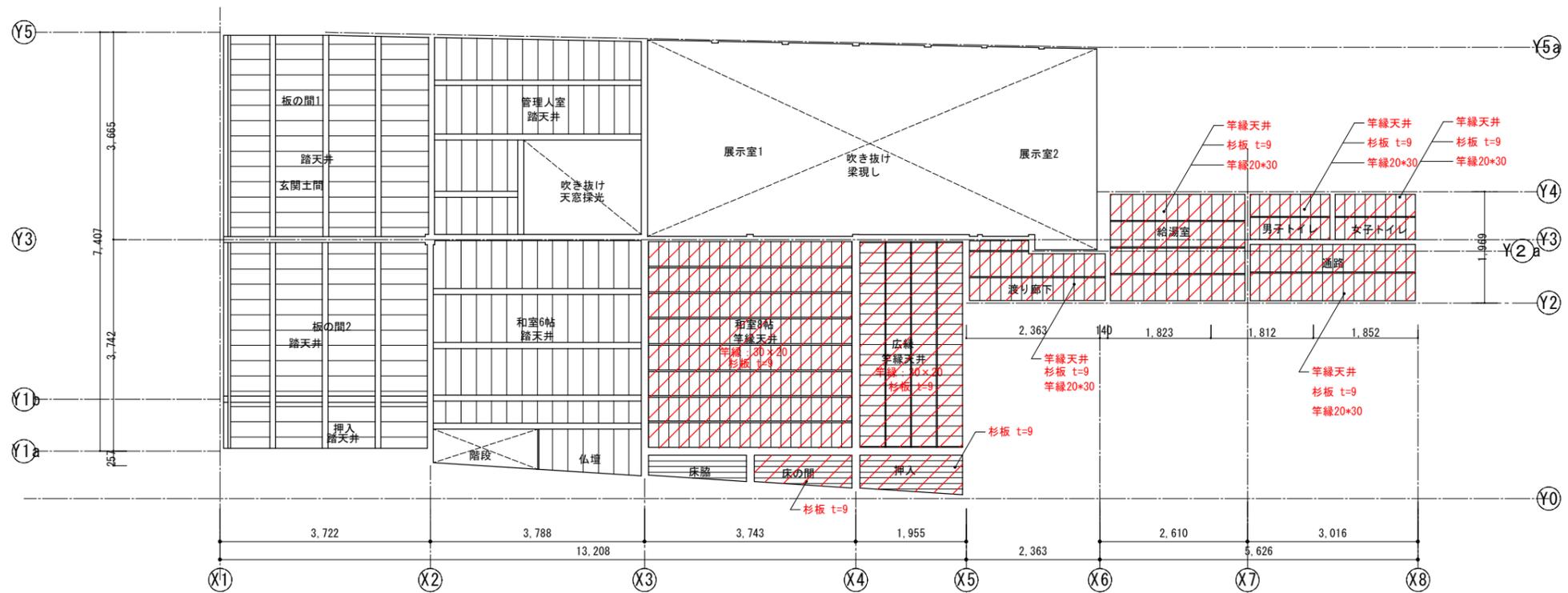
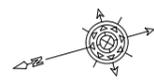


符号・数量	WD-ト (新設)	広縁	WD-チ (新設)	給湯室	WW-リ (新設)	給湯室				
型式・見込	木製ガラス戸	30	木製引違戸 2枚	30	木製引違ガラス戸 2枚	30				
姿 図										
仕 上	桧 杉板 t=6		桧 杉板 t=6		桧 杉板 t=6					
ガラス	FR3		FR3		FR3					
金 物	かんぬき、丁番、金物一式		引手、金物一式、真鍮レール戸車、スライド、シリンダー錠		引手、金物一式、真鍮レール戸車、ねじ込み錠					
備 考										
符号・数量	WW-ヌ (新設)	トイレ	WD-ル (新設)	通路	WW-ヲ (新設)	通路	WW-フ (新設)	給湯室	WD-カ (新設)	給湯室
型式・見込	木製引違ガラス戸 2枚	30	木製ガラス戸	30	木製引違ガラス戸 2枚	30	木製引違ガラス戸 2枚	30	木製板戸	30
姿 図										
仕 上	桧 杉板 t=6		桧 杉板 t=6		桧 杉板 t=6		桧 杉板 t=6		桧 杉板 t=6	
ガラス	FR3		FR3		FR3		FR3			
金 物	引手、金物一式、真鍮レール戸車、ねじ込み錠		かんぬき、丁番、金物一式		引手、金物一式、真鍮レール戸車、ねじ込み錠		引手、金物一式、真鍮レール戸車、ねじ込み錠		かんぬき、丁番、金物一式	
備 考										
符号・数量	WD-ヨ (新設)	給湯室	WD-タ (新設)	男子トイレ・女子トイレ						
型式・見込	木製ガラス戸	30	木製ガラス戸	30						
姿 図										
仕 上	桧 杉板 t=6		桧 杉板 t=6							
ガラス	FR3		FR3							
金 物	かんぬき、丁番、金物一式		かんぬき、丁番、金物一式							
備 考										

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化振興局まちなみ文化財室 〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
		日付	日付	日付	改修建具表4	1/50	R-28



二階天井伏図



一階天井伏図

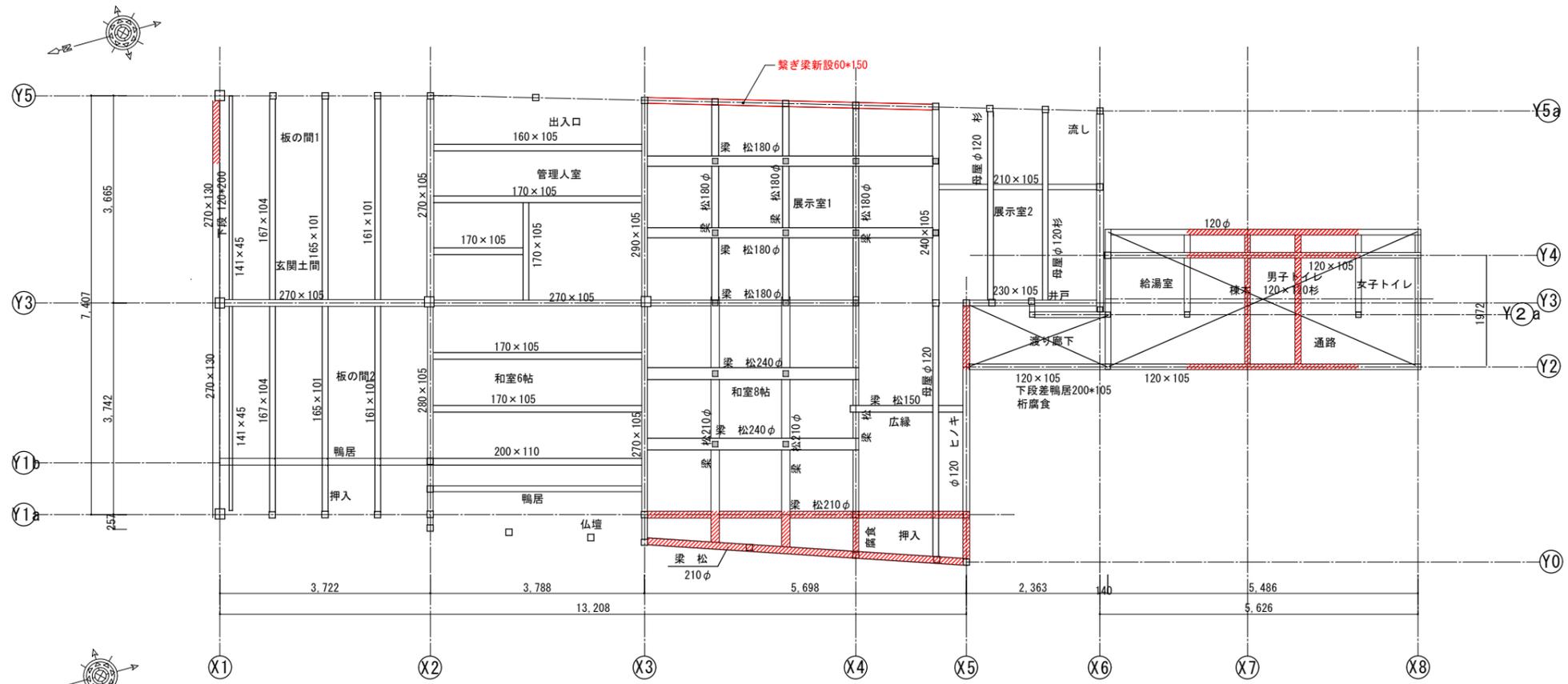
凡例

 改修部分を示す。  
 既存部材は可能な限り転用すること。

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	改修天井伏図	1/100	R-29

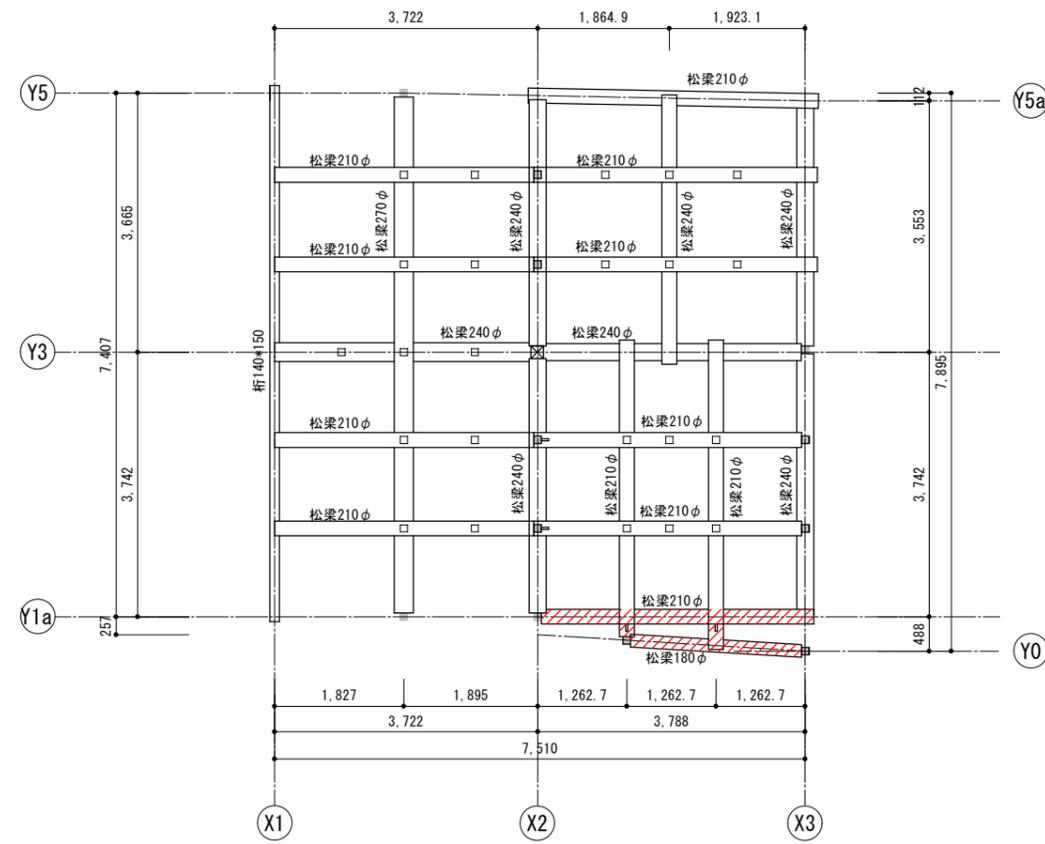






一階梁伏図 (差鴨居含む)

※特記なしの場合 杉材

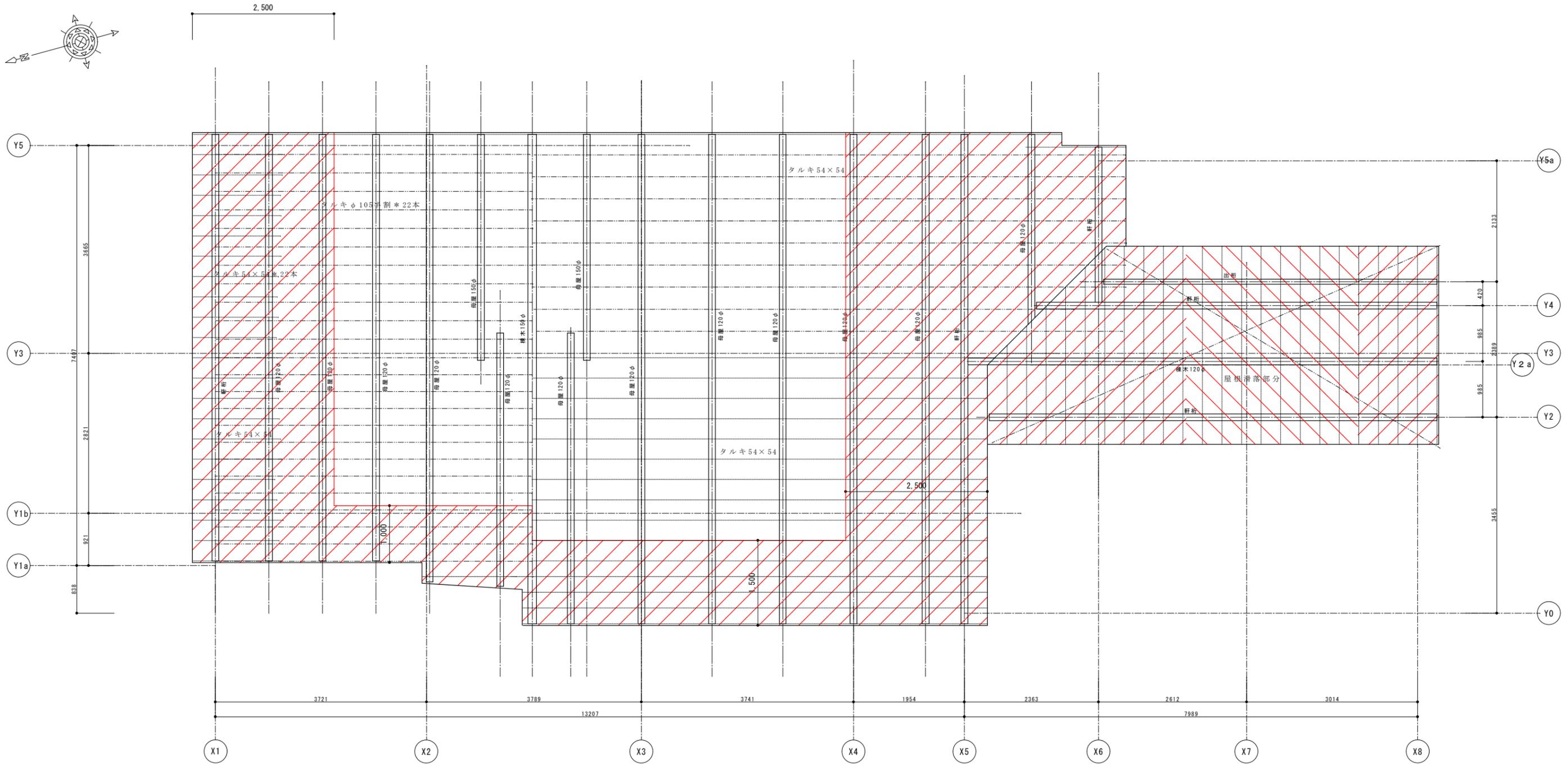
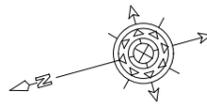


二階梁伏図

凡例

改修部分を示す。

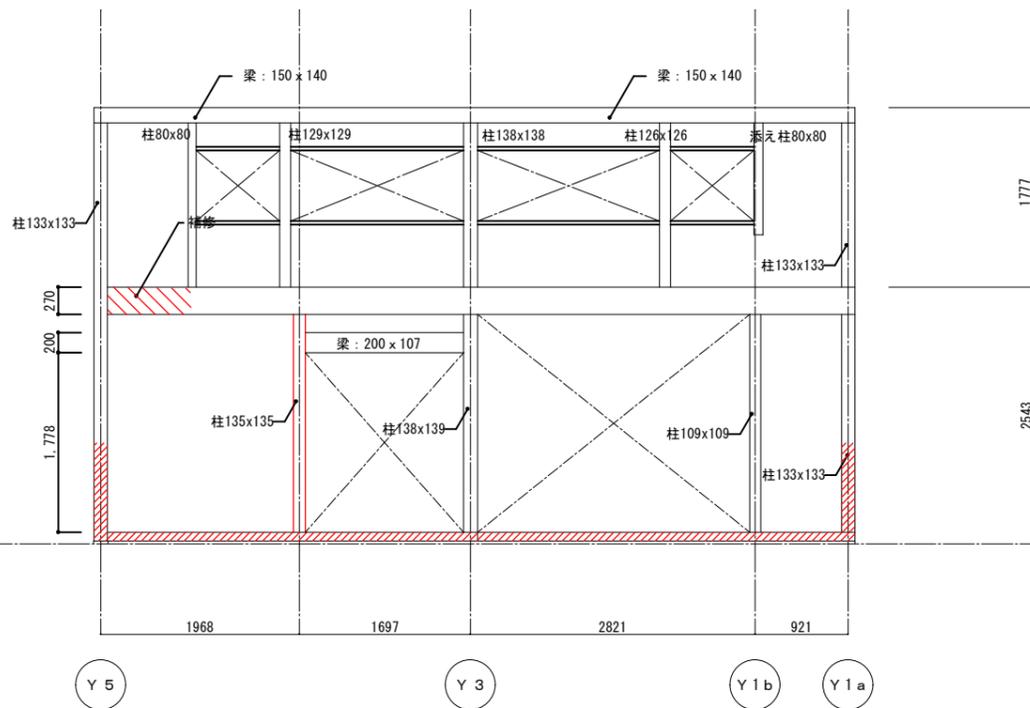
工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	改修梁伏図	1/100	R-32



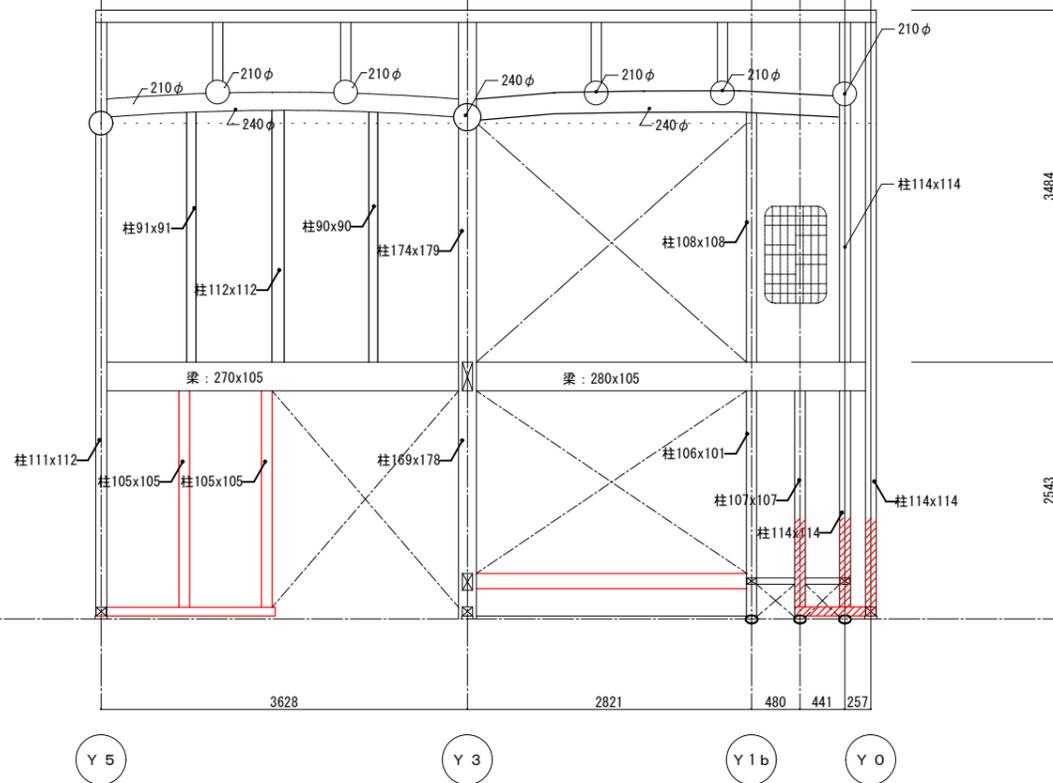
凡例

- 垂木、母屋、野地、棟木全面改修部分を示す。
- 垂木、野地半数改修部分を示す。  
(使用可能な材料は極力再使用すること。)

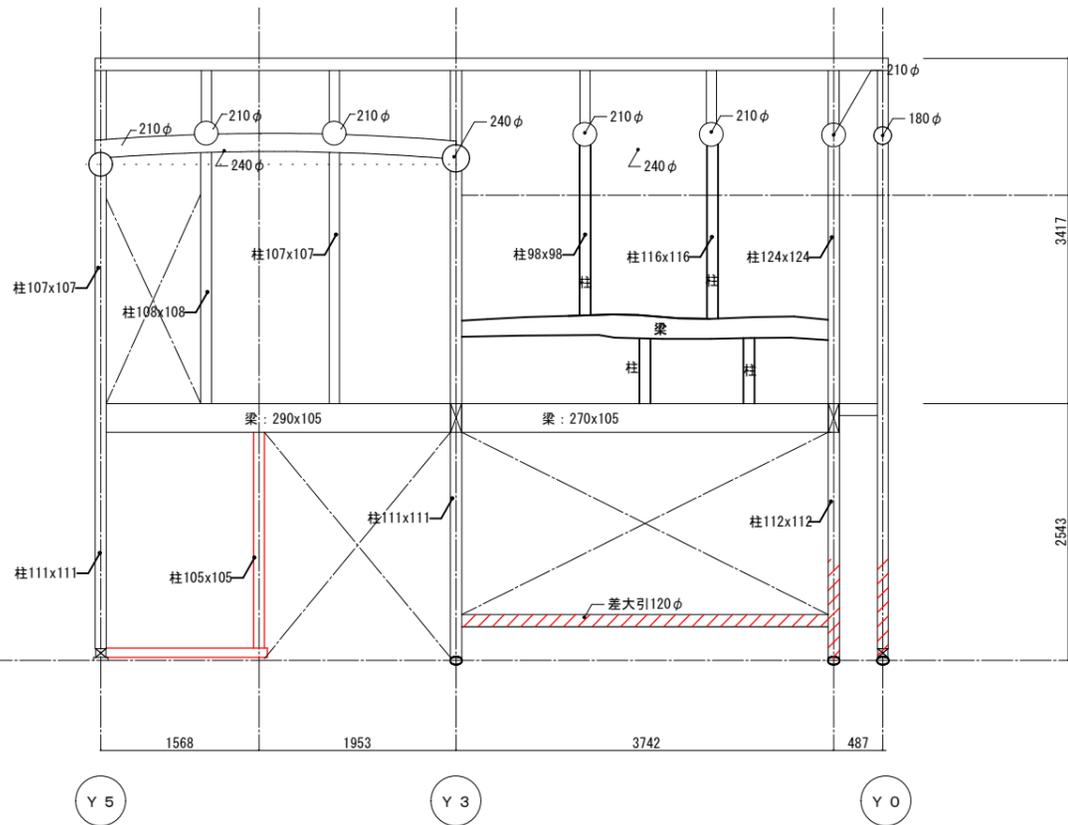
工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室 〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	管理者 日付	設計者 日付	担当者 日付	図面名 改修小屋伏図	縮尺 1/100	図面NO R-33



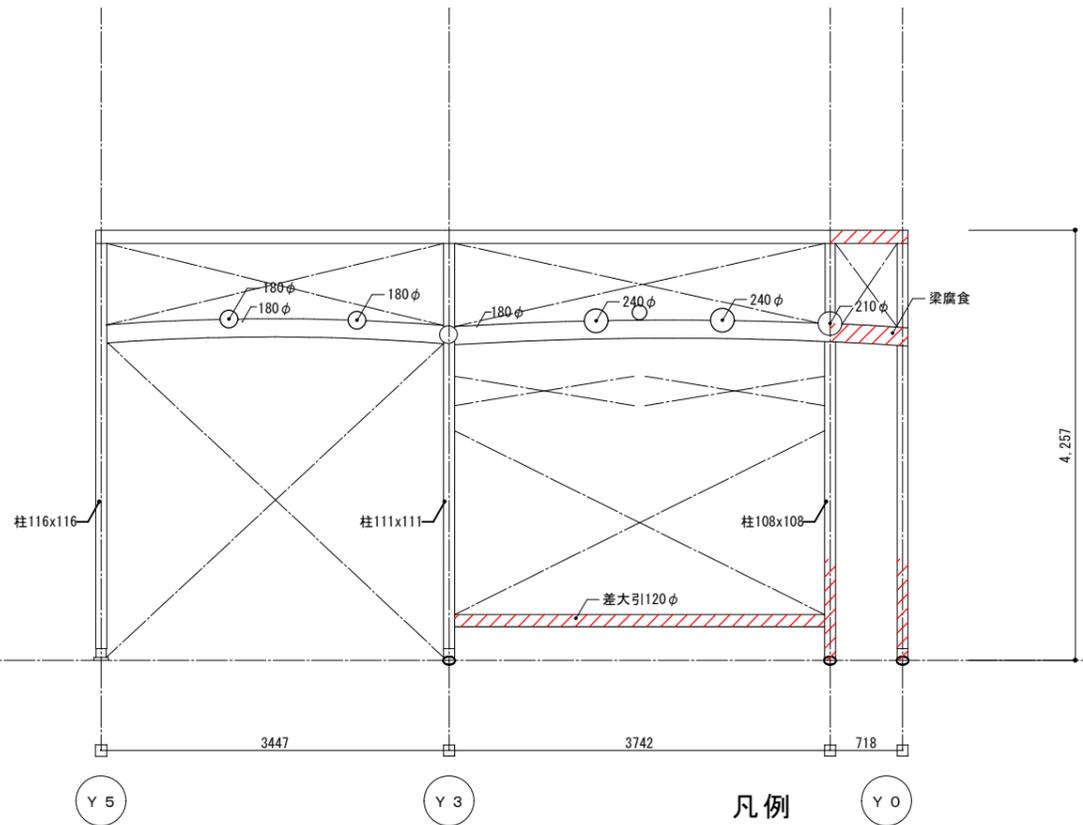
X 1 通り



X 2 通り



X 3 通り

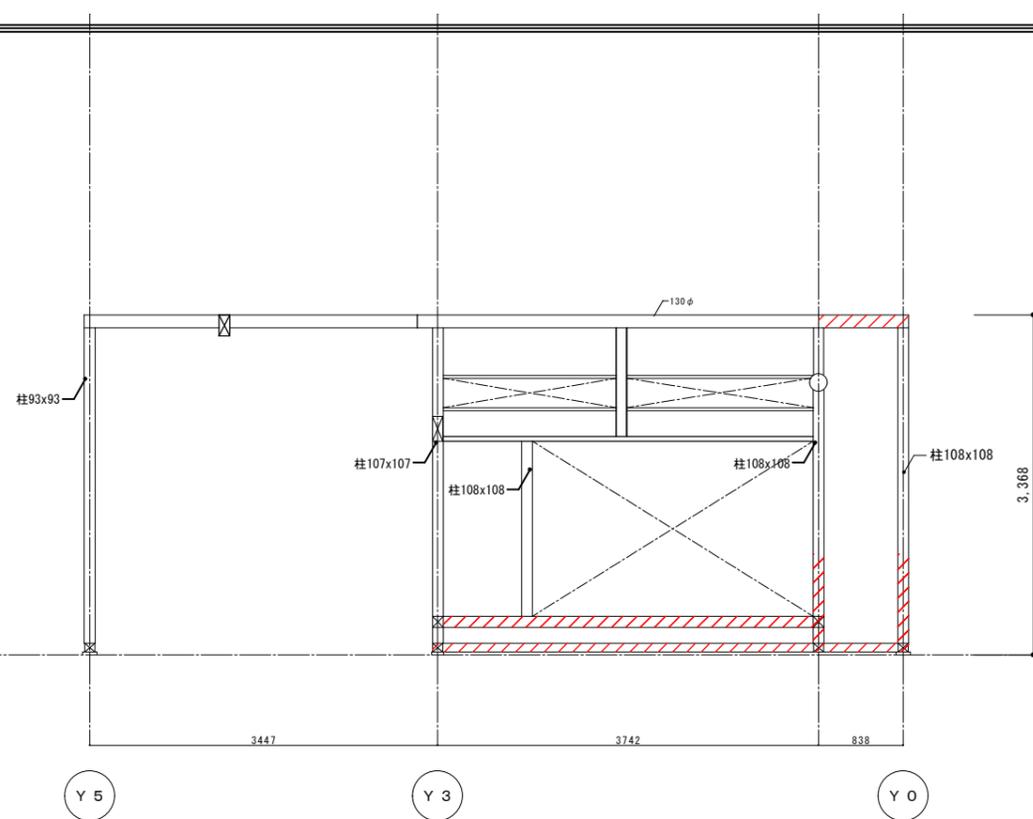


X 4 通り

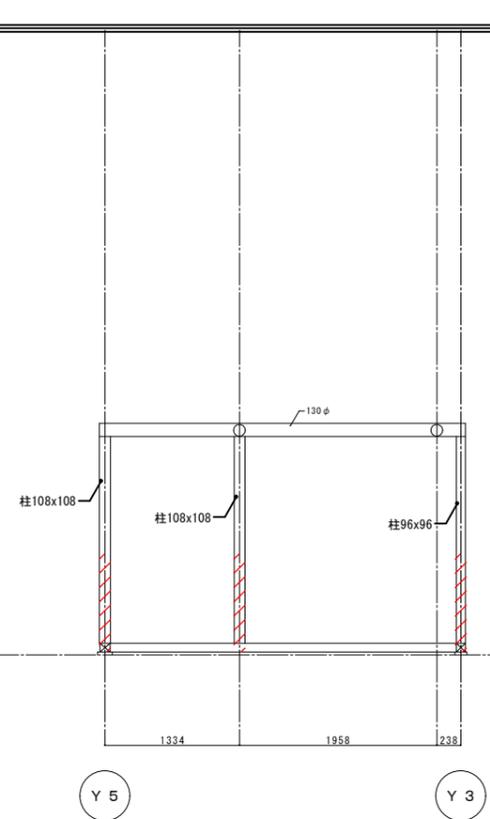
凡例

新設、改修部分を示す。(赤表記材も同じ)

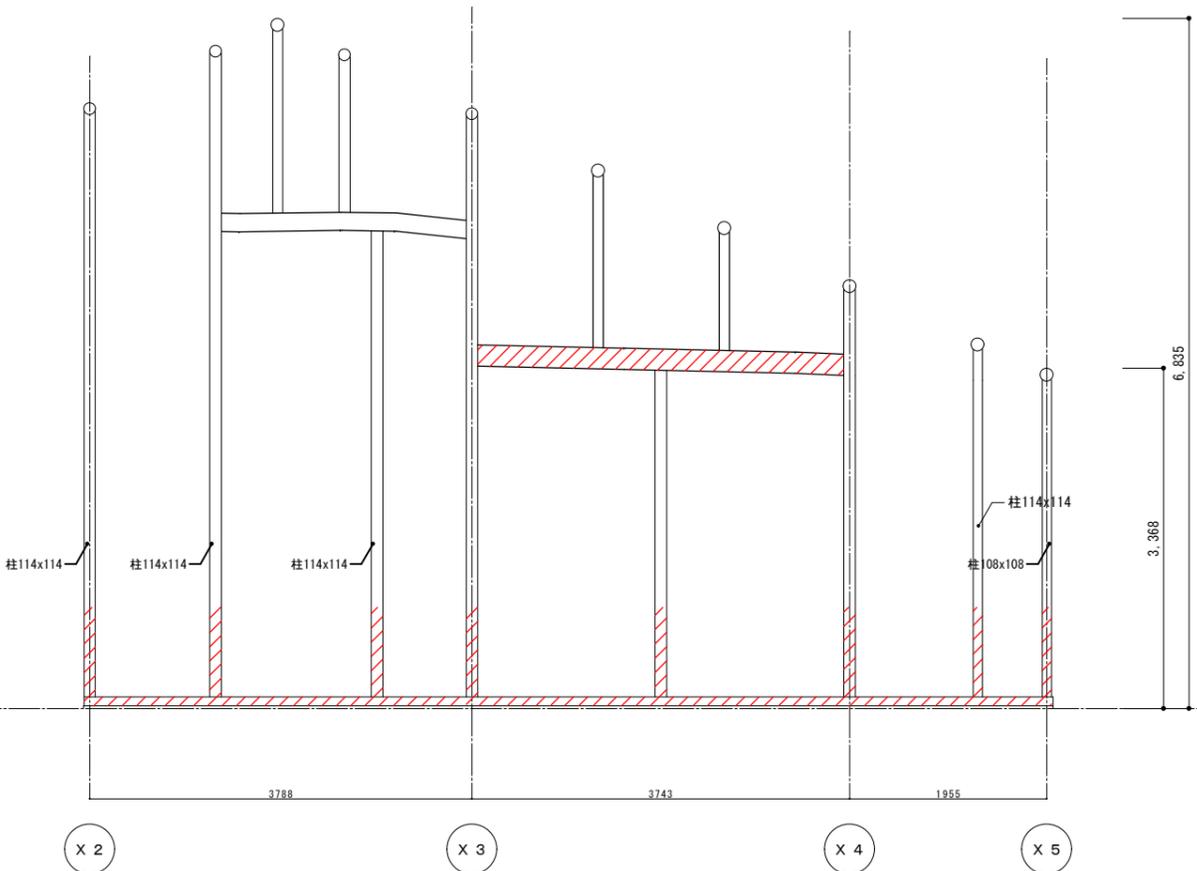
工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室			管理者	設計者	担当者	図面名 改修軸組図1	縮尺 1/70	図面NO R-34
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218			日付	日付	日付			



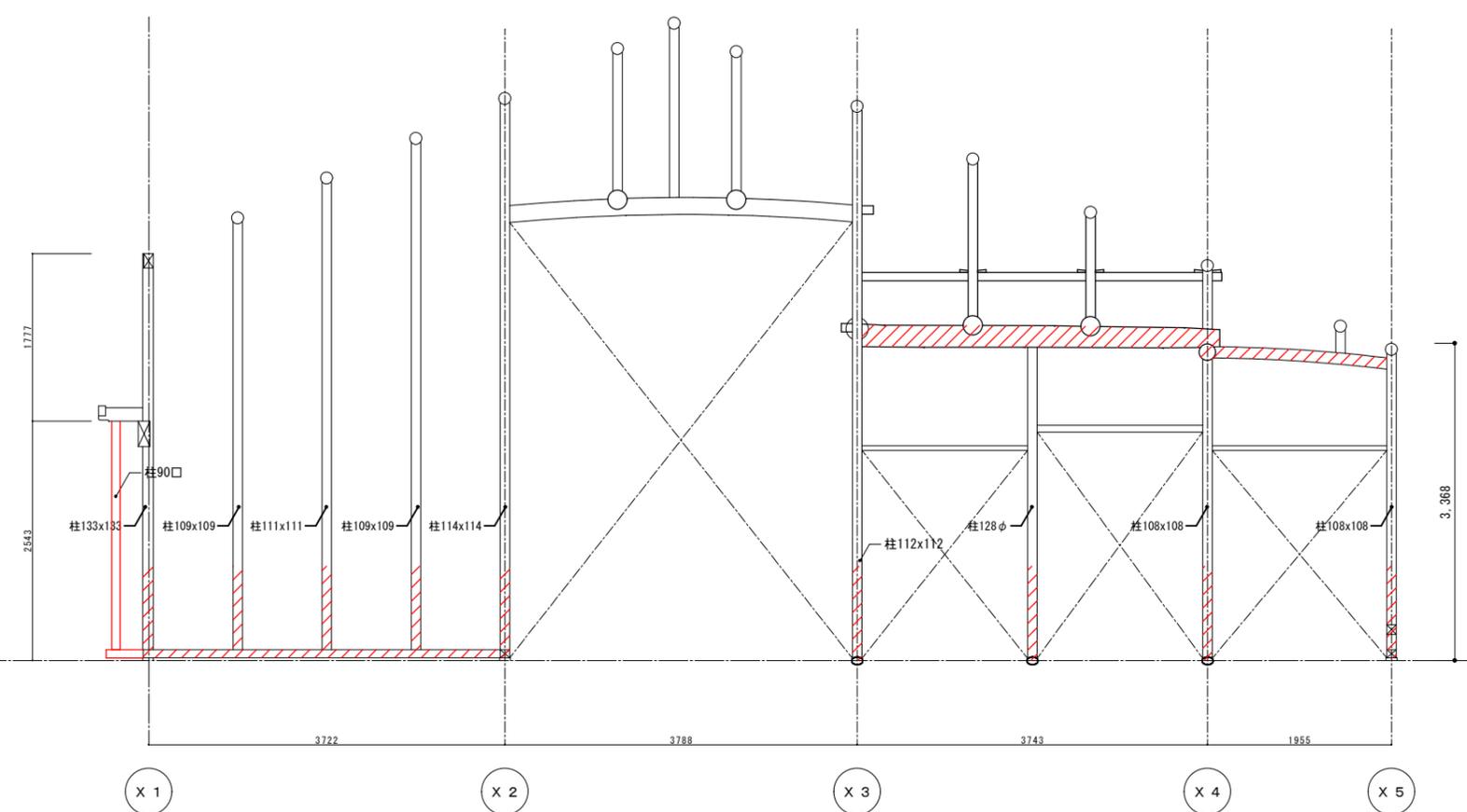
X 5 通り



X 6 通り



Y 0 通り

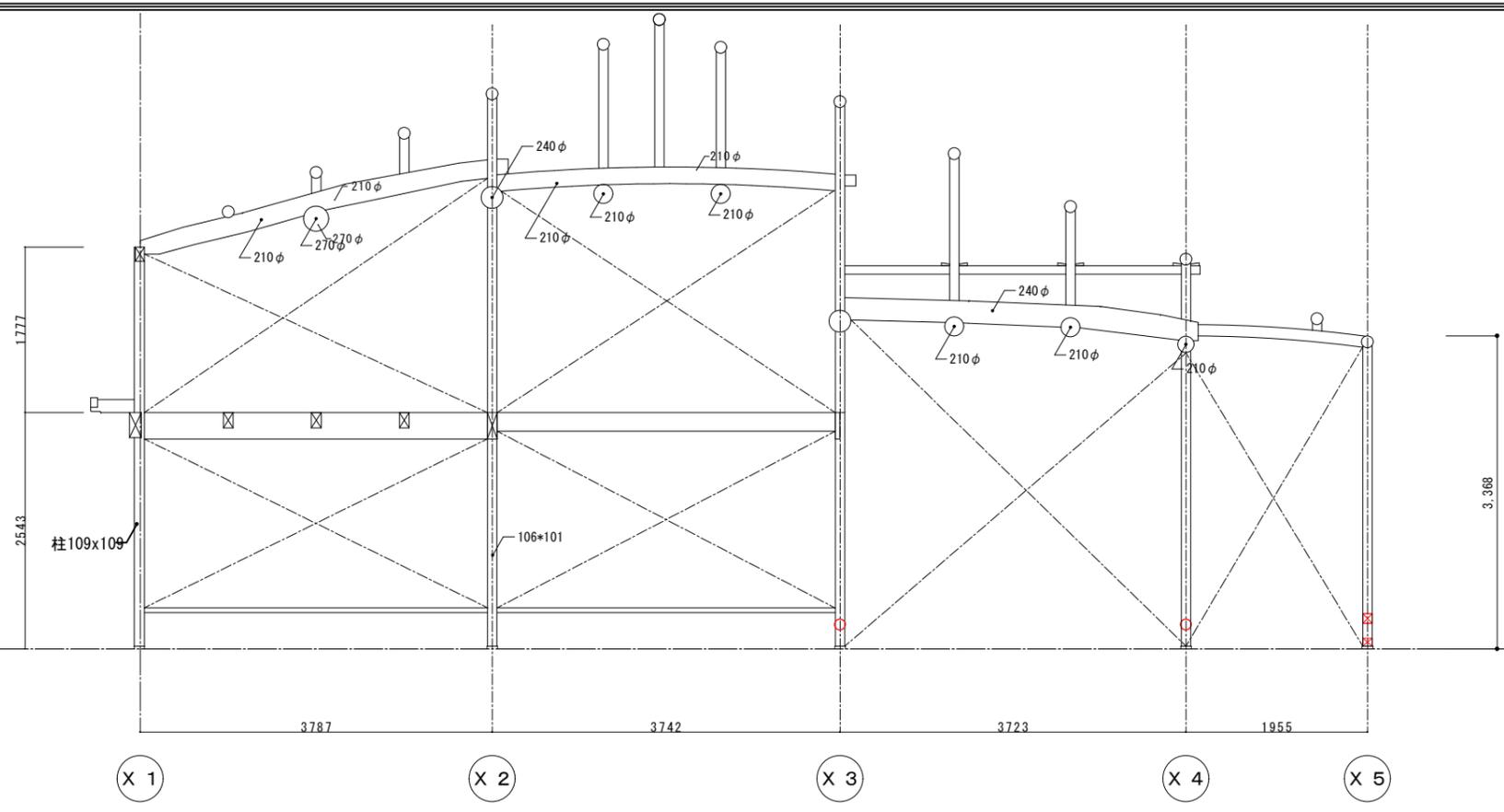


Y 1 a 通り

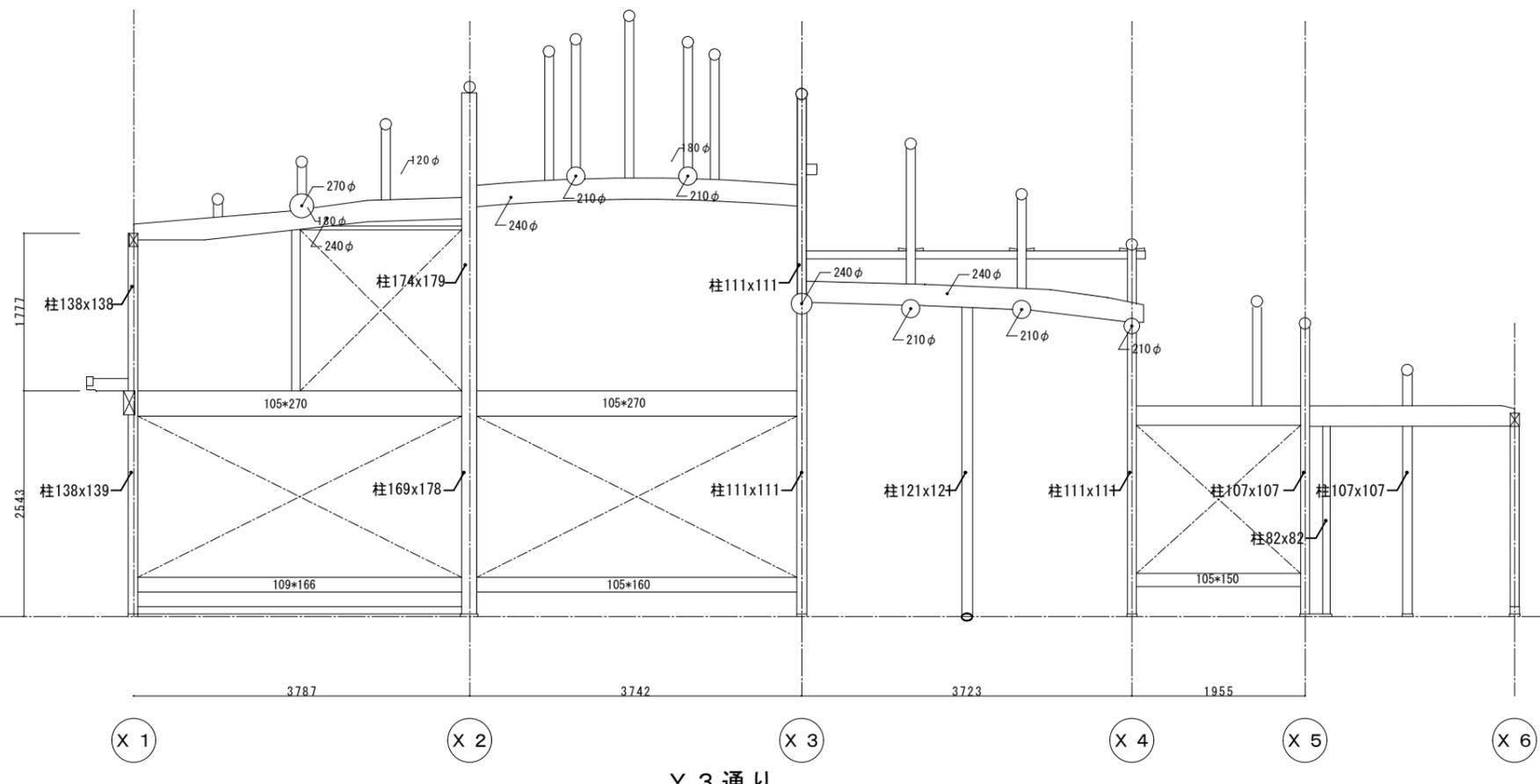
凡例

新設、改修部分を示す。(赤表記材も同じ)

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	改修軸組図2	1/70	R-35



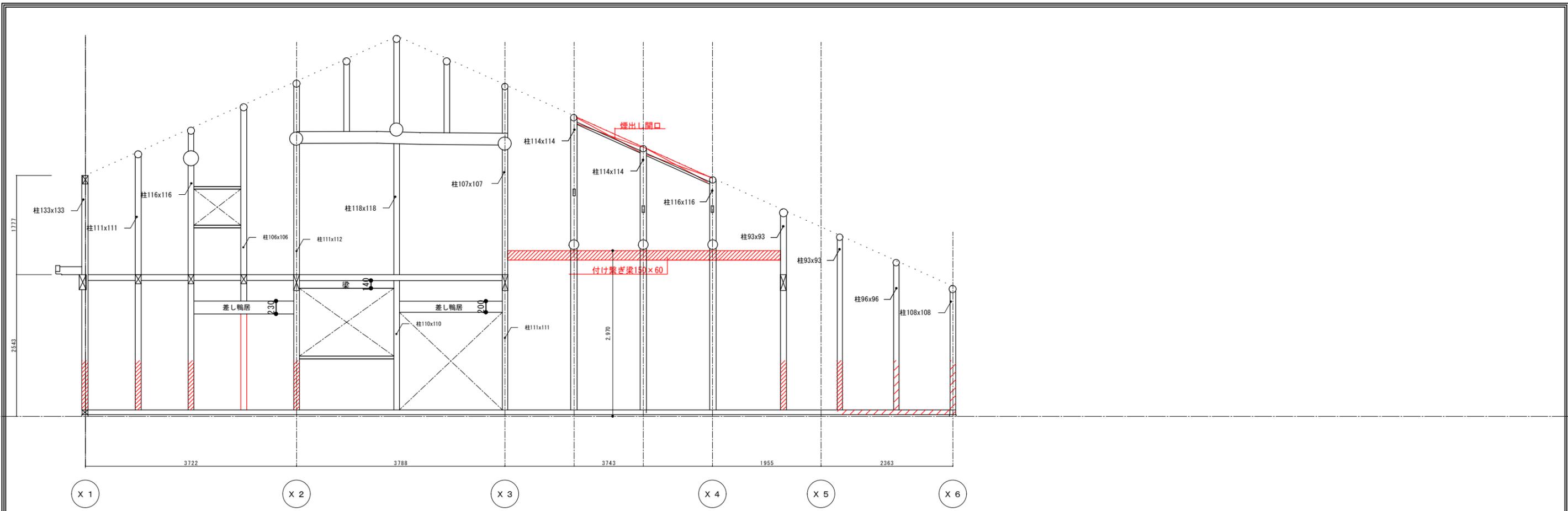
Y 1 b 通り



Y 3 通り

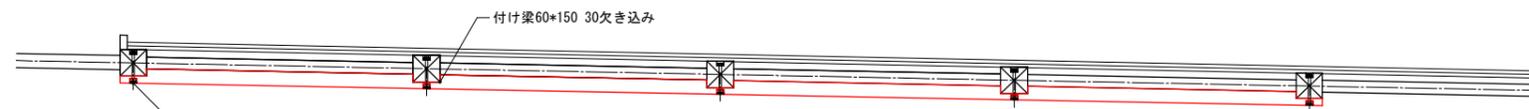
凡例  
 新設、改修部分を示す。(赤表記材も同じ)

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者 日付	設計者 日付	担当者 日付	図面名 改修軸組図3	縮尺 1/70	図面NO R-36
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218						



Y 5 通り

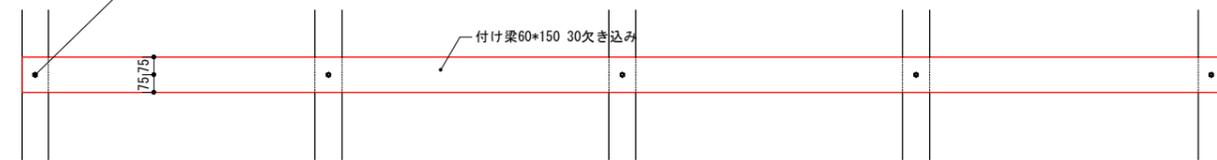
外



内

平面図

各柱 貫通ボルトM12L130 屋内側埋木



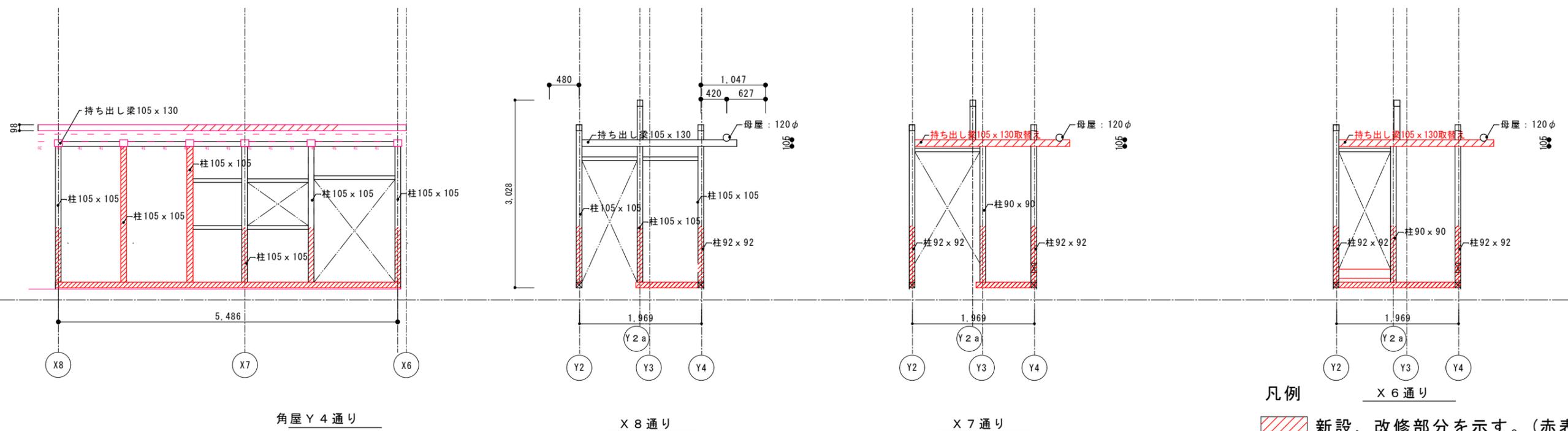
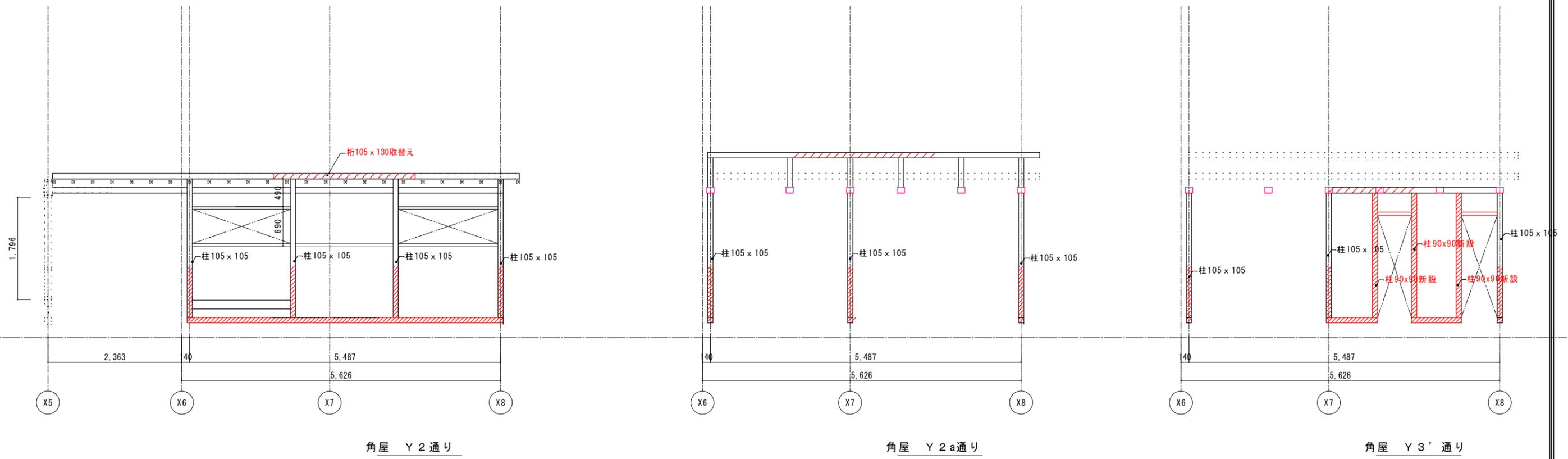
正面展開図

繋ぎ梁詳細図 1/30

凡例

新設、改修部分を示す。(赤表記材も同じ)

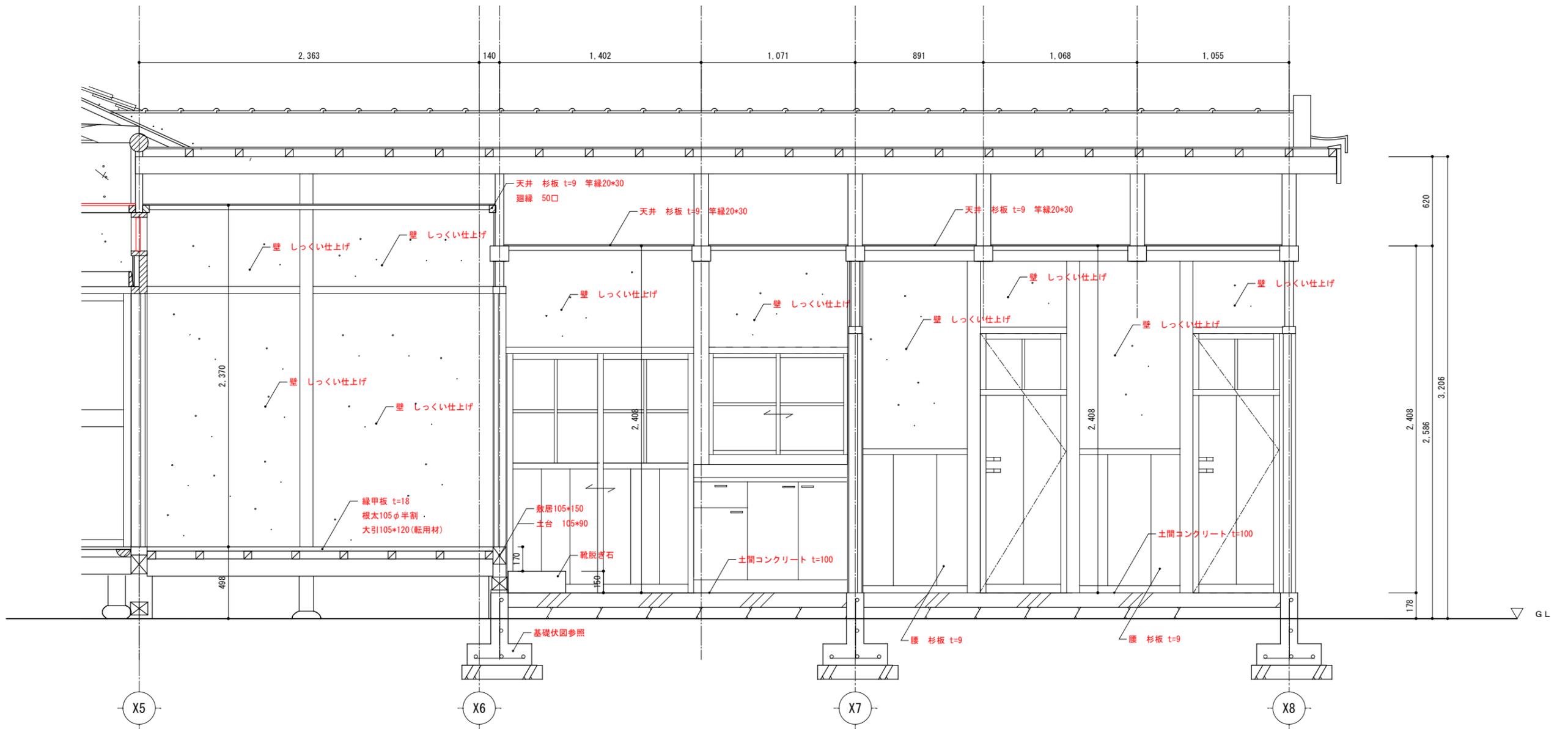
工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	改修軸組図4	1/70	R-37



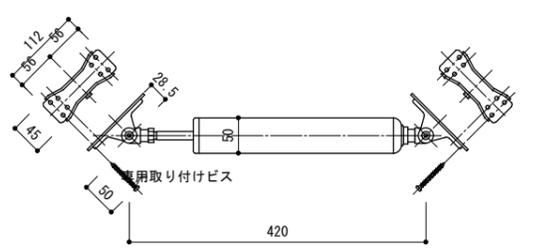
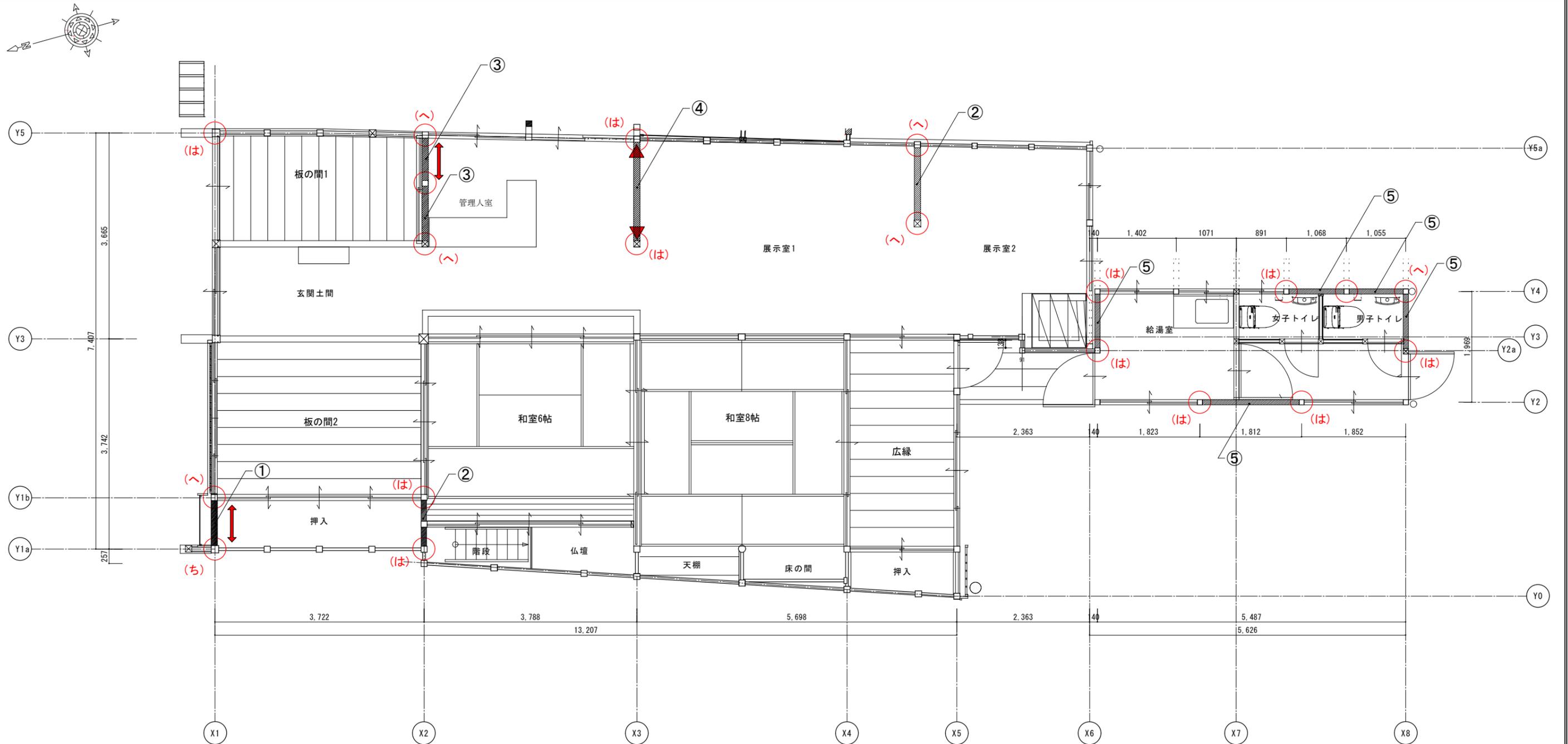
凡例

新設、改修部分を示す。(赤表記材も同じ)

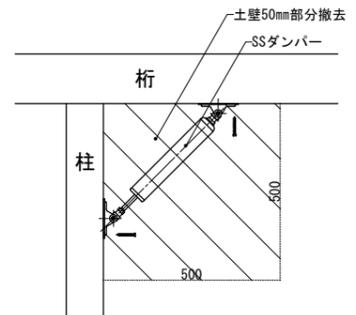
工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	改修軸組図5	1/70	R-38



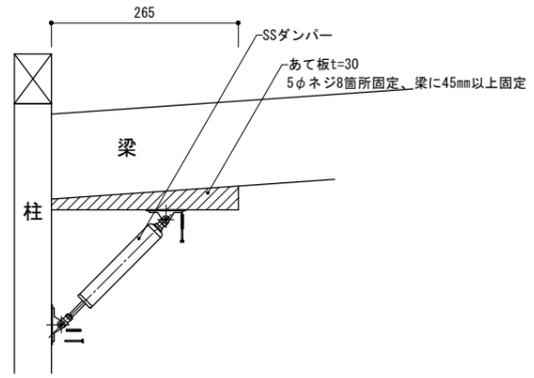
工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	改修トイレ棟断面図	1/30	R-39



油圧ダンパー寸法図 1/10



※土壁の切欠きは最小限とすること。

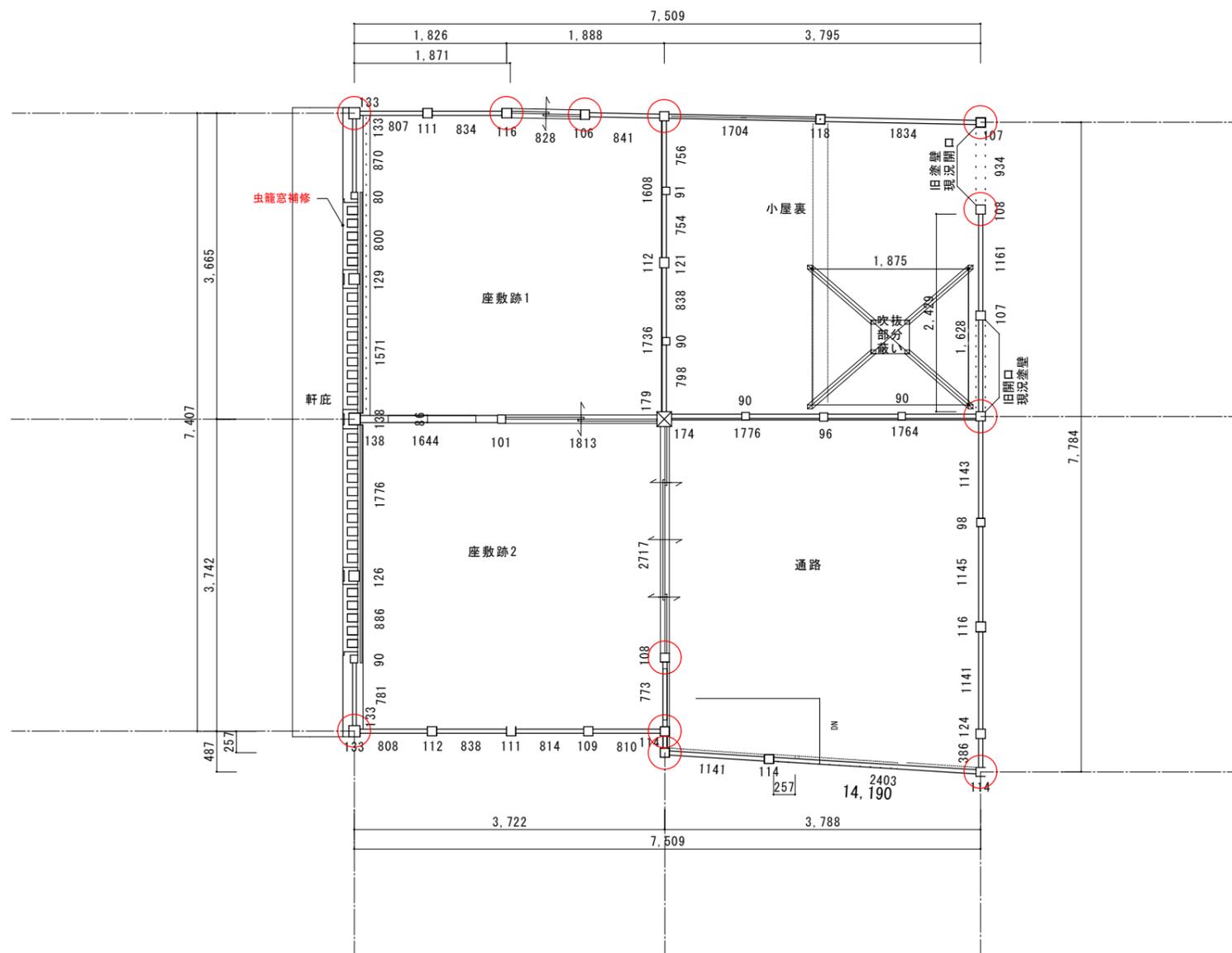


凡例

- SSダンパー-evoltz同等品(上下二段)
- SSダンパー-evoltz L220同等品
- 柱端接合金物を示す。()内は告示記号を示す。
- ① 構造用合板 t=9両面張り(真壁+大壁)
- ② 構造用合板 t=9+石膏ボード t=12 準耐力壁仕様
- ③ 構造用合板 t=9両面張り(大壁+大壁)
- ④ 構造用合板 t=9片面張り(大壁)
- ⑤ 構造用合板 t=9片面張り(真壁)

油圧ダンパー取り付け図 1/10

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	構造補強一階平面図	1/70	R-40

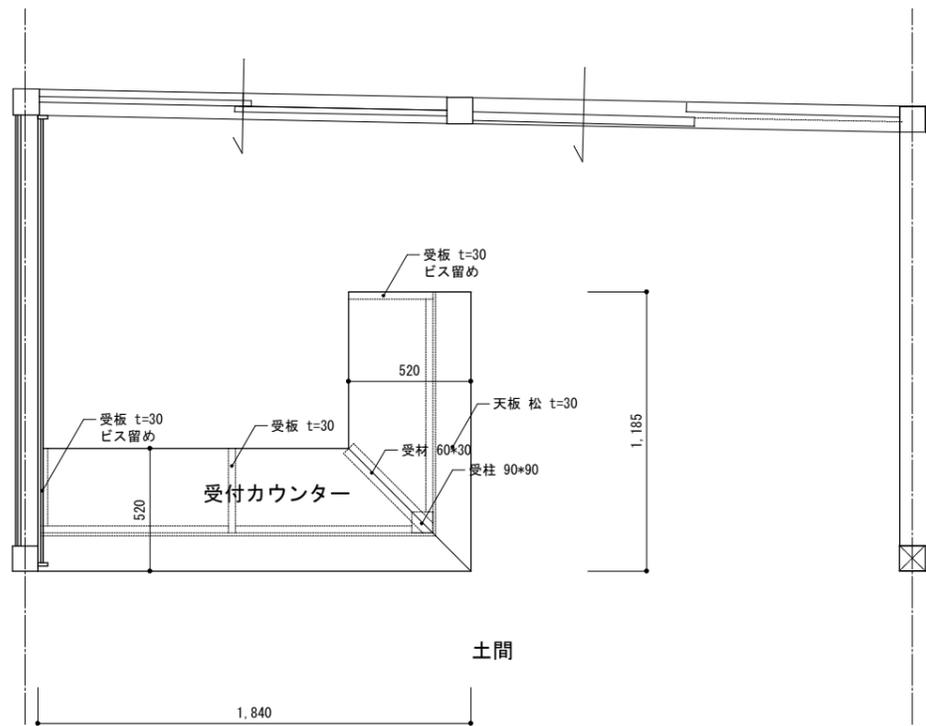


凡例

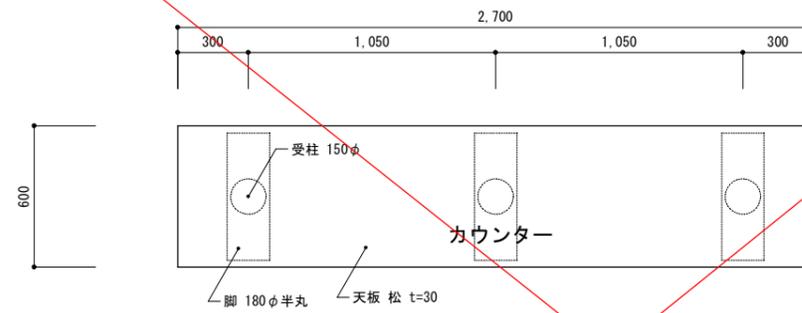


柱端接合金物を示す。告示記号(ろ)を示す。

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	構造補強二階平面図	1/70	R-41

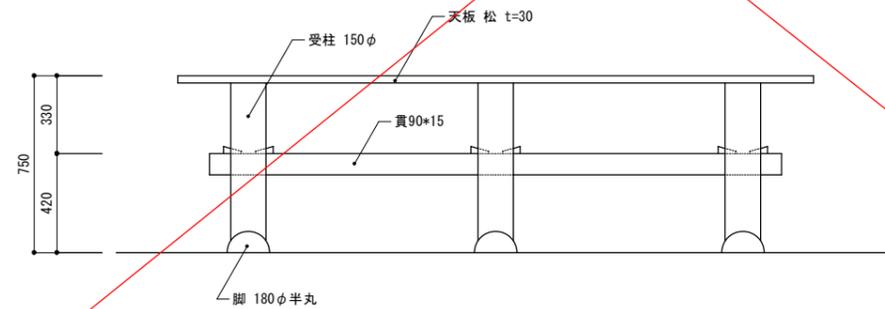


受付カウンター平面図



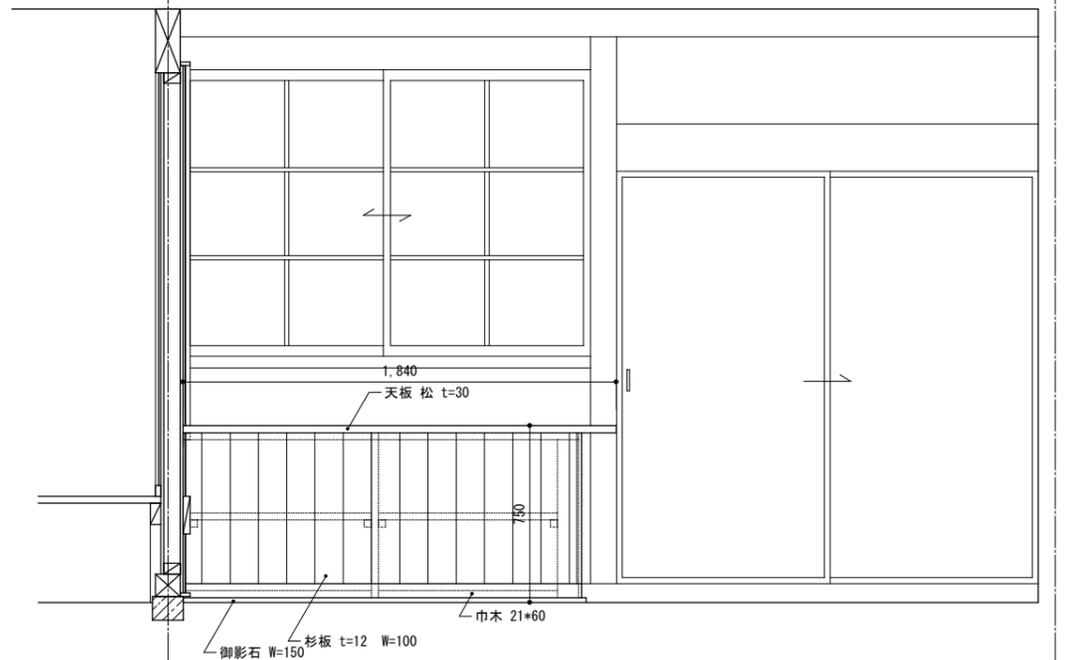
展示カウンター平面図

※木部は全て木部保護塗料二回塗り

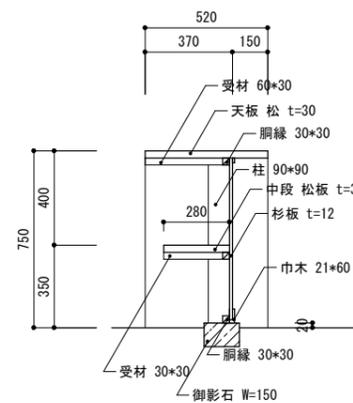


展示カウンター正面図

※木部は全て木部保護塗料二回塗り



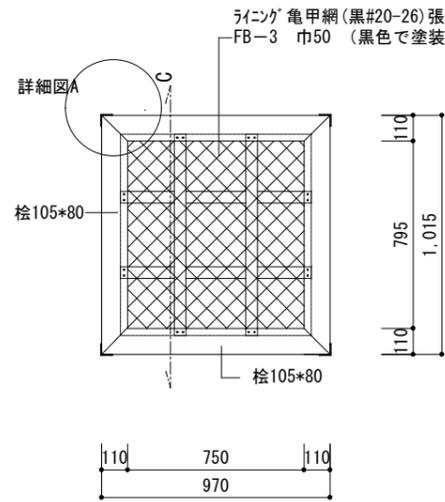
受付カウンター正面図



受付カウンター断面図

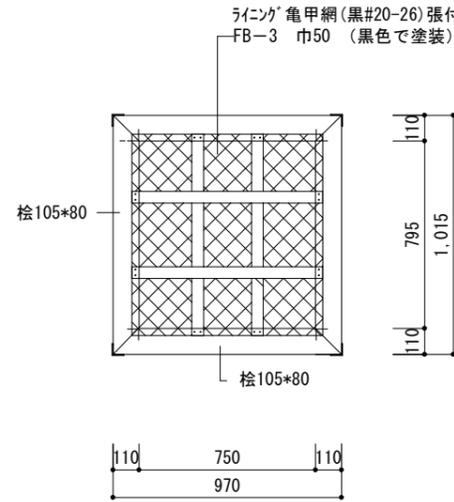
※木部は全て木部保護塗料二回塗り

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	カウンター部分詳細図	1/30	R-42



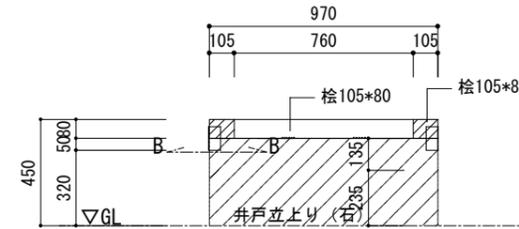
井戸蓋 平面図 1/30

※ 現存 井戸を確認のこと



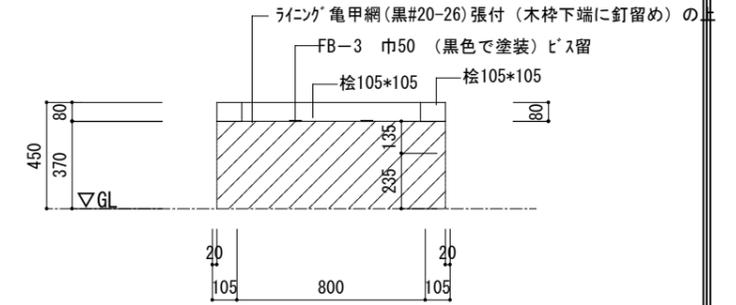
井戸蓋 裏面平面図 1/30

※ 現存 井戸を確認のこと

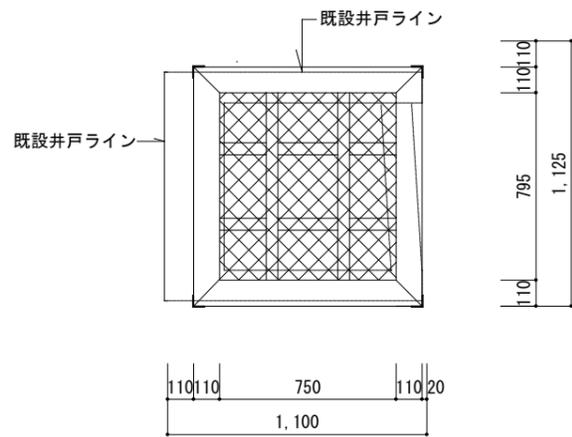


井戸蓋 正面図 1/30

※ 現存 井戸を確認のこと

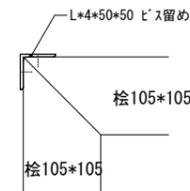


井戸蓋 C-C断面図 1/30

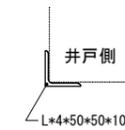


井戸蓋と井戸との取合い 1/30

※ 現存 井戸を確認のこと



詳細図A 1/10



断面図B 1/10

※木部及び鉄部は塗装を行うこと。

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	改修井戸蓋図	1/30	R-43

## 木質工事特記仕様書（1）

### 1. 一般事項

- (1) 適用範囲  
本仕様書は建築物および工作物の構造上主要な部分に木材を用いる工事に適用する。  
は適用項目を示すものとする。
- (2) 設計図書  
設計図書とは本仕様書、設計図、指示書（現場説明書および質疑回答書を含む）をいう。
- (3) 標準仕様書  
設計図書に記載なきものは「住宅金融公庫監修・木造住宅工事共通仕様書」及び「国土交通大臣官庁官庁営繕部監修・木造建築工事共通仕様書」に準ずる。  
上記の仕様書に記載なき場合は、公共規格かこれに準ずる規格を適用する。
- (4) 設計図書の優先順位  
設計図書の優先順位は下記による。  
1. 指示書（現場説明書及び質疑回答書）  
2. 設計図  
3. 本仕様書  
4. 標準仕様書
- (5) 疑義  
疑義を生じた場合や工法の提案を行いたい場合には監理者に申し出、その処理方法について協議する。
- (6) 製作要領書及び施工計画書の作成・提出  
工事に先立ち、製作要領書や施工計画書を作成し、監理者の承諾を受ける。
- (7) 施工図及びプレカット図の提出  
工事に先立ち各種の施工図を作成し監理者の承諾を受ける。また、必要に応じて接合部のモックアップの作成を行う。プレカット工場を使用する場合には、プレカット図を施工図と位置づける。
- (8) 製作工場の選定、承諾  
設計図書に基づき、当該工事の規模、加工内容に応じた技術と設備を備え、かつ自主管理能力を有した製作工場及び木工技能者を選定し、監理者の承諾を受ける。
- (9) 各種試験・検査報告書の提出  
施工者は、各種工事の試験・検査結果ならびに施工記録を提出する。

### 2. 材料の品質

#### 2.1 木質材料

- (1) 針葉樹の構造用製材、広葉樹の製材、枠組壁工法構造用製材  
本項の内容は特記無き限り、針葉樹の構造用製材及び広葉樹の製材及び枠組壁工法構造用製材等の日本農林規格に準ずること。
- | 部 位 | 品 名   | 樹 種 | 区分、等級       | 含水率 | その他 |
|-----|-------|-----|-------------|-----|-----|
| 梁   | 構造用製材 | スギ  | 甲 Ⅰ-2級かつE70 | D20 |     |
| 柱   | 構造用製材 | スギ  | 乙 Ⅰ-2級かつE70 | D20 |     |
|     |       |     |             |     |     |
|     |       |     |             |     |     |
|     |       |     |             |     |     |
|     |       |     |             |     |     |

- 記入無き梁桁、母屋、タル木等の曲げ材のうち、見えがかり材は目視等級材の甲種2級、見えない部分の木材は甲種3級とする。その他は乙種2級とする。
- 主要構造部には機械等級区分製材を用いることを原則とする。
- 乾燥の際割れを行う。但し見えがかり部・相欠き部材・構造用合板の釘接合面には行わない。
- 含水率は平均含水率とし下地材等に用いる場合でも含水率D25以下であることを確認する。
- 強度等級を指定した材料は特に、材料の欠点の節、目切れ等に注意して材料を選定し、仕口や接合部に欠点が生じないように加工する。
- 材の曲がりについては、上記にかかわらず目視等級1級相当とする。

#### (2) 構造用集成材、構造用単板積層材 (LVL)

本項の内容は特記無きかぎり構造用集成材及び構造用単板積層材の日本農林規格に準ずること。

部 位	品 名	樹 種	曲げヤング係数区分	材 質	接 着	ホルムアルデヒド放 出 量
	等 級		水平せん断性能区分	品 質	性 能	
桁・梁	構造用集成材	べいまつ			環 境 I	F****
	E105-F160 E105-F170					
柱	構造用集成材	桧			環 境 I	F****
	E105-F160 E105-F170					
土台	構造用集成材	桧			環 境 I	F****
	E105-F160 E105-F170					

#### (3) 構造用合板、構造用パネル

本項の内容は特記無きかぎり構造用合板及び構造用パネルの日本農林規格に準ずること。

部 位	品 名	強度等級	曲げ性能基準合板1級	板面品質	接 着	寸法 (mm)	ホルムアルデヒド放 出 量
					耐 久 性 <td>厚 (巾×長)</td> <td></td>	厚 (巾×長)	
耐力壁	構造用合板	1級	E50-F160	C-D	特類	9mm	F****
屋根	構造用合板	2級		C-D	特類	12mm	F****

- ・構造用合板はできるだけ大きい寸法のものを用いる。

### 2.2 ファスナー

ここに示すファスナーや接合金物などは、木質構造の接合部に適用する。ファスナーや接合金物等に錆を生じるおそれのある場合は適切な防錆処理を施す。鋼材の表面処理は特記による。  
標準メッキ処理は、溶融亜鉛メッキ： 電気メッキ：

#### (1) くぎ、木ネジ、特殊ネジ

種 類	材 質	適 用 径	使用箇所 頭部/胴部の形状
<input checked="" type="checkbox"/> N釘	・鉄 ・スズメ鋼	N19~N150	
<input type="checkbox"/> CN釘	・鉄	CN25~CN150	耐力壁、床板、屋根
<input type="checkbox"/> BN釘		BN25~BN125	
<input type="checkbox"/> ZN釘		ZN45~90	
<input checked="" type="checkbox"/> GN釘		GN25~GN125	石膏ボード用
<input type="checkbox"/> SN釘		3.05 mm	シーリングインシュレーション ファイバーボード
<input type="checkbox"/> 木ネジ	・軟鋼線材		
<input type="checkbox"/> 特殊ネジ	・スズメ鋼		
<input type="checkbox"/> コースレッド	・真鍮		

#### (2) ボルト、ナット

種 類	材 質	適 用 径	表面処理、部品等級など
<input checked="" type="checkbox"/> 呼び径六角ボルト	・SS400	M3~M36	・電気メッキ
<input type="checkbox"/> 有効径六角ボルト	・SS400	M3~M20	
<input type="checkbox"/> 全ネジ六角ボルト	・SS400	M3~M36	
<input type="checkbox"/> ステンレスボルト	・SUS304		
<input checked="" type="checkbox"/> アンカーボルト	・SS400	M12~M24	・溶融亜鉛メッキ

- ・材質は鋼、ステンレス鋼、非金属。径と長さの組み合わせは「JIS B 1180」参照。

#### (3) 産金

適 用	材 質	適 用 径	形状・表面処理	その他
<input checked="" type="checkbox"/> 産金	・SPCC (JIS S 3101)	M8~M24	・角産金・丸産金	
<input type="checkbox"/>	・SPHC (JIS S 3141)		・電気メッキ	

- ・産金は用途ごと（引張、せん断）に下表により使い分ける。

ボルト径に対する産金の大きさ	8	10	12	16	20	24
引張を受けるボルト	厚さ 4.5	4.5	6	9	9	13
	角産金の一边	40	50	60	80	105
	丸産金の直径	45	60	70	90	120
せん断を受けるボルト	厚さ 3.2	3.2	3.2	4.5	6	6
	角産金の一边	25	30	35	50	60
	丸産金の直径	30	35	40	60	70

#### (4) ドリフトピン、コーチスクリューボルト、ジベル、シアプレート、木栓

種 類	材 質	適用径・長さ	表面処理、その他
<input type="checkbox"/> ドリフトピン	・SS400	φ9~φ19	・電気メッキ
<input checked="" type="checkbox"/> コーチスクリューボルト (ラグスクリュー)	・SBRCH10R (JIS S 3507)	φ9~φ19	・電気メッキ
<input type="checkbox"/> スプリットリング	・SS400	φ64、φ102	
<input type="checkbox"/> シアプレート	・		・電気メッキ
<input type="checkbox"/> 木栓	・堅木	M12~M24	

- ・木栓はナラ・ケヤキ・カシ等で気乾比重0.6以上の広葉樹とし、節や目切れ等の欠点の無いものとする。

#### (5) 接合金物、鋼材

種 別	材 質	表面処理	適用、形状、その他
<input checked="" type="checkbox"/> Zマーク	・		
<input type="checkbox"/> Cマーク	・		
<input checked="" type="checkbox"/> 引寄せ金物	・		
<input checked="" type="checkbox"/> その他の金物	・		
<input type="checkbox"/> 鋼材	・SS400	・溶融亜鉛メッキ	・設計図中の特記による

#### (6) 接着剤（接着接合）

- ここでいう接着接合とは、建設現場で用いるものを対象とし、内容は特記による。

### 3. 材料品質の検査方法

現場または加工工場に搬入された製材等は、加工に先立ち下記の変種を受け入れ検査を実施し、監理者に報告する。また監理者の立会いを要する検査については、指定された試験要領に基づいて、適時抜取り検査を実施する。社内検査で試験本数や抜取り率の指定がない場合は原則全数とする。検査の結果、性能を満たさない材料については適用箇所を変更する等の措置を行うこと。

#### (1) 針葉樹の構造用製材、広葉樹の製材、枠組壁工法構造用製材

部 材	確認する仕様	確認者	材質等級	外観検査	寸法検査	含水率測定		ヤング係数測定	
						表示	全乾重量法	含水率計	表示
測梁 G1	スギ	社内	100	100	100	10本	100	10本	100
柱	スギ	社内	100	100	100	検査後			
	ヒノキ	社内	100	100	100	検査後	10		
トラス桁	スギ	社内	100	100	100	検査後	10		
	ヒノキ	社内	100	100	100	検査後	10		
梁・桁	スギ	社内	100	100	100	検査後	10		
	ヒノキ	社内	100	100	100	検査後	10		

(数値は%を示す)

- ・監理者欄の○は立会い検査が必要であることを示す。
- ・材種・等級は表示を確認し、外観・寸法検査は日本農林規格に準じて行う。
- ・含水率やヤング係数は刻印された表示の確認を原則とし、全乾重量法や動的曲げ試験は公的試験場にて行う。含水率計は住木センター認定品を、曲げヤング係数は全国木材組合連合会の認定品を用いて測定することを原則とする。
- ・全乾重量法や静的曲げ試験は1荷口につき確認する試験本数を示す。試験体は実際に使用する同一部材の中から抽出し、木材の試験方法（JIS Z 2101）に準ずる。
- ・動的曲げ試験の判定基準は日本農林規格の針葉樹の構造用製材、合板、パネル、の強度区分材に準ずる。
- 含水率測定は、乾燥作業直後に行う。

#### (2) 構造用集成材、構造用単板積層材 (LVL)

材 料	確認項目	確認の方法
構造用集成材	部材、断面、長さ、数量 樹種、品名、強度、材面の品質、接着性能、ホルムアルデヒド放数量	<input checked="" type="checkbox"/> 製造工場の認定書等の写し
構造用LVL	部材、断面、長さ、数量 樹種、曲げヤング係数、水平せん断、接着性能、ホルムアルデヒド放数量	<input checked="" type="checkbox"/> 日本農林規格 (JAS) 表示の確認
構造用合板	寸法、数量 強度、曲げ性能、板面の品質、接着耐久性、ホルムアルデヒド放数量	<input type="checkbox"/> 立会い目視検査
構造用パネル	寸法、数量 強度、ホルムアルデヒド放数量	

#### (3) ファスナー

ファスナーの種類	確認項目	確認の方法
<input checked="" type="checkbox"/> くぎ	・材質、頭・頭径部、長さ、仕上げ	<input checked="" type="checkbox"/> ミルシートの写し
<input type="checkbox"/> 木ネジ類	・材質、径、長さ、仕上げ	<input checked="" type="checkbox"/> 表示の確認
<input checked="" type="checkbox"/> ボルト・ナット	・材質、径、長さ、仕上げ	<input type="checkbox"/> 木栓曲げ試験
<input checked="" type="checkbox"/> 産金	・材質、径、仕上げ	
<input type="checkbox"/> ドリフトピン	・材質、径、長さ、仕上げ	
<input checked="" type="checkbox"/> コーチスクリューボルト	・材質、径、長さ、仕上げ	
<input type="checkbox"/> スプリットリング	・材質、径、形状、仕上げ	
<input type="checkbox"/> シアプレート	・材質、径、形状、仕上げ	
<input type="checkbox"/> 木栓など	・樹種、曲げ強度、比重	

- ・設計図書に明記されたファスナーであることを確認すること。同等性能のファスナーを用いる場合には、その主旨を監理者に申し出、承諾を得ること。また必要に応じて立会いによる性能確認を実施する。

#### (4) 接合金物

接合金物	確認項目	確認の方法
<input checked="" type="checkbox"/> Zマーク金物	・材質、形状、仕上げ	<input checked="" type="checkbox"/> ミルシートの写し
<input type="checkbox"/> Cマーク金物	・材質、形状、仕上げ	<input checked="" type="checkbox"/> 表示の確認
<input checked="" type="checkbox"/> 引寄せ金物	・材質、形状、仕上げ	
<input checked="" type="checkbox"/> その他の金物	・材質、形状、仕上げ、製造所	
<input type="checkbox"/> 鋼材	・材質、形状、仕上げ、溶接	

- ・設計図書等に明記された接合金物であることを確認する。同等認定品や性能認定品を用いる場合には、その内容を監理者に申し出、承諾を得る。

### 4. 耐久性（防腐・防蟻・耐候処理）

#### (1) 木材の防腐・防蟻処理

- ・高耐久材の使用（注：製材の心材あるいは心持ち材又は集成材）
- ・工場処理材（注：現場の加工、切断、穿孔箇所等は、現場処理に準じる）  
JAS保存処理材： K5 K4 K3 K2  
AQ認証保存処理材： 1種 2種 3種
- ・現場処理（注：給排水用塩化ビニル管に接する部分は、管を保護する）  
○ 塗布 ○ 吹付 ○ 浸漬（処理量 300ml/m<sup>2</sup>、一処理回数2回）  
日本しろあり対策協会または日本木材保存協会の認定品とする

使用部位	高耐久材	工場処理剤	現場処理剤
土台	<input type="checkbox"/> ひば	<input type="checkbox"/> K3 <input type="checkbox"/> ( )	<input checked="" type="checkbox"/> 塗布
外周柱下部1m	<input checked="" type="checkbox"/> ひのき	<input type="checkbox"/> K3 <input type="checkbox"/> ( )	<input checked="" type="checkbox"/> 塗布
水周り	<input checked="" type="checkbox"/> ひのき	<input type="checkbox"/> K3 <input type="checkbox"/> ( )	<input checked="" type="checkbox"/> 塗布
その他	<input checked="" type="checkbox"/> ひのき	<input type="checkbox"/> K4 <input type="checkbox"/> ( )	<input type="checkbox"/> ( )

#### (2) 土壌処理

- 防蟻薬剤による処理：薬剤（ ）  
特記無き場合は、日本しろあり対策協会または日本木材保存協会認定品、あるいはこれと同等以上の効力を有するものとする。
- 防蟻薬剤による処理と同等以上の対策（べた基礎）  
○土壌処理省略 ○北海道 ○東北 ○北陸  
注：処理範囲は、外周部基礎の内側、内部部基礎の周辺20cm、東石等の周囲20cmを標準とし、処理方法は日本しろあり対策協会の標準仕様書に準じる。

#### (3) 耐候処理（塗装）

- 塗膜型、○含浸型、○部位（ ）

### 5. 木材の加工

- (1) 刻み時の注意  
製材に背割りのある場合、曲げ材は断面の弱軸と背割りの方向を一致させる。
- (2) 加工寸法の精度（下記の値を標準とする）
- ・構造用製材、枠組み壁工法用構造用製材の断面寸法
    - 図面表示が抜き立て寸法の場合： ±1.5mm以下
    - 図面表示が仕上がり寸法の場合： +1.5mm、-0mm以下
  - ・構造用製材、枠組み壁工法用構造用製材の材長
    - 軸組工法の継手仕口の場合： ±1.5mm以下
    - ボルト接合法の場合： ±5mm以下
  - ・集成材、構造用単板積層材
    - 短辺： ○ ±1.5mm
    - 長辺： ○ ±1.5%かつ±5mm以下
    - 材長： ○ ±5mm以下 ○ ( )
  - ・ボルト穴径： d+1.5mm (d≦M12)、d+2.0mm (d≧M16) (dはボルト径)
  - ・ドリフトピンの穴径： d±0mm (dはボルト径)
- (3) 表面仕上げ  
○製材： プレーナー 化粧材： サンダー 野物材： 板材： 板材：
- (4) 面取り  
○柱： ( ) mm  
○梁： ( ) mm

### 6. 接合

#### (1) 仕口、継手の原則

- ・仕口、継手の方法は構造図による。特記無き場合は 1. (3) 標準仕様書に示された在来工法用の一般的な適用慣例に従う。一般的な適用慣例については、9. 軸組接合法部標準仕様による。
  - ・採用する方法は監理者の承諾を得る。
  - ・仕口、継手の各部に作用する応力を考慮し、部材の引き抜けが生じないように、原則として羽子板ボルトや木栓など、引張り抵抗を有する補強部材を併用する。
- (2) 釘接合
- ・釘は材の繊維に対して乱に打ち、割れを生じないように端距離、縁距離、釘間隔を大きく取る。
  - ・釘の長さは材厚の2.5倍以上とする。
  - ・1ヶ所の釘の本数は2本以上とする。
  - ・釘に錆を生じるおそれのある場合は、適切な防錆処理を施す。
  - ・自動釘打ち機を使用する場合は、面材に釘がめり込まないようにする。そのために、釘打ち機の圧力を弱めるか、最後は手打ちを用いるなどの方法による。
  - ・構造用面材を耐力壁とする場合の釘打ち方法は「昭和56年建設省告示1110号」による。
  - ・構造耐力上主要な部分において、釘を引き抜き方向に抵抗させることは避ける。
  - ・小口面に打たれた釘は、引き抜き方向に抵抗させることはできない。
- (3) 木ネジ接合
- ・構造耐力上主要な部分において、木ネジを引き抜き方向に抵抗させることは避ける。
  - ・小口面にねじ込まれた木ネジは、引抜き方向に抵抗させることはできない。
  - ・木ネジの先孔の径： 針葉樹・・・主材  $d \geq d_1$ 、側材  $d \geq d_2$  (dはボルト径)  
広葉樹・・・主材  $d \geq d_1$ 、側材  $d \geq d_2$   
(先孔の深さは、主材へのねじ込み深さの2/3程度とする。)
  - ・ねじ込みには適切な道具を使い、ハンマーなどで打ち込んでではない。
  - ・ねじ込みを容易にしたり、損傷させないために潤滑油を用いてもよい。
- (4) ボルト接合
- ・締め付けに先立ち、ボルトの長さ、材質、呼び径、産金等が施工箇所に適しているものであることを確認する。
  - ・ボルト接合部付近に節・目切れなどの欠点がある場合は、ボルト本数を適切に増加する。
  - ・ボルトの締め付けは、産金が部材にめり込む程度とし、めり込み音が発生した時点で締め付けを完了する。
  - ・締め付けを完了したボルトは、ねじ部がナットから2山以上突き出ていることを確認する。
  - ・一度締め付けたボルトについても、木材の収縮によるボルトの緩みをチェックし、緩んだものについては再度締め直しを行う。
- (5) コーチスクリュー接合
- ・構造耐力上主要な部分において、コーチスクリューを引き抜き方向に抵抗させることは避ける。
  - ・コーチスクリューの配置間隔、縁距離および端距離、使用する産金は同じ脚部径のボルトに準ずる。
  - ・脚部の先孔の径は脚部と同径とし、長さも脚部と同寸とする。
  - ・ネジ部の先孔の径： 比重0.4以上の樹種・・・ネジ径の ~ % 60 70  
その他の樹種・・・ネジ径の ~ % 40 70  
(長さはネジ部の長さと同寸とする。)
  - ・コーチスクリューは先孔にレンチなどで回しながら挿入し、ハンマーなどで打ち込んでではない。
  - ・ねじ込みを容易にするためや、損傷させないために潤滑油を用いてもよい。
- (6) ドリフトピン接合
- ・ボルトやコーチスクリュー等と併用し、ドリフトピンの変形にともなう部材の開きを防止する。
  - ・ドリフトピンは孔に密着させる。
  - ・一度締め付けた併用ボルトについても、木材の収縮によるボルトの緩みをチェックし、緩んだものについては再度締め直しを行う。

工事名

関の山車会館管理・展示棟改修工事

亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室

〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218

管理者

日付

設計者

日付

担当者

日付

図面名

構造特記仕様書1

縮尺

—

図面NO

R-44

木質工事特記仕様書(2)

- (7) ジベル接合
- ・木部材は接合部付近の割れ、節、目切れなどの欠点に注意し、彫込み・打ち込みまたは圧入に際して割れを生じないよう、ジベルの種類に応じた断面と余長をもたせる。
  - ・接合材は十分圧着させる。木材の収縮によるボルトの緩みをチェックし、緩んだものについては再度締め直しを行う。
- (8) 既成金物の接合
- ・羽子板ボルト、ひら金物、短冊金物、かね折り金物および箱金物などの取り付けは、それぞれの仕様に基づき、接合両材の間に密着するように締め付ける。
- (9) 接着接合
- ・接合部の耐力は、使用材料および使用方法に適した接着性能の試験を行い確認する。
  - ・接着剤を用いた接合を行う手順は、接着剤製造業者の推奨する接着仕様に従うとし、実験によって接合部に要求される耐力と耐久性が立証された場合はその際の作業条件を標準とする。
- (10) その他の方法による接合
- ・使用材料および使用方法は構造図によるものとし、監理者の承認を得る。

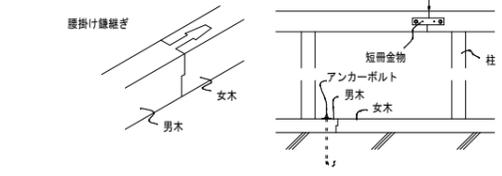
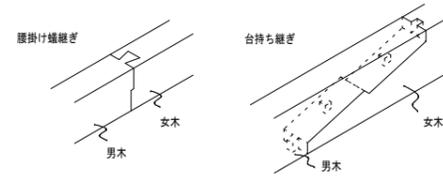
7. 運搬・建て方

- (1) 輸送計画
- 製品の輸送に当たっては、建方計画に支障がないように、道路状況、現場作業手順等を考慮し十分な検討を行う。また、輸送時に製品の品質を損なわないようにする。
- 輸送計画書の提出 [ ]
- (2) 集積・保管
- 集積の際は適当な受け台などを設け、材にねじれや曲がりの損傷を与えないように注意する。降雪や降雨に対する保護としてシート養生を行う。ただし、エアコンの効いた室内は乾燥による割れが発生するため避ける。 □ 集積場の確認 [ ]
- (3) 建方計画
- 建方計画書の提出
- アンカーボルトの施工方法、建方スペース、建方機械、搬入・仕分け、地組み、足場計画、建方、養生、安全対策などについて検討し、建方計画書としてまとめる。
- (4) 施工時の安全性
- 建方作業中および作業後、横架材上に諸材または機械などの重量物を積載する場合、あるいは柱に大きな引張力を与えるなどの場合は監理者の承認を受ける。また、強風などによる諸外力に対しては、必要に応じて仮設補強等の措置を施す。
- 施工時の安全性に対する検討書の提出 □ 施工時荷重条件の通知
- (5) アンカーボルトの施工
- ・芯出しは、型板を用いて基準型に正しく合わせて適切な機器等で正確に行う。
  - ・アンカーボルトは鉄筋等を用いて組立て、適切な補助材で固定しコンクリートの打ち込みを行う。
  - ・アンカーボルトはダブルナットとする。 □ 適用除外 [ ]
  - ・土台の穴あけはコンクリート打設後、ボルトの通り芯からのずれを実測してから行う。
  - 通り芯からの誤差 :  $\pm 3\text{mm}$ 以下 □ [ ]
- (6) 建方精度
- ・建方の精度基準は下記による。
  - 建物の倒れ : □  $e \leq H/2500+10\text{mm}$  かつ  $e \leq 50\text{mm}$  □ [ ]
  - 梁の水平度 : □  $e \leq L/700+5\text{mm}$  かつ  $e \leq 15\text{mm}$  (節点間のレベル差) □ [ ]
  - 建物のわん曲 : □  $e \leq L/2500\text{mm}$  かつ  $e \leq 25\text{mm}$  □ [ ]
  - 柱据え付け面の高さ及び位置
  - 柱据え付け面の基準高さからの誤差 : □  $\pm 3\text{mm}$ 以下 □ [ ]
  - 通り芯からの誤差 : □  $\pm 3\text{mm}$ 以下 □ [ ]
  - 階高 : □  $-5\text{mm} \leq \Delta H \leq +5\text{mm}$  □ [ ]
- ・建方精度に不具合が発生した場合は速やかに監理者に報告し対応策を協議する。
- (7) 施工状況の検査
- ・アンカーボルト施工時の立会い検査
  - 目視による精度確認 □ 計測機器による精度確認 □ アンカーボルト径、間隔
  - 施工者自主検査記録の提出 [ ]
  - ・地組み時の立会い検査
  - 目視による精度確認 □ 計測機器による精度確認 □ 材料の加工寸法検査
  - 施工者自主検査記録の提出 [ ]
  - ・建方時の立会い検査
  - 目視による精度確認 □ 計測機器による精度確認 □ 材料の加工寸法検査
  - 施工者自主検査記録の提出 [ ]
  - ・建方後の施工状況の検査
  - 防蟻・防蟻処理 □ 材料の加工寸法検査 □ ファスナーの施工状況
  - 接合金物の施工状況 □ その他 [ ]
  - 施工者自主検査記録の提出 [ ]
  - ・最終確認
  - 工事中に発生するボルトの緩み、ファスナーおよび接合金物に影響する材の割れ、接着面のはがれ等に注意を払い、不具合が発生した場合は是正する。補強の必要がある場合は速やかに監理者に報告し対応策を協議する。
  - 施工者自主検査記録の提出 [ ]

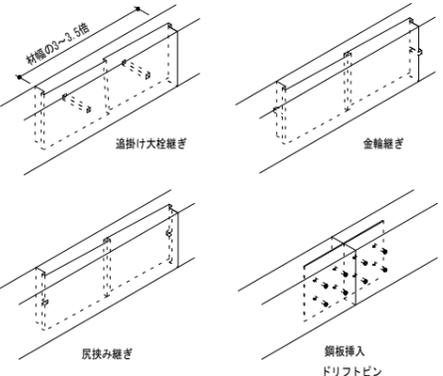
8. 軸組構法接合部の標準仕様

(1) 横架材同士の継手

1. 曲げ応力や引張力を負担しない継手：腰掛け蟻継ぎ、腰掛け蟻継ぎ
  - ・せん断力が大きい場合は台持ち継ぎとする。
  - ・長期荷重時のせん断力の向きを考慮し女木と男木を決める。
  - ・逆せん断と引張の補強として短冊金物等を併用すること。
  - ・柱からの持ち出し位置は、連続梁の長期荷重の反曲点付近とする。



2. 曲げ応力や引張力を負担する継手：追掛け大栓・金輪・尻挟み継ぎ、鋼板挿入ドリフトピン接合
  - ・伝達できるMやTは母材全断面の2割以下と考えること。

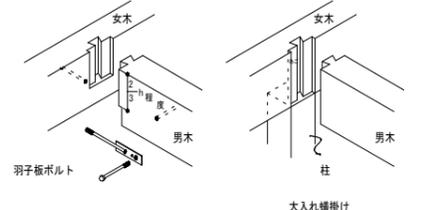


(2) 柱の継手

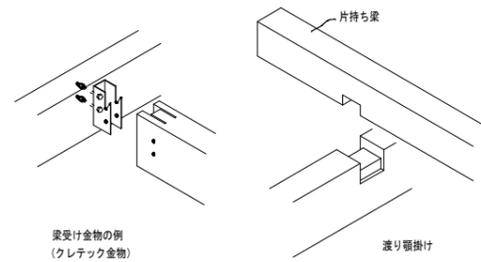
- ・伝達できるMやTは母材全断面の2割以下と考えること。
- ・やむを得ず柱の継ぎ手を設ける場合は、曲げと軸力による複合応力の検定を行い安全性を確認する。

(3) 横架材どうしの仕口

1. せん断力が母材全断面の3割以下の仕口：(大入れ) 蟻掛け
  - ・長期荷重時のせん断力の向きを考慮し女木と男木を決める。
  - ・逆せん断と引張の補強として羽子板ボルト等を併用する。
  - ・男木の梁せいが女木の2/3以下の場合は、仕口直下に柱がある場合には、大入れとしてもよいが、そうでない場合は男木のせいの2/3程度の顎をかける。

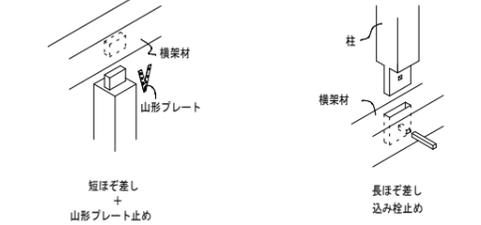


2. せん断力が母材全断面の3割を超える仕口：梁受け金物
  - ・既製品の場合は金物メーカーの許容せん断耐力の値を用い、特注品の場合は構造計算で許容せん断耐力を算出して安全性を確認すること。
3. 一方を片持ち梁とする場合：レベル差を設け渡り腰掛け
  - ・逆せん断の補強として羽子板ボルト等を併用すること。



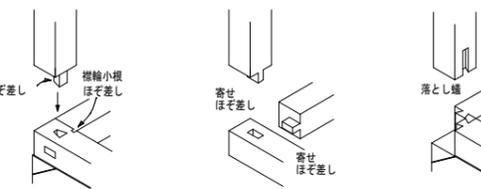
(4) 柱と横架材の仕口

1. 柱の上下端部：短ほぞ差し、長ほぞ差し込み止め
  - ・短期の引張力に対しては、平12建告1460号、N値計算又は許容応力度計算により、必要耐力を有するZマーク金物等を併用すること。

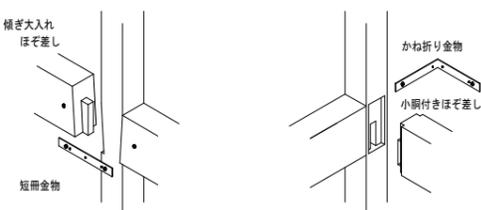


2. 土台の出隅隅部

- ・土台同士は横輪小根ほぞ差し又は寄せほぞ差し、柱脚部は順ほぞ差し又は寄せほぞ差し(但し、柱脚の場合、落とし蟻又は土台を寄せほぞ差しとする。)
- ・短期の引張力に対しては、平12建告1460号、N値計算又は許容応力度計算により、必要耐力を有するZマーク金物等を併用すること。落とし蟻の場合は、HD金物を用いる。



3. 通し柱と順差し：小頭付きほぞ差し、傾ぎ大入れほぞ差し、梁受け金物
  - ・梁受け金物以外の仕口には、引張の補強として短冊金物やかね折り金物等を併用すること。



(5) 筋かい端部

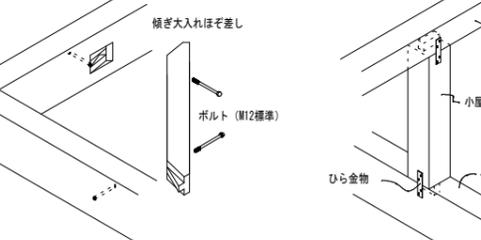
- ・平12建告1460号の例示仕様又は同等品とする。

(6) 火打ち・方杖

- ・角材を用いる場合の端部は、傾ぎ大入れほぞ差し+ボルト締めとする。
- ・Zマーク鋼製火打ち又は同等品としてもよい。

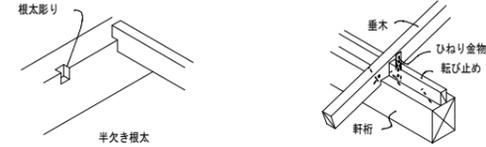
(7) 小屋束の上下端部

- ・短ほぞ差し又は長ほぞ差し込み止めとする。
- ・短ほぞ差しの場合、風圧力による引張力の補強として、かすがい2本又はひら金物又は山形プレート止めとする。



(8) 根太、踵木と横架材

- ・落とし込み根太：横架材に大入れ or 根太掛け+斜め釘
- ・半欠き根太：横架材に大入れ腰掛け+斜め釘
- ・転ばし根太：根太が直角断面の場合、横架材に転ばし止め
- 根太が鋭角断面の場合、斜め釘2本+転ばし止め
- ・踵木：横架材に踵木道を廻り、転ばし根太と同様に止める。
- ・風の負力の補強：許容応力度計算により必要耐力を有するひねり金物等を取り付ける。



(9) 間柱と横架材

- ・上下横架材に深さ3mm程度大入れ+斜め釘上部ほぞ差し、下部突き付け+斜め釘

(10) 釘の最小間隔及び最小端あき距離

縦横方向	加力方向		図
	縦横方向	縦横直交方向	
E1	15d	10d	[Diagram]
P1	12d	10d	
E2	5d	8d	[Diagram]
P2	5d	8d	

(d: 釘径)

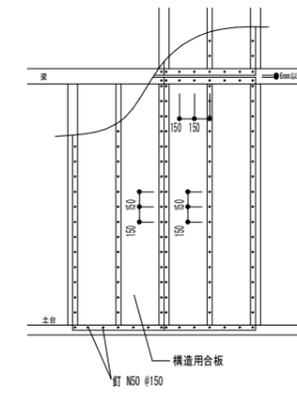
(11) ボルトの最小間隔及び最小端あき距離

縦横方向	加力方向		図
	縦横方向	縦横直交方向	
E1	7d (荷重非負制御) 4d (荷重非負制御)	7d	[Diagram]
P1	7d	t/4-2 2.5L/d/6 3d~5d t/d/6 5d	
E2	t/4/6 t/d/6 1.5d/t/2/2	1.5d	[Diagram]
P2	3d	4d	

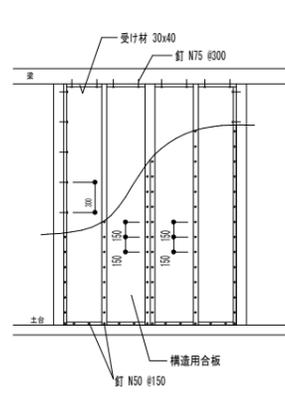
(d: ボルト径, t: 主材厚)

(12) 面材耐力壁

1. 大壁造の場合



2. 真壁造の場合



- ・受け材は柱や横架材にN75-#300以下で平打ちする。

仕様書

工事名称 関の山車会館管理・展示棟改修工事

I. 工事概要

1. 工事場所

2. 施設概要

Table with 5 columns: 建物名称, 構造及び階数, 敷地面積, 延床面積, 消火令の適用, 備考

3. 工事種目 (O印の付いたものが対象)

Table with 2 columns: 工事種別 (屋内), 工事種目 (高圧引込設備, 受変電設備, etc.)

4. 指定部分

○ 無

● 有

対象部分:

II. 特記仕様書

1. 特記仕様書の取り扱いについて

- 1) 項目番号にO印の付いたものを適用する。
2) 特記事項の印の適用は下記による。
○印の無い場合は、※印を適用する。
●印の有る場合は、●印を適用し、※印を適用しない。

2. 一般共通事項

Table with 2 columns: 項目, 概要 (1. 適用範囲, 2. 法規, 3. 疑義, etc.)

Table with 2 columns: 項目 (14 設備の処理, 15 既存部分との取合, etc.), 概要 (災害又は公害が発生した場合は、速やかに適切な処置をとり、直ちにその経過を監督者及び施主に報告をす。

Table with 2 columns: 項目 (1 工事範囲, 2 電気方式, etc.), 特記事項 (・配管 ・配線 ・制御盤類, 幹線 ・ 3相3線式 200V 分岐 ・ 3相3線式 200V)

Table with 2 columns: 項目 (1 工事範囲, 2 自火報設備, etc.), 特記事項 (○配管 ○配線 ○機器類, 総務省令40号 ・ 対応 ( ・ 住戸用 ・ 共用用 ) ○ 非対応)

Table with 6 columns: メーカーリスト (下記メーカー又は同等品以上とする。), 電線・ケーブル, 分岐ケーブル, etc.

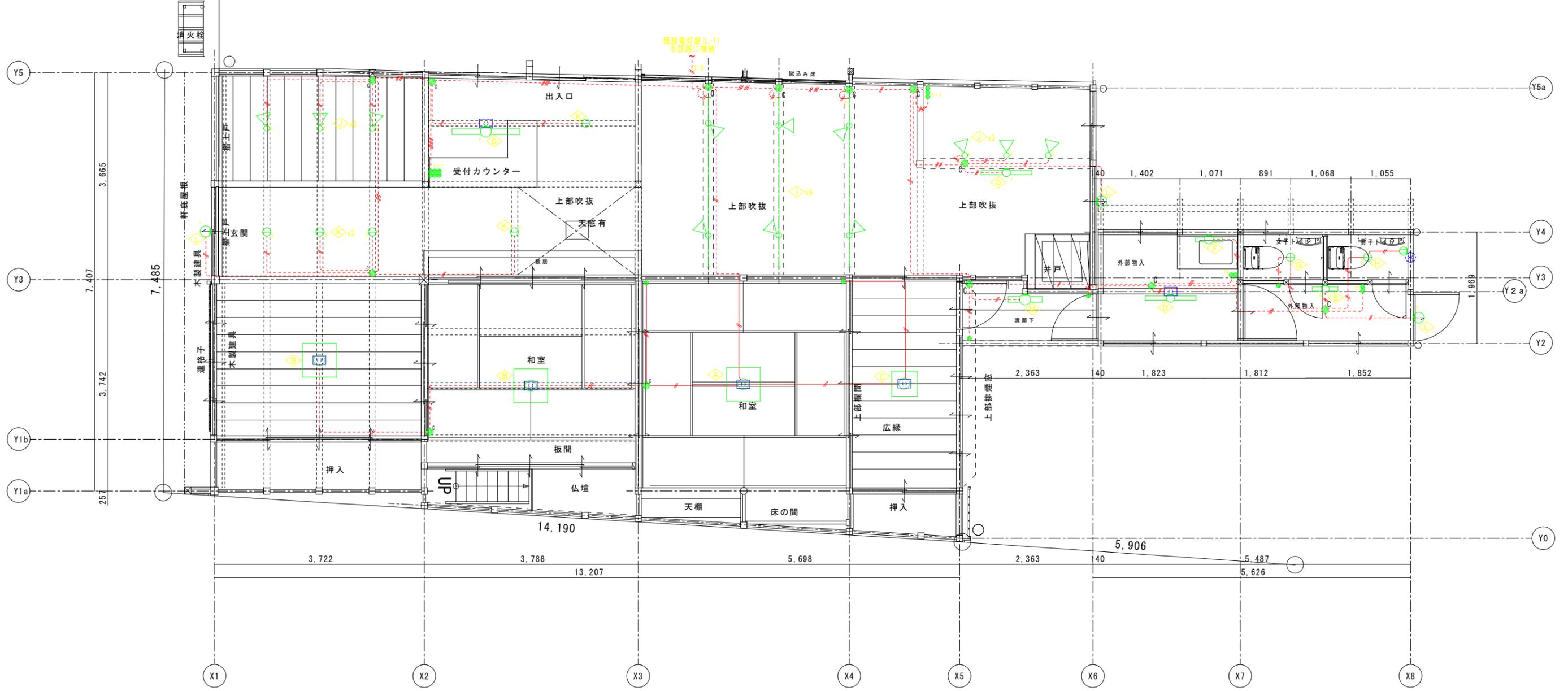
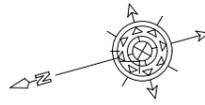


- ③ 火災報知設備監視区域(伝承活動棟)
- ⑥ 火災報知設備監視区域(伝承活動棟)

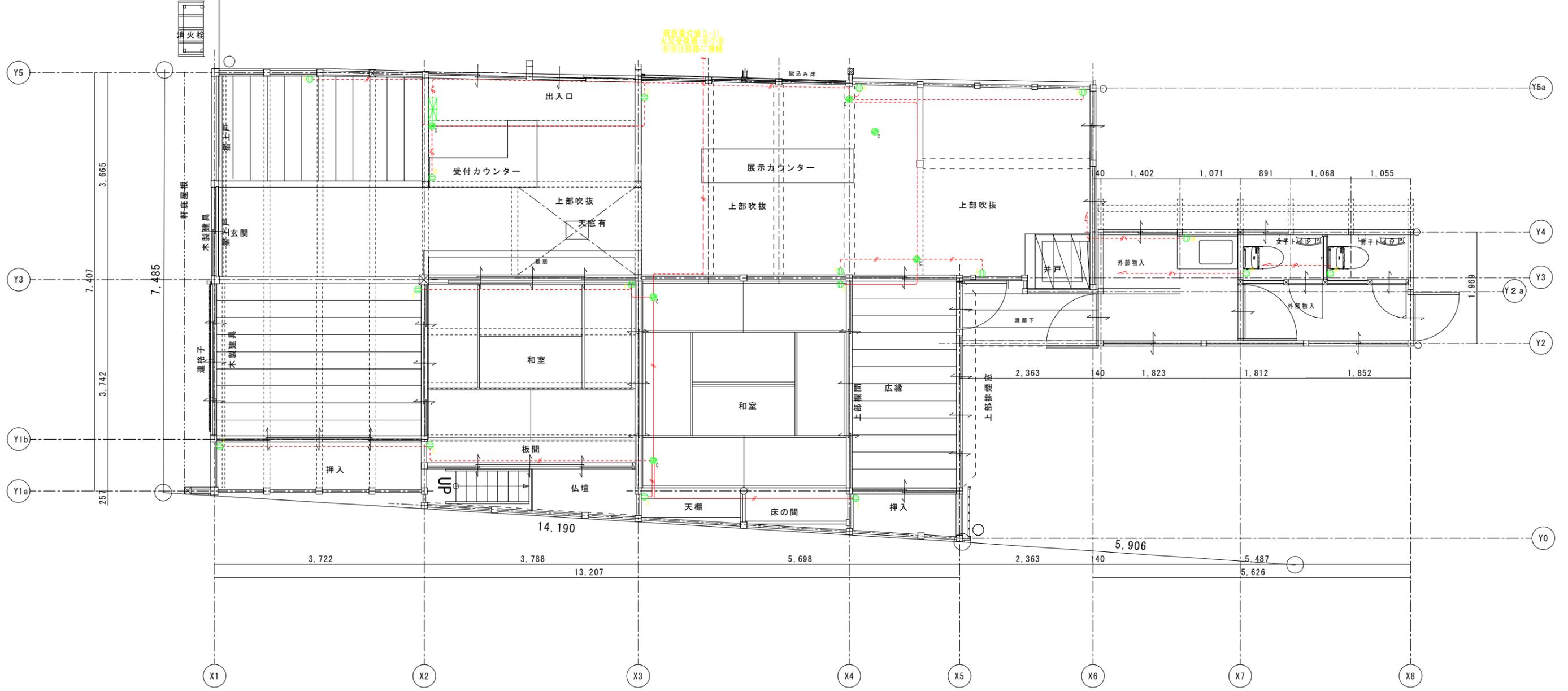
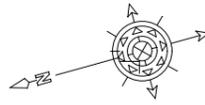
工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者 日付	設計者 日付	担当者 日付	図面名 配置図	縮尺 A2 1/100 A3 1/141	図面NO E-02
	〒519-0118 三重県亀山市関町木崎919-1 ⅴ 0595-96-1218						

盤名称	盤結線図	回路番号	電圧(V)	開閉器				負荷容量(VA)			備考(回路名称)		
				種類	P	E	A	F	A	T		電灯	コンセント
(既設)電灯盤 L-1 屋内壁掛型 AC 1φ3W 200/100V		01	100	MCCB	2	2	50	20			145.0	火災報知受信機用	
		02	100	MCCB	2	2	50	20				予備	
			100/200	ELCB	3	3	60	40	1,305.6	8,400.0	145.0		主幹
		①	100	MCCB	2	1	30	20	242.2				伝承棟照明
		②	100	MCCB	2	1	30	20		1,000.0			前室・和室6帖押入・8帖コンセント
		③	100	MCCB	2	1	30	20		800.0			玄関・内玄関・和室6帖・4.5帖
		④	100	MCCB	2	1	30	20		600.0			和室4.5帖・屋外コンセント
		⑤	100	MCCB	2	1	30	20		557.8			管理棟照明
		⑥	100	MCCB	2	1	30	20		900.0			かみ・入口板間コンセント
		⑦	100	MCCB	2	1	30	20		1,200.0			和室・広縁コンセント
		⑧	100	MCCB	2	1	30	20		1,000.0			展示場コンセント
		⑨	100	MCCB	2	1	30	20		300.0			ミニキッチンコンセント
		⑩	100	MCCB	2	1	30	20		300.0			女子トイレコンセント
		⑪	100	MCCB	2	1	30	20		300.0			男子トイレコンセント
⑫	100	MCCB	2	1	30	20					予備		
⑬	100	MCCB	2	1	30	20					予備		
⑭	100	MCCB	2	1	30	30	505.6	1,000.0			展示棟(土蔵)電源送り		

A	B	C	D
LEDシーリングライト	LEDシーリングライト	LEDシーリングライト 20形丸形スリム蛍光灯1灯器具相当	LED水平管蛍光灯 40形直管蛍光灯1灯器具相当
星白色(6500K)、Ra83/電球色(2700K)、Ra83 器具光束4700lm、消費電力57W、電圧100V 天井取付型、回転取付方式、カチットF 等速天井取付アダプタ対応 アクリル強化樹脂張り、木製(白木) リモコンで(100%~5%)調光	星白色(6500K)、Ra83/電球色(2700K)、Ra83 器具光束3900lm、消費電力46W、電圧100V 天井取付型、回転取付方式、カチットF 等速天井取付アダプタ対応 アクリル強化樹脂張り 木製(白木) リモコンで(100%~5%)調光	星白色(5000K)、高演色Ra95 器具光束1445lm、消費電力22W、電圧100V 取付タイプ、照明センサー付、天井取付型、換気扇連動型 カバー:プラスチック(ホワイト) 全方向照、点灯保持時間調整機能付 調光対応リモコン付	電球色(2700K)、高演色Ra95 器具光束1404lm、消費電力23W、電圧100V 取付タイプ、照明センサー付 コード3m付、ローリングキャップ付 L1200タイプ
パナソニック LGBZ3779	パナソニック LGBZ2779	パナソニック LGB53000LE1	パナソニック SF061B
LED水平管蛍光灯 20形直管蛍光灯1灯器具相当	LEDキッチンライト 20形直管蛍光灯1灯器具相当	LEDシーリングライト 60形電球1灯器具相当	LEDシーリングライト 60形電球1灯器具相当
電球色(2700K)、高演色Ra95 器具光束740lm、消費電力12.9W、電圧100V 取付タイプ、照明センサー付、天井取付型、換気扇連動型 カバー:プラスチック(ホワイト) スイッチ付、調光化対応タイプ L600タイプ	星白色(5000K)、Ra83 器具光束1100lm、消費電力12W、電圧100V 取付タイプ、天井取付型、照明センサー付、天井取付型、換気扇連動型 カバー:プラスチック(乳白) スイッチ付、調光化対応タイプ W=580 H=65 出しろ64	星白色(3500K)、Ra83 器具光束437lm、消費電力7.6W、電圧100V 取付タイプ、照明センサー付、天井取付型、換気扇連動型 カバー:プラスチック(ホワイト) 全方向照、点灯保持時間調整機能付 調光対応リモコン付	星白色(3500K)、Ra83 器具光束437lm、消費電力7.6W、電圧100V 取付タイプ、照明センサー付、天井取付型、換気扇連動型 カバー:プラスチック(ホワイト) 全方向照、点灯保持時間調整機能付 調光対応リモコン付
パナソニック SF055B	パナソニック LGB85030LE1	パナソニック LGBC58064LE1	パナソニック LGBC58084LE1
LEDスポットライト 250形 HID70形器具相当	LEDスポットライト 100形電球1灯器具相当	LED小型シーリングライト 40形電球1灯器具相当	LEDポーチライト 40形電球1灯器具相当
LED<ワンコ>(ひと形)電球タイプ 器具光束2040lm、消費電力23W、電圧100V 3500K、Ra83、ビーム角60度 灯体:アルミダイカスト(ブラック/中消し仕上) 100V配線ダクト用 灯体回転角90°・長さ127 音響制御可能	電球色(2700K)、Ra83 器具光束570lm、消費電力9.7W、電圧100V 取付タイプ、天井取付型、照明センサー付、天井取付型、換気扇連動型 セット:アルミダイカスト(ブラック) 可動範囲上下90度、回転方向360度	電球色(2700K)、Ra84 器具光束559lm、消費電力4.9W、電圧100V 天井取付型、シーリングユニオ方式 アクリル強化樹脂張り、木製(ダークブラウン仕上) 木製(ダークブラウン仕上)	電球色(2700K)、Ra80 器具光束525lm、消費電力3.4W、電圧100V アクリル強化樹脂張り、音響制御 木製(白) カバー:アクリル(乳白)
パナソニック NTS02092BLE1	パナソニック LGB84555LE1	パナソニック LGB58067Z	パナソニック LGW85082K
LEDポーチライト 40形電球1灯器具相当			
電球色(2700K)、Ra80 器具光束264lm、消費電力5.8W、電圧100V 防雨型、フタネジ方式 木製:木製(ホワイト/ブラック) カバー:アクリル(乳白)			
パナソニック LGW85011Z			

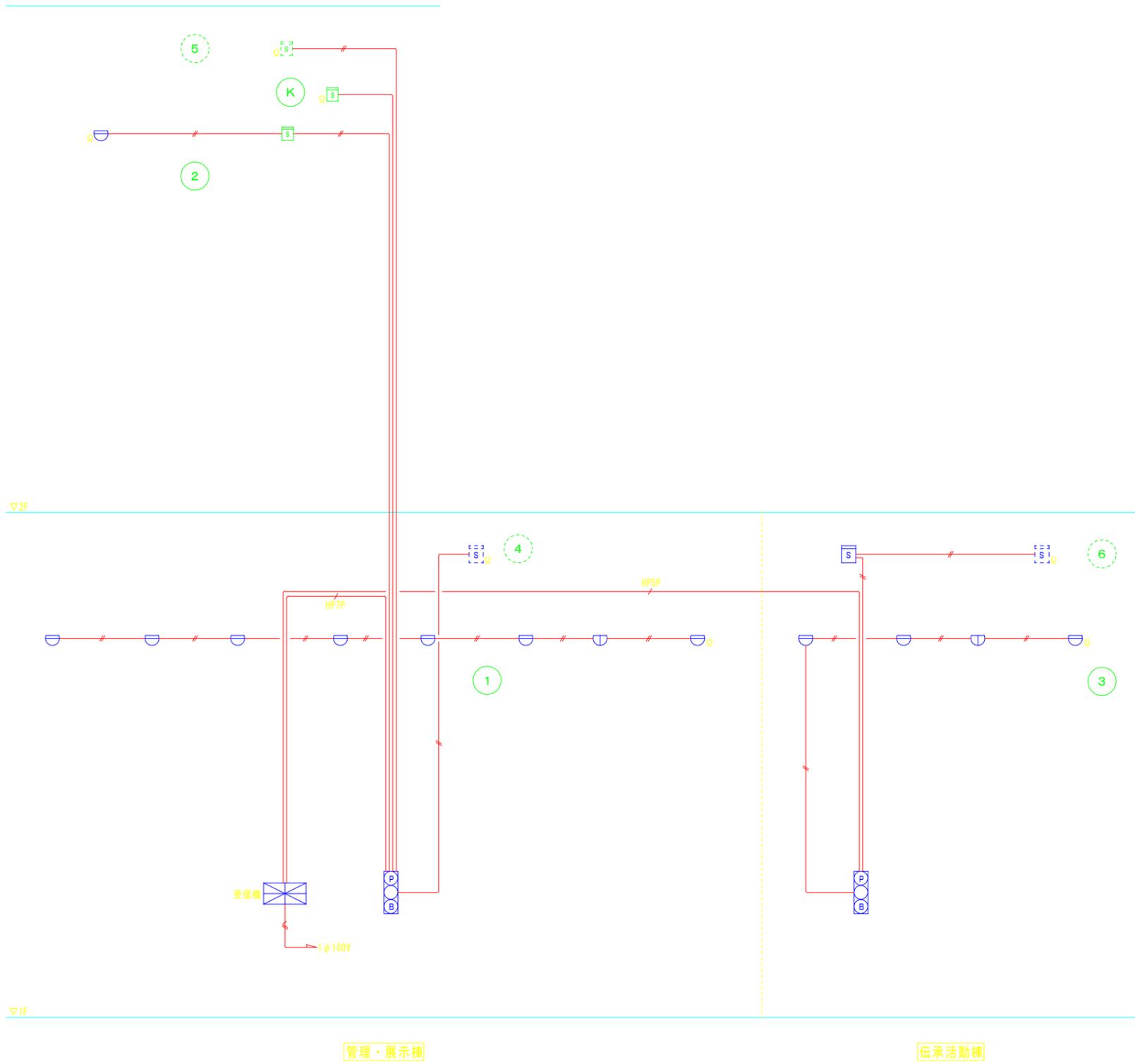


- ※ 特記事項
- 1) 凡例
- 1個露出タンブラスイッチ 1P10A
  - 2個露出タンブラスイッチ 1P10Ax2
  - 3個露出タンブラスイッチ 1P10Ax3
  - 3個x2露出タンブラスイッチ 1P10Ax3
  - VVFジョイントBox(参考:WJ3201B)
  - 引掛シーリング
- 2) 配線
- ・VVF配線は被覆の色は茶色とする。
  - VVF1.6-3C 1C-E
  - 2.0 — VVF2.0-2C
  - VVF1.6-2C
  - VVF1.6-3C
  - VVF1.6-2Cx2
  - VVF1.6-2G+1.6-3C
  - VVF1.6-3Cx2
  - 露出配線
  - 天井・壁隠蔽配線(天井配線はころがしとする)



- ※ 特記事項
- 1) 凡例
    - 埋込コンセント2P15Ax2(接地極付)
    - ⊖ 露出コンセント2P15Ax2(接地極付)
    - ⊖ 露出コンセント2P15Ax2
    - ⊖ VVFジョイントBox(参考:WJ3201B)
  - 2) 配線
    - ・VVF配線は被覆の色は茶色とする。
    - ・コンセント回路はすべて2.0mm配線とする。
    - VVF2.0-3C 1C:E
    - VVF2.0-2C
    - 露出配線
    - 天井・壁隠蔽配線(天井配線はころがしとする)

工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室			管理者 日付	設計者 日付	担当者 日付	図面名 1階 改修後平面図 コンセント設備図	縮尺 A2 1/50 A3 1/70	図面NO E-05
	〒519-0118 三重県亀山市関町木崎919-1 ⅴ 0595-96-1218								



記号	名称	備考
⊠	受信機	P型1級8窓
⊠⊠	総合盤	P型1級(露出型)
○	P型発信機	1級
○	表示灯	AC24V、LED
⊕	火災警報ベル	DC24V、10mA
Ω	終端抵抗	10kΩ
⊠	光電式スポット型感知器	2種、非蓄積型
⊠	差動式スポット型感知器	2種
⊠	差動式スポット型感知器	2種 防水型
⊠	定温式スポット型感知器	1種、75℃
⊠	冷蔵庫・冷凍庫制御盤	
⊠	警戒区域番号	
---	警戒区域線	
—	配管配線	いんべい
□	ジャンクション・ボックス	
⊠	プル・ボックス	

注記

- 1、特記なき配管配線は下記による。  
 (二重天井内はケーブルところがし配線とする。)  
 (壁内配線は配管保護のこと。)

—//—	AE0. 9-2C (PF16)	AE: 警報用ケーブル
—##—	AE0. 9-2C x 2 (PF16)	
—###—	AE0. 9-2C x 3 (PF16)	
—HSP—	HP1. 2-2C (PF22)	HP: 耐熱ケーブル
—H7P—	HP1. 2-5P (PF22)	

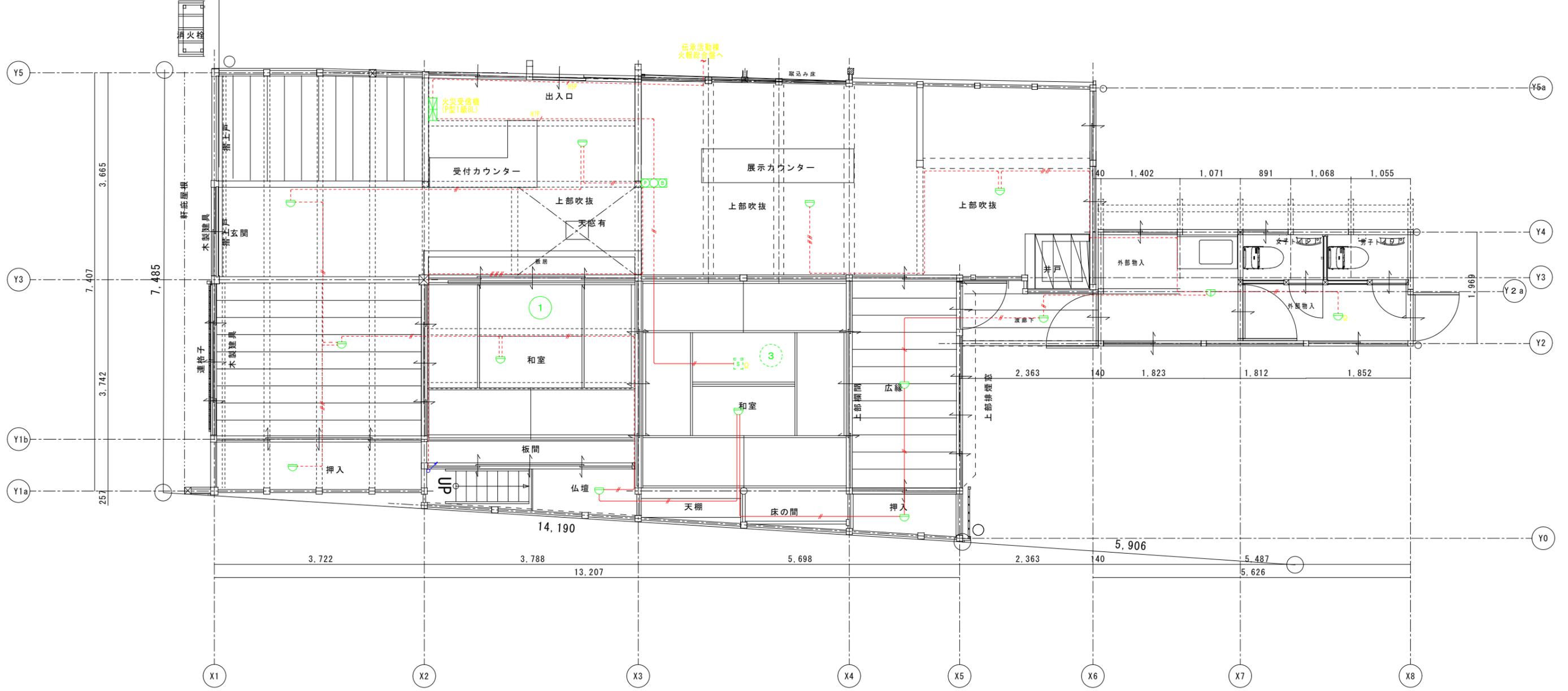
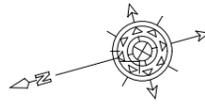
2、受信機仕様

- P型1級、壁掛型、窓式、主音響(音声警報)内蔵、蓄積式  
予備電源内蔵、自動断線警報機能付
- 表示内訳  
・火災表示 7L

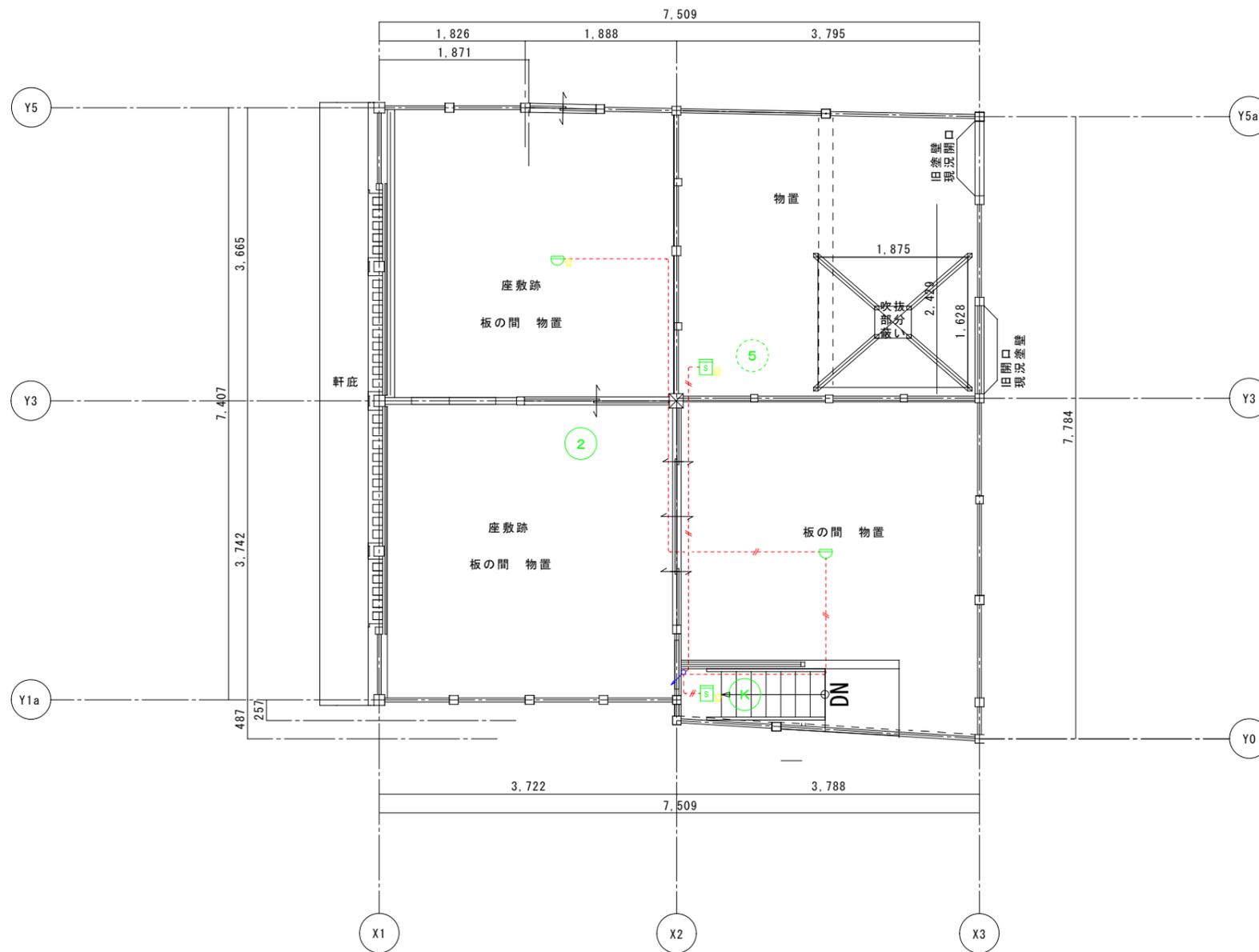
3、感知器はすべて確認灯付とする。

4、区画貫通処理

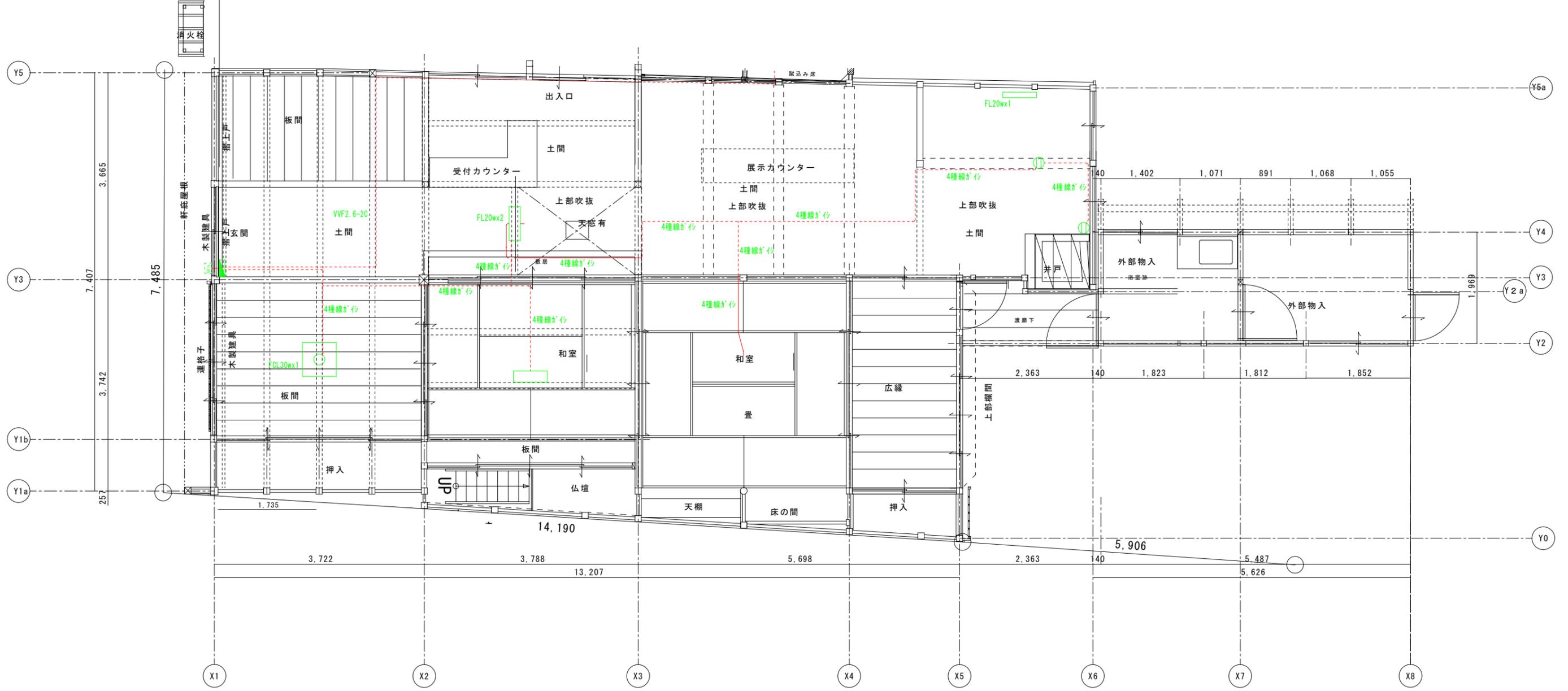
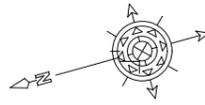
防火区画、令114条区画貫通箇所は電線管1m突き出し配管に依る施工  
又は、国土交通大臣認定の材料、工法に依り施工のこと。



- ※ 特記事項
- 凡例
    - △ 差動式スポット型感知器
    - ▽ 定温式スポット型感知器
    - 光電式スポット型煙感知器
    - 総合盤
  - 配線
    - EM-AE1.2-2C
    - EM-AE1.2-2Cx2
    - EM-AE1.2-2Cx3
    - EM-HP1.2-5P
    - EM-HP1.2-7P
    - 露出配線
    - 天井・壁隠蔽配線(天井配線はこがしとする)



工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室			管理者 日付	設計者 日付	担当者 日付	図面名 2階 改修後平面図 火災報知設備	縮尺 A2 1/50 A3 1/70	図面NO E-08
	〒519-0118 三重県亀山市関町木崎919-1 Ⅱ 0595-96-1218								



工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室			管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-0118 三重県亀山市関町木崎919-1 電 0595-96-1218			日付	日付	日付	1階 改修前平面図 撤去図	A2 1/50 A3 1/70	E-09

機械設備工事特記仕様書 (○印を付けたものを適用する。)					給水設備					機器設備																																																																																																									
<b>建築概要</b> 工事名称 関の山車会館管理・展示棟改修工事 工事場所 三重県亀山市関町中町地内 <table border="1"> <tr> <th>建物名称</th> <th>構造</th> <th>階数</th> <th>延面積 (㎡)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>管理・展示棟</td> <td>W造</td> <td>2階</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					建物名称	構造	階数	延面積 (㎡)	備考	管理・展示棟	W造	2階			○給水方式 ・水道直結式 (市水) ・高架水槽 (圧力タンク・回転制御) ・受水槽 (FRP製・一体型・複合板・単板・バネル型・複合板・単板) ・ステンレス製 (一体型・バネル型) ・鋼板製 (一体型・バネル型) ・高架水槽 (FRP製・一体型・複合板・単板・バネル型・複合板・単板) ・ステンレス製 (一体型・バネル型) ・配管材料 ・ライニング鋼管<一般> (VA・VB・VD・PA・PB・PD) ・ライニング鋼管<土中> (VD・PD) ・塩化ビニル管<土中> (HI・VP・ポリ管) ・さや管工法 (架橋ポリ管) ○弁類 <直結部分> 水道業者指定品 <その他の部分> JIS 5 kgf/cm <sup>2</sup> ・JIS 10 kgf/cm <sup>2</sup> ・量水器 (貸用品・買取り(私設)) ・引込加入・市納金等 (要 (別途工事・本工事) ・不要) ・その他 (施設負担金は別途)					・設計空気条件 (特記なきは建設省 建築設備設計基準による) ・外気 <夏期> °C % <冬季> °C % ・室内 <夏期> °C % <冬季> °C % ・一般系統の温度は成り行きとする。 ・熱源機器 (温水発生機・チラー (空冷HP・水冷HP・水冷)、温水ボイラー・水蓄熱) ・放熱機 (空冷HPパッケージ・ガスHPパッケージ・FCU・AHU) ・その他 配管設備 ・配管方式 (冷媒配管・冷水配管・冷却水配管・温水配管) ・配管材料 (冷媒管・冷媒用鋼管・冷媒用被覆鋼管、冷水管・配管用炭素鋼管(白)・耐熱性硬質塩化ビニル管、冷水・温水管・配管用炭素鋼管(白)・耐熱性硬質塩化ビニル管、冷却水配管・硬質塩化ビニル管 (VA・VB)、排水用炭素鋼管(白)・硬質塩化ビニル管 (VP)、ドレン管・配管用炭素鋼管(白)・硬質塩化ビニル管 (VP)、油管・配管用炭素鋼管(黒)・外面塩化ビニル管 (VP)、蒸気管・配管用炭素鋼管(黒)) ・弁類 (JIS 5 kgf/cm <sup>2</sup> ・JIS 10 kgf/cm <sup>2</sup> ) ・その他 (呼び径100A以上の弁は係員と協議の上パタフライ弁を使用してよい)																																																																																															
建物名称	構造	階数	延面積 (㎡)	備考																																																																																																															
管理・展示棟	W造	2階																																																																																																																	
<b>一般事項</b> 適用仕様書 ・日本建築協会編「建築設備工事共通仕様書」最新年度版 ・空気調和・衛生工学会規格「空気調和・衛生設備工事標準仕様書」最新年度版 ・国土交通大臣官庁官庁整備部「機械設備工事共通仕様書」平成28年度版 優先順位 1. 現場説明事項・質疑応答書 2. 本特記仕様書 3. 設計図書 4. 工事共通仕様書 申請手続 工事に伴う関係官公署、ガス会社への諸手続きは請負者がこれを代行し、必要経費も本工事に含むものとする。 疑義 設計図書の誤記、記載漏れ、又図面上納まり不明な事に起因する問題点疑義についてはその都度監査員と協議する事。 変更 設計図書に明記なくとも、外観上、機能上又は法規上当然必要と認められるものについては本工事に含むものとする。 完成図書 工事完成の上は各種の試験、検査を受け許可書証、成績表、工事写真、日報材料収取簿、完成写真、竣工図、取扱説明書等とりまとめ提出する事。 耐震基準 日本建築センター編「建築設備設置設計・施工指針」による事。					<b>排水設備</b> ○排水方式 <屋内> 分流方式・合流方式 <屋外> 分流方式・合流方式 <雨水> 分流方式・合流方式 ○放流先 <汚水> 下水管・浄化槽・合併処理槽・汲み取り <雑排水> 下水管・合併処理槽・浄化槽・既設槽 <雨水> 下水管・調整池・側溝又は河川・既設槽 ○配管材料 <屋内汚水管> ・メカニカル形排水鋼管 ・排水用塩化ビニル管 (可とう継手又はMD継手) ・硬質塩化ビニル管 (VP) ・耐火被覆ビニル管 <雑排水管> ・配管用炭素鋼管(白) ・排水用塩化ビニル管 (可とう継手又はMD継手) ・硬質塩化ビニル管 (VP) ・耐火被覆ビニル管 <通気管> ・配管用炭素鋼管(白) ・硬質塩化ビニル管 (VP) ・耐火被覆ビニル管 <屋外排水管> ・透心力鉄筋コンクリート管 (外圧管・2種・1種) ・硬質塩化ビニル管 (VP) ・硬質塩化ビニル管 (VU) 125以上 ○井 ・公団形 (B種) ・現場打・市販井・小口径・○ビニル井 ・その他					<b>ダクト設備</b> ・風道 (低速風道・高速風道) ・風道材質 (亜鉛鉄板・塩化ビニルライニング鋼板・ステンレス板) ・吹出口・吸込口の材質 (グラスウールダクト・消音フレキ、アルミニウム製鋼板製 (指定色焼付塗装)) ・その他 <b>換気設備</b> ○換気方式 (集中換気・個別換気) ・風道 (低速風道・高速風道) ・風道材質 (亜鉛鉄板・塩化ビニルライニング鋼板・ステンレス板) ・吹出口・吸込口の材質 (グラスウールダクト・消音フレキ) ・耐火被覆 (漏洩室排気ダクトについては法規に準じた耐火被覆を行う。) ・その他 (外気取入ダクトは断熱のこと)																																																																																																									
<b>特記事項</b> ○地中埋設の給水、ガス、消火管等は埋設表示板、埋設シートを布設する。 ○機器及び配管等は、地震時に水平移動、転倒、落下などが生じないように「建築設備耐震設計指針」により施工する。 ○防火区画貫通部分は、日本建築センターの性能評定を受けた工法に基づく材料を使用する事。 ○建物導入配管 (給水・ガス・消火) は十分な可塑性を有する変位吸収配管施工を行う。 ○水管を要する部分にはつば付スリーブ、地中に用いるスリーブはVP管、他は絶縁等のスリーブを使用することができる。 ○排水管を除く管の埋設深さは、一般敷地300mm以上、車両道路部600mm以上とする。 ○既設コンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。 ○土間配管は土間筋に吊り下げるなど埋設配管を保持するようにする。 ○屋外露出及び多温箇所 (トレンチピット等) の配管架台は、SUS又はSS溶融鋳造メッキ仕上げとする。 ○機器・配管・支持金物において、異種金属が接する部分には、絶縁処理を行う。 ○屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、ケミカルアンカー (SUS) とする。 ○監督職員の指示する時期に施設関係者の立会いを行うものとする。					<b>衛生器具設備</b> ○大便器洗浄方式 (FV (節水形・低圧式) ・洗浄タンク) ○水栓 (節水コマ (泡沫式は除く) ・普通コマ) ・その他 (和風便器が防火区画を貫通する場合は耐火カバーを設ける)					<b>排煙設備</b> ・風道材質 (亜鉛鉄板・普通鋼板 (厚1.6mm)) ・排煙口の形式 (天井取付 (スリット形・スイング形)) ・排煙口開放装置 (手動・手動及び遠隔操作可能なもの) ・検測方法 (遠隔形・手元形) ・排煙風量測定 (建築設備定期検査業務指導書 (日本建築設備安全センター) の排煙風量の検査方式に準ずる)																																																																																																									
<b>共通事項</b> 保温工事 ・保温施工範囲は共通仕様書による。 ・保温施工種別 (共通仕様書による)。 ・下表による。(但しダクト、機器、煙道は共通仕様書による。)					<b>給湯設備</b> ・給湯方式 (中央式・ボイラー・温水機・ガス給湯器・電気温水器、局所式・ガス給湯器・瞬間湯沸器・電気温水器) ・配管材料 (鋼管 (M・L) ・被覆鋼管 (M・L) ・SUS管) ・配管材料 (耐熱性硬質塩化ビニル管・配管用炭素鋼管(黒)、内外面耐熱性硬質塩化ビニル管<埋設>、耐熱性硬質塩化ビニル管・さや管工法 (架橋ポリ管)) ・燃料 (都市ガス・LPG・灯油・A重油・電気) ・その他					<b>自動制御設備</b> ・制御方式 (電子・電気・空気) ・その他 管 (継手共) ・水マーク表示品 WSP規格品 JISマーク表示品 他規格品 ・去 (管継手・異種管) ・JISマーク表示品 ・保温材 (RW・GW保温材) ・JISマーク表示品 ・ポンプ (ポンプ箱) ・詳細事業名簿による 衛生器具 (衛生機器・水栓) ・JISマーク表示品 (規格以外) LIXIL TOTO ・水栓 (FRP製) ・積水プラント 自立化成 フリヂェストン 三菱電機 ・バネル (積水プラント フリヂェストン) 鋼管 (公認製) ・協和コンクリート 盛名工業 昭和工業 ネオジオ 丸八産業 鋼板製 ・オオタケ カネソウ ダイナレ 中部 瑞興 ホクキャスト ・(マンホール・井筒蓋) 詳細事業名簿による 量水器 ・検知時計 金門製作所 リコー電機 ガス器具 (ガス配管器具) ・検知時計 検知時計 専合会 電気工業 ・ガス給湯器 (都市ガス) ・ガス供給者の承認する製造業者の製品 ・ガス給湯器 (LPG) ・「ガス事業者」 「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」に基づき、各令による証書付したものを 監視器具 ・アイホー コメットカワウ サンウエーブ トーヨー 日本理研 フジマック ガス警報 ・ガス警報システム 金門製作所 富士工業 富士電機 パナソニック 矢崎電業 減速機 ・三協 三進 東西化学工業 減速機 ・機村 オーヤラックス 水産機工 日本電達 消火設備 ・消火栓箱 ・立売組製作所 岸本産業 北浦製作所 村上製作所 積井製作所 ・消火栓ホース ・日本消防検定協会の合格表示品 ・スプリンクラー・泡消火 ・宮田 ニッタン 日本ドライケミカル 能美防災 ホーチキ ・特殊ガス消火 ・川重防災 セコム 日研・林テイクス 日債防災 ニッタン 能美防災 浄化槽 ・合併浄化槽 (RC造) ・LIXIL 日本理研 西原 ・合併・単独浄化槽 ・(FRP製) 陸奥大臣型認定品 簡易水洗 ・クリーントイレ ・LIXIL 積水化学 本邦 自立化成 パナソニック ロンシール グリス ・グリリス・グリソントラップ ・カネソウ 東本 下田機工 積水プラントシステム トラップ ・川重防災 セントラルユニ 田中製作所 テイザン 特殊ガス ・特殊ガス設備 高倉鉄工所 広島鉄工 ベルテクム ホーコス 森松工業 装置類 ・製氷機 昭和電機 高倉鉄工所 日本サーモエター 前田鉄工所 三浦 温水機 ・真空式温水機 愛知電機 美芝 日本イミック パナソニック 三菱電機 電気温水機 石川島汎用ボイラー 高倉鉄工所 日本サーモエター 前田鉄工所 三浦 ボイラー ・鋼製ボイラー 昭和電機 巴商會 前田鉄工 ・セクショナルボイラー 昭和電機 石川島汎用ボイラー 在原ボイラー クボタ 昭和電機 巴商會 小型ボイラー 在原製作所 川崎重工業 クボタ パナソニック ダイキン工業 日立製作所 三菱重工業 冷凍機 ・冷水発生機 (50RT以上) 在原製作所 三洋電機 美芝 日立製作所 パナソニック 矢崎電業 ・小型冷水発生機 在原製作所 川重冷凍工業 クボタ ダイキン工業 日立製作所 三菱重工業 三菱電機 冷凍機 在原製作所 川重冷凍工業 クボタ ダイキン工業 日立製作所 三菱重工業 三菱電機 空気調和機 ・パッケージ型空調機 ・ダイキン工業 美芝 日立製作所 パナソニック 三菱重工業 三菱電機 ・ファンクション空調機 ・ダイキン工業 美芝 日立製作所 パナソニック 三菱重工業 三菱電機 ・ファンクションユニット ・三菱重工業 アイシン 詳細事業名簿による ・ファンコンベクター 詳細事業名簿による 防振装置 ・防振材・防振装置 鹿嶋化工 美芝ゴム 特許機器 フリヂェストン 明治ゴム化成 加湿機 ・加湿器 ウェットマスター ヒーエス工業 山沢製機 送風機 ・送風機 詳細事業名簿による 換気扇 ・換気扇 美田工業 美芝 日立製作所 パナソニック 三菱電機 全熱交換機 ・全熱交換機 詳細事業名簿による ダクト ・吹出口・吸込口 空研工業 新晃工業 トーキン 鋼興業 付属品 ・風量ユニットCAV・VAV エアコンスター クボタ 新晃工業 東プレ ダクト ・亜鉛鉄板 JIS規格品 ・ステンレス鋼板 JIS規格品 ・スチールダクト 大阪ラセン管工業 東本 徳弘 富士空機工業 フジキ産業 ・フレキダクト アライ工業 オーツカ 東本 ・トイメックランディスズア 山崎ハルウェル 狭間ジョシヨシコントロールズ																																																																																																									
<b>工事種別</b> <table border="1"> <tr> <th>給排水衛生設備</th> <th>屋外</th> <th>屋内 ( )</th> <th>屋内 ( )</th> <th>屋内 ( )</th> <th>屋内 ( )</th> </tr> <tr> <td>給水設備</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>排水設備</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>衛生器具設備</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>給湯設備</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガス設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>消火設備</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ろ過設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>浄化槽設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>空調設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>機器設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>配管設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ダクト設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>換気設備</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>排煙設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>自動制御設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					給排水衛生設備	屋外	屋内 ( )	屋内 ( )	屋内 ( )	屋内 ( )	給水設備	○	○				排水設備	○	○				衛生器具設備		○				給湯設備			○			ガス設備				○		消火設備			○			ろ過設備						浄化槽設備						空調設備						機器設備						配管設備						ダクト設備						換気設備		○				排煙設備						自動制御設備						<b>消火設備</b> ○消火設備の種類 (屋内消火栓・屋外消火栓・スプリンクラー・泡消火・水道連軸型SP) ・連続送水管・連続放水管・移動粉末消火・フード消火・消火器 ○屋内消火栓箱 ・HB-1A・HB-1B・HB-2A・HB-2B ・HB-3A・HB-3B・HB-4A・HB-4A・HB-4B・S ・屋外消火栓箱 ・HB-21・HB-22 ・連続送水管 ・HB-11A・B・HB-12A・B ○配管材料 ○鋼管 (JIS G 3452・JIS G 3454) ○消火栓用塩化ビニル被覆鋼管 (SGP-VS) ○消火栓箱は指定色焼付塗装とする。 ○その他 ○消火栓箱は指定色焼付塗装とする。					<b>ろ過設備</b> ・方式 (砂・フィルター) ・制御 (全自動・手動) ・配管材料 (配管用炭素鋼管(白)・耐熱性塩化ビニル管(HI)) ・耐熱性塩化ビニル管 ・その他					<b>浄化槽設備</b> ・方式・容量 (単独・合併 算定人員 人槽 処理水量 m <sup>3</sup> /日) ・材質 (FRP製・コンクリート既製管・RC躯体) ・構築スラブ (要・不要) ・その他				
給排水衛生設備	屋外	屋内 ( )	屋内 ( )	屋内 ( )	屋内 ( )																																																																																																														
給水設備	○	○																																																																																																																	
排水設備	○	○																																																																																																																	
衛生器具設備		○																																																																																																																	
給湯設備			○																																																																																																																
ガス設備				○																																																																																																															
消火設備			○																																																																																																																
ろ過設備																																																																																																																			
浄化槽設備																																																																																																																			
空調設備																																																																																																																			
機器設備																																																																																																																			
配管設備																																																																																																																			
ダクト設備																																																																																																																			
換気設備		○																																																																																																																	
排煙設備																																																																																																																			
自動制御設備																																																																																																																			

工事名	関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
		〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	特記仕様書	A2 NS A3 NS	M-01



図 示 記 号

記 号	名 称
— — — — —	給 水 管
— — — — —	排 水 管
— X — — — —	消 火 管

樹 仕 様

種 別	記 号	樹 寸 法	蓋	備 考
小 口 径 汚 水 樹	S-2	200φ	下記による	記号 ○
小 口 径 雨 水 樹	R-2	200φ	下記による	記号 ⊗
小口径樹 特記なきは塩ビ蓋、Tと表示はT-14（鋳鉄蓋）、格子と表示は格子蓋とする。				

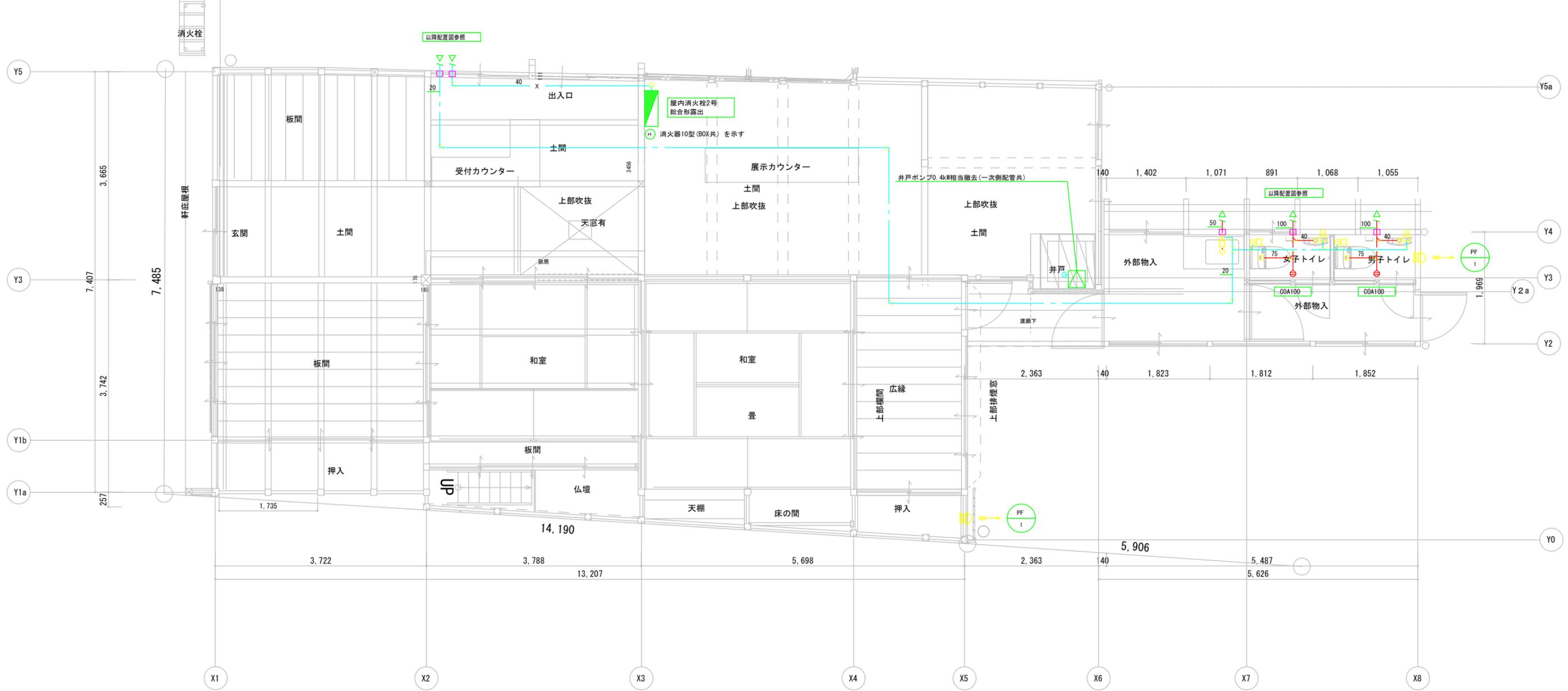
換 気 機 器 表

機器番号	機器名称 参考型番	形 式 ・ 仕 様	電 気 容 量		台 数	設 置 場 所 及 び 備 考
			電 源	送 風 機		
			(φ-V)	(W)		
PF-1	パイプ用ファン	形 式 角形格子グリル φ100	1-100	4.6	1	男子トイレ
	V-08PSD7	風 量 70 m3/h 5 Pa				
		付属品 SUS深形フード、他一式共				
注記	消費電力は参考とする					

衛 生 器 具 表

名 称	品 番	附 属 品	男 子 トイ レ	女 子 トイ レ	兼 用	合 計
洋風便器	CES9423	(ウオシュレット一体形)	1	1		2
欄干二連紙巻器	YH701		1	1		2
手洗器	LSL870AP	ハンドル式単水栓	1	1		2
化粧鏡	YM3545A	350×450	1	1		2
シングルフック	YKH21R		1	1		2
キッチン	建築工事				1	1
自在水栓	T130AUN13C				1	1

凡例  
  コア抜き箇所を示す  
 注記) 壁・床・天井等の撤去復旧は建築工事とする



工事名 関の山車会館管理・展示棟改修工事	亀山市民文化局文化振興局まちなみ文化財室	管理者	設計者	担当者	図面名	縮尺	図面NO
	〒519-1192 三重県亀山市関町木崎919-1 TEL 0595-96-1218	日付	日付	日付	1階 改修平面図 給排水・換気設備	A2 1/50 A3 1/70	M-04